Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

ビクターBS・110度CSデジタル
ハイビジョンテレビ

型名 **HD-36D1500**
HD-32D1500

⚠ ご使用の前に**安全上のご注意**
（6～11ページ）を必ずお読みください。

DVD Player
S-VHS
Digital BS-Tuner
Game
CS-Tuner

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

はじめに
テレビを準備する
ふだんの使い方
便利な機能で楽しむ
電子番組ガイドで楽しむ
地上波放送を楽しむ
衛星デジタル放送を楽しむ
番組を予約する
衛星デジタル放送を使いこなす
SDメモリーカードで楽しむ
他の機器をつなぐ
こまったときは

LCT1264-001A

主な特長

このデジタルハイビジョンテレビには、当社が開発した新世代高画質デジタル技術「DET」を搭載しています。

DET(Digital Emotional Technology)とは
地上波放送から衛星デジタル放送のD４フォーマット（525i/525p/750p/1125i）まで、あらゆる映像信号を最適なフォーマットに画素変換して、きめ細かい高密度な映像を実現するデジタル技術です。
この技術は、従来のIP変換（インターレースをプログレッシブに変換）を進化させ、ハイビジョン信号の画素変換（1125iを1125pに変換）を実現しました。
これによって、走査線数1500本（地上波放送は525本）の高密度化が実現され、ジャギー（画像のふちのギザギザ）や画面のチラツキを低減し、これまで表現できなかった緻密な映像も奥行きのある、より美しい映像として再現します。

本機は衛星デジタル放送(BSデジタル放送と110度CSデジタル放送)用の受信機を内蔵したデジタルハイビジョンテレビです。BS･110度CSデジタル対応アンテナと電話回線を接続し、付属のB-CASカードを本機に挿入して視聴します。
また本機は、**衛星デジタル放送の電子番組ガイド(EPG)**に加え、**G-GUIDEシステムによる地上波放送の電子番組ガイド(地上波番組表)**に対応しており、簡単に番組を選んだり予約することができます。
さらに、SDメモリーカードを直接本機に挿入して、静止画像や音楽データを楽しむこともできます。

複数の番組やビデオなどを同時に見る
マルチ画面機能
☞70～72ページ

住所やレシピのメモをとりたい
メモ画面機能
☞73ページ

横長画面を生かした7種類の画面サイズ
画面サイズ切換
☞66ページ

映画ソフトを自動的に本来の質感で再現
ナチュラルシネマ機能
☞74ページ

目にやさしく、節電もできる
デジタルE.E.センサー
☞76ページ

テレビの消し忘れを防ぐ
オフタイマー
☞75ページ

地上波放送も衛星デジタル放送も、簡単に番組を選んだり、予約できる
番組ナビ機能
☞87、94ページ

衛星デジタル放送のお気に入りチャンネルを登録して、簡単に選べる
ホームメニュー
☞118ページ

衛星デジタル放送のいろいろな場面で便利なメニューを表示する
便利機能ボタン

デジタル放送を1本のコードでデジタルのままD-VHSに記録できる
i.LINK（アイリンク）入出力端子2系統装備
☞166～171ページ

DVDやD-VHSビデオデッキをよりきれいに見ることができる
D4端子2系統 コンポーネント入力端子1系統装備
☞156、158、160ページ

この取扱説明書について
・主にリモコンのボタンを使って説明しています。
・イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。
・イラストは主にHD-32D1500のものを使用しています。外観などはHD-36D1500とは多少異なります。

衛星デジタル放送について

BSデジタル放送とは

地上36000kmにある放送衛星（Broadcast Satellite）を使って、2000年12月1日より放送が開始されました。テレビチャンネルを中心にデジタルのラジオ放送やデータ放送もあり一部の有料放送を除き、無料で楽しめます。映像はデジタルハイビジョンが中心のワイドで高画質／高音質の放送です。
電話線を接続すると双方向データ放送でアンケートやクイズ等に参加するなど新しい時代の放送を楽しむ事ができます。

110度CSデジタル放送とは

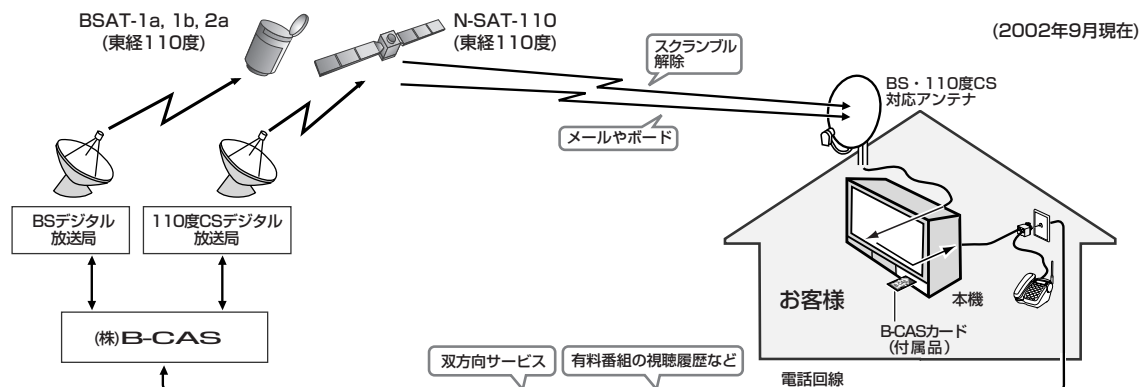
BSデジタル放送の衛星と同じ軌道上の通信衛星（Communicatiion Satellite）を使って、あらたに放送が開始されました。110度CSデジタル放送は、「プラットワン」と「スカイパーフェクTV!2」の2つのグループがあります。放送グループごとに見たいチャンネルを選んで契約し、視聴します。専門チャンネルを中心にした、多チャンネル放送です。（視聴契約については添付のパンフレットをご覧ください。）

CS1：プラットワン

プラットワン・カスタマーセンター
0570-001-012（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHSからはご利用になれません。）
受付時間10:00～20:00（年中無休）

CS2：スカイパーフェクTV!2

スカイパーフェクTV!2・カスタマーセンター
0570-088-222（ナビダイヤル）
または045-339-0002
受付時間10:00～20:00（年中無休）

● 本機では、東経124度に打ち上げられた通信衛星JCSAT-4を利用して放送されている「スカイパーフェクトTV!」はご覧いただけません。
● 本機は、110度CSデジタル放送を利用した蓄積型双方向サービスには対応していません。

著作権とご注意

■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
■ あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
■ i.LINKは、IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i.」はソニー株式会社の商標です。
■ 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル（通話料金無料）でないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。
■ 本機は電波産業界（ARIB）規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。
■ この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、衛星デジタル放送受信中に番組ナビボタンを押し、インフォメーション→ID表示→ソフト情報表示をご参照ください。

・G-GUIDEは、ジェムスター社の登録商標です。
・G-GUIDEシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
・ジェムスター社は、G-GUIDEシステムが供給する放送番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。
・ジェムスター社は、G-GUIDEシステムに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
・録画をする場合にはビデオ録画機器が必要です。

DTLAの説明

著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。
また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。

もくじ

はじめに

テレビを準備する

ふだんの使い方

便利な機能で楽しむ

電子番組ガイドで楽しむ

地上波放送を楽しむ

衛星デジタル放送を楽しむ

番組を予約する

衛星デジタル放送を使いこなす

SD メモリーカードで楽しむ

他の機器をつなぐ

こまったときは

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

警告

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

指をはさまれないように注意

感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

接触禁止

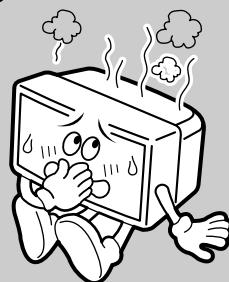
水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

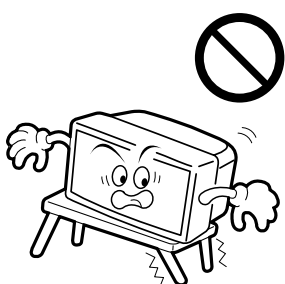
プラグをコンセントから抜く

警告 万一、次のような異常が発生したときは

●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
●テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

警告 設置するときの警告

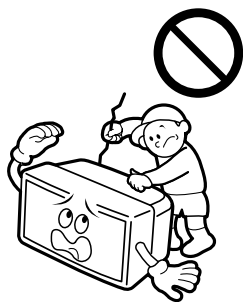
不安定な場所に置かない

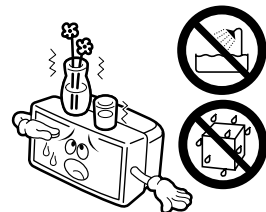
ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

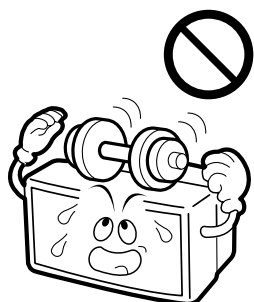
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

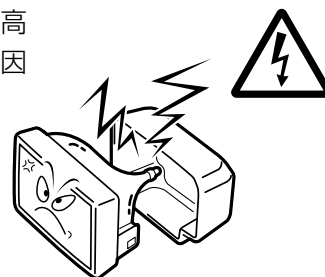
警告 使用するときの警告

テレビ内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

テレビに水をかけない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、テレビの上に置かないでください。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。

テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

警告 使用するときの警告

雷が鳴り出したら、テレビやコードに触れない

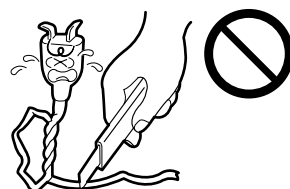
感電の原因となります。

テレビを改造しない

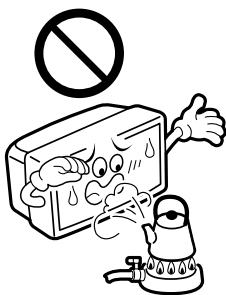
火災・感電の原因となります。

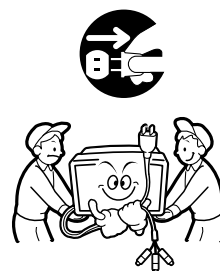
電源コードを傷つけない

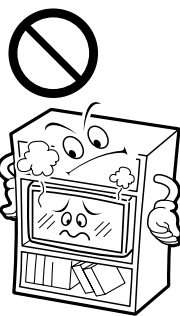
電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。

移動するときは接続コード類をはずす

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。
また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。

テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。
- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

アンテナ工事は販売店に依頼する

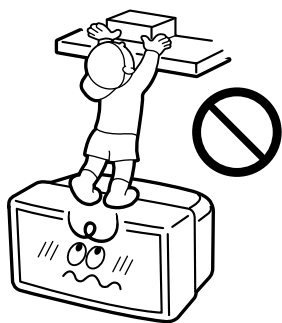
技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。
- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSアンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスター止め(受け皿など)で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。

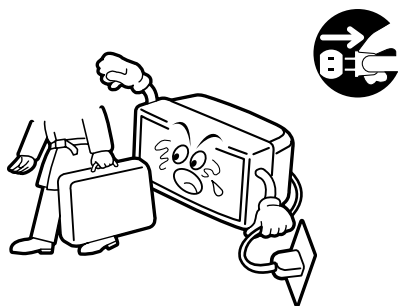
注意 使用するときの注意

テレビに乗らない

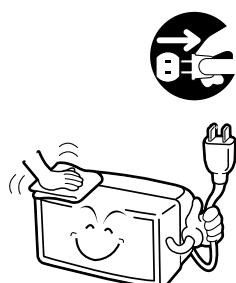
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

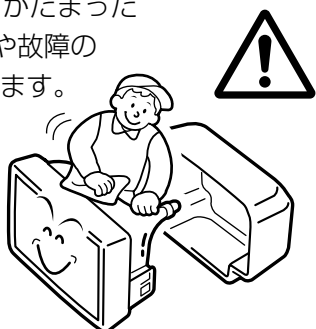
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

電源プラグのホコリに注意する

電源プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

1年に1度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

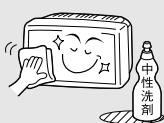
テレビの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

乾電池の使いかたに注意する

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
・種類の違う電池を混ぜて使わない
・電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる
・指定された電池以外は使わない

お手入れのしかた

●キャビネットやブラウン管面の汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

・シンナーやベンジンでふかない
・殺虫剤など揮発性のものをかけない
・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

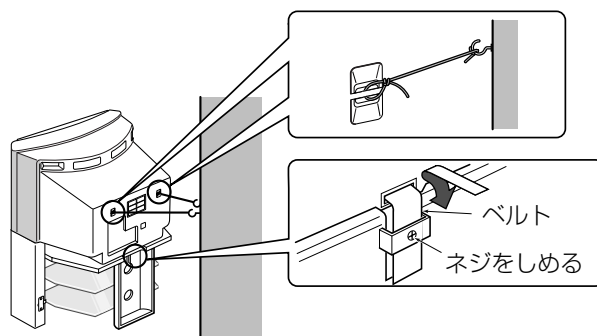
転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき

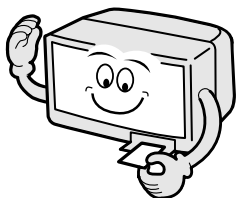
転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

知っておいていただきたいこと

● *印のついている用語については「用語解説」☞182、183ページをご覧ください。

B-CAS（ビーキャス）カード*登録をしてください

B-CASカードはカードに組み込まれたICを利用し、登録された受信者に対して、いろいろな放送サービスの利用を可能にします。
公共放送・有料放送を視聴するときや、双方向番組に参加するときに必要です。
B-CASカードを本機に挿入し、はがきによる登録をしてください（登録は無料です）。
B-CASカードの台紙の一部が登録はがきになっています。また、台紙に書かれた説明も良くお読みください。（台紙に添付されたバーコードのシールは、有料放送の申し込みに利用します。紛失しないようにしてください。）

ご注意

● B-CASカードには、視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください（☞ 23ページ）。
● B-CASカードを使用しなくても本機をご使用いただけますが、公共放送の視聴時にメッセージがでたり、有料放送の視聴や一部のデータ放送の利用ができません。
● B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。
破損・紛失などにより再発行を依頼されるときは費用がかかります。B-CASカードに記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

NHKや有料放送は視聴の手続きが必要です

NHK、WOWOW、スターチャンネル、プラットワン、スカイパーフェクTV！2をご覧になるには視聴の申し込み手続きが必要です。添付のパンフレットをお読みのうえ、B-CASカードの登録とあわせて、手続きを行ってください。

電源を入れた時の映像について

●本機は、電源を入れてから映像が映るまで数秒の時間がかかります。
電源ボタンを繰り返し押さないようにしてください。
（電源が入っているかどうかは、電源/機能待機ランプの点灯をご確認ください。14ページの9を参照）
●衛星デジタル放送（BSデジタル放送*と110度CSデジタル放送*）を視聴中に電源を「切/入」すると映像が乱れますが、故障ではありません。電源を切って10秒程度たってから、電源を入れるようにしてください。

データ放送について

衛星デジタル放送では、さまざまなデータ放送が送られてきます。データ放送の種類によっては表示されない場合や表示が出るまでに時間がかかる場合がありますが故障ではありません。
番組によっては、選局と同時に「データを取得中です」のメッセージが表示されたり、データ放送画面に自動的に切り換わる場合があります。

自動表示メッセージ機能のご案内

本機は衛星デジタル放送の自動表示メッセージ機能に対応しています。この機能は放送局からの視聴者への案内などに使用されます。
自動表示メッセージを消すには、リモコンの「戻る」ボタンを押してください。（自動表示メッセージのなかには、リモコンの「戻る」ボタンを押しても消せない場合があります。あらかじめご了承ください。）

視聴予約や録画予約を確実におこなうために

- 電源が「切」のとき、視聴予約は実行されません。視聴予約した番組をご覧になるには、あらかじめ電源を「入」にしておいてください。
- 電源プラグが抜かれていると録画予約は実行されません。電源を切るときは、リモコンまたは本体の電源ボタンを押して切ってください。

天候不良によって画質や音質が悪くなる場合があります

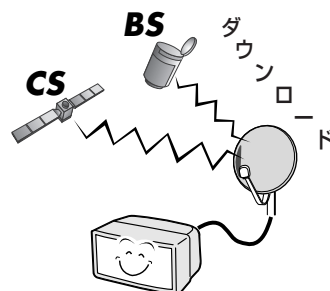
悪天候により衛星からの電波が弱くなっている場合、降雨対応放送が行われているときは、降雨対応放送に切り換わります。(画面にメッセージが表示されます。)
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報が表示できない場合もあります。

ソフトウェアと動作

正常に動作しないときは

本機は電子番組ガイド*やデータ放送などデジタル情報を受け取ってさまざまなサービスを実現します。
これらのサービスは精密な電子部品と、パソコンで使われているのと同様のソフトウェアを使用することで実現されています。そのため、外部からのノイズなどのいろいろな要因で正常に動作しない事があります。
正常に動作しない(あるいは全く動作しない)ときは、いったん電源を切り、その後再び電源を入れてください。

ダウンロード

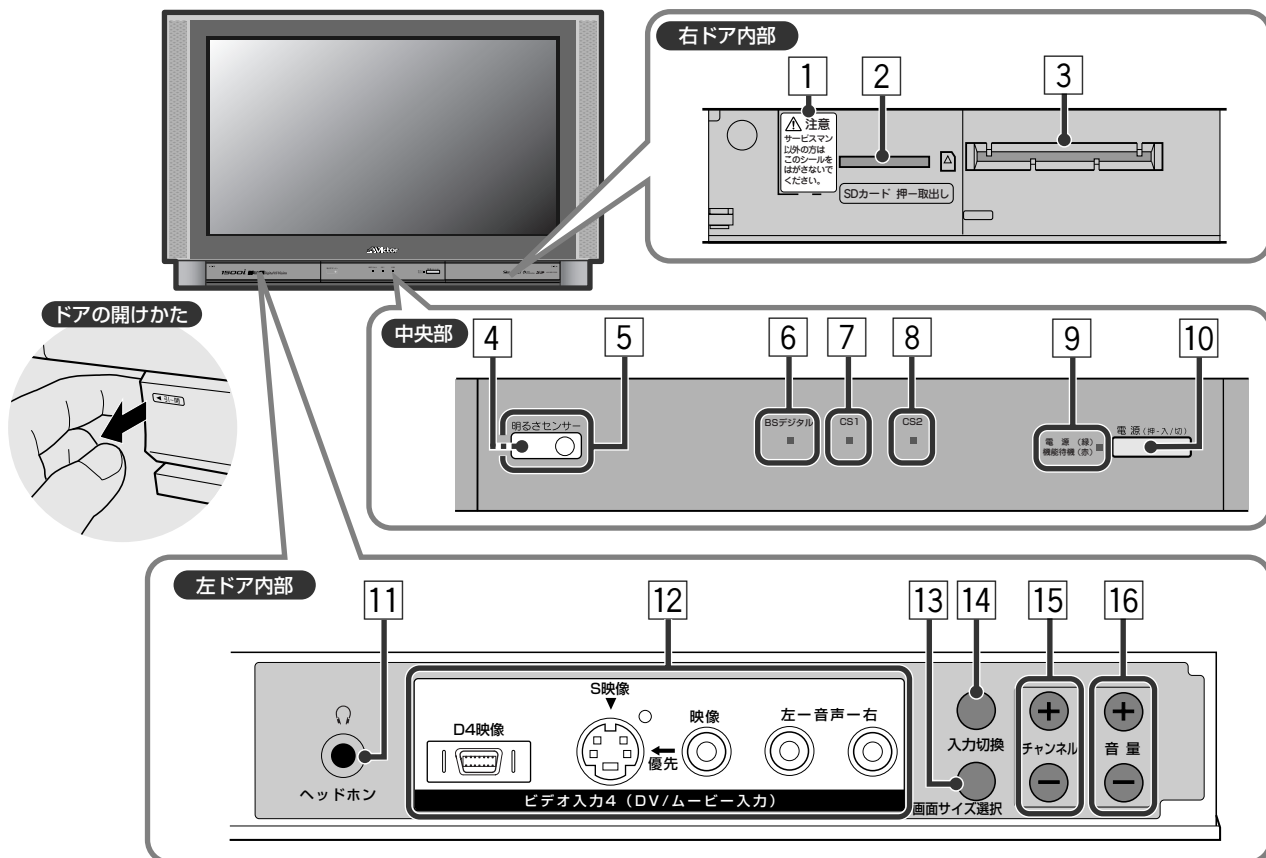
多くの機能をソフトウェアで実現していますので、将来機能が追加されたときも、ソフトウェアを入れ換えることで機能を追加できるようになっています。このようにして機能を追加することをダウンロードと呼んでいます。
通常はダウンロードによるプログラムの更新をされることをおすすめします(☞144ページ)。

放送されない機能は動作しません

本機にはさまざまな機能がありますが、放送局がそれらの機能に対応した放送をしていないときは使用できません。

放送切換をした直後の番組表の表示内容について

放送の切換(地上波・BS・CS1・CS2の切換)をした直後に番組表を表示させると、番組の情報が何も表示されない場合があります。これは、放送を切り換えた直後は番組の情報が充分でないためです。故障ではありません。しばらくすると順次表示されます。(または放送切換をして20秒以上たってから番組表を表示させるようにしてください。)

各部のなまえ

本体前面

1 **サービス用端子**
サービスマンが使用します。通常はお使いにならないでください。

2 **SDメモリーカード挿入口** ☞147ページ
SDメモリーカードを入れて再生するときに使います。

3 **B-CAS（ビーキャス）カード挿入口** ☞23ページ
B-CASカードを入れておきます。

4 **リモコン受光部**
リモコンで操作するときは、リモコンの送信部をここに向けます。

5 **明るさセンサー** ☞76ページ
省電力機能の「デジタルE.E.」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です。

6 **BSデジタルランプ**
BSデジタル放送を受信中に点灯します。

7 **CS1ランプ**
CS1:プラットワンを受信中に点灯します。

8 **CS2ランプ**
CS2:スカイパーフェクTV!2を受信中に点灯します。

9 **電源/機能待機ランプ** ☞52、54、58ページ
本体の電源が「入」のとき、緑色で点灯します。
● 電源が「切」の場合でも、地上波放送の番組表を受信しているときや衛星デジタルチューナーが動いているときは赤く点灯します。

10 **電源ボタン** ☞52、54、58ページ
本体の電源を「入/切」します。

11 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。
● ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音が消えます。

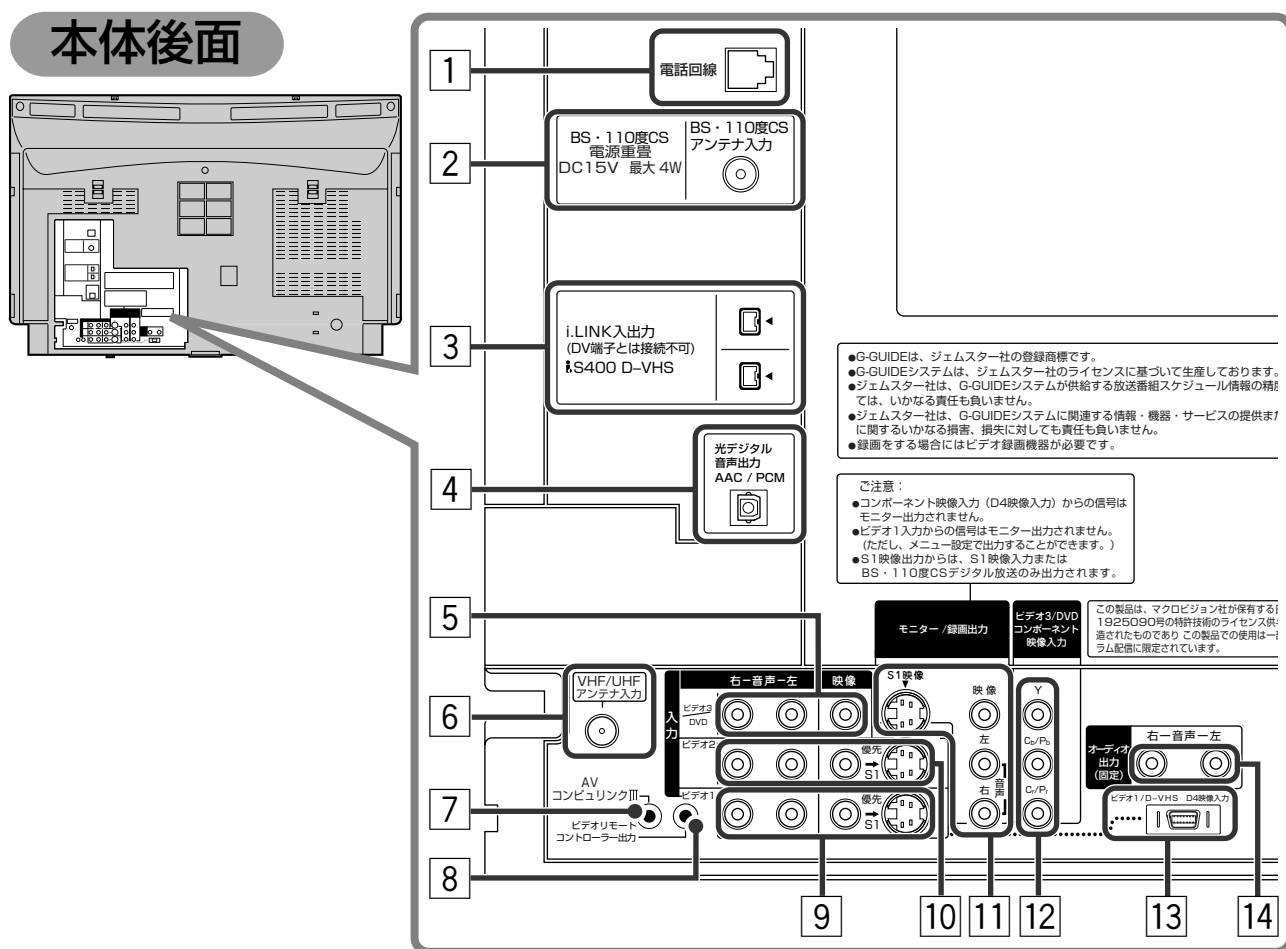
12 **ビデオ入力4(DV/ムービー入力)端子**
☞156ページ
ビデオカメラやテレビゲーム機の映像･音声出力端子とつなぎます。
● S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。
● D4映像端子に映像信号が入力されているときは、S映像端子や映像端子に入力された映像信号よりも優先されます。

13 **画面サイズ選択ボタン** ☞66ページ
画面サイズを変更するときに使います。
くり返し押してお好みの画面サイズを選びます。

14 **入力切換ボタン** ☞59ページ
接続しているAV機器の映像を見るときに使います。
くり返し押して見たい外部入力を選びます。

15 **チャンネル+/−ボタン** ☞53、55ページ
チャンネルを変えるときに使います。

16 **音量+/−ボタン** ☞52、54、58ページ
音量を調節するときに使います。

本体後面

1 **電話回線端子** ☞22ページ
電話線（アナログ回線のモジュラーケーブル）を接続します。

2 **BS・110度CSアンテナ入力端子** ☞21ページ
BS・110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナをつなぎます。

3 **i.LINK入出力端子** ☞158、166ページ
D-VHSビデオデッキなどのi.LINK対応機器と接続します。

4 **光デジタル音声出力端子** ☞161、162ページ
MDレコーダーやAACデコーダーを持ったアンプなどと接続します。

5 **ビデオ3/DVD入力端子** ☞160ページ
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

6 **VHF/UHFアンテナ入力端子** ☞21ページ
VHF、UHFアンテナをつなぎます。

7 **AVコンピュリンクIII端子** ☞172ページ
AVコンピュリンク対応の機器をつなぎます。

8 **ビデオリモートコントローラー出力端子**
☞157、158ページ
付属のビデオリモートコントローラーを接続します。

9 **ビデオ1入力端子** ☞157、158ページ
ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

10 **ビデオ2入力端子** ☞157ページ
ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

11 **モニター/録画出力端子**
☞157、158ページ
ビデオデッキの映像・音声入力端子と接続します。ふだんはテレビに映っている映像と音声を出力します。録画予約の実行中はその映像と音声の録画用出力になります。
- D4映像入力（ビデオ1、ビデオ4）端子やビデオ3/DVDコンポーネント映像入力端子から入力された映像信号は出力されません。
- マルチ画面のとき、2画面または裏番組を表示中は左画面の映像と音声が出力されます。番組一覧中は出力されません。
- 地上波放送の映像はS1映像出力端子からは出力されません。
- 地上波放送を見ているときに番組ナビや番組表を表示している場合、映像や音声は出力されません。

12 **ビデオ3/DVD コンポーネント映像入力端子**
☞160ページ
DVDプレーヤーなどのコンポーネント映像出力端子をもった機器をつなぎます。
- コンポーネント映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力された映像信号より優先されます。

13 **ビデオ1/D-VHS D4映像入力端子** ☞158ページ
D-VHSビデオデッキなどのD端子をもった機器をつなぎます。
- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ1入力に入力されるS1映像信号や映像信号より優先されます。

14 **オーディオ出力(固定)端子** ☞162ページ
AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。

各部のなまえ（つづき）

リモコン

■ふたを閉じたところ

1 **送信部**
テレビのリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押してください。

2 **メモ画面ボタン** ☞73ページ
押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。

3 **サービス切換（テレビ、ラジオ、データ）ボタン** ☞55、118ページ
衛星デジタル放送で、テレビ放送、ラジオ放送、データ放送を切り換えるときに使います。

4 **チャンネル数字ボタン** ☞53、55〜57ページ
地上波放送（VHF/UHF）やCATV、衛星デジタル放送のチャンネルを選ぶときに使います。また、データ放送やメニュー操作中に数字や記号を入力するときなどにも使います。

5 **放送切換（地上、BS、CS1、CS2）ボタン** ☞53、55ページ
地上波放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送（CS1，CS2）を切り換えるときに使います。

6 **番号入力ボタン** ☞56ページ
衛星デジタル放送で、番号を直接入力してチャンネルを選ぶときに使います。

7 **チャンネル＋/－ボタン** ☞53、55ページ
チャンネルを変えるときに使います。

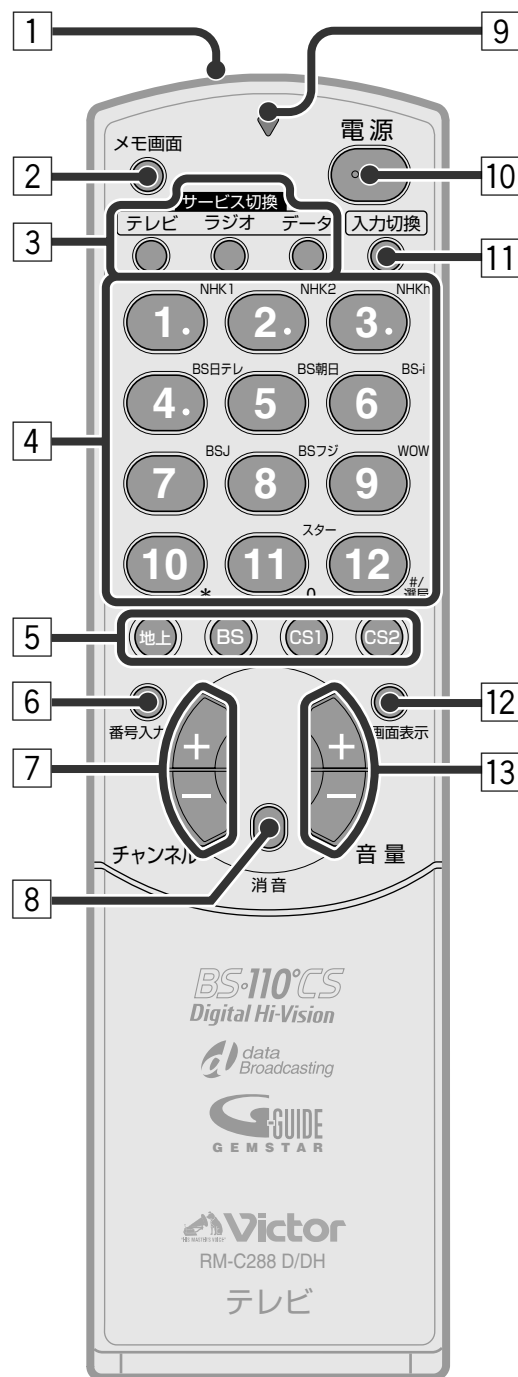
8 **消音ボタン** ☞52、54、58ページ
急いで音を消すときに使います。

9 **操作ランプ**
リモコンを操作すると点滅します。ランプが暗くなったり、操作がしにくくなったら電池を交換してください。

10 **電源ボタン** ☞52、54、58ページ
電源を「入/切」します。

11 **入力切換ボタン** ☞59ページ
接続しているAV機器の映像を見るときに使います。
● 入力切換ボタンを押したあとに、チャンネル数字ボタン（1.から4.）を押すと、外部入力（ビデオ1からビデオ4）をダイレクトに選択できます。

12 **画面表示ボタン** ☞53、57、101ページ
チャンネルや外部入力、番組の情報を表示させるときに使います。

13 **音量＋/－ボタン** ☞52、54、58ページ
音量を調節するときに使います。

■ふたを開けたところ

14 **番組表ボタン** ☞89、96ページ
番組表を表示します。

15 **番組ナビボタン** ☞87、94ページ
「番組ナビ」画面を表示します。

16 **機器ナビボタン** ☞147、163、167、170ページ
「機器ナビ」画面を表示します。

17 **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

18 **元の画面ボタン**
番組表や設定画面などを消すときに使います。

19 **カラー（青、赤、緑、黄）ボタン/データ放送ボタン** ☞118、148ページ
BSデータ放送や110度CSデータ放送を見るときに使います。またSDメモリーカードの画像を再生するときにも使います。

前日/翌日ボタン ☞89、96ページ
番組表の日付けを変えるときに使います。

CMボタン ☞92ページ
地上波番組表で、CMの情報を見るときに使います。

20 **映像切換ボタン** ☞137ページ
衛星デジタル放送の、複数の映像がある番組やマルチビュー放送で、映像を切り換えるときに使います。

21 **音声切換ボタン** ☞62、137ページ
複数の音声が放送されている番組で音声を選ぶときに使います。

22 **オフタイマーボタン** ☞75ページ
一定時間後に電源を切りたいときに使います。

23 **映像選択ボタン** ☞60ページ
画質を切り換えるときに使います。

24 **番組説明ボタン** ☞92、101ページ
番組の説明を表示するときに使います。

25 **ホームメニューボタン** ☞121ページ
ホームメニューを表示します。

26 **便利機能ボタン**
便利機能メニューを表示します。

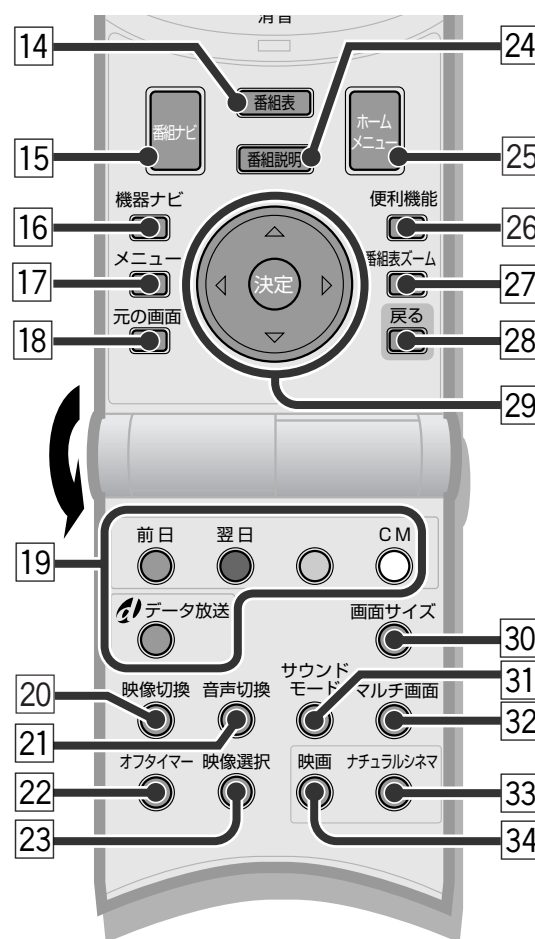
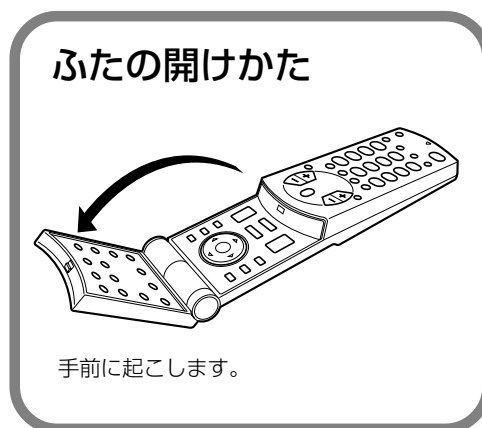
27 **番組表ズームボタン** ☞96ページ
衛星デジタル放送の番組表を表示中に、番組欄だけを大きく表示するときに使います。

28 **戻るボタン**
前のメニュー画面に戻るときに使います。
データ放送受信時にも使います。

29 **カーソル(◀▶▼▲)/決定ボタン**
メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。
データ放送受信時にも使います。

30 **画面サイズボタン** ☞67ページ
画面サイズを変更するときに使います。

ふたの開けかた

手前に起こします。

ふたを開けたところ

31 **サウンドモードボタン** ☞63ページ
サウンドモードを切り換えるときに使います。

32 **マルチ画面ボタン** ☞70ページ
マルチ画面（2画面、裏番組、番組一覧）に切り換えるときに使います。

33 **ナチュラルシネマボタン** ☞74ページ
映画番組や映画ソフト、またはアニメーションなどを見るときに使います。

34 **映画ボタン** ☞75ページ
映画に最適な映像設定にするときに使います。

準備の進めかた

テレビを見る前に、次の手順で準備を進めてください。
●AV機器を接続するときは156～173ページをお読みください。

手順1　付属品の内容を確かめる ☞19ページ

手順2　アンテナをつなぐ ☞19ページ

CATVケーブルの接続は、ご契約先のCATV会社にお問い合わせください。

手順3　電話線をつなぐ ☞22ページ

手順4　B-CAS カードを入れる ☞23ページ

手順5　電源を入れる用意をする ☞23ページ

手順6　地上波放送のチャンネルを合わせる ☞24ページ

CATVをご覧になる方は、82、83ページの「CATVチャンネルを設定する」で設定してください。

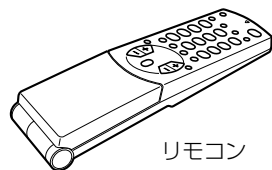
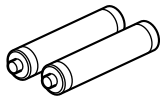
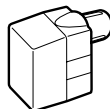
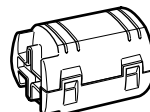
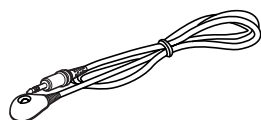
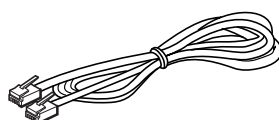
手順7　地上波番組表を設定する ☞26ページ

手順8　衛星デジタル放送の受信設定をする ☞36ページ

手順9　地磁気の影響を少なくする ☞50ページ

以上で準備は完了します。

手順1 付属品の内容を確かめる

付属品を確認してください。
万一、不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。

- 局名シール
- 申込書一式（パンフレット）
- B-CAS（ビーキャス）カード・ユーザー登録はがき（☞12 ページ）
- 取扱説明書（この本です）
- 保証書

手順2 アンテナをつなぐ

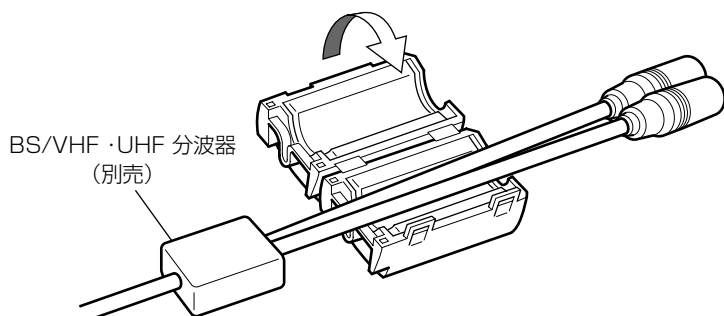
■アンテナ接続時のお願い（より良い映像でご覧いただくために）

衛星アンテナを接続するときは

- ●BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信するには、双方の放送に対応した衛星アンテナをご使用ください。
- ●同軸ケーブルや分配器も衛星デジタル放送対応品をご使用ください。
- ●衛星デジタル放送はアンテナケーブル・分配器・ブースターなどの機器の影響を受けやすくなっています。現在ご使用の衛星アンテナで今までのBS（アナログ）放送が映っていても、衛星デジタル放送は映らない場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。
- ●映らなかったり、映りが悪い場合は、「衛星アンテナ設定」で、アンテナレベルが50以上あることを確認してください。（☞38 ページ）
- ●お買い上げ時の「衛星アンテナ設定」は「アンテナ電源」が「オフ」になっています。お買い上げ時の設定では衛星アンテナに電源が供給されません。ご自宅などで個別に衛星アンテナを設置しているときは、設定を「オン」にしてください。（☞38 ページ）

フェライトコアを必ず取り付けてください

テレビ側のアンテナコネクターの近くに、付属のアンテナ用フェライトコアを取り付けてください。

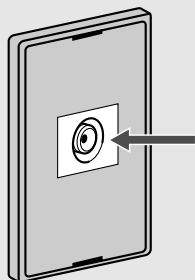
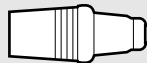
コアをケーブルに取り付ける

- ●できるだけテレビ側のアンテナコネクターに近い位置でコアを閉じ、取り付けてください。
- ●衛星デジタル用75Ω同軸ケーブルとVHF/UHF用同軸ケーブルの2本のケーブルをいっしょに束ねて、コアを取り付けてください。

手順 2 アンテナをつなぐ（つづき）

● ビデオデッキを本機に接続するときは、アンテナケーブルはビデオデッキに接続してから本機に接続します。ビデオデッキの取扱説明書をご覧になって接続してください。

VHF/UHF アンテナの接続

壁面アンテナ端子（VHF/UHF 混合）

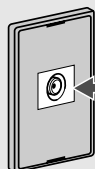
● VHF端子とUHF端子が別々に分かれているときは下記の「VHFとUHFが分かれているとき」をご覧ください。
● 先バラの同軸ケーブルをお使いの場合など、付属のアンテナコネクターの取り付けが必要なときは21ページの「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。

衛星アンテナの接続

ご注意
個別に衛星アンテナを設置しているときは衛星アンテナの設定が必要です。接続が終わったら、38ページの「衛星アンテナを設定する」をご覧になって設定してください。

衛星デジタル放送対応アンテナ

衛星デジタル放送対応75Ω同軸ケーブル(F型コネクター)*

または

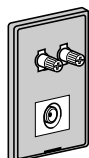
壁面の衛星デジタル放送アンテナ端子

衛星デジタル放送対応75Ω同軸ケーブル(F型プラグ～F型プラグ)

VHF/UHFと衛星デジタル放送が一緒のとき

別売の分波器が必要です。

壁面アンテナ端子（BS・110度CS/VHF/UHF混合）
BS・110度CS /VHF・UHF 分波器（別売）
VHF/UHF → VHF/UHFアンテナ入力端子へ
BS・110度CS → BS・110度CSアンテナ入力端子へ

VHFとUHFが分かれているとき

別売の混合器（VZ-84)が必要です。

壁面アンテナ端子（VHF・UHF分離）
UHF（フィーダー線）
VHF（同軸ケーブル）
混合器（VZ-84）
ねじをしめる

75Ω同軸ケーブルが先バラのときは、付属のアンテナコネクターにつないでから、混合器につなぎます。F型プラグのときはそのまま混合器につなぎます。

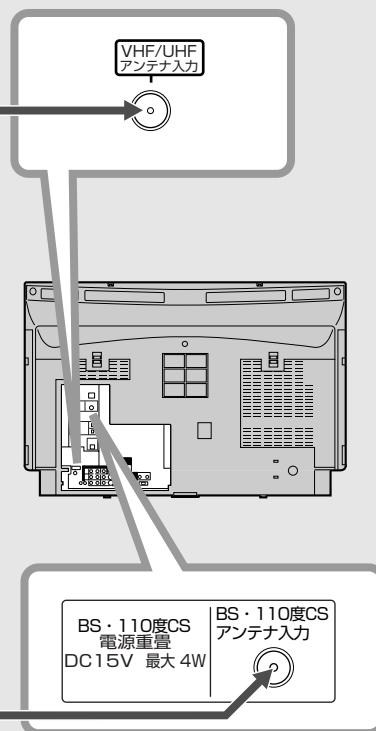
● 先バラの同軸ケーブルをお使いの場合など、付属のアンテナコネクターの取り付けが必要なときは21ページの「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。

●アンテナの設置・接続は、できるだけお買い上げの販売店にご依頼ください。
●アンテナケーブルには同軸ケーブル（別売）をお使いください。フィーダー線はご使用にならないでください。

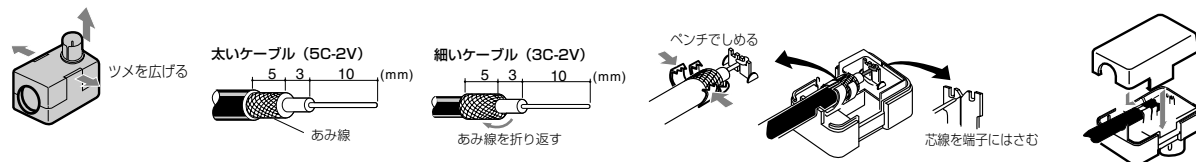
付属のアンテナ用フェライトコアを取り付けてください。(☞19ページ)

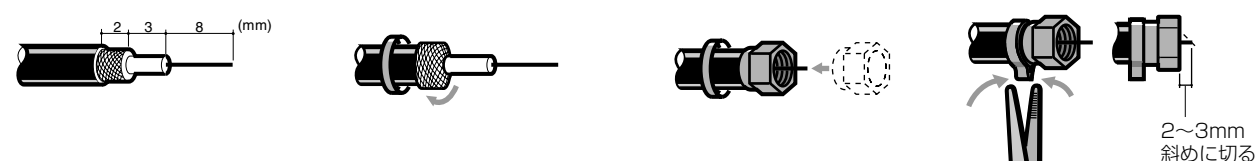
本体後面のアンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続します。

＊ 本体後面のBS・110度CSアンテナ入力端子にケーブルの芯線を差し込んで、ナットを締め付けてください。（ケーブルにF型コネクターを取り付けるときは下記の「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。）

付属のアンテナ用フェライトコアを取り付けてください。(☞19ページ)

コネクターのつなぎかた

●付属のアンテナコネクターのつなぎかた（衛星アンテナには使用できません。）

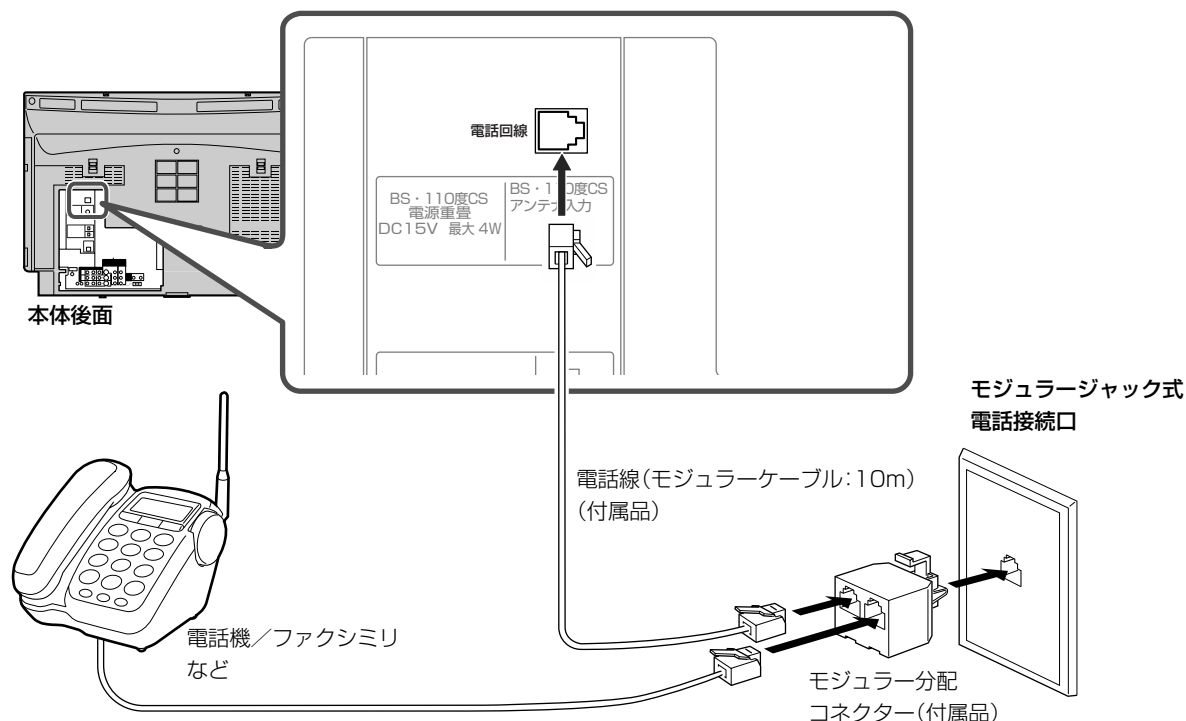
1 カバーをはずす　2 ケーブルを加工する　3 ケーブルをつなぐ　4 カバーをつける

●F型コネクター（別売）のつなぎかた

1 ケーブルを加工する　2 リングをとおす　3 コネクターを差し込む　4 リングをペンチで締める

アンテナをつなぐときは

● BS・110度CSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器（または分配器）が必要になります。分波器（または分配器）は妨害を受けにくくするため、金属のケースで作られたものをご使用ください。ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください。
● 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
● アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

手順3 電話線をつなぐ

有料番組を購入するとき(☞124ページ)や、クイズ番組の回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するときは、電話回線を使用します。これらのサービスを利用するときは必ず電話線を接続してください。

● 常に接続しておく必要があります。
● 接続したあとで電話の設定(☞40～43ページ)を行います。

本機が通信を行うのは

● B-CASカードに記録された番組購入、契約状況などのデータが、月1回程度自動的に放送局に送信されます。
● 投票やショッピングなどの視聴者参加型番組はそのつどセンターに送信します。
● 電話料金が、有料か無料かは、放送事業者(放送局)にご確認ください。

電話接続口について

■ **3ピン差し込みコンセントのときは**
交換アダプター(市販品)でモジュラージャックに変換してモジュラー分配コネクター(付属品)をつなぎます。

■ **モジュラージャック式や3ピン差し込みコンセント以外のときは**
お買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

ADSL接続の場合は

スプリッター(市販品)にモジュラー分配コネクター(付属品)を接続して、電話線(モジュラーケーブル:付属品)で本機と接続してください。詳細についてはお買い上げ販売店または、お近くの電話会社にご相談ください。

ISDN回線につなぐには

ターミナルアダプター(市販品)の電話用またはモデム用モジュラージャックに接続してください。ターミナルアダプターを使用していないときは、お買い上げ販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

キャッチホンサービスをご利用のときは

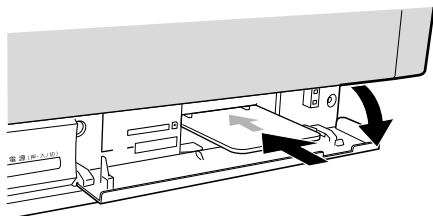
本機の通信中にキャッチホンが入ると通信が中断し、データが送れなくなります。キャッチホンのサービスをキャッチホンIIに変更してください。詳しくはお近くの電話会社にご相談ください。

ご注意

● 本機は、専用線、公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、地域集団電話、ホームテレホンには接続できません。
構内交換機(PBX)には接続できないものがあります。
● 本機が通信を行っているときは、同じ電話接続口に接続されている電話機やファクシミリなどは使用できません。また、一部の電話器やファクシミリでは呼び出し音が鳴ることがあります。そのときは、電話機やファクシミリのメーカーにご相談ください。

手順4 B-CASカードを入れる

1 右ドアを開けて、B-CASカードを入れる

B-CASカードの表(矢印が印刷されている面)を上に向けて、止まる位置まで入れます。

- B-CASカードは台紙から取り外してください。

2 右ドアを閉める

B-CASカードを抜くときは

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた後、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CAS カードの中にはIC(集積回路)が組み込まれているため、テレビ画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

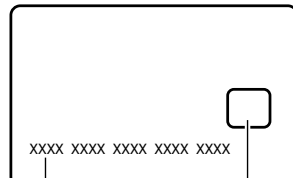
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。視聴できなくなる場合があります。

〈表面〉

〈裏面〉

カード番号　IC(集積回路)

B-CASカード取り扱い上のご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。また、分解加工は行わないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC(集積回路)部分には手を触れないでください。

B-CAS カードの情報を表示するには

1 衛星デジタル放送をご覧のときに番組ナビボタンを押す
2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す
3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「B-CASカード」を選び、決定ボタンを押す
4 元の画面ボタンを押す

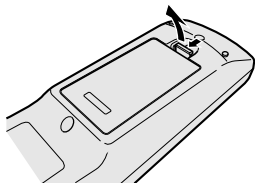
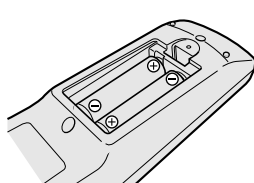
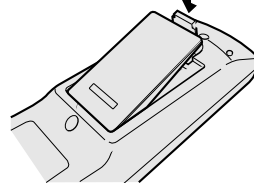
- 94ページもご覧ください。

手順5 電源を入れる用意をする

1 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込む

2 リモコンに単3乾電池2本を入れる

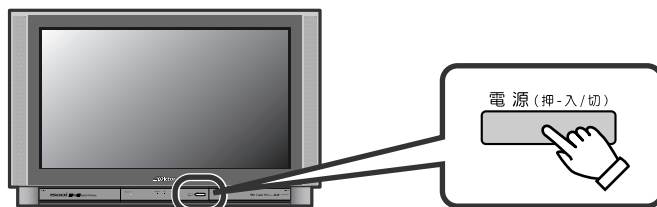
- ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。

1

2

3

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

3 電源ボタンを押す

- リモコンの電源ボタンを押しても電源を入れられます。

手順6 地上波放送のチャンネルを合わせる

お住まいの地域を選ぶと、チャンネルを一括して自動的に設定します。

● 「地域チャンネル合わせ」は地上波放送を受信しているときのみ選べます。あらかじめ地上ボタンを押して地上波放送に切り換えてください。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お住まいの地域名がないとき

30～33ページの地域チャンネル表から、お住まいに近い地域名をさがして設定してください。

うまく受信できないチャンネルがあるときは

お住まいの場所によっては、近隣の地域を選んだ方がうまく受信できることがあります。近県または近隣の地域を選び、もう一度地域チャンネル合わせを行ってみてください。

例1: 八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは「23区」に設定してください。

例2: 横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「地域チャンネル合わせ」を選ぶ

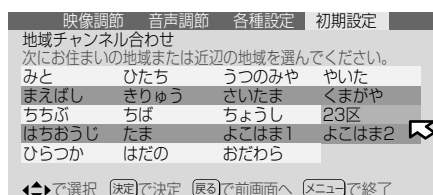
3 カーソルボタン（◀▶）を押す

4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

例:「関東」を選んだとき

5 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してお住まいの都市を選ぶ

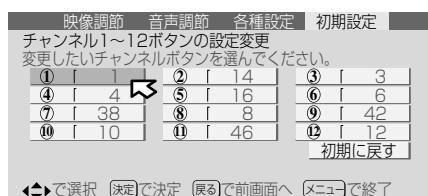
映像調節	音声調節	各種設定	初期設定
地域チャンネル合わせ			
次にお住まいの地域または近辺の地域を選んでください。			
みと	ひたち	うつのみや	やいた
まえばし	きりゅう	さいたま	くまがや
ちちぶ	ちば	ちょうし	23区
はちおうじ	たま	よこはま1	よこはま2
ひらつか	はだの	おだわら	

◀▶で選択 決定で決定 戻るで前画面へ メニューで終了

例：「23区」を選んだとき

6 決定ボタンを押す

選んだ地域のチャンネルが自動的に設定されます。
「チャンネル1～12ボタンの設定変更」画面が表示されます。

映像調節	音声調節	各種設定	初期設定
チャンネル1～12ボタンの設定変更			
変更したいチャンネルボタンを選んでください。			
① 1	② 14	③ 3	
④ 4	⑤ 16	⑥ 6	
⑦ 38	⑧ 8	⑨ 42	
⑩ 10	⑪ 46	⑫ 12	
		初期に戻す	

◀▶で選択 決定で決定 戻るで前画面へ メニューで終了

7 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して、各チャンネルが受信できることを確認する

選んだチャンネルに切り換わります。

8 メニューボタンを押して終了する

お買い上げの時の設定に戻すには

手順7で「初期に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

● 地域チャンネル合わせをお買い上げ時の設定に戻すと、地上波番組表のデータは受信できなくなります。地上波番組表のデータを受信するには、地域チャンネル合わせをもう一度行い、地上波番組表の設定をやり直してください。（☞26ページ）

■ 次のようなときは80ページの「地上波放送のチャンネルをひとつずつ設定する」をご覧ください。

受信状態が悪い

「受像微調整」で調節します。

空きチャンネルの設定を変えたい

地上波放送のチャンネルをチャンネル+/−ボタンで切り換えるときに、空きチャンネルを選ばないように設定できます（チャンネルスキップ）。
また、空きチャンネルに受信できる他のチャンネルを割り当てることができます。

チャンネルの画面表示を変えたい

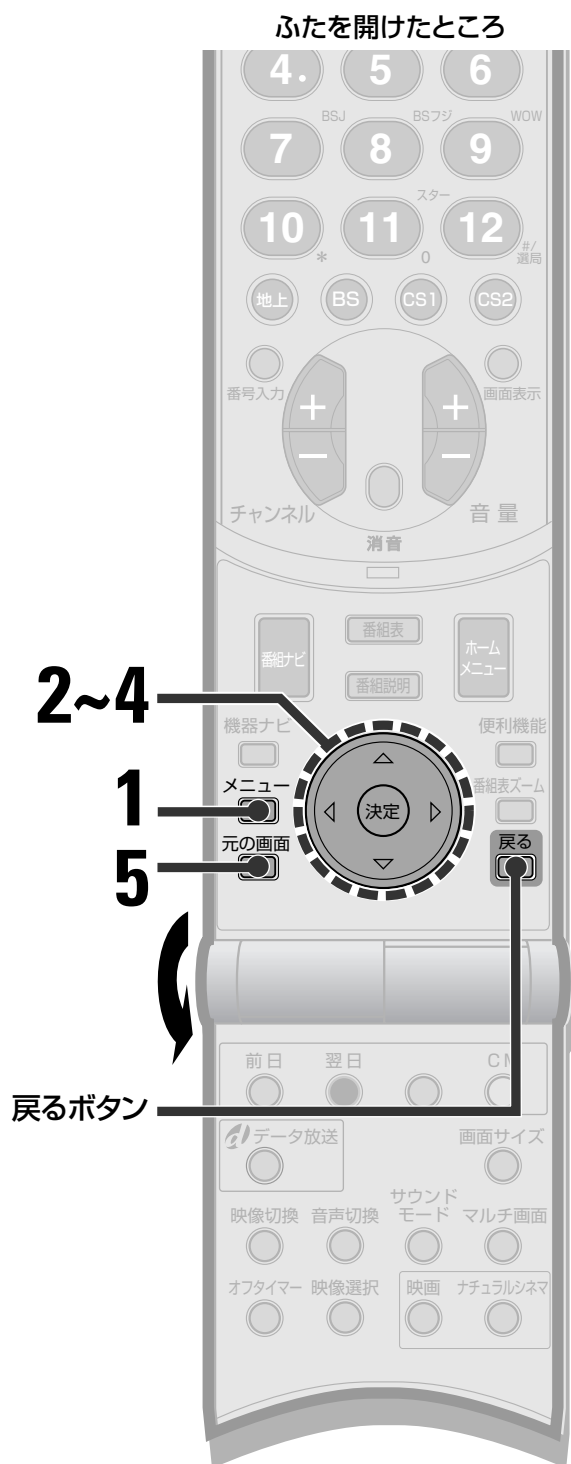
お買い上げ時には、押したチャンネル数字ボタンの番号が表示されるように設定されています。
チャンネル番号と画面表示が異なるときは、一致するように設定できます。（例えば、42チャンネルを選んだら、画面表示も「42」になるように設定できます。）

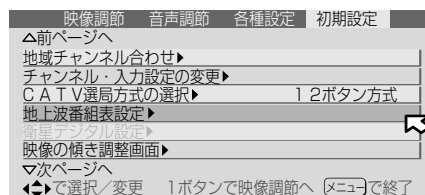
ご注意

● 地域チャンネル合わせはテレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。（☞80ページ）

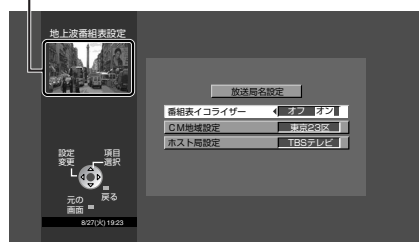
手順 7 地上波番組表を設定する

地上波放送の電子番組表(☞86ページ)を使うためには、放送局名の設定(☞27ページ)や番組データ送信局(ホスト局)の設定(☞28ページ)、CM地域設定(☞29ページ)などが必要です。

● 地上波番組表を設定する前に必ず地上波放送のチャンネル設定を行ってください。(☞24、80ページ)
● 地上波番組表の設定が終わってから最初の番組データを受信するまでは、地上波番組表を表示できません。(地上波放送の番組データはホスト局より1日数回送られてきます。)

1 メニューボタンを押して メニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)を くり返し押して「初期設定」 メニューの「地上波番組表 設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を 押す

「地上波番組表設定」画面が表示されます。

現在選んでいるチャンネルの映像

4 カーソルボタン(▲▼)を くり返し押して設定項目を 選び、設定する

各ページをご覧になって設定してください。

放送局名設定:	☞27ページ
番組表イコライザー:	☞29ページ
CM地域設定:	☞29ページ
ホスト局設定:	☞28ページ

5 元の画面ボタンを押す

メニューが消えます。

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

放送局名を確認/設定する「放送局名設定」

地上波放送の番組表を表示するには「放送局名」が正しく設定されている必要があります。受信しているチャンネルはすべて「放送局名」を設定してください。

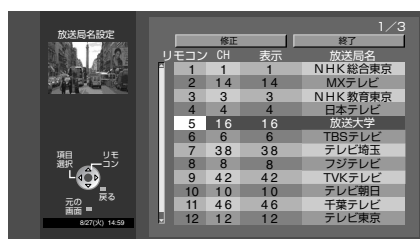
1 カーソルボタン(▲▼)を押して「放送局名設定」を選び、決定ボタンを押す

「放送局名設定」画面が表示されます。

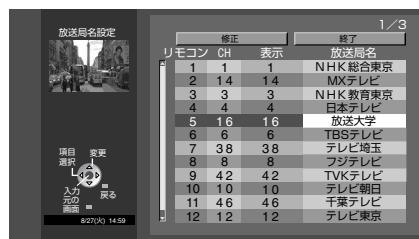
「放送局名」:
各チャンネル数字ボタンに割り当てられているチャンネルの放送局名です。

現在のチャンネル設定

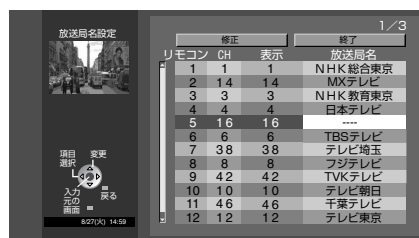
2 カーソルボタン(◀▶)を押して「修正」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(▲▼)を押して各放送局名を確認し、修正したいリモコンの番号を選ぶ

- カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、「リモコン」の項目は次のように変わります。

1〜12 ⟷ 予備1〜予備23

4 カーソルボタン(▶)を押して「放送局名」を選ぶ

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「放送局名」を設定する

押すたびに「放送局名」が切り換わります。

- 地域チャンネル表(☞30〜33ページ)などでチャンネル数字ボタンに設定されている放送局の名前を確かめて、正しく設定してください。
- 「放送局名」は放送局コードを入力して設定することもできます。下記の「放送局コードで設定するには」をご覧ください。

6 他のチャンネルも設定するときは、カーソルボタン(◀▶)を押して「リモコン」を選び、手順3から手順5をくり返す

7 確認または設定が終わったら、戻るボタンを押す

8 カーソルボタン(◀▶)を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す

「地上波番組表設定」画面が表示されます。

放送局コードで設定するには

「放送局名」は放送局コード(☞34〜35ページ)を入力して設定することもできます。

1 上記の手順5で決定ボタンを押す

選んでいる「放送局名」が4桁の放送局コードに変わります。

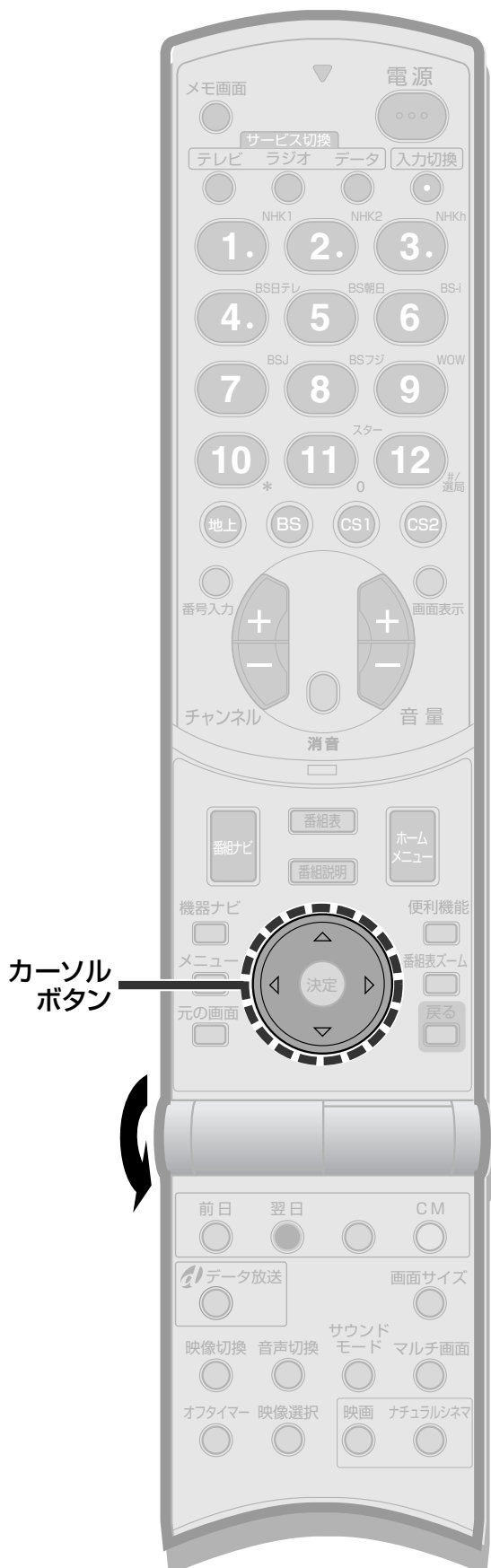
2 カーソルボタン(▲▼)で数字を選び、カーソルボタン(◀▶)で桁を移動して、放送局コードを入力する

放送局コード一覧表(☞34〜35ページ)をご覧になって、設定したい放送局コードを入力してください。

3 決定ボタンを押す

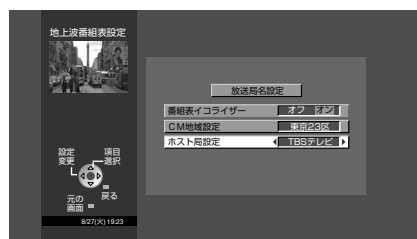
「放送局名」が設定されます。

手順7 地上波番組表を設定する（つづき）

ふたを開けたところ

地上波放送の番組データ送信局（ホスト局）を設定する「ホスト局設定」

お住まいの地域の番組データ送信局（ホスト局）を設定します。

●「地域チャンネル表」（☞30～33ページ）をご覧になって、お住まいの地域のホスト局を正しく設定してください。

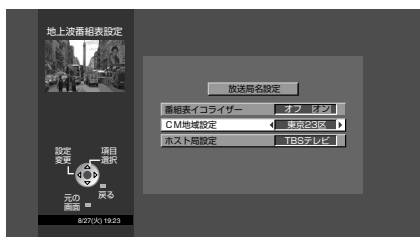
1 カーソルボタン（▲▼）を押して「ホスト局設定」を選ぶ

2 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

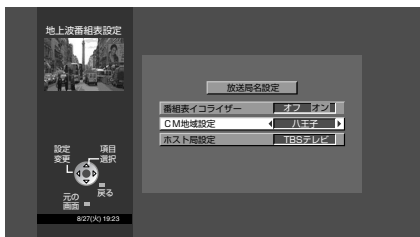
ご注意

●ホスト局を変更すると、現在記憶されている地上波放送の番組表データはリセットされます。次回データを受信するまで表示されません。

地上波放送の番組表 に表示されるCMの地域を設定する「CM地域設定」

地上波放送の電子番組表ではお住まいの地域ごとにCM(☞92ページ)やトピックス(☞93ページ)が送られてきます。
「地域チャンネル表」(☞30～33ページ)をご覧になって、お住まいの地域を正しく設定してください。

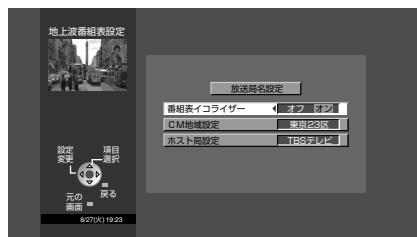
1 カーソルボタン(▲▼)を押して「CM地域設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(◄►)を押して設定する

● 30～33ページの「地域チャンネル表」をご覧になって確認してください。

ご注意

● 28ページで設定したホスト局が受信できる地域の中から選んでください。
● 同一ホスト局以外の地域にCM地域を変更すると、現在記憶されている地上波放送の番組表データはリセットされます。
次回データを受信するまで表示されません。

地上波放送の番組表 が受信しにくいときは「番組表イコライザー」

地上波放送の番組表が受信しにくいときは、「番組表イコライザー」を「オフ」にします。
●通常は「オン」でお使いください。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「番組表イコライザー」を選ぶ

2 カーソルボタン(◄►)を押して設定する

「オン」:
そのままで地上波放送の番組表が受信できるときに選びます。通常はこちらを選びます。

「オフ」:
地上波放送の番組表が正しく受信しにくい場合に選びます。

ご注意

●番組表イコライザーの設定は、地上波放送の番組表のみに有効です。衛星デジタル放送の番組表には影響しません。
●番組表イコライザーを「オフ」に設定しても受信しにくい場合は、受信状況がかなり悪い状態です。アンテナや電波の状態(ゴーストなど)をご確認ください。(特にゴーストが強い地域では受信できない場合もあります。)

設定が終わったら36ページへ

地域チャンネル表

- **白抜き文字** で表示されている放送局は、地上波番組表のホスト局（番組データ送信局）です。これらの放送局が受信できない地域では、地上波放送の電子番組表は使用できません。
- 地域チャンネル表に記載の放送局名は「放送局名設定」画面（☞27ページ）の表示とは一部異なります。
- 「NHK総合」および「NHK教育」は、「放送局名設定」画面（☞27ページ）では「NHK総合＊」または「NHK教育＊」（＊は地方局名）と表示されます。
- 放送大学の番組表は表示できません。

	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2	
都道府県名	地域名（対応都市）	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	

（リモコンのチャンネル番号：1、2、…）

- 放送局名·受信チャンネルは当社の調査によるものです。

	地域名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別）	**北海道放送** 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
北海道	小樽		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	**北海道放送** 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
北海道	旭川		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		**北海道放送** 11	テレビ北海道 33
北海道	名寄			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		**北海道放送** 10		NHK教育 12
北海道	稚内		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	**北海道放送** 10		
北海道	室蘭		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		**北海道放送** 11	テレビ北海道 29
北海道	苫小牧		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		**北海道放送** 55	テレビ北海道 47
北海道	函館		北海道文化 27		NHK総合 4		**北海道放送** 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
北海道	帯広		北海道文化 32		NHK総合 4		**北海道放送** 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
北海道	釧路		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		**北海道放送** 11	
北海道	網走	**北海道放送** 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
北海道	北見		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		**北海道放送** 53	
青森	青森（弘前）	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							**青森テレビ** 38
青森	八戸		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	**青森テレビ** 33
青森	むつ				NHK総合 4		青森朝日 56		**青森テレビ** 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡				NHK総合 4		**岩手放送** 6		NHK教育 8	岩手朝日 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
岩手	釜石		NHK総合 2				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	**岩手放送** 10/6		NHK教育 12/90
岩手	二戸		**岩手放送** 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台	**東北放送** 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
宮城	石巻	**東北放送** 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
宮城	気仙沼		NHK総合 2		**東北放送** 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	**秋田テレビ** 37
秋田	大館				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				**秋田テレビ** 57
秋田	大曲		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	**秋田テレビ** 51
山形	山形		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		**テレビュー山形** 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
山形	鶴岡(酒田)	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		**テレビュー山形** 22				山形テレビ 39
山形	米沢		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		**テレビュー山形** 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島（郡山）		NHK教育 2		**テレビュー福島** 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
福島	いわき		**テレビュー福島** 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
福島	会津若松	NHK総合 1		NHK教育 3	**テレビュー福島** 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸（勝田）	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
	日立	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	とちぎテレビ 31	テレビ東京 17
	矢板	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	とちぎテレビ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	桐生	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 33		テレビ東京 31
埼玉	さいたま（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
	熊谷	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17
	秩父	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	銚子	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	八王子	NHK総合 51	MXテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
	多摩	NHK総合 30	MXテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22		テレビ朝日 20		テレビ東京 18
神奈川	*1 横浜 1（横浜の一部）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
	*1 横浜 2（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
	平塚（茅ヶ崎）	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
	秦野	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
	小田原	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野 1		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
	長野 2		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11	
	松本		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40/11	
	飯田			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
	岡谷・諏訪				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟（長岡）			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
	上越	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		
富山	富山	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
	高岡	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢（小松）		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
	七尾	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12

地域チャンネル表（つづき）

- 白抜き文字 で表示されている放送局は、地上波番組表のホスト局（番組データ送信局）です。これらの放送局が受信できない地域では、地上波放送の電子番組表は使用できません。
- 地域チャンネル表に記載の放送局名は「放送局名設定」画面（☞27ページ）の表示とは一部異なります。
- 「NHK総合」および「NHK教育」は、「放送局名設定」画面（☞27ページ）では「NHK総合*」または「NHK教育*」（*は地方局名）と表示されます。
- 放送大学の番組表は表示できません。

リモコンのチャンネル番号

都道府県名	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2	
	地域名（対応都市）	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	

- 放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。

	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岐阜	岐阜（大垣）	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	高山		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
	中津川				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡（清水・焼津）		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
	浜松		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士（富士宮）		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	三島・沼津		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
	島田	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤枝	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	豊橋（豊川）	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
	豊田	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市）	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	伊勢	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
	名張	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大津		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦根		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都（宇治）		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26
	神戸灘		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川西		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三木		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫路		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石（加古川）		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良（橿原）		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五條		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		

	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
島根	松江	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山（倉敷）	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠岡		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	
広島	広島	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
	福山	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
	尾道	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	呉	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口（徳山・防府）	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
	岩国	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
	新居浜		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
	今治		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本（八代）		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分（別府）			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎（都城）						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇（沖縄）		NHK総合 2			琉球朝日 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

放送局コード一覧表

「放送局名」の設定(☞27ページ)は放送局コード(4桁の数字)を入力して設定することもできます。

● **白抜き文字** で表示されている放送局は、地上波番組表のホスト局(番組データ送信局)です。これらの放送局が受信できない地域では、地上波放送の電子番組表は使用できません。

● 放送大学の番組表は表示できません。

地区		放送局名	放送局コード
北海道		NHK総合札幌	0336
		NHK教育札幌	0346
		HBCテレビ	**0257**
		STVテレビ	0261
		UHBテレビ	0283
		HTBテレビ	0291
		TV北海道	0273
青森		NHK総合青森	0592
		NHK教育青森	0602
		青森放送	0513
		青森テレビ	**0294**
		青森朝日放送	0290
秋田		NHK総合秋田	1360
		NHK教育秋田	1370
		秋田放送	0267
		秋田テレビ	**0293**
		秋田朝日放送	0287
岩手		NHK総合盛岡	0848
		NHK教育盛岡	0858
		IATテレビ	0276
		テレビ岩手	0547
		IBCテレビ	**0262**
		めんこいテレビ	0289
山形		NHK総合山形	1616
		NHK教育山形	1626
		山形放送	0266
		さくらんぼ	0286
		テレビュー山形	**0292**
		山形テレビ	0550
宮城		NHK総合仙台	1104
		NHK教育仙台	1114
		東北放送	**0769**
		仙台放送	0268
		ミヤギテレビ	0546
		東日本放送	0288
福島		NHK総合福島	1872
		NHK教育福島	1882
		福島放送	0803
		福島中央テレビ	0545
		テレビユー福島	**0543**
		福島テレビ	0523
関東	東京	NHK総合東京	2128
		NHK教育東京	2138
		日本テレビ	0260
		TBSテレビ	**0518**
		フジテレビ	0264
		テレビ朝日	0522
		テレビ東京	0524
		MXテレビ	0270
	埼玉	テレビ埼玉	0806
	千葉	千葉テレビ	0302
	神奈川	TVKテレビ	0298
	群馬	群馬テレビ	0304
	栃木	とちぎテレビ	0535
新潟		NHK総合新潟	2384
		NHK教育新潟	2394
		新潟放送	**0517**

地区		放送局名	放送局コード
新潟		新潟総合テレビ	1059
		テレビ新潟	0285
		新潟テレビ21	0277
長野		NHK総合長野	2640
		NHK教育長野	2650
		長野放送	1062
		長野朝日放送	0532
		テレビ信州	0542
		信越放送	**0779**
山梨		NHK総合甲府	2896
		NHK教育甲府	2906
		山梨放送	0773
		テレビ山梨	**0549**
静岡		NHK総合静岡	3920
		NHK教育静岡	3930
		SBSテレビ	**1291**
		テレビ静岡	1315
		静岡朝日テレビ	1057
		静岡第一テレビ	0799
中部		NHK総合名古屋	4176
		NHK教育名古屋	4186
中部(愛知)		東海テレビ	1281
		CBCテレビ	**1029**
		名古屋テレビ	1547
		中京テレビ	1571
		テレビ愛知	0537
中部	岐阜	岐阜テレビ	1061
	三重	三重テレビ	1313
富山		NHK総合富山	3152
		NHK教育富山	3162
		チューリップ	**0544**
		北日本放送	1025
		富山テレビ	0802
石川		NHK総合金沢	3408
		NHK教育金沢	3418
		石川テレビ	0805
		テレビ金沢	0801
		北陸朝日放送	0281
		MROテレビ	**0774**
福井		NHK総合福井	3664
		NHK教育福井	3674
		福井放送	1035
		福井テレビ	**0295**
関西	大阪	NHK総合大阪	4432
		NHK教育大阪	4442
		毎日放送	**0516**
		ABCテレビ	**1030**
		関西テレビ	0520
		読売テレビ	0778
		テレビ大阪	0275
	京都	京都テレビ	1058
	兵庫	サンテレビ	0548
	奈良	奈良テレビ	0311
	和歌山	テレビ和歌山	1054
	滋賀	びわ湖放送	0798
岡山		NHK総合岡山	5200
		NHK教育岡山	5210

地区	放送局名	放送局コード
岡山	**山陽放送**	**1803**
	OHKテレビ	1827
	テレビ瀬戸内	0279
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	**0772**
	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	1055
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	1537
	山陰放送	**1034**
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	1314
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	**1318**
	山口朝日放送	0284
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	愛媛放送	1317
	あいテレビ	**0541**
	愛媛朝日テレビ	0793
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	**1574**
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	**1028**
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TXN九州	0531
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	**2305**
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282

地区	放送局名	放送局コード
宮崎	**宮崎放送**	**1546**
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	**1541**
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	**2315**
	熊本朝日放送	0528
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	1049
	長崎文化放送	0539
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	**1285**
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	**1802**
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第1	0074
	衛星第2	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

手順 8 衛星デジタル放送の受信設定をする

本機を購入後、はじめて衛星デジタル放送をご覧になるときは、「衛星初期設定」で必要な設定をしてください。
あらかじめアンテナや電話線を接続し、B-CASカードを入れておきます。

準備：

アンテナをつなぐ（☞ 19ページ）
電話線をつなぐ（☞ 22ページ）
B-CASカードを入れる（☞ 23ページ）

次の順に設定をすすめます。

ステップ1　「衛星初期設定」画面を表示する（☞ 37ページ）

▼

ステップ2　衛星アンテナを設定する（☞ 38ページ）

▼

ステップ3　電話を設定する（☞ 40ページ）

▼

ステップ4　お住まいの地域を設定する（☞ 44ページ）

▼

ステップ5　B-CASカードをテストする（☞ 47ページ）

▼

ステップ6　110度CSデジタル放送の受信選択をする（☞ 48ページ）

ご注意

- お住まいの地域、郵便番号は、データ放送の情報提示に利用されますので、正しく設定されることをおすすめします。
- 有料番組を購入するときや、クイズ番組の解答・ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するときは、電話線の接続（☞22ページ）と設定が必要です。

ステップ1 「衛星初期設定」画面を表示する

● 「衛星デジタル設定」は衛星デジタル放送を受信しているときのみ選べます。あらかじめBSボタン、CS1ボタンまたはCS2ボタンを押して、衛星デジタル放送に切り換えてください。

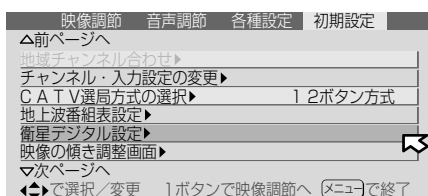
ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

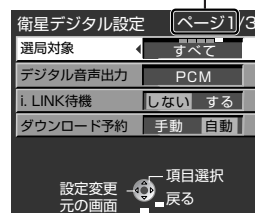
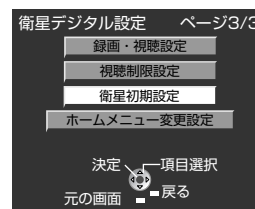
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

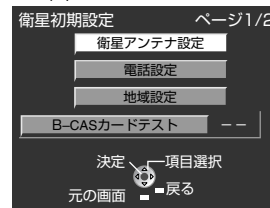
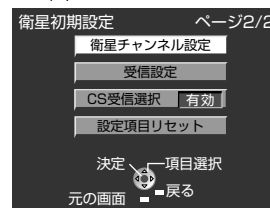
「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

● 「衛星デジタル設定」は3ページ構成です。

例:1ページ目

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して3ページ目の「衛星初期設定」を選ぶ

5 決定ボタンを3秒以上押す

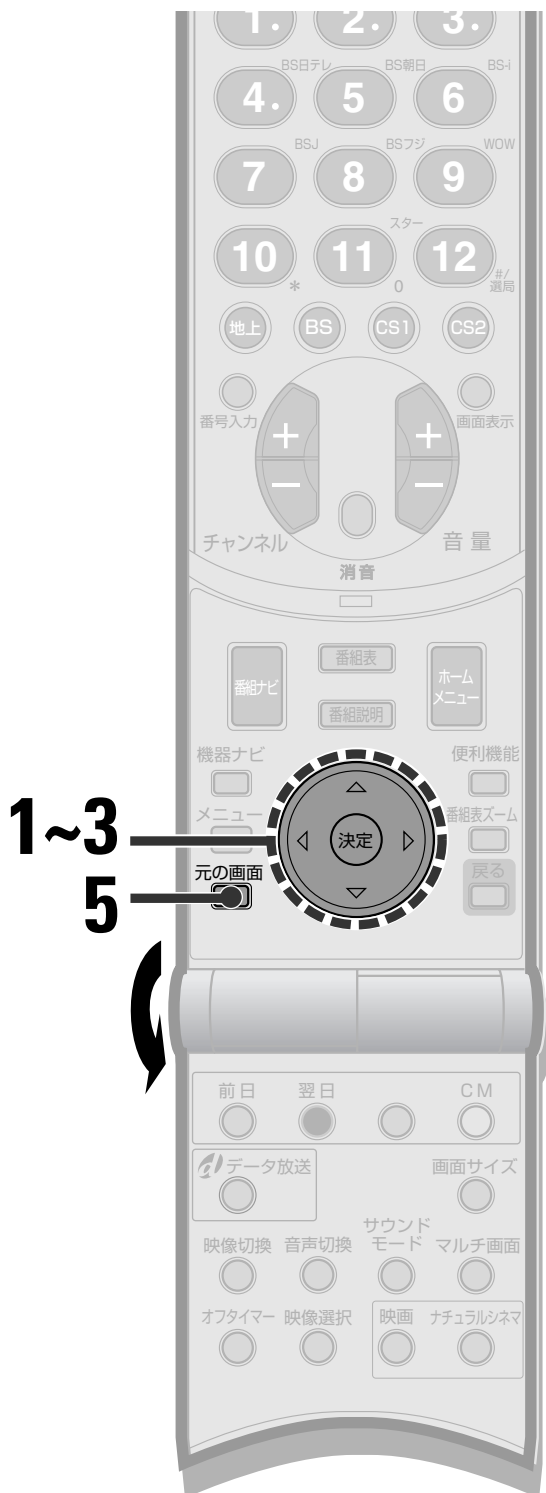
「衛星初期設定」画面が表示されます。

● 「衛星初期設定」は2ページ構成です。

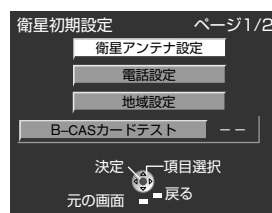
例:1ページ目

例:2ページ目

ステップ2へ

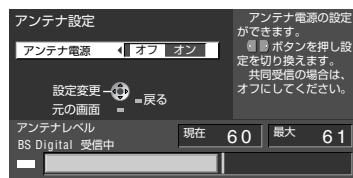
ステップ2 衛星アンテナを設定する

本機から衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給するかしないかを設定します。
また、衛星アンテナの入力レベルの確認も行えます。

ふたを開けたところ

● 設定を途中でやり直すときは
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● 「衛星初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「衛星初期設定」画面を表示するには37ページをご覧ください。

1 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「衛星アンテナ設定」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

「衛星アンテナ設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定を切り換える

衛星アンテナに電源を供給するかどうかを設定します。

「オン」：
衛星アンテナに電源を供給します。ご自宅で個別に衛星アンテナを設置している場合など、本機に直接衛星アンテナをつないでいるときに選びます。

「オフ」：
衛星アンテナに電源を供給しません。マンションなどで共聴システムをお使いのときに選びます。

「オン」を選んだ場合
→ 手順**4**へ

「オフ」を選んだ場合
→ 手順**5**へ

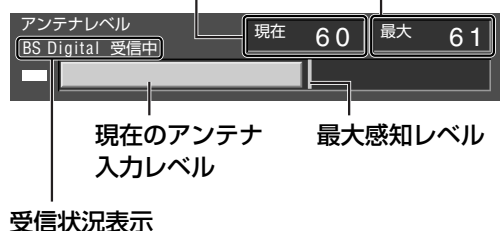
4 （個別にアンテナをつないでいるときのみ）衛星アンテナの向きを調節する

● 衛星アンテナの向きの調節については、下記の「衛星アンテナを調節するには」をご覧ください。

5 元の画面ボタンを押す

「衛星アンテナ設定」画面が消えます。

衛星アンテナを調節するには

「衛星アンテナ設定」画面で現在選んでいるチャンネルのアンテナ入力レベルを確認しながら、衛星アンテナの向きを調節します。

衛星アンテナの向きを調節していくと、受信可能なレベルに達したときに、受信状況表示に「BS Digital 受信中」や「SKY PerfecTV!2 受信中」などと表示されます。
表示が出ている状態で、アンテナ入力レベルが最大になる向きを探し、その向きに衛星アンテナを固定してください。

● 110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選局し、調節してください。
● 衛星アンテナは少しずつ動かしてください。画面のレベル表示は衛星アンテナの動きより少し遅れて表示されます。
● アンテナ入力レベル値は0～99までの数値で表示されます。
アンテナ入力レベル値が50以下のときは、放送を受信できないことがありますのでご注意ください。

アンテナ設定を工場出荷状態に戻すには

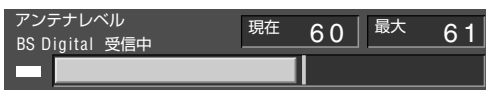
「衛星初期設定」画面の「設定項目リセット」で、「衛星アンテナ設定」を工場出荷状態に戻すことができます。（☞49ページ）
● 正常に受信できているときは行わないでください。

便利機能でアンテナレベルを確認できます

衛星デジタル放送をご覧のときに、便利機能メニューから現在のアンテナレベルを確認できます。

1 **衛星デジタル放送をご覧のときに便利機能ボタンを押す**

2 **カーソルボタン（▲▼）を押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す**
現在のアンテナ入力レベルが表示されます。

3 **確認が終わったら元の画面ボタンを押す**

ご注意

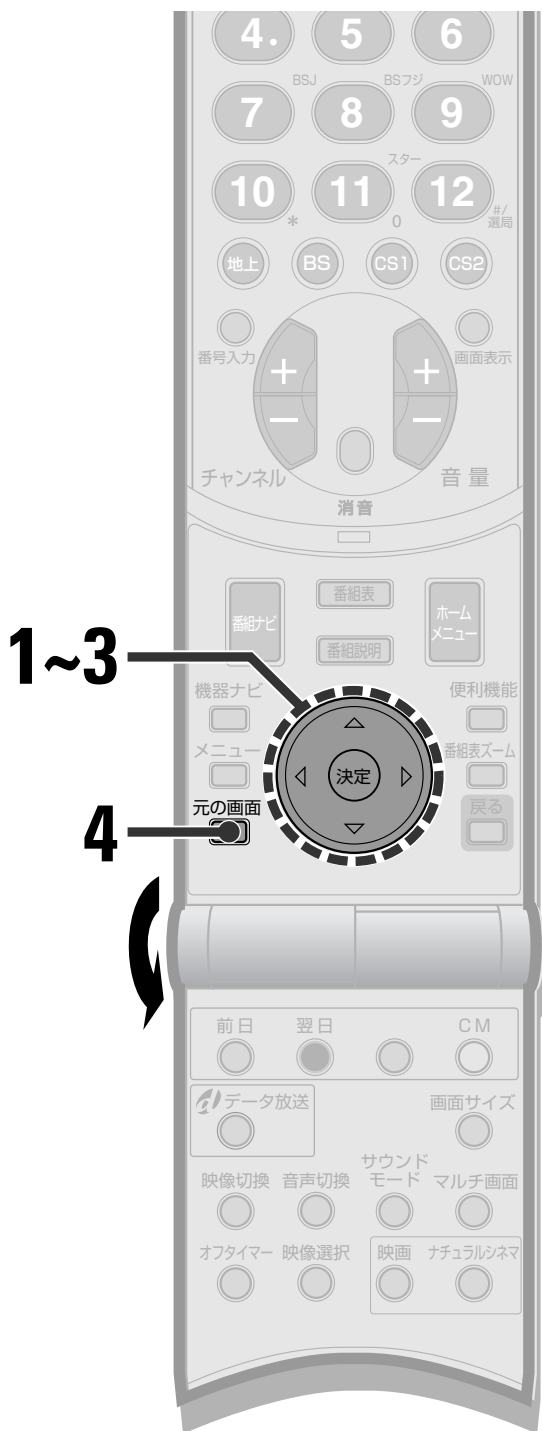
● アンテナの調節方法についてはアンテナの取扱説明書をご覧ください。
● アンテナの向きを調節するときは、入力レベルを確認する人と、向きを調節する人が連係を取りながらおこなってください。
● 110度CSデジタル放送を受信してアンテナを調節した場合、その向きのままでBSデジタル放送も受信できます。（あらためてBSデジタル放送を受信して調節する必要はありません。）
● 受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。
正しい向きをご確認のうえ、再度アンテナを調節してください。
● アンテナの最大入力レベルは受信チャンネル、天候、季節、アンテナの調節具合、受信している地域などによって異なります。

ステップ3へ

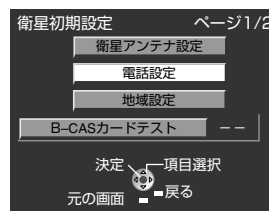
ステップ3 電話を設定する

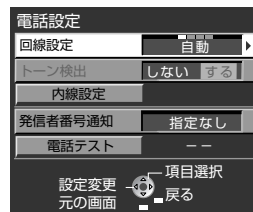
衛星デジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われます。電話線を接続（☞22ページ）のうえ、電話設定を行ってください。

● 設定の後で、「電話テスト」を行ってください。（☞43ページ）

ふたを開けたところ

● 設定を途中でやり直すときは
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● 「衛星初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「衛星初期設定」画面を表示するには37ページをご覧ください。

1 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「電話設定」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

「電話設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して設定項目を選び、設定する

各ページをご覧になって設定してください。設定が終わったら「電話テスト」を行ってください。

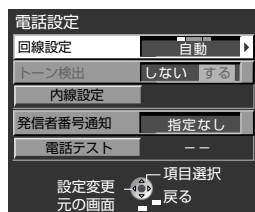
回線設定：	☞41ページ
トーン検出：	☞41ページ
内線設定：	☞42ページ
発信者番号通知：	☞43ページ
電話テスト：	☞43ページ

4 元の画面ボタンを押す

「電話設定」画面が消えます。

電話回線の種類を設定する「回線設定」

本機に接続された電話回線に合わせて、回線の種類を設定します。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「回線設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「自動」:
通常はこちらを選びます。
電話テスト(☞43ページ)をおこなうと、自動で回線の種類を検出し、設定します。

「プッシュ」:
プッシュ回線をお使いの場合に選びます。

「ダイヤル20」:
20PPSのダイヤル回線をお使いの場合に選びます。

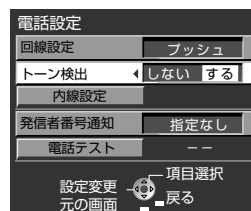
「ダイヤル10」:
10PPSのダイヤル回線をお使いの場合に選びます。

ご注意

- 「自動」に設定していても、電話テストで種類が検出できない電話回線があります。この場合は、ご使用の電話回線の種類を確認のうえ、「プッシュ」、「ダイヤル20」、「ダイヤル10」に設定してください。
- 接続している電話回線の種類がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

トーン検出を設定する「トーン検出」

トーン検出は、本機が電話回線につながっているかどうかを検出する機能です。
通常は「する」に設定します。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「トーン検出」を選ぶ

2 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「する」:
通常はこちらを選びます。

「しない」:
受話器を上げても無音で、「ツー」音が聞こえない内線電話などの場合に選びます。

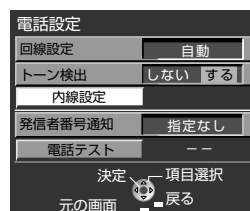
ご注意

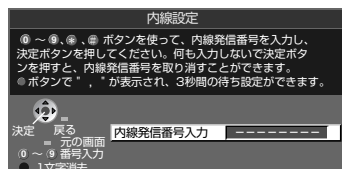
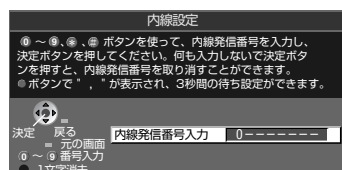
- 「回線設定」を「自動」に設定していると、「トーン検出」は「しない」に設定できません。
- 「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続している電話機などが回線を使用中でも、本機で通信操作がおこなわれてしまいます。このような場合、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し、通信障害の原因となります。

ステップ3 電話を設定する（つづき）

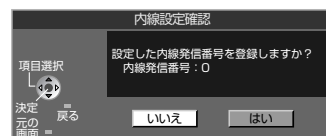
内線発信番号を設定する「内線設定」

外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときはこの設定が必要です。

1　カーソルボタン（▲▼）を押して「内線設定」を選ぶ

2　決定ボタンを押す

「内線設定」画面が表示されます。

3　チャンネル（数字）ボタンを押して内線発信番号を入力する

- 時間待ち設定が必要な場合は、青ボタンを押して「,」（カンマ）を入力します。
  「,」（カンマ）1つで3秒間の待ち時間設定になります。
- 入力した番号を取り消すには、赤ボタンを押します。押すたびに最後に入力した桁が消えます。

4　決定ボタンを押す

設定確認の画面が表示されます。

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

入力した内線発信番号が設定され、「電話設定」画面が表示されます。

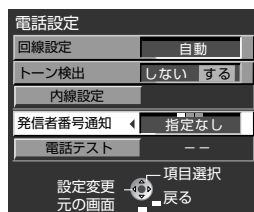
● 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、入力した内線発信番号は取り消され、「電話設定」画面に戻ります。

設定した内線発信番号を取り消すには

すでに設定した内線発信番号を取り消すときは、「内線設定」の手順1からくり返し、手順2で何も入力せずに決定ボタンを押し、手順3で「はい」を選んで決定ボタンを押します。

電話番号を通知するかどうか設定する「発信者番号通知」

電話回線を使用するときに、相手先に電話番号を通知するかしないかを設定します。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「発信者番号通知」を選ぶ

2 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「指定なし」:
登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号を通知するかしないかは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。

「通知する」:
登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。

「通知しない」:
登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

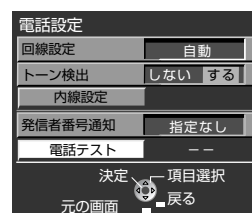
ご注意

● 「通知しない」または「指定なし」に設定しても、データ放送によっては通知する場合があります。

電話テストをする「電話テスト」

正しく電話設定されているかどうかテストします。

● 同じ電話回線に接続している電話機などが使用していないことを確認してからテストを行ってください。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「電話テスト」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

電話のテストが開始されます。

● テストには数分の時間がかかる場合があります。

電話テスト	テスト中

電話のテストが終わると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

「OK」:
正しく設定されています。

「NG」:
不具合が発生しています。画面上の説明に従って原因を取り除いてください。また、電話線の接続も確認してください。

「テスト中」:
テスト中です。

「－－」:
テストをしていない状態です。

ご注意

● 電話回線の種類がわからないなど、お使いの電話回線の設定にご不明の点がある場合は、電話会社にお問い合わせください。

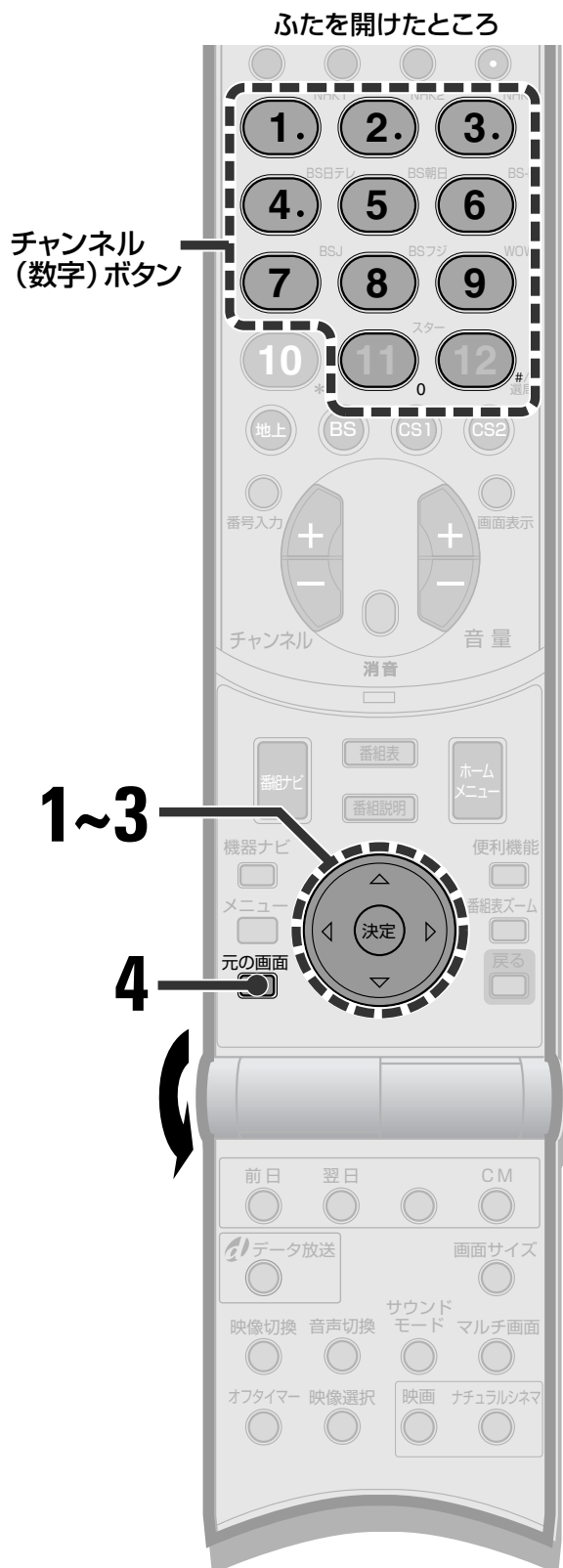
電話設定を工場出荷状態に戻すには

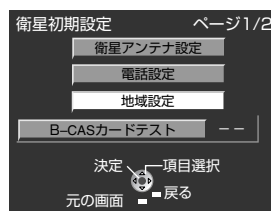
「衛星初期設定」画面の「設定項目リセット」で、「電話設定」を工場出荷状態に戻すことができます。(☞49ページ)

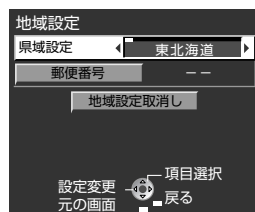
● 正常に通信できているときは行わないでください。

ステップ4へ

ステップ4 お住まいの地域を設定する

「地域設定」は、緊急警告放送やデータ放送のときに、お住まいの地域に関する情報を受信するための設定です。

● 「衛星初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「衛星初期設定」画面を表示するには37ページをご覧ください。

1 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「地域設定」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

「地域設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して設定項目を選び、設定する

各ページをご覧になって設定してください。

県域設定：	☞45ページ
郵便番号：	☞45ページ
地域設定取消し：	☞46ページ

4 元の画面ボタンを押す

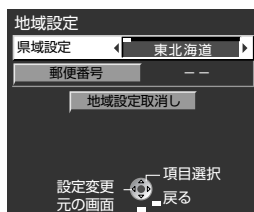
「地域設定」画面が消えます。

● **設定を途中でやり直すときは**

戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お住まいの都道府県を設定する「県域設定」

お住まいの都道府県を設定します。

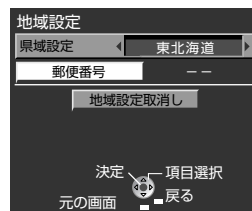
1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「県域設定」を選ぶ**

2 **カーソルボタン(◀▶)を押してお住まいの都道府県を選ぶ**

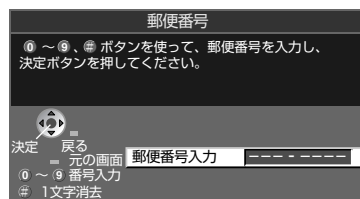
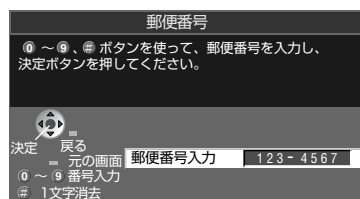
次の地域にお住まいの方は

- 伊豆、小笠原諸島地域にお住まいのかたは、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島鹿児島県地域にお住まいのかたは、「鹿児島県島部」を選んでください。

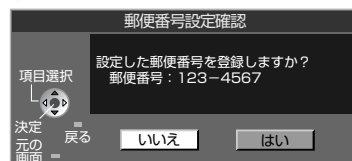
お住まいの地域の郵便番号を設定する「郵便番号」

お住まいの地域の郵便番号を設定します。
7桁の郵便番号を入力してください。

1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「郵便番号」を選ぶ**

2 **決定ボタンを押す**

「郵便番号」の設定画面が表示されます。

3 **チャンネル(数字)ボタンを押して7桁の郵便番号を入力する**

- 入力した番号を取り消すには、#ボタンを押します。押すたびに最後に入力した桁が消えます。

4 **決定ボタンを押す**

設定確認の画面が表示されます。

5 **カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す**

入力した郵便番号が設定され、「地域設定」画面が表示されます。

- 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、入力した郵便番号は取り消され、「地域設定」画面に戻ります。

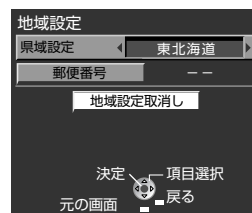
手順8 衛星デジタル放送の受信設定をする(つづき)

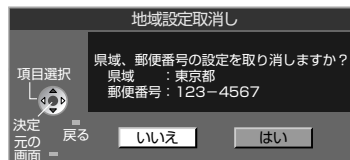
ステップ4 お住まいの地域を設定する(つづき)

ふたを開けたところ

「地域設定」を工場出荷時に戻すには「地域設定取消し」

設定した「県域設定」と「郵便番号」を工場出荷時の設定に戻します。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「地域設定取消し」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

設定の取り消しを確認する画面が表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

「県域設定」と「郵便番号」の設定が工場出荷状態に戻り、「地域設定」画面が表示されます。

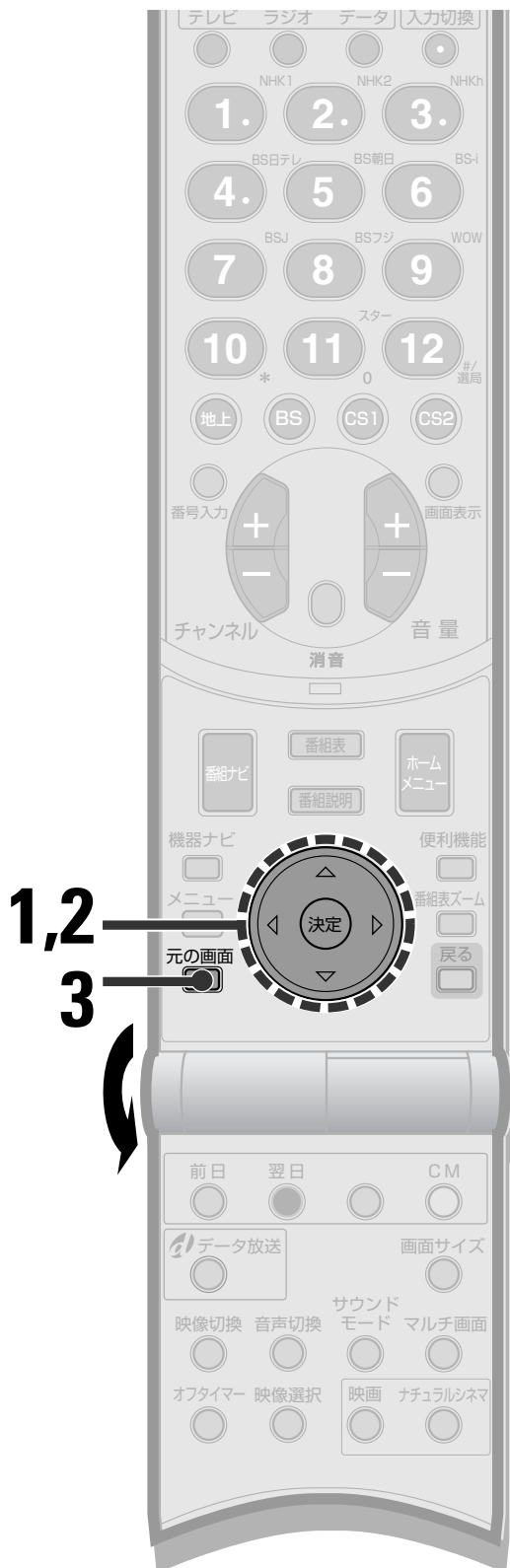
- 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、設定は取り消されません。

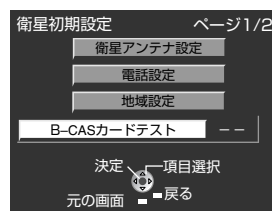
ステップ5へ

- **設定を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

ステップ5 B-CASカードをテストする

B-CASカードの動作テストを行います。
●テストの前に本機にB-CASカードが入っていることを確認してください。

ふたを開けたところ

●「衛星初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「衛星初期設定」画面を表示するには37ページをご覧ください。

1 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「B-CASカードテスト」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

B-CASカードの動作テストの結果が表示されます。

B–CASカードテスト	OK

「OK」:
正常に動作しています。

「NG」:
正常に動作していません。
B-CASカードが挿入されているか、B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないB-CASカードが挿入されていないかなどを確認してください。(☞23ページ)

「テスト中」:
テスト中です。

「– –」:
テストをしていない状態です。

3 元の画面ボタンを押す

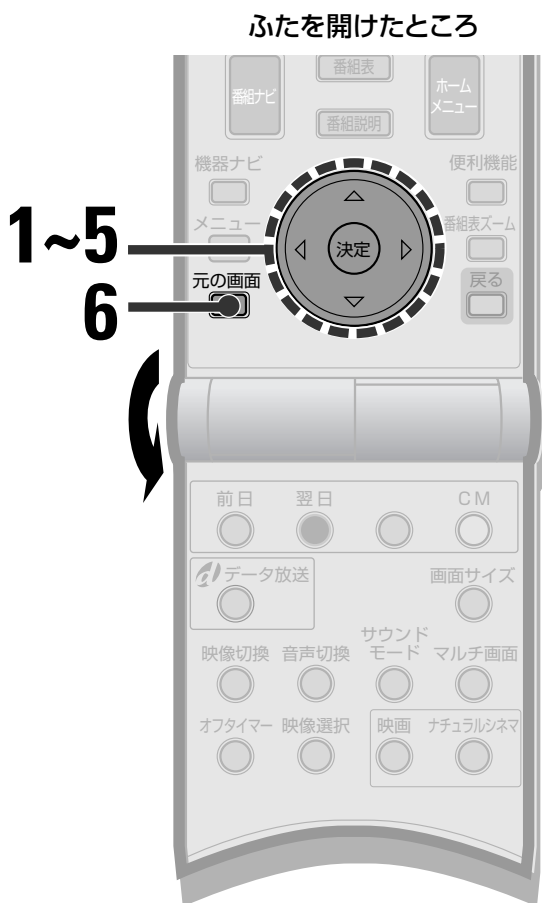
「衛星初期設定」画面が消えます。

ご注意

●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上たってからB-CASカードのテストを行ってください。

ステップ6へ

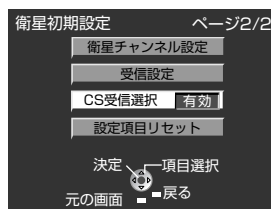
ステップ6 110度CSデジタル放送の受信選択をする

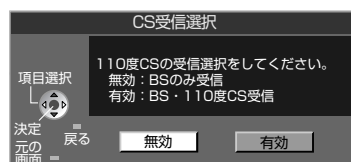
本機で110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。

ふたを開けたところ

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

●「衛星初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「衛星初期設定」画面を表示するには37ページをご覧ください。

1 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「CS受信選択」を選ぶ

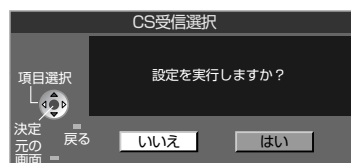
●「CS受信選択」は「衛星初期設定」画面の2ページ目にあります。

2 決定ボタンを押す

「CS受信選択」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

「有効」：
110度CSデジタル放送を受信します。
（通常はこちらを選びます。）

「無効」：
BSデジタル放送のみをご覧になるときに選びます。110度CSデジタル放送に関連する機能が表示されません。

4 決定ボタンを押す

設定を変更したときは設定確認の画面が表示されます。

5 カーソルボタン（◀▶）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。
●「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、設定は変更されません。

6 元の画面ボタンを押す

「衛星初期設定」画面が消えます。

以上で、衛星デジタル放送の受信設定は終了です。

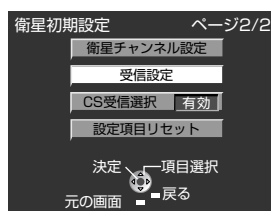
その他の衛星デジタル放送の受信設定

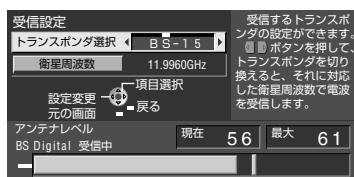
■**受信設定**: 衛星から電波を受信するのに必要な設定です。
ご注意:「受信設定」は衛星デジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。

■**設定項目リセット**: 「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」を工場出荷時の設定に戻します。正常に受信できているときは行わないでください。受信できなくなる場合があります。

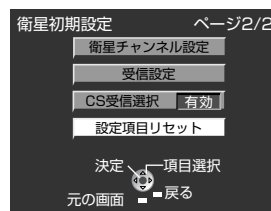
● 「衛星初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「衛星初期設定」画面を表示するには37ページをご覧ください。

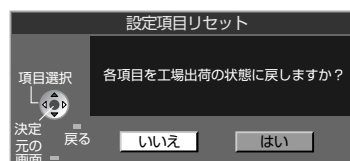
「受信設定」

1 **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「受信設定」を選ぶ**

2 **決定ボタンを押す**

「受信設定」画面が表示されます。

● 設定を変更すると衛星デジタル放送が受信できなくなる場合があります。

「設定項目リセット」

1 **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「設定項目リセット」を選ぶ**

2 **決定ボタンを押す**

確認する画面が表示されます。

3 **カーソルボタン(◄►)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す**

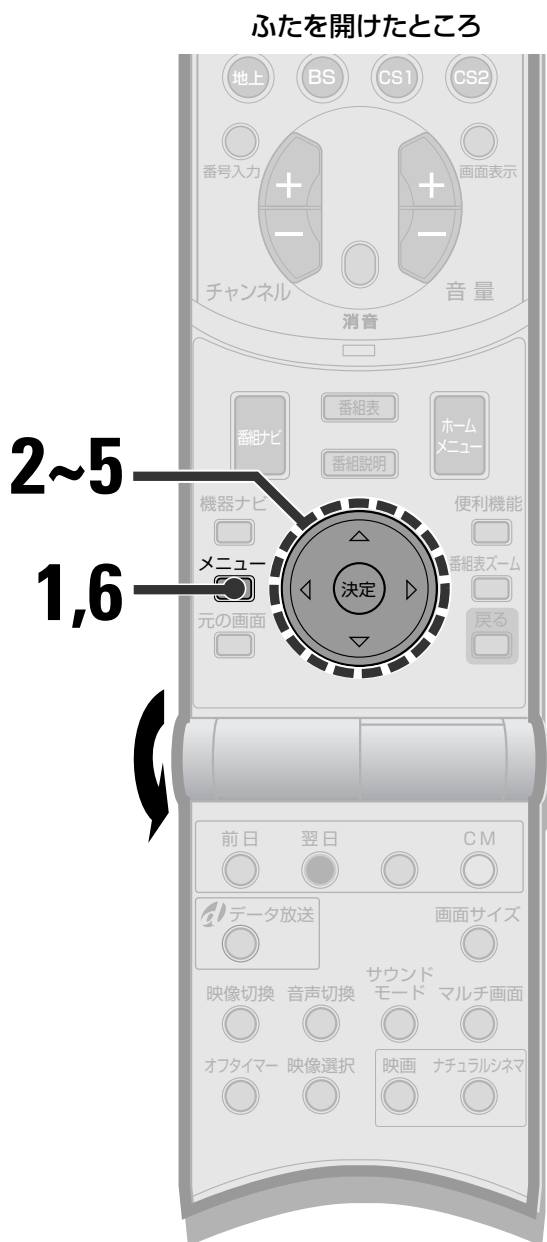
「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」が工場出荷状態に戻ります。

● 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、設定は変更されません。

手順 9 地磁気の影響を少なくする

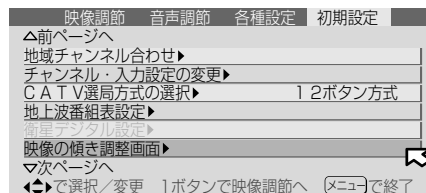
テレビは地磁気の影響を受けています。この地磁気の影響によって画面が傾いたり、紫や緑の色がつくことがあります。テレビをお楽しみになる前に、できるだけこの影響を少なくしてからお使いください。

■映像の傾き調整画面: 画面の映像がなるべく水平になるように調節します。
■地磁気補正画面: 画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。

映像の傾き調整

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 メニューボタンを押して メニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）を くり返し押して「初期設定」 メニューの「映像の傾き調整画面」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

調節画面が表示されます。

4 カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

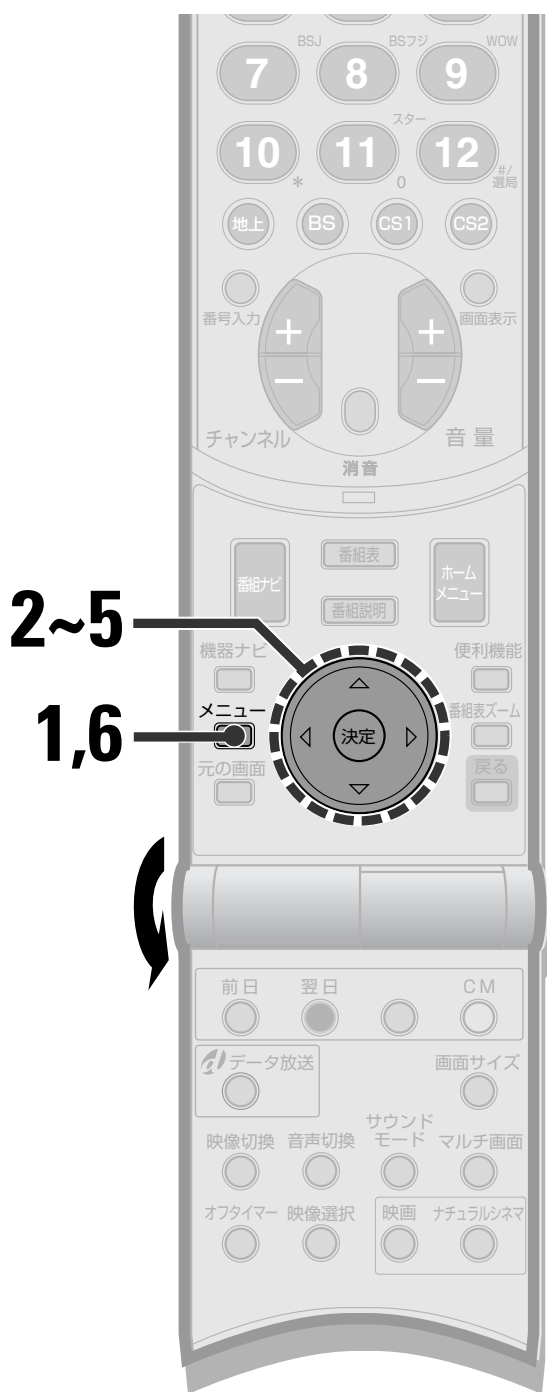
● 画面の映像がなるべく水平になるように調節します。

5 決定ボタンを押す

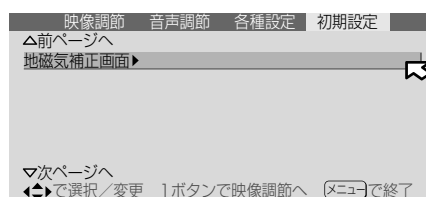
「初期設定」メニューに戻ります。

6 メニューボタンを押して 終了する

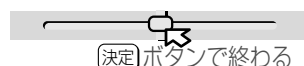
地磁気補正

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「初期設定」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「地磁気補正」を選ぶ

● **「初期設定」メニューは2ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

調節画面が表示されます。

4 カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

● 画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。

5 決定ボタンを押す

「初期設定」メニューに戻ります。

6 メニューボタンを押して終了する

以上でテレビの準備は終了です

地上波放送を見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。

1 電源を入れる

リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。
本体の電源/機能待機ランプが緑色に点灯します。

電源を切るには

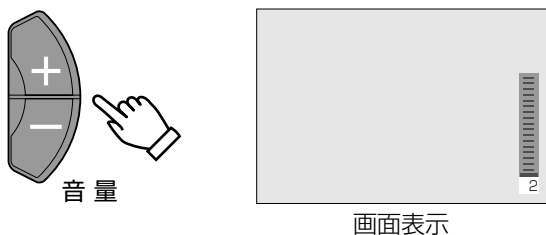
リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。
本体の電源/機能待機ランプが消えます。

2 音量を調節する

音量+/−ボタンを押して調節します。
画面に音量が表示されます。

画面表示

急いで音を消すには

消音

電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
「消音中」と画面に表示され続けます。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

● 次の場合は「消音中」の表示は出ません。
・衛星デジタル放送の番組ナビ(☞94ページ)や番組表(☞95ページ)、ホームメニュー(☞120ページ)を表示しているとき。
・SDカード画面(☞147ページ)を表示しているとき。
● メニューを表示中に消音ボタンを押すと、メニューが消えます。

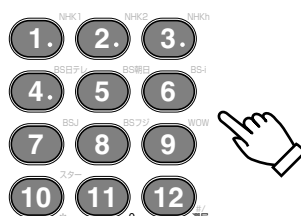
3 チャンネルを選ぶ

番組表から見たい番組を探して選ぶこともできます。
地上波放送の番組表については ☞86ページ

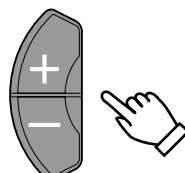
1 地上ボタンを押す

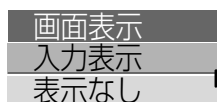
地上波放送に切り換わります。

2 チャンネル数字ボタンを押す

選んだチャンネルが画面に表示されます。

画面表示

チャンネルを順番に選ぶには

チャンネル+/−ボタンを押します。

チャンネルなどを画面に表示させるには

画面表示ボタンを押すと設定画面が表示されます。
押すたびに「入力表示」と「表示なし」が切り換わります。

選択中の設定が矢印で示されます。

「入力表示」:
画面右上にチャンネル番号を表示します。

「表示なし」:
チャンネルを変えたとき、一定のあいだチャンネル番号を表示します。

- 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。
- 映像が映っていないとき(無信号)は、テレビの電源が入っていることを示すため、表示を消すことはできません。

衛星デジタル放送を見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。

1 電源を入れる

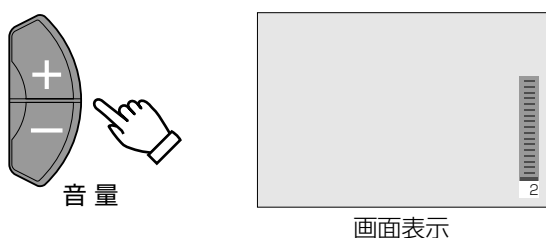
リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。
本体の電源/機能待機ランプが緑色に点灯します。

電源を切るには

リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。
本体の電源/機能待機ランプが消えます。

2 音量を調節する

音量+/−ボタンを押して調節します。
画面に音量が表示されます。

画面表示

急いで音を消すには

電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
「消音中」と画面に表示され続けます。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

- 次の場合は「消音中」の表示は出ません。
  - ・衛星デジタル放送の番組ナビ(☞94ページ)や番組表(☞95ページ)、ホームメニュー(☞120ページ)を表示しているとき。
  - ・SDカード画面(☞147ページ)を表示しているとき。
- メニューを表示中に消音ボタンを押すと、メニューが消えます。

3 チャンネルを選ぶ

番組表から見たい番組を探して選ぶこともできます。
衛星デジタル放送の番組表については ☞95ページ

1 BSボタン/CS1ボタン/CS2ボタンを押す

選んだ衛星デジタル放送に切り換わります。

BSデジタル放送を見るとき

CS1デジタル放送（プラットワン）を見るとき

CS2デジタル放送（スカイパーフェクTV!2）を見るとき

2 チャンネル数字ボタンを押す

選んだチャンネルが画面に表示されます。

- お買い上げ時に設定されているチャンネルが選ばれます。（設定は変更できます。☞134ページ）

画面表示

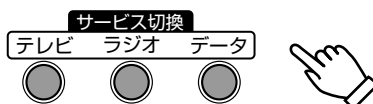
■お買い上げ時はチャンネル数字ボタンに次の衛星デジタル放送のチャンネルが登録されています。
（放送局名やチャンネル名は実際の表示とは異なる場合があります。）

BS デジタル放送		
1.	101	NHK1 (NHK BS1)
2.	102	NHK2 (NHK BS2)
3.	103	NHKh (NHK ハイビジョン)
4.	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BSJ (BS ジャパン)
8	181	BS フジ
9	191	WOW (WOWOW)
11	200	スター (スター・チャンネル)

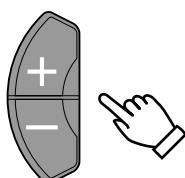
CS1（プラットワン）		
1.	001	プロモ CH
2.	999	カルチャー TV
3.	963	ハロー Tivi !
4.	011	CS 日本
5	055	ep プラザ
6	900	お一当たり ch
7	700	Sound Terior
8		
9	090	WOWOW PPV ナビ
11		

CS2（スカイパーフェク TV!2）		
1.	100	スカパー！ 2 プロモ
2.	110	ワンテンポータル
3.	123	CS 映画
4.	128	ハリウッドムービーズ
5	250	アクティブ！スポーツチャンネル
6	160	C-TBS ウェルカムチャンネル
7	170	BAZ
8	182	フジテレビ 739
9	194	AQ ステーション
11	190	TAKARAZUKA SKY STAGE

テレビ放送 / ラジオ放送 / データ放送を選ぶには

サービス切換ボタン（テレビ/ラジオ/データ）を押します。（☞118ページ）

チャンネルを順番に選ぶには

チャンネル+/−ボタンを押します。

- 衛星デジタル放送をチャンネル+/−ボタンで選ぶときは、「衛星デジタル設定」の「選局対象」の設定により、選べるチャンネルが異なります。（☞133ページ）

ふだんの使い方

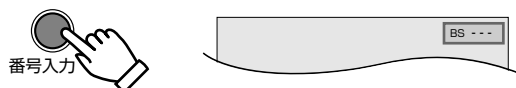
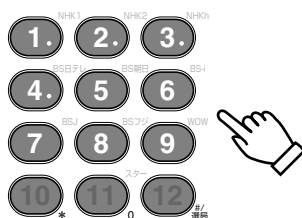
衛星デジタル放送を見る

衛星デジタル放送を見る（つづき）

衛星デジタル放送のチャンネルを選ぶときは、チャンネル番号を直接入力して選んだり、あらかじめ設定したチャンネルを画面に表示して選ぶ（「お好み選局」）こともできます。

チャンネルを番号で直接選ぶには

1 衛星デジタル放送をご覧のときに、番号入力ボタンを押す

番号入力の画面が表示されます。

2 チャンネル数字ボタンでチャンネル番号を入力する

例:101チャンネルを選ぶとき

① 1ボタンを押す

BS 1 - -

②（約5秒以内に）0（11）ボタンを押す

BS 1 0 -

③（約5秒以内に）1ボタンを押す

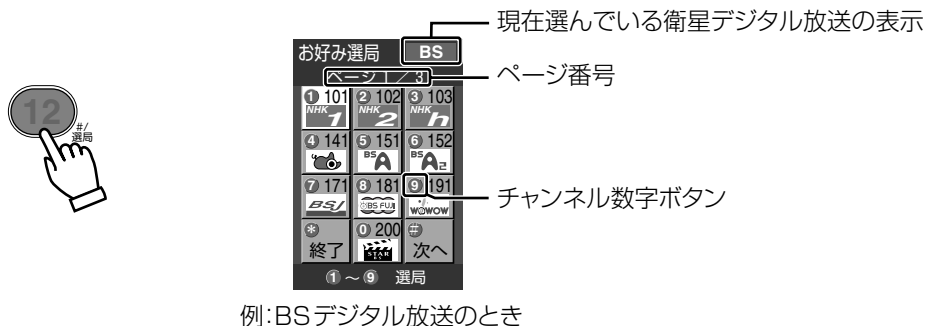
● 約5秒以内につづきの番号を入力しなかったときは、番号入力の画面が消えます。

「お好み選局」で選ぶには

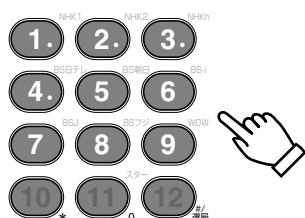
チャンネル数字ボタンに設定されたチャンネルやお好みで登録したチャンネルを、画面に表示して選べます。

●お好みのチャンネルをBSデジタル放送/CS1デジタル放送/CS2デジタル放送ごとに登録できます。（☞136ページ）

1 衛星デジタル放送をご覧のときに、#/選局（12）ボタンを押す

「お好み選局」画面が表示されます。

例：BSデジタル放送のとき

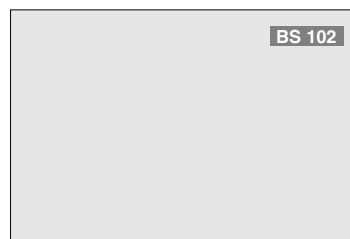
2 見たいチャンネルのチャンネル数字ボタンを押す

選んだチャンネルに切り換わります。

● 次のページを表示するには#（12）ボタンを押します。（「終了」と表示されているときは画面が消えます。）
● 前のページを表示するには*（10）ボタンを押します。（「終了」と表示されているときは画面が消えます。）

チャンネル番号や番組の情報を画面に表示させるには

画面表示ボタンを押すと、現在見ている番組の情報を見ることができます。（☞101ページ）

画面表示

約５秒後

●画面表示を消すには、もう一度画面表示ボタンを押します。

ビデオやDVDなどの映像を見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。

1 電源を入れる

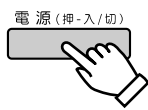
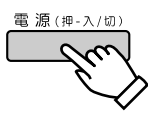
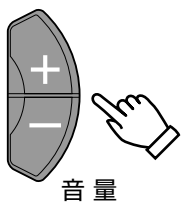
リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。
本体の電源/機能待機ランプが緑色に点灯します。

電源を切るには

リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。
本体の電源/機能待機ランプが消えます。

2 音量を調節する

音量+/−ボタンを押して調節します。
画面に音量が表示されます。

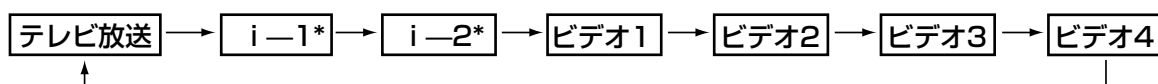
画面表示

急いで音を消すには

電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
「消音中」と画面に表示され続けます。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

● 次の場合は「消音中」の表示は出ません。
 ・衛星デジタル放送の番組ナビ（☞94ページ）や番組表（☞95ページ）、ホームメニュー（☞120ページ）を表示しているとき。
 ・SDカード画面（☞147ページ）を表示しているとき。
● メニューを表示中に消音ボタンを押すと、メニューが消えます。

3 入力切換ボタンを押す

入力切換ボタンを押すと設定画面が表示されます。

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

* 「i－1」および「i－2」はi.LINK入力です。D-VHSビデオデッキをi.LINK接続しているときのみ選べます。(☞158ページ)
  - i.LINK接続したD-VHSビデオデッキが「i－1」、「i－2」のどちらに割り当てられるかは、「i.LINK接続設定」の「機器名」によります。(☞167ページ)

- 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。
- 外部入力の表示名を変更するときや使用していない外部入力をスキップしたいときは、「外部入力の設定を変更する」(☞84 ページ) をご覧ください。

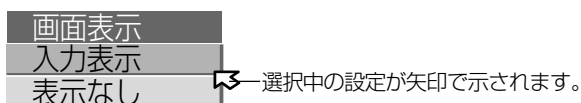
ビデオ1からビデオ4の外部入力を直接選ぶには

入力切換ボタンを押したあとに、チャンネル数字ボタン（1.から4.）を押します。

➡

外部入力名を画面に表示させるには

画面表示ボタンを押すと設定画面が表示されます。
押すたびに「入力表示」と「表示なし」が切り換わります。

選択中の設定が矢印で示されます。

「入力表示」:
画面右上に外部入力名を表示します。

「表示なし」:
外部入力を切り換えたとき、一定のあいだ外部入力名を表示します。

- 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。
- 映像が映っていないとき(無信号)は、テレビの電源が入っていることを示すため、表示を消すことはできません。

お好みの映像にする

必要に応じて、以下の①～③の操作をしてください。ふだんは画質を選ぶ(①)だけでもお楽しみいただけます。

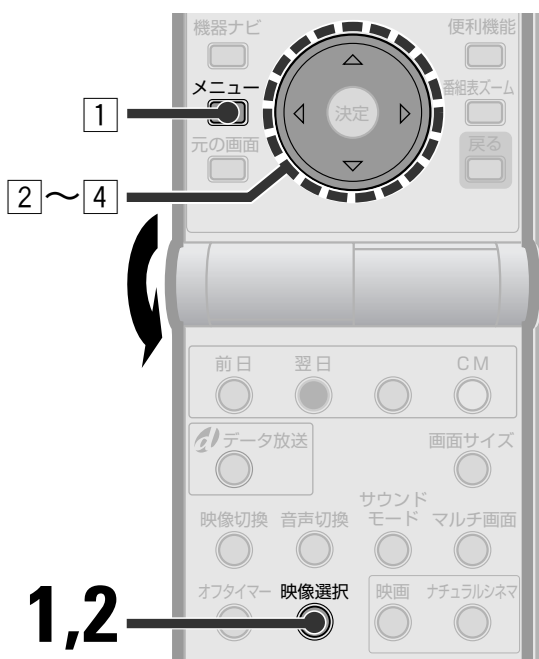
① **画質を選ぶ**
4種類の画質（スタンダード・ダイナミック・シアター・ゲーム）から選びます。
● お買い上げ時は「ダイナミック」に設定されています。ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

② **映像を調節する** (☞61ページ)
選んだ画質を調節します。

③ **映像をより細かく調節する** (☞78ページ)
①で「シアター」の画質を選んだときはさらに細かな調節ができます。詳しい知識をお持ちの方向けの調節です。

● 映像調節は、ハイビジョン信号(衛星デジタル放送)とそれ以外(地上波放送やビデオなど)で別々に選択や調節ができます。

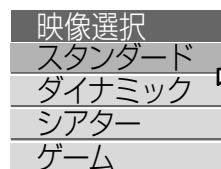
画質を選ぶ

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

映像選択のめやす

スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを楽しむとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります

1 映像選択ボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☞マークが表示されます。

例:「スタンダード」を選んでいるとき

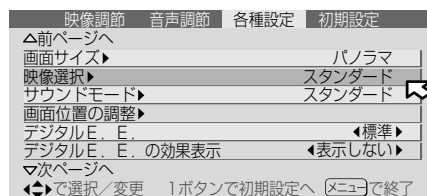
● 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

2 映像選択ボタンをくり返し押して、お好みの画質を選ぶ

選んだ画質に切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

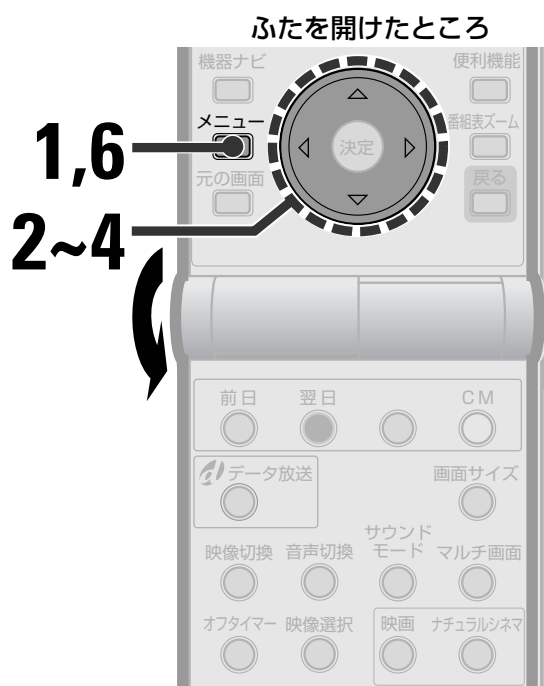
■ メニューから画質を選ぶには

1 **メニューボタンを押してメニューを表示させる**

2 **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「映像選択」を選ぶ**

3 **カーソルボタン(◀▶)を押す**
設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☞マークが表示されます。

4 **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して、お好みの画質を選ぶ**
選んだ画質に切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

映像を調節する

選んだ画質をお好みに合わせて調節できます。（4種類の画質を別々に調節できます。）

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「映像調節」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

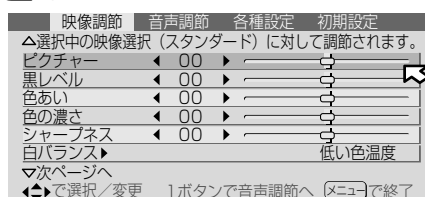
調節項目の内容と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節のめやす
ピクチャー	薄く	濃く	明るさ·色の濃さを決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
色あい	赤っぽく	緑っぽく	健康的な肌色に
色の濃さ	薄く	濃く	（交互に調節）
シャープネス*1	やわらか	くっきり	好みの輪郭に
白バランス	高い 色温度	低い 色温度	画面全体の色調を選ぶ 高い：標準 低い：赤みが強くなる
ノイズクリア*2	切り	弱い　強い	画面のざらつきが少なくなるように調節

*1 画質に「シアター」を選んでいるときはシャープネスの調節はできません。シアタープロ設定のHシャープネス、Vシャープネスの調節を行ってください。（☞78ページ）
*2 ノイズクリアの調節はカーソルボタン（▲▼）を使います。

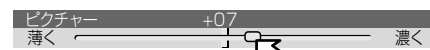
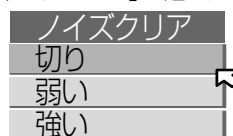
お買い上げの時の設定に戻すには
手順2で「映像調節を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押すとお買い上げ時の設定に戻ります。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「映像調節」メニューから調節する項目を選ぶ

● **「映像調節」メニューは2ページ構成です**
上記の画面イラストは1ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

調節画面が表示されます。

例：「ピクチャー」を選んだとき

例：「ノイズクリア」を選んだとき

● 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

4 カーソルボタン（◀▶）で調節する

ノイズクリアの調節はカーソルボタン（▲▼）を使います。

5 他の項目も調節するときは手順2から手順4をくり返す

6 メニューボタンを押して終了する

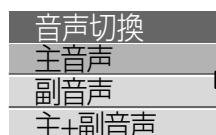
お好みの音声にする

音声を切り換える

二重音声放送やステレオ音声放送のときに、聞きたい音声を選びます。
2画面の左画面および裏番組の親画面（左画面）を選んでいるときでも、音声を切り換えられます。
●このページでは地上波放送をご覧のときについて説明しています。衛星デジタル放送の音声切換については、137ページをご覧ください。

ふたを開けたところ

1 音声切換ボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに マークが表示されます。

例：二重音声放送を受信しているとき

● 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

2 音声切換ボタンをくり返し押して、お好みの音声を選ぶ

押すたびに、次のように音声が切り換わります。

二重音声放送受信中は：

→「主音声」→「副音声」→「主＋副音声」

ステレオ放送受信中は：

→「ステレオ」→「モノラル」

しばらくすると、設定画面が消えます。

衛星デジタル放送のときは

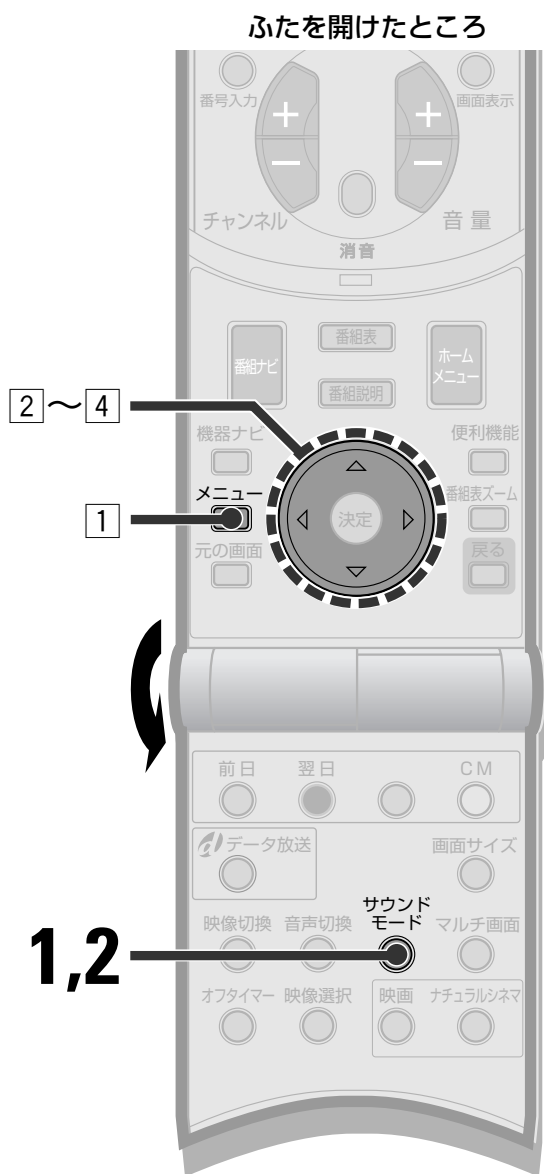
● 衛星デジタル放送の番組によっては、複数の音声信号を切り換えることができます。(☞137ページ)

ご注意

● 設定画面に選べる項目が1つしかないときは、音声の切り換えはできません。
● 番組一覧(☞72ページ)を表示中は、音声の切り換えはできません。
● 2画面のとき、左画面が衛星デジタル放送または外部入力の場合は、音声を切り換えられません。(☞70ページ)
● 裏番組の親画面（左画面）が衛星デジタル放送のときは、音声を切り換えられません。(☞71ページ)

サウンドモードを選ぶ

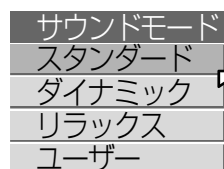
4種類のモード（スタンダード、ダイナミック、リラックス、ユーザー）からお好みのモードを選びます。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

サウンドモードの種類

スタンダード	音声のバランスがとれた標準モード
ダイナミック	迫力ある音声を楽しむとき
リラックス	ゆったりとしたナチュラルな音声を楽しむとき
ユーザー	あらかじめ設定したお好みの音声を楽しむとき（☞65ページ）

1 サウンドモードボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☞マークが表示されます。

例：「スタンダード」を選んでいるとき

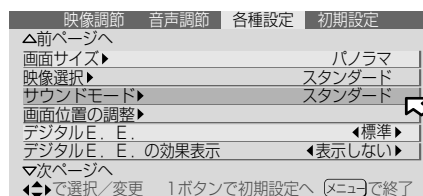
● 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

2 サウンドモードボタンをくり返し押して、お好みのモードを選ぶ

選んだモードに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

■ メニューからサウンドモードを選ぶには

1 **メニューボタンを押してメニューを表示させる**

2 **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「サウンドモード」を選ぶ**

3 **カーソルボタン（◀▶）を押す**
設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☞マークが表示されます。

4 **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して、お好みのモードを選ぶ**
選んだモードに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

お好みの音声にする（つづき）

音声を調節する

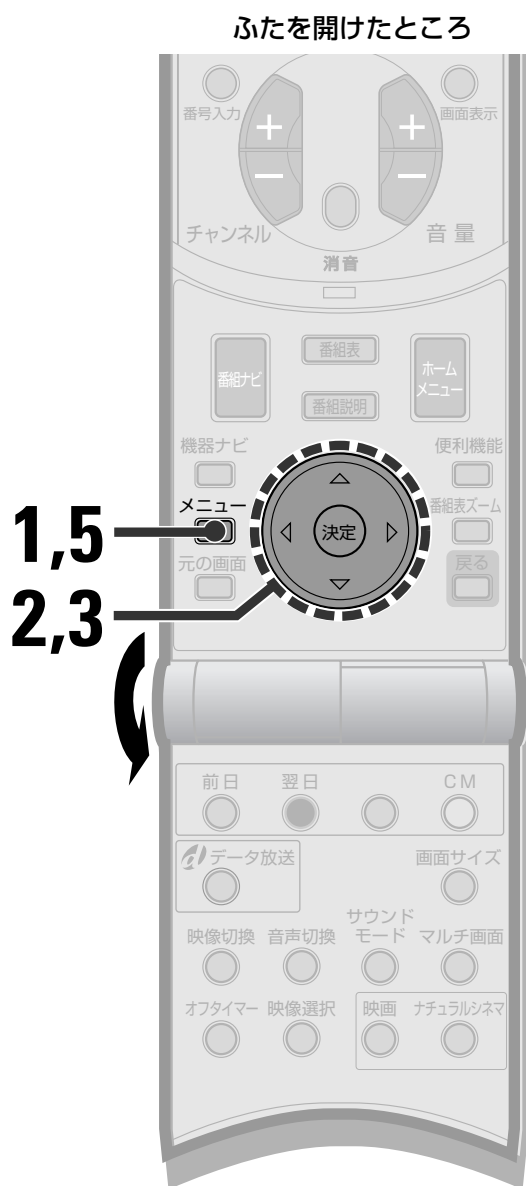
選んだサウンドモード(☞63ページ)をお好みの音声に調節できます。
●調節したお好みの音声をユーザーモードに記憶させることができます。

ふたを開けたところ

1 メニューボタンを押して
メニュー 画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)を
くり返し押して「音声調節」
メニューから調節する項目
を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押
して調節をする

4 他の項目も調節するときは
手順2から手順3をくり返す

5 メニューボタンを押して
終了する

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

音声調節のめやす

調節項目	◀	▶
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「音声調節を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意

●各モードごとに調節はできますが、サウンドモードを切り換えると、スタンダード、ダイナミック、リラックスの設定値はお買い上げ時の設定に戻ります。

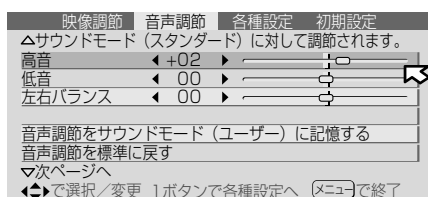
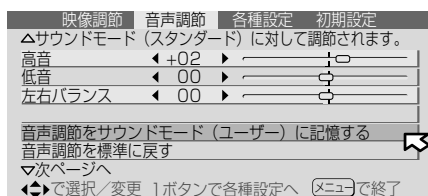
お好みの音声をユーザーモードに記憶させるには

サウンドモードがユーザーモードのとき：

音声調節を行うと、設定値は自動的にユーザーモードに記憶されます。

サウンドモードがスタンダード、ダイナミック、またはリラックスモードのとき：

音声調節の設定値をユーザーモードとして記憶させることができます。

1 **左ページの手順1から手順3を行い、音声を調節する**

2 **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「音声調節をサウンドモード（ユーザー）に記憶する」を選ぶ**

3 **決定ボタンを押す**

「音声調節の値をサウンドモード（ユーザー）に記憶しました。」のメッセージが出て記憶されます。

記憶させた設定で音声を聴くには

サウンドモードをユーザーモードに切り換えます。（☞63ページ）

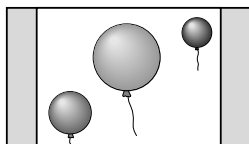
画面サイズを変える

画面サイズの種類

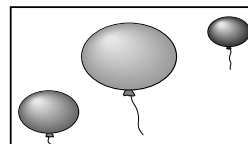
このテレビでは、横縦比（画面サイズ）16：9の横長画面を活かして、いろいろな画面サイズで映像を楽しむことができます。ここでは画面サイズの種類と、その見えかたを説明しています。

ノーマル

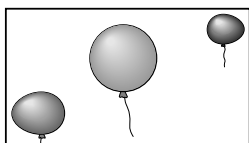
●テレビ番組をオリジナルサイズ(4:3)で見るとき

地上波放送の映像は横と縦の比率が4:3となっています。このオリジナルのサイズで映像を映します。このとき、左右に帯が残ります。

フル

●テレビ番組を画面いっぱいに拡大して見るとき

オリジナルサイズのテレビ映像（4:3）を、そのまま画面いっぱいに映します。

パノラマ

●テレビ番組を自然に拡大して見るとき

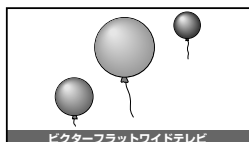
地上波放送の映像を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。

オートパノラマ

●画面サイズを自動で切り換えたいとき

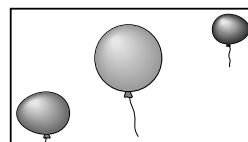
地上波放送のときに選びます。「パノラマ」（または「ノーマル」）、「字幕パノラマ」、「シネマ」の中から、最適な画面サイズを自動的に設定します。
（68 ページもご覧ください。）

字幕パノラマ

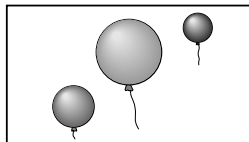
●字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。

パノラマズーム

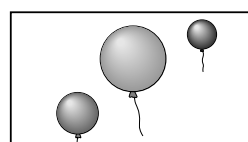
●テレビ番組を自然に拡大して見るとき

衛星デジタル放送（1125i）で放送されている4:3の映像で、左右に帯がついている画面のときに、横長の画面いっぱいに拡大します。

シネマ

●映画番組を見るとき

劇場サイズの映画番組や映画ソフトを、黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては帯が残ることがあります。

シネマズーム

●映画番組を見るとき

衛星デジタル放送（1125i）で放送されている劇場サイズの映画番組や映画ソフトを、黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては帯が残ることがあります。

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている放送や外部入力によって選べる画面サイズが異なります。

■ 地上波放送やビデオのとき

画面サイズ選択
- オートパノラマ
- パノラマ
- 字幕パノラマ
- シネマ
- フル
- ノーマル

■ 衛星デジタル放送（525i*、525p*）のとき

画面サイズ選択
- パノラマ
- 字幕パノラマ
- シネマ
- フル
- ノーマル

■ 衛星デジタル放送（750p*、1125i*）のとき

画面サイズ選択
- パノラマズーム
- シネマズーム
- フル

■ コンポーネント/D4映像入力端子から750p*の映像が入力されているとき

画面サイズ選択
- フル

（*「用語解説」☞182ページ）

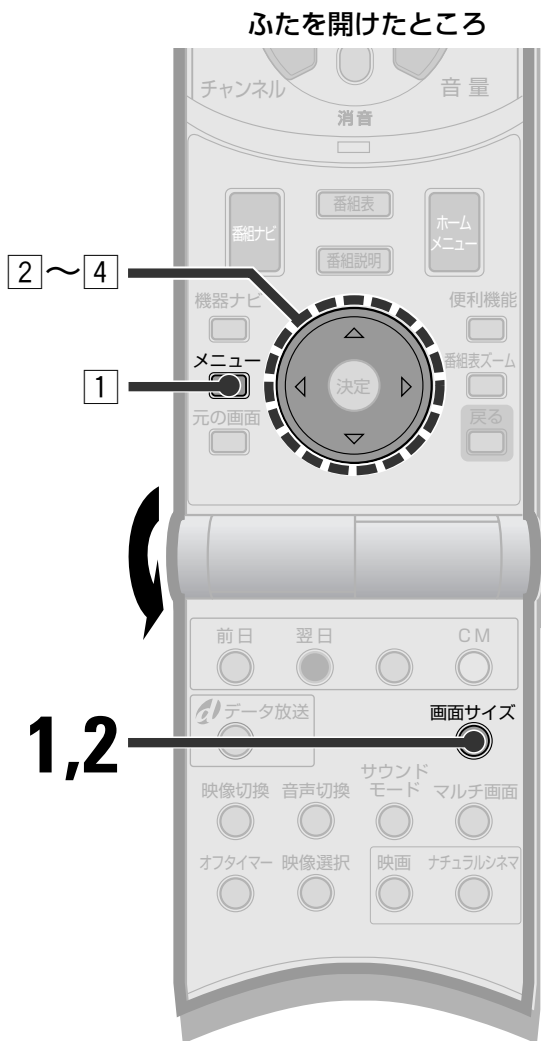
著作権の侵害について

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能（パノラマ）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

「ノーマルサイズ」ご使用時は

長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを選ぶ

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

「オートパノラマ」のときは…

● 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定により異なります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」（☞68ページ）をご覧ください。
● 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。
● 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると…
画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。
（*「用語解説」☞183ページ）

1 画面サイズボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☜マークが表示されます。

例:地上波放送のとき

● 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

2 画面サイズボタンをくり返し押して、お好みの画面サイズを選ぶ

選んだ画面サイズに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。
● ご覧になっている放送や外部入力により、選べる画面サイズが異なります。（☞66ページ）

■ メニューから画面サイズを選ぶには

1 **メニューボタンを押してメニューを表示させる**

2 **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「画面サイズ」を選ぶ**

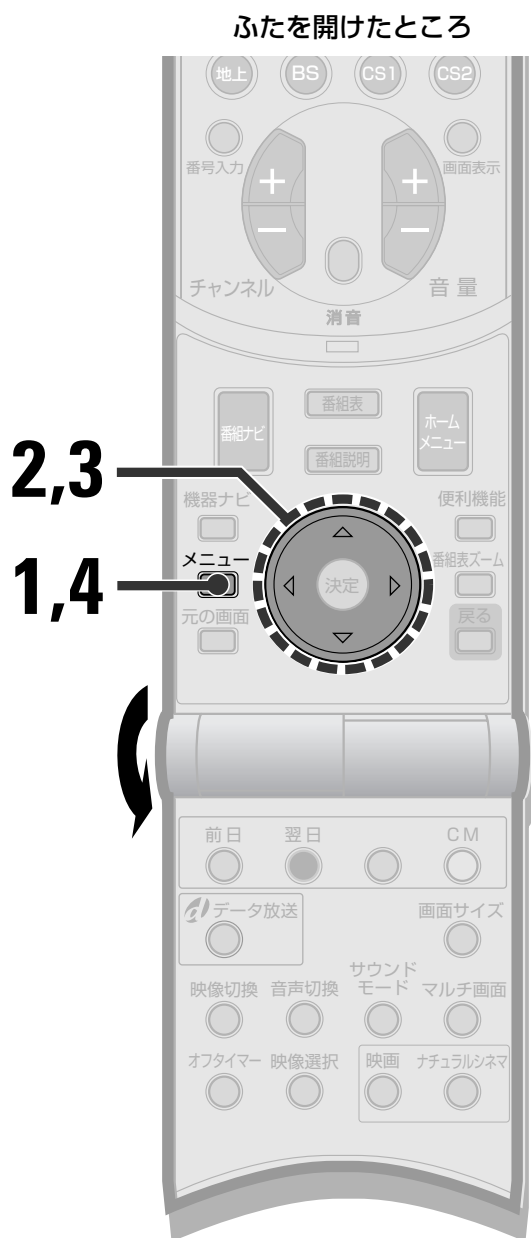
3 **カーソルボタン（◀▶）を押す**
設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☜マークが表示されます。

4 **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して、お好みの画面サイズを選ぶ**
選んだ画面サイズに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

■ 本体のボタンで操作するときは

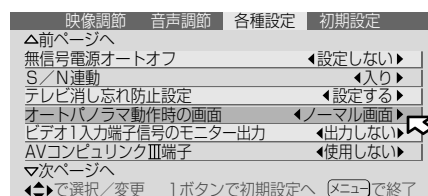
画面サイズ選択ボタンをくり返し押して、お好みの画面サイズを選ぶ
選んだ画面サイズに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

オートパノラマの画面サイズを設定する

オートパノラマのとき、画面サイズ(横:縦の比率)4:3の映像を、画面いっぱいに拡大して映すか、画面サイズ4:3のままで映すかを設定します。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー(全2ページ)の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「オートパノラマ動作時の画面」を選ぶ

● 「各種設定」メニューは2ページ構成です。
上記の画面イラストは2ページ目です。

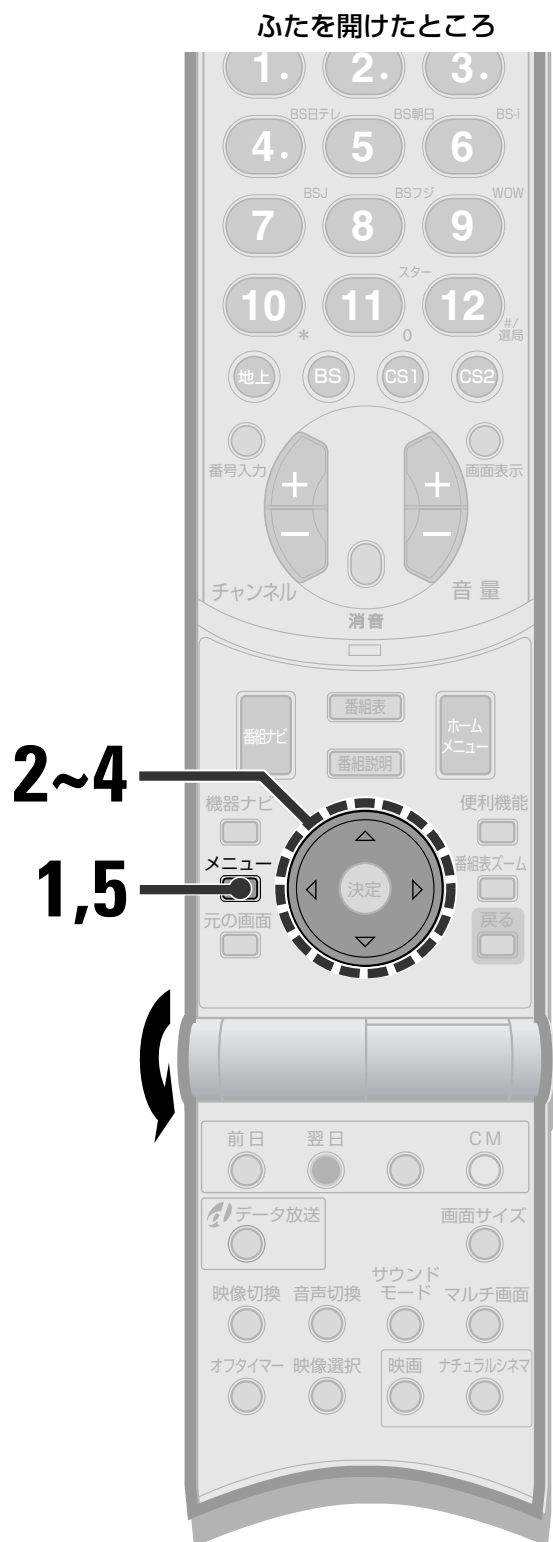
3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「ノーマル画面」:
画面サイズが4:3の画面になります。
パノラマ画面での映像の変形が気になるときに選びます。

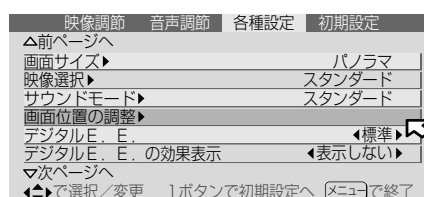
「パノラマ画面」:
画面いっぱいの映像になります。

4 メニューボタンを押して終了する

画面の位置を調節する

映画の字幕や野球放送のスコア表示が隠れてしまうときなどに、画面の上下左右の位置を調節します。

ふたを開けたところ

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「画面位置の調整」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

調節画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して画面の位置を調節する

● 標準位置に戻すには、決定ボタンを押します。

5 メニューボタンを押して終了する

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

ご注意

● 画面サイズをノーマルサイズでご覧になっているときは、画面の位置調節はできません。
● 左右の位置調節ができるのは画面サイズがパノラマズームとシネマズーム(☞66ページ)のときだけです。
● 画面サイズを切り換えると、画面の位置調節の設定は解除されます。

2つの番組を同時に楽しむ
（マルチ画面ボタン・2画面）

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しむことができます。

ふたを開けたところ

2画面で見ることができる組み合わせ

左画面		右画面 テレビ VHF/UHF/CATV	テレビ 衛星デジタル	i.LINK入出力 i-1	i.LINK入出力 i-2	ビデオ1 映像・S映像入力	ビデオ1 D4映像入力	ビデオ2	ビデオ3 映像入力	ビデオ3 コンポーネント映像入力	ビデオ4 映像・S映像入力	ビデオ4 D4映像入力
テレビ	VHF/UHF/CATV	○*	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
テレビ	衛星デジタル	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×
i.LINK入出力	i-1	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×
i.LINK入出力	i-2	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×
ビデオ1	映像・S映像入力	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×
ビデオ1	D4映像入力	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×
ビデオ2		○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×
ビデオ3	映像入力	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×
ビデオ3	コンポーネント映像入力	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×
ビデオ4	映像・S映像入力	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
ビデオ4	D4映像入力	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×

*左右両方の画面に同じチャンネルを映すことはできません。

ご注意

2画面中は･･･
- 次のボタンは操作できません。
  メモ画面、ナチュラルシネマ
- 2画面の操作を優先させるため、一部を除き、衛星デジタル放送の操作を禁止しています。
- 右画面では音声切換(☞62ページ)はできません。
- 映像調節メニュー以外は調節できません。
- オートパノラマ機能(☞66ページ)は働きません。
- 番組ナビ、番組表、番組説明の各ボタンを押すと、2画面が解除され、それぞれの画面が表示されます。

1 マルチ画面ボタンを押して、画面に選択表示を出す

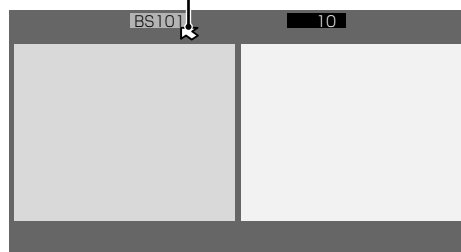
2画面　裏番組　番組一覧

選択表示

2 カーソルボタン(◄►)を押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す

2画面表示になります。
それまでご覧になっていた画面が左画面になります(操作画面)。

操作画面を示します。

BS101　10

- 操作画面を切り換えるには、カーソル(◄►)ボタンを押します。
- 操作画面の音声がスピーカー(またはヘッドホン*)から聞こえてきます。
  *ヘッドホンをご使用のとき、音声はスピーカーからは出力されません。
- 衛星デジタル放送(1125i、525p、750p)の映像をご覧のときは、次のような画面になります。

操作画面を示します。

BS103　10

1画面に戻すには

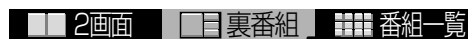
ご覧になりたい方の画面を操作画面にして、決定ボタンを押します。選んだ画面の映像が1画面になります。
または、手順1と手順2を行い、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

裏番組を見る
（マルチ画面ボタン・裏番組）

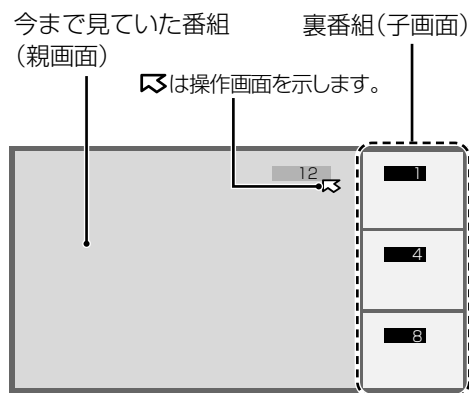
現在見ている番組のほかに、3つの番組（裏番組）を同時に映すことができます。
●裏番組は静止画（音声無し）で表示されます。
●裏番組（静止画）として表示できるのは地上波放送とCATVのチャンネルのみです。

ふたを開けたところ

1 マルチ画面ボタンを押して、画面に選択表示を出す

2画面　裏番組　番組一覧

選択表示

2 カーソルボタン（◄►）を押して「裏番組」を選び、決定ボタンを押す

次のような画面が表示されます。

● 裏番組の静止画は、上から順番に新しい映像に切り換わります。
● 親画面（左画面）の音声がスピーカー（またはヘッドホン*）から聞こえてきます。

＊ヘッドホンをご使用のとき、音声はスピーカーからは出力されません。

ご注意

● 衛星デジタル放送のチャンネルを裏番組（子画面）に表示することはできません。
● 外部入力の映像は表示できません。
● 衛星デジタル放送の画面サイズ16:9の映像は横幅を圧縮した映像で表示されます。
● メニューボタンを押すと裏番組は解除され、メニュー画面が表示されます。
● 番組ナビ、番組表、番組説明の各ボタンを押すと、裏番組が解除され、それぞれの画面が表示されます。

裏番組を1画面で見るには

見たい裏番組をカーソルボタン（◄►▲▼）で選び、決定ボタンを押します。

裏番組のチャンネルを変えるには

1 カーソルボタン（◄►▲▼）で操作したい裏番組の映像を選びます。

2 チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンでチャンネルを変えます。

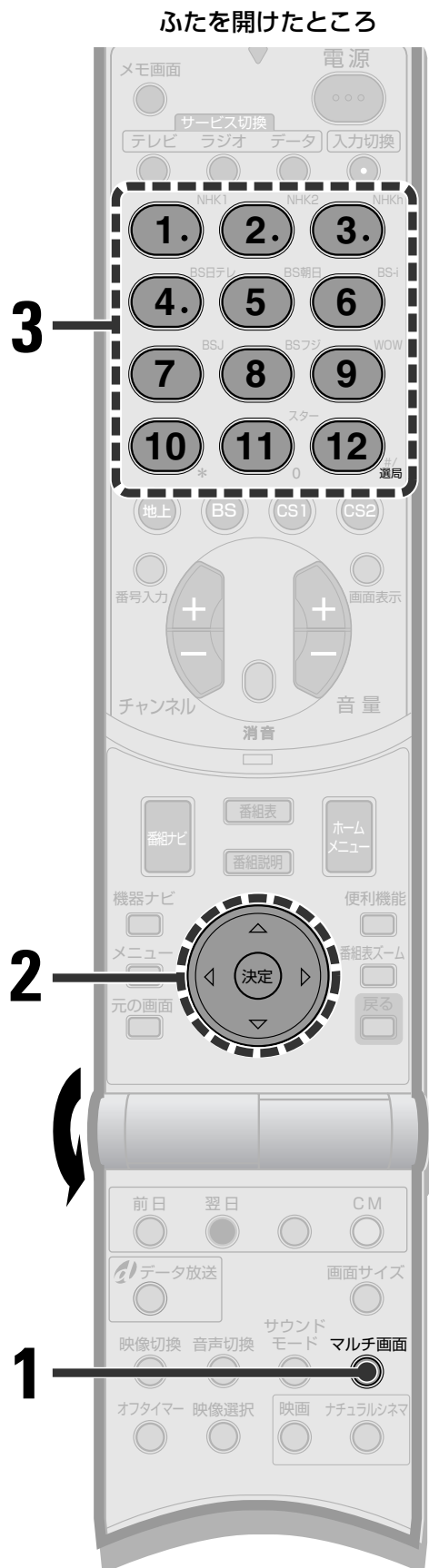
1画面に戻すには

手順1と手順2を行い、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

放送されている番組を一覧表示する（マルチ画面ボタン・番組一覧）

現在放送されている番組を一度に表示します。どのチャンネルでどんな番組が放送されているのかを見ながら、番組を選べます。

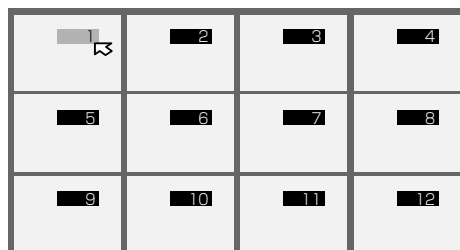
●番組一覧を表示できるのは地上波放送とCATVのチャンネルです。
●衛星デジタル放送をご覧のときに番組一覧を表示することはできません。

ふたを開けたところ

1 マルチ画面ボタンを押し、画面に選択表示を出す

選択表示

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

画面が12分割されて、番組が静止画で映ります。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

受信できるチャンネルが、数秒間ずつ順々に、音声とともに動画で表示されます。

●「チャンネル1～12ボタンの設定変更」で「見ない」（スキップ）に設定されているチャンネルは、番組一覧で表示されません。（☞80、83ページ）

3 見たい番組をチャンネル数字ボタンで選ぶ

選んだチャンネルが1画面で映ります。

●見たい番組が操作画面になったときに決定ボタンを押すと、チャンネルが選ばれて1画面で映ります。

1画面に戻すには

手順1と手順2を行い、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意

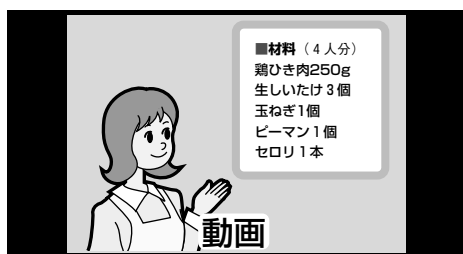
番組一覧中は･･･

●オートパノラマ機能（☞66ページ）は働きません。
●次のボタンは操作できません。
チャンネル＋/－、入力切換、音声切換、オフタイマー、メモ画面、ナチュラルシネマ、戻る
●メニューボタンを押すと、番組一覧は解除され、メニュー画面が表示されます。

メモ画面機能を使う（メモ画面ボタン）

今見ている映像を、メモ画面（静止画面）で見ることができます。
応募先の住所や、料理番組のレシピなどをメモするときに便利です。同時に今まで見ていた番組も楽しめます。

1 静止させたい場面で、メモ画面ボタンを押す

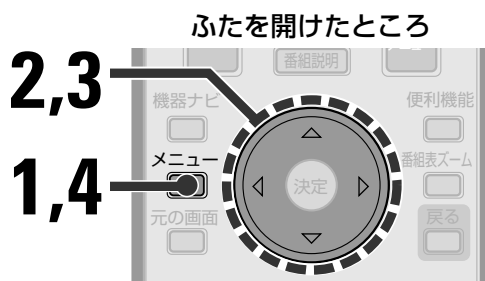
次のように画面が切り換わります。

2 メモを取り終わったら、もう一度メモ画面ボタンを押す

通常の表示に戻ります。

ご注意

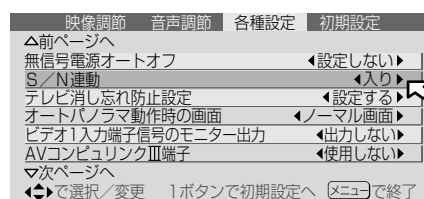
- 2画面、裏番組、番組一覧を表示中はメモ画面ボタンは使えません。
- チャンネル切換、入力切換を行うとメモ画面は解除されます。
- メニューボタンを押すと、メモ画面が解除されて、メニュー画面が表示されます。

本来の解像度で表示する（S/N連動）

本機はノイズを抑えた見やすい映像でご覧いただく「S/N連動」機能を持っています。通常は、「S/N連動」を「入り」にしてご使用ください。
ノイズを抑えた見やすい映像よりも、解像度を優先したい場合は、「切り」に設定してください。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「S/N連動」を選ぶ

● **「各種設定」メニューは2ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

「入り」：
ノイズを抑えた見やすい映像になります。

「切り」：
本来の解像度で映像を表示します。

4 メニューボタンを押して終了する

フィルム撮影された映画などをキレイに見る（ナチュラルシネマボタン）

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。
ナチュラルシネマを使うと、動きの速いところもぼんやり感のない映像でご覧になれます。

ふたを開けたところ

1 ナチュラルシネマボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☞マークが表示されます。

● 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

2 ナチュラルシネマボタンをくり返し押して設定する

押すたびに、次のように設定が切り換わります。

「オート」:
映像に合わせて自動的に「入り」「切り」します。

「入り」:
常にナチュラルシネマを使います。

「切り」:
そのままの映像で表示します。

しばらくすると、設定画面が消えます。

ナチュラルシネマに関するお願い

- ● 通常は「オート」に設定してください。
- ● 地上波放送などではナチュラルシネマを「入り」にすると、輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがまれにあります。その場合は、ナチュラルシネマを「切り」にしてお使いください。

ご注意

- ●マルチ画面（2画面、裏番組、番組一覧）を表示中にナチュラルシネマは使えません。
- ●次のような場合は、ナチュラルシネマの設定が「入り」の状態から「オート」に切り換わります。
  - ・電源を切ったとき
  - ・チャンネルや入力を切り換えたとき
  - ・マルチ画面（2画面、裏番組、番組一覧）に切り換えたとき
  - ・メモ画面（静止画面）に画面を切り換えたとき
- ●プログレッシブ（525pや750p）を見ているときは切り換えできません。
  （*「用語解説」☞182ページ）

映画に最適な映像にする（映画ボタン）

映画ボタンを押すと、番組や映画ソフトに最適な画面設定になります。

ふたを開けたところ

映画ボタンを押す

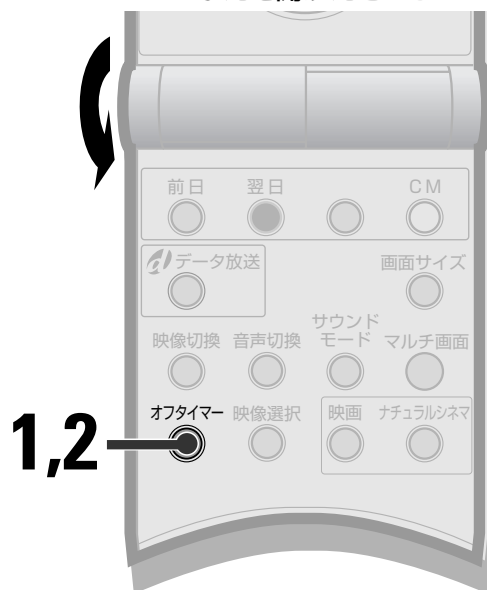
「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、デジタルE.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。
押すたびに「入り」「切り」が切り換わります。
「入り」にすると、画面に「映画に最適な映像設定にしました。」と表示されます。

映画ボタンを使うときは

- 2画面中は映画ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。
- 次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。
  - ・ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
  - ・チャンネルや入力を切り換えたとき
  - ・S1映像信号*が入力されたとき
    （*「用語解説」☞182ページ）

指定した時間に電源を切る（オフタイマーボタン）

テレビを見ながら寝てしまいそうなときなどに設定すると、テレビの消し忘れが防げます。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

ふたを開けたところ

1 オフタイマーボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに☞マークが表示されます。

- 数秒間操作を行わないと、設定画面が消えます。

2 オフタイマーボタンをくり返し押して、設定したい残り時間を選ぶ

押すたびに、設定時間が変わります。
しばらくすると設定画面が消えて、画面右下に残り時間が表示されます。

残り時間の表示について

残り時間はテレビの操作をすると消えます。
ただし、電源の切れる3分前になると強制的に表示されます。

再設定または解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定画面を表示して、設定し直します。

節電するには

節電機能の種類

このテレビには次のような節電機能があります。

■ **デジタルE.E.センサー機能**
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になり、目にやさしい機能です。

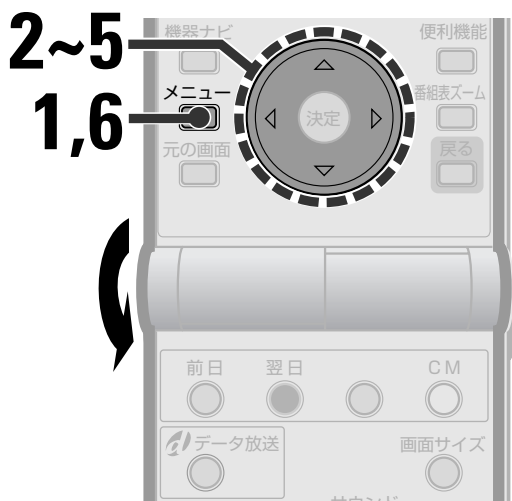
「E.E.」とは、Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+Electronic Eye(電子の目)の略です。

■ **無信号電源オートオフ機能**
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの再生終了後、約4分間経過すると電源を切って節電します。

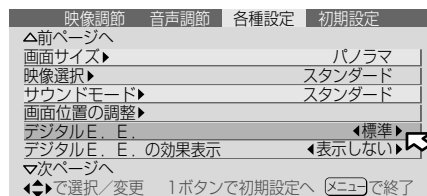
■ **テレビ消し忘れ防止機能**
テレビの操作を3時間以上しなかったときに、テレビの電源を自動的に切ります。

デジタルE.E.センサーを使う

デジタルE.E.とは、画面の明るさを、明るさセンサーによって自動的に調節する機能です。
また、デジタルE.E.の効果をハートマークでテレビ画面に表示させることができます。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「デジタルE.E.」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

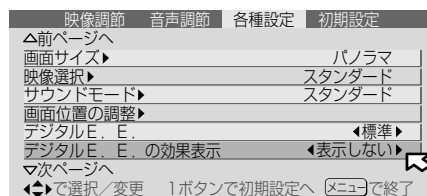
「明るめ」:
画面の明るさを標準よりやや明るくします。

「標準」:
画面の明るさの標準です。通常はここに設定します。

「ひかえめ」:
画面の明るさを標準よりやや暗くします。

「切り」:
画面の明るさを常に一定にします。

以下の手順はデジタルE.E.センサーの効果をテレビ画面に表示させたいときの設定です。表示しないときは、手順6に進みます。

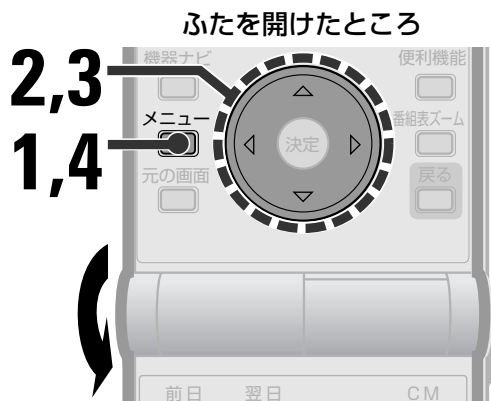
4 カーソルボタン(▲▼)を押して「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「表示する」:
デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。

「表示しない」:
効果のレベルは表示されません。

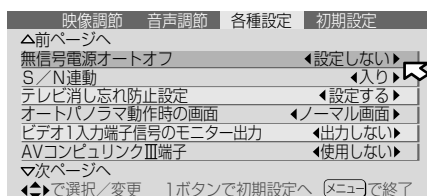
6 メニューボタンを押して終了する

無信号電源オートオフを使う

放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源を切る機能です。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「無信号電源オートオフ」を選ぶ

● **「各種設定」メニューは2ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

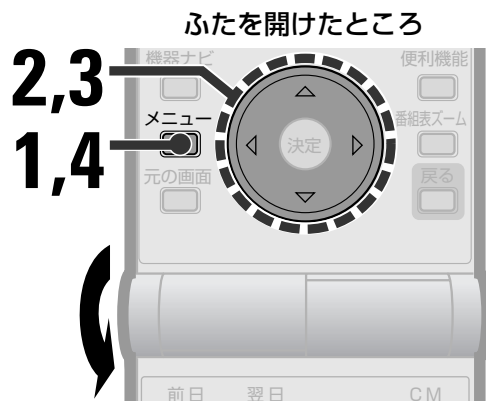
3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

「設定する」：
放送やビデオ再生終了後、約4分経過すると、自動的に電源が切れます。

「設定しない」：
この機能は働きません。

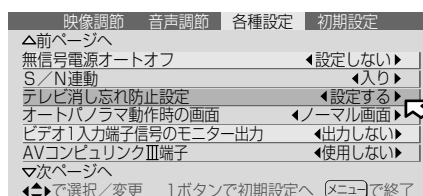
4 メニューボタンを押して終了する

テレビの消し忘れを防ぐ

何も操作しない状態が約3時間以上続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「テレビ消し忘れ防止設定」を選ぶ

● **「各種設定」メニューは2ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

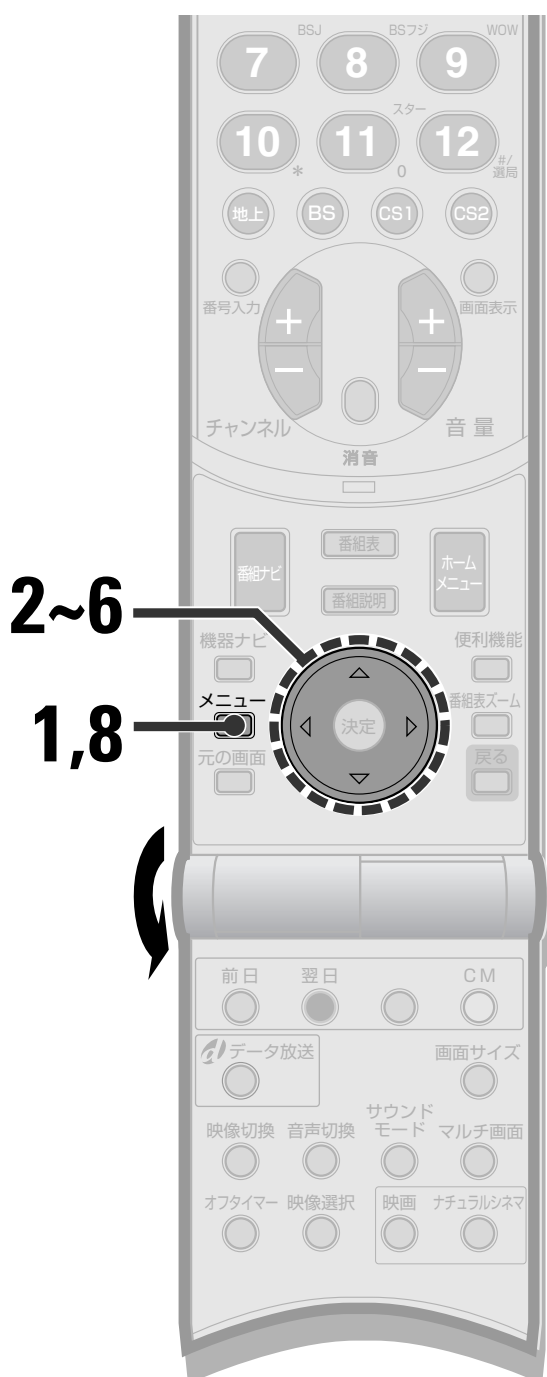
「設定する」：
何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

「設定しない」：
この機能は働きません。

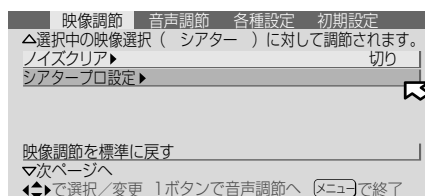
4 メニューボタンを押して終了する

映像をより細かく調節する

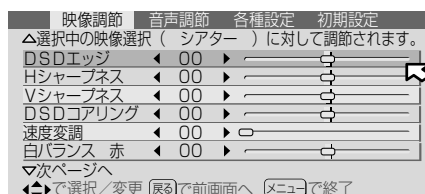
映像選択で「シアター」を選択しているときは、さらに細かい映像の調節ができます。(通常は、お買い上げ時の設定のままで十分な画質になるように調節されています。)
シアタープロの設定は、ご覧になる映像をより細かく調節する機能です。設定できる項目は、微妙な調節を行うために専門的な内容になっています。調節するときは、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、設定項目の内容を把握されることをおすすめします。

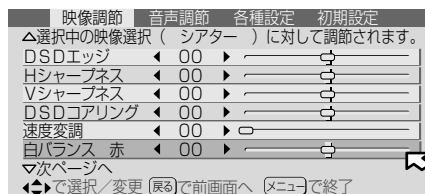
準備: 映像選択で「シアター」を選んでください。(☞60 ページ)

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「映像調節」メニュー(全2ページ)の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押して メニュー画面を表示させる

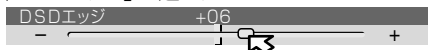
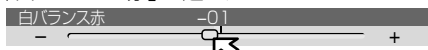
2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「映像調節」メニューの「シアタープロ設定」を選ぶ

● **「映像調節」メニューは2ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

設定画面が表示されます。

● **「シアタープロ設定」の画面は2ページ構成です。**
上記の画面イラストは1ページ目です。2ページ目はカーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して調節したい項目を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押す

調節画面が表示されます。

例:「DSDエッジ」を選んだとき

例:「白バランス 赤」を選んだとき

6 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

- 数秒間操作を行わないと、手順3の画面に戻ります。

7 他の項目も調節するときは手順4から手順6をくり返す

8 メニューボタンを押して終了する

お買い上げの時の設定に戻すには

手順4で「シアタープロ設定を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

「シアタープロ」の設定について

「DSDエッジ」

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻(きゅうしゅん)にして、映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。
設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
(設定値:輪郭をつけない −30･･･+30 輪郭をつける)

「Hシャープネス、Vシャープネス」

映像の輪郭部に、明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて、輪郭を強調してはっきりとした映像にします。
調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち、不自然な映像になることがあります。
(設定値:輪郭を強調しない −30･･･+30 輪郭を強調する)

「DSDコアリング」

画面のざらざら感(ノイズ)を抑えるため、原因となる微少信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに+側に調節します。
(設定値:あまりノイズを除去しない −5･･･+5 よりノイズを除去する)

「速度変調」

映像の縦線の輪郭強調度合を調節します。
通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままでお使いください。
忠実な映像ではシャッキリ感が不足していると感じたときに、少しだけ補正してください。
(設定値:補正しない 0･･･+15 補正する)

「白バランス 赤、白バランス 青」

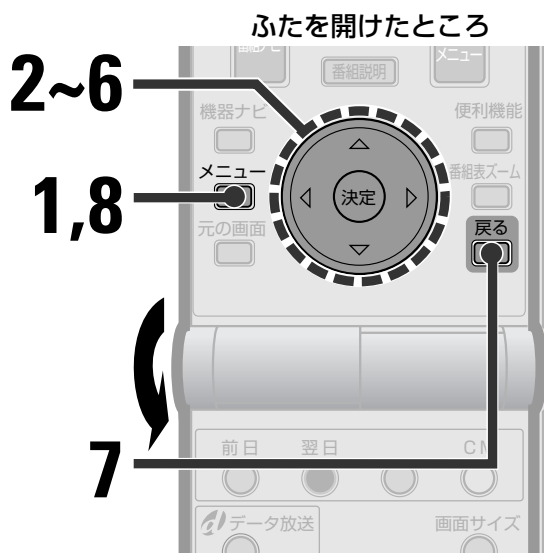
映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。
調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。
(設定値:赤みをつけない −30･･･+30 赤みをつける)
(設定値:青みをつけない −30･･･+30 青みをつける)

「色バランス」

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると(☞61ページ)、他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。
(設定値:青みを弱くする−5･･･+5 青みを強くする)

チャンネルや外部入力を設定する

地上波放送のチャンネルをひとつずつ設定する

各チャンネルを個別に設定します。「地上波放送のチャンネル合わせをする」(☞24ページ)では全く受信できないときや、一部のチャンネルが受信できないときにこの設定を行います。
また、空きチャンネルや画面表示の設定を変更できます。
準備: 設定を行う前に、地上波放送のチャンネルに切り換えてください。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

チャンネルボタン設定の項目について

「見るチャンネル」:
チャンネル数字ボタンを押したときに受信するチャンネルを選びます。
(1〜12:VHF放送、13〜62:UHF放送、C13〜C38:CATV放送)

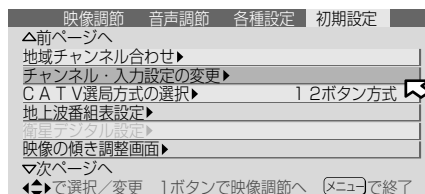
「画面の表示」:
テレビ画面上に表示するチャンネル番号を選びます。
(お買い上げ時は、押したチャンネル数字ボタンの番号が表示されるように設定されています。)

「+−ボタン選局」:
チャンネル+/−ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします(チャンネルスキップ)。放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

「GRT(ゴースト低減)」:
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
通常は「入り」を選びます。(「地域チャンネル合わせ」を行うと、自動的に「入り」に設定されます。ただし、1チャンネルまたは2チャンネルに受信するチャンネルがない場合には、ゴースト低減機能は「切り」になります。)

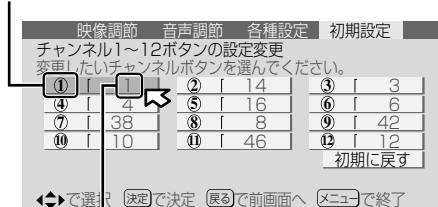
「受像微調整」:
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「チャンネル・入力設定の変更」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

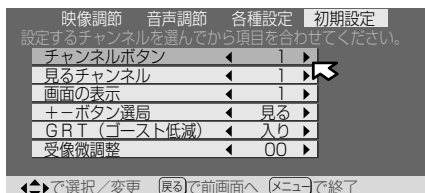
「チャンネル1〜12ボタンの設定変更」画面に切り換わります。

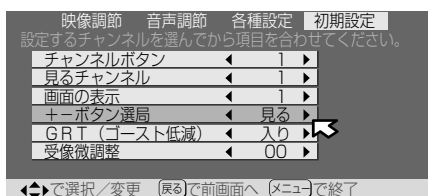
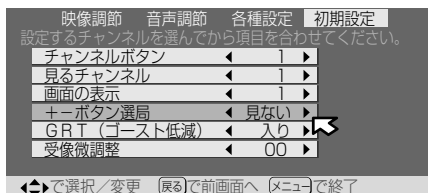
例:「23区」のとき

チャンネル数字ボタンの番号

受信するチャンネルの番号

4 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して変更したいチャンネル数字ボタンを選び、決定ボタンを押す

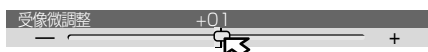
設定変更画面に切り換わります。

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
設定するチャンネルを選んでから項目を合わせてください。
チャンネルボタン　◀ 1 ▶
見るチャンネル　◀ 1 ▶
画面の表示　◀ 1 ▶
+−ボタン選局　◀ 見る ▶
GRT(ゴースト低減)　◀ 入り ▶
受像微調整　◀ 00 ▶
で選択/変更　戻るで前画面へ　メニューで終了

5 カーソルボタン(▲▼)を押して、変更したい項目を選ぶ

● 各項目の内容は、左ページの「チャンネルボタン設定の項目について」をご覧ください。

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
設定するチャンネルを選んでから項目を合わせてください。
チャンネルボタン　1
見るチャンネル　1
画面の表示　1
＋－ボタン選局　見る
ＧＲＴ（ゴースト低減）　入り
受像微調整　00
で選択／変更　戻るで前画面へ　メニューで終了

6 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
設定するチャンネルを選んでから項目を合わせてください。
チャンネルボタン　1
見るチャンネル　1
画面の表示　1
＋－ボタン選局　見ない
ＧＲＴ（ゴースト低減）　入り
受像微調整　00
で選択／変更　戻るで前画面へ　メニューで終了

● 「受像微調整」を選んだときには、調整画面が表示されます。カーソルボタン(◀▶)を押して、映像が最もきれいに映るように調整します。(数秒間操作を行わないと、調整画面が消えます。)

7 他のチャンネル数字ボタンの設定も変更するときは、戻るボタンを押す

手順3の画面に戻ります。
手順4から手順6をくり返して設定を変更します。

8 メニューボタンを押して終了する

空きチャンネルに受信できる他のチャンネルを割り当てるには

1 手順1～手順4を行い、手順4で放送を受信していないチャンネル数字ボタンを選ぶ

2 手順5で「見るチャンネル」を選ぶ

3 受信できるチャンネルの番号をカーソルボタン(◀▶)で選ぶ

4 メニューボタンを押して終了する

チャンネルの画面表示を変えるには

例えば、42チャンネルを選んだときに、画面表示も「42」になるように設定できます。

1 手順1～手順4を行い、手順4で画面表示を変更したいチャンネルボタンを選ぶ

2 手順5で「画面の表示」を選ぶ

3 表示させたい番号をカーソルボタン(◀▶)で選ぶ
•この例では「42」を選びます。

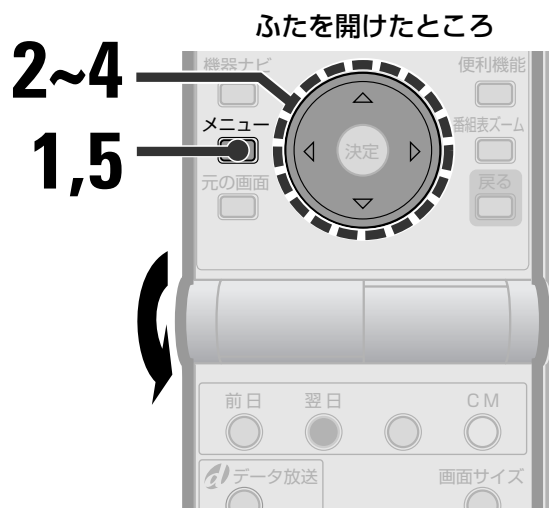
4 メニューボタンを押して終了する

ご注意

●「地上波番組表設定」(☞26～29ページ)でホスト局に設定しているチャンネルを「見ない」(スキップ)に設定すると、地上波放送の番組データは受信されません。地上波番組表を使うには、ホスト局のチャンネルは「見る」に設定してください。
●「＋－ボタン選局」を「見ない」(スキップ)に設定したチャンネルは地上波番組表に表示されません。地上波番組表で表示するには「見る」に設定してください。
●空きチャンネルに受信できるチャンネルを新たに追加した場合、地上波番組表にそのチャンネルの番組情報を表示するには「放送局名設定」を行ってください。(☞27ページ)

CATVチャンネルを設定する

CATVチャンネルの選局方法を選ぶ

CATVをご覧の方は、まずこちらの設定を行ってください。
チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで直接入力して選局することができます。
●CATVをご覧にならない場合、CATVをご覧の場合でも受信できるチャンネル数が12以下のときは、この設定は必要ありません。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
● **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

CATVについて

CATV（ケーブルテレビ）はサービスの行われている地域でだけ受信できます。
CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。
また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

「数字入力方式」でのチャンネルの選びかた

「数字入力方式」に設定した場合、地上波放送とCATVのチャンネルを選ぶには、チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで入力します。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは
0（11）、1と押す

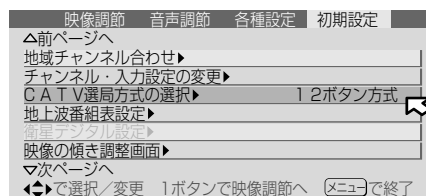
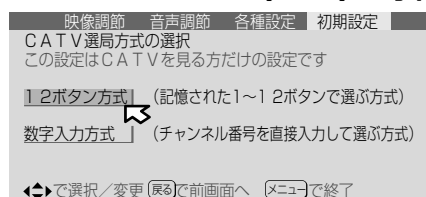
例：VHFの12チャンネルを選局するときは
1、2と押す

例：CATVのチャンネル34を選局するときは
3、4と押す

● 1けたのチャンネル番号を入力するときは、チャンネル番号を入力したあと、選局（12）ボタンを押しても入力できます。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは
1、選局（12）と押す

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「CATV選局方式の選択」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

4 カーソルボタン（▲▼）を押して「数字入力方式」を選ぶ

5 メニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

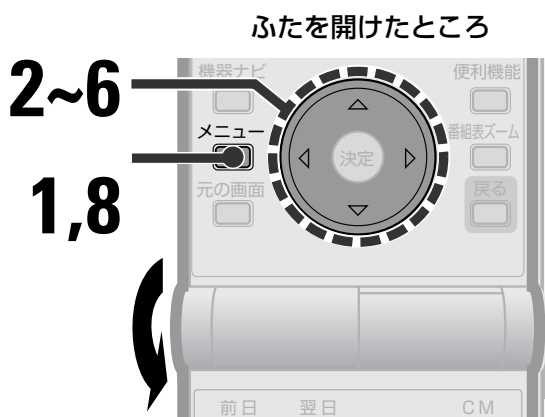
リモコンの1から12ボタンで直接選局できるように戻すには、手順1から手順3を行い、手順4で「12ボタン方式」を選びます。

ご注意

●「数字入力方式」に設定すると、地上波放送のチャンネルも数字入力方式になります。CATVをご覧にならないときは「12ボタン方式」を選んでください。

CATVチャンネルをひとつずつ設定する

受信するCATVチャンネルを個別に設定します。

準備: 設定を行う前に、「CATV選局方式の選択」で「数字入力方式」を選び、CATVのチャンネル（C13〜C38）に切り換えてください。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

CATVチャンネル設定の項目について

「設定するチャンネル」:
設定するチャンネルの番号を選びます。（C13〜C38）

「＋－ボタン選局」:
チャンネル＋/－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。（チャンネルスキップ）
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

「GRT（ゴースト低減）」:
ゴースト（映像が2重・3重になって映る現象）を低減するか、しないかの設定をします。
通常は「入り」を選びます。（お買い上げ時はすべてのCATVチャンネルで「入り」になっています。）

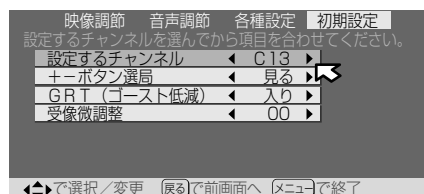
「受像微調整」:
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

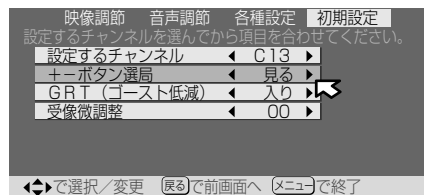
1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「チャンネル・入力設定の変更」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面に切り換わります。

4 カーソルボタン（◀▶）を押して設定するチャンネルを選ぶ

5 カーソルボタン（▲▼）を押して項目を選ぶ

● 各項目の内容は、左記の「CATVチャンネル設定の項目について」をご覧ください。

6 カーソルボタン（◀▶）を押して設定を変更する

● 「受像微調整」を選んだときには、調整画面が表示されます。カーソルボタン（◀▶）を押して、映像が最もきれいに映るように調整します。（数秒間操作を行わないと、調整画面が消えます。）

7 他のチャンネルの設定も変更するときは、手順4から手順6をくり返す

8 メニューボタンを押して終了する

チャンネルや外部入力を設定する（つづき）

外部入力の設定を変更する

本機の外部入力端子（ビデオ1からビデオ4）につないだ機器に合わせて、画面に表示される外部入力名を変更したり、使用していない外部入力を選ばないようにスキップさせせることができます。

準備: 設定を行う前に、外部入力（ビデオ1からビデオ4）に切り換えてください。

● 「i −1」、「i −2」の設定を変更することはできません。

ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
　メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **設定を途中でやり直すには**
　戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

外部入力の設定の項目について

「設定する入力」:
設定を変更する外部入力名を選びます。
（ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4）

「画面の表示」:
画面に表示される外部入力名を変更したいときに選びます。
（ビデオ1〜4、VTR1、VTR2、DVD、BSデジタル、CSデジタル、BS/CS、ムービー、ゲーム）

「入力スキップ設定」:
リモコンの入力切換ボタンでその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。
使用していない外部入力をスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

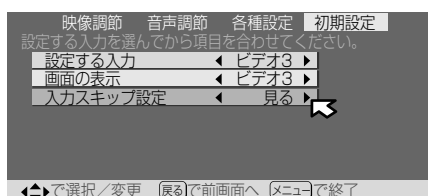
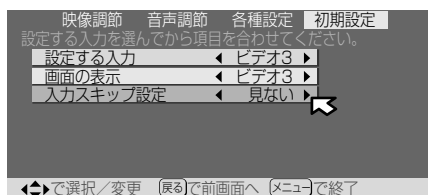
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「チャンネル・入力設定の変更」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面に切り換わります。

4 カーソルボタン（◀▶）を押して「設定する入力」から設定を変更する外部入力名を選ぶ

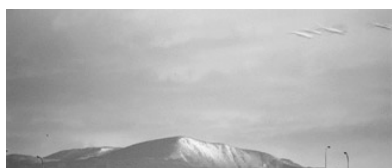
5 カーソルボタン(▲▼)を押して設定を変更する項目を選ぶ

● 各項目の内容は、左ページの「外部入力の設定の項目について」をご覧ください。

6 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

7 他の外部入力の設定も変更するときは、手順4から手順6をくり返す

8 メニューボタンを押して終了する

地上波放送の電子番組ガイドについて

地上波放送の電子番組ガイドとは

地上波放送の電子番組ガイドは、ホスト局（番組データ送信局）から送られてくる番組表（地上波番組表）などのデータを受信し、数日先までの番組表を表示したり、録画予約をするなどの様々な機能を利用できるようにするものです。
ホスト局は、テレビ電波のすき間を利用して番組表などの様々な情報を送信しています。本機はそれらの情報を受信する事で、2日分の全番組表を表示することができます。ジャンル検索では、最大7日先の番組までを検索できます（2002年9月現在）。

画面と画面のすき間
（この部分を利用して番組データなどが送られています。この部分はふつう見られません。）

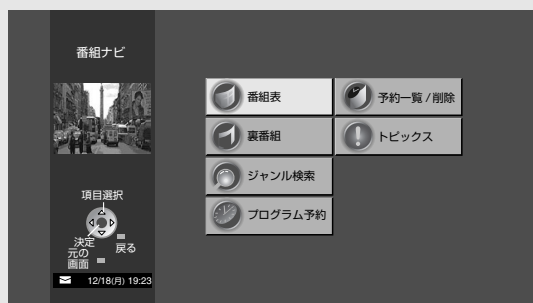
番組表画面
ホスト局から送られてくる各放送の番組データを、新聞などのテレビ欄のように表示できます。

地上波番組表をお楽しみいただく前に

- 正しくチャンネル設定されているかを確認してください。（☞ 24、80ページ）チャンネル設定が間違っていると、地上波番組表が正しく働かない場合があります。特に、ホスト局が正しく設定されていない場合は、地上波番組表はご使用になれませんのでご注意ください。
- 受信されているチャンネルは、全て放送局名を設定してください。（☞ 27ページ） 放送局名が正しく設定されていないチャンネルは、番組表に正しく表示されません。
- 番組データの内容は、ホスト局によって異なります。
  地域チャンネル表（☞ 30～33ページ）でホスト局が複数受信できる地域の場合、実際の放送内容と異なる番組表が表示されるときは、ホスト局を再設定してください。（☞ 28ページ）
- CM地域設定（☞ 29ページ）が正しく設定されていないと、地上波番組表が正しく働かない場合があります。
- 地上波番組表が受信しにくいときは、「番組表イコライザー」（☞ 29ページ）を「オフ」に設定してください。

番組ナビについて

「番組ナビ」画面は、電子番組ガイドの各機能を操作するための画面です。
地上波放送を視聴中に番組ナビボタンを押すと、地上波放送の番組ナビ画面が表示されます。
（衛星デジタル放送を視聴中の場合は、衛星デジタル放送の番組ナビ画面が表示されます。☞ 94ページ）

番組ナビ（地上波放送のとき）

■ **番組表**（☞88ページ）
地上波放送の番組を、新聞のテレビ欄のように一覧表示して、選局や予約をすることができます。
● 番組表は、番組表ボタンを押すだけで表示できます。

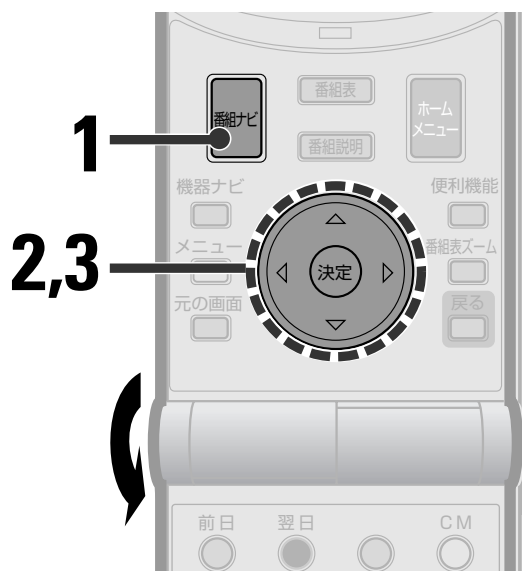
■ **裏番組**（☞90ページ）
放送中の地上波番組の番組タイトルを一覧表示して、選局することができます。

■ **ジャンル検索**（☞91ページ）
見たい番組をジャンルから検索して、選局や予約をすることができます。

■ **プログラム予約**（☞112ページ）
放送する日時とチャンネルを指定して予約をすることができます。

■ **予約一覧/削除**（☞116ページ）
予約した番組の確認や変更、取り消しができます。

■ **トピックス**（☞93ページ）
ホスト局から送られてくる映画・音楽・スポーツなどに関する情報（トピックス）を見ることができます。

ふたを開けたところ

1 番組ナビボタンを押す
番組ナビ画面が表示されます

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して項目を選ぶ

3 決定ボタンを押す

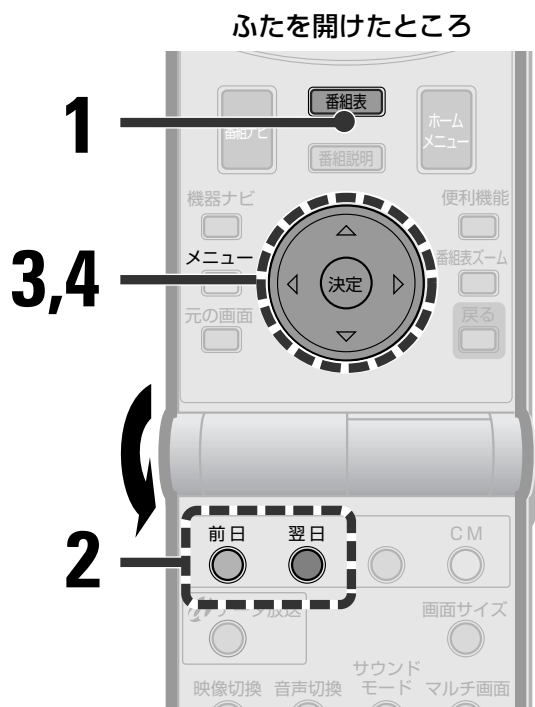
番組ナビ画面を消すには
元の画面ボタンを押します。

見たい番組を探す

番組表から探す

地上波番組表では、現在から2日先までの全番組を表示できます。新聞や雑誌の番組欄を見るような感覚で番組を選べます。
また、放送予定の番組を選んで予約することもできます。(☞102、104 ページ)

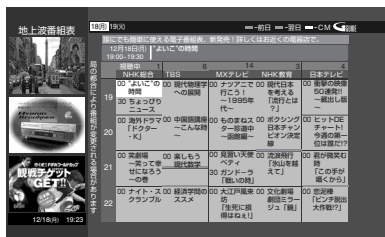
ご注意

- 電源を入れた後、番組表、番組内容の表示などの機能が働くようになるまでに10秒程かかる場合があります。
- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。このようなときには、番組表と実際の放送内容が一致しないことがあります。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

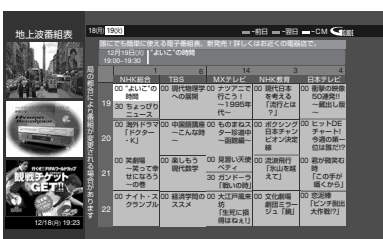
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

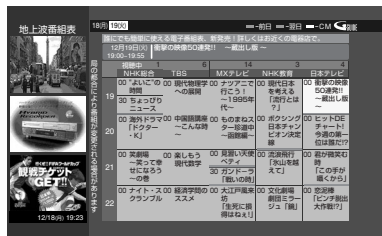
1 番組表ボタンを押す

1度に5局、4時間分表示されます。

● 「番組ナビ」画面で「番組表」を選んでも番組表を表示させることができます。

2 前日/翌日ボタンを押して放送日を選ぶ

選んだ日付の番組が表示されます。

● 翌日の番組まで選択できます。
● 現在の日付より前に戻すことはできません。

3 カーソルボタン（◄►▲▼）を押して番組を選ぶ

選んだ番組の放送時間とタイトルが上部に表示されます。

カーソルボタン（▲▼）を押しつづけると上下に移動して、最大2日分の番組を表示します。
カーソルボタン（◄ ►）を押しつづけると左右に移動してチャンネルが変わります。

4 決定ボタンを押す

放送中の番組を選んだとき：

番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。

「見る」を選択すると、番組表が消えて選んだ番組に切り換わります。
「予約する」を選択すると、「予約設定」画面が表示されます。（☞ 102ページ）

放送予定の番組を選んだとき：

「予約設定」画面が表示されます。（☞ 102ページ）

操作の途中で番組表を消すには

番組表ボタンを押します。

選んだ番組の内容を知りたいときは

手順3で番組説明ボタンを押します。詳しい番組の情報を見ることができます。

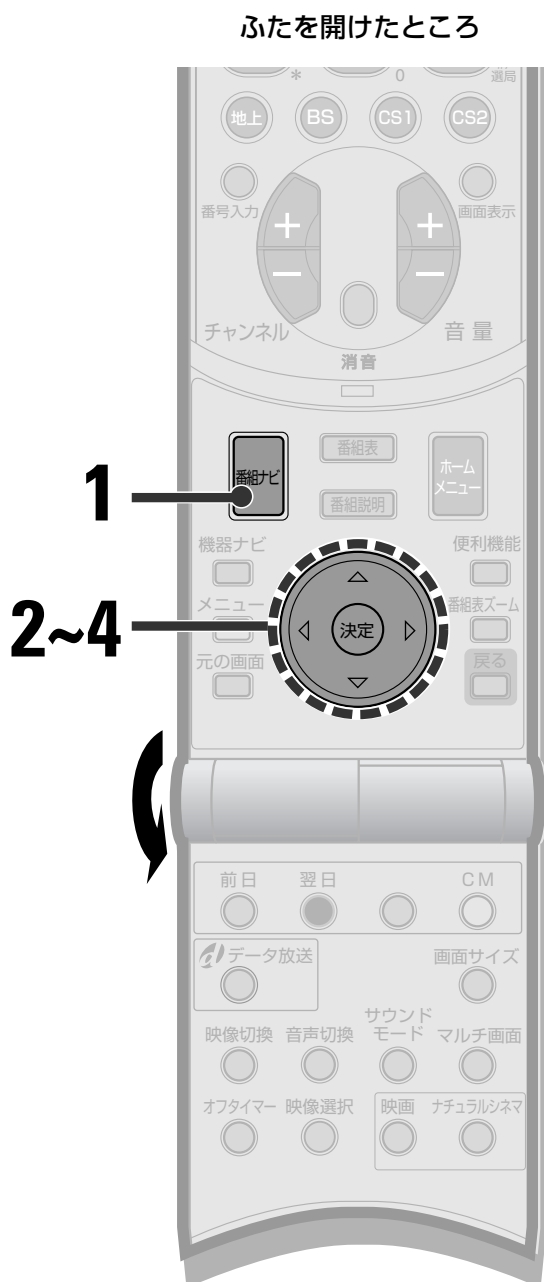
CMの詳しい内容を知りたいときは

番組表が表示されている間に以下の操作を行うことで、CMの詳細を見ることができます。（☞ 92ページ）

・ CMボタンを押す。
・ 文字CMを選んで、決定ボタンを押す。
・ パネルCMを選ぶ。

見たい番組を探す（つづき）

裏番組から探す

現在放送している地上波放送の番組を一覧表示して、番組を選べます。

1 番組ナビボタンを押して番組ナビ画面を表示させる

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「裏番組」を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の一覧が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して見たい番組を選ぶ

4 決定ボタンを押す

選んだ番組に切り換わります。

● **設定を途中でやり直すときは**

戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**

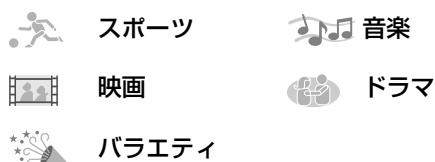
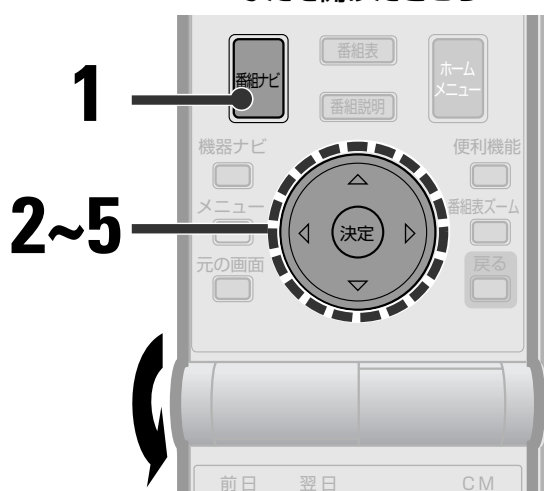
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

選んだ番組の内容を知りたいときは

手順3で番組説明ボタンを押します。詳しい番組の情報を見ることができます。（☞ 92ページ）

検索して番組を選ぶ

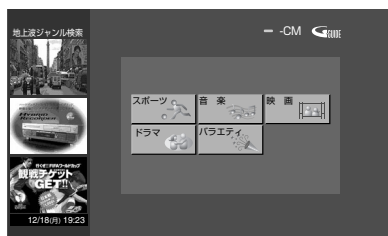
番組のジャンル(種類)を選んで、番組を検索することができます。
検索結果一覧からお好みの番組を選局や予約できます。

次のジャンルの中から選べます

ふたを開けたところ

- **設定を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押して番組ナビ画面を表示させる

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「ジャンル検索」を選び、決定ボタンを押す

ジャンル項目が表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してジャンルを選び、決定ボタンを押す

検索結果の一覧が表示されます。

例:「スポーツ」を選んだとき

4 カーソルボタン(▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の放送時間とタイトルが上部に表示されます。

- 検索結果が1ページを超える場合は、一覧の横にスクロールバーが表示されます。表示されていない番組は、カーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。

5 決定ボタンを押す

放送中の番組を選んだとき:
番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。
「見る」を選択すると、番組表が消えて選んだ番組に切り換わります。
「予約する」を選択すると、「予約設定」画面が表示されます。(☞ 102、104ページ)

放送予定の番組を選んだとき:
「予約設定」画面が表示されます。(☞102、104ページ)

選んだ番組の内容を知りたいときは

手順4で番組説明ボタンを押します。詳しい番組の情報を見ることができます。(☞ 92ページ)

ご注意

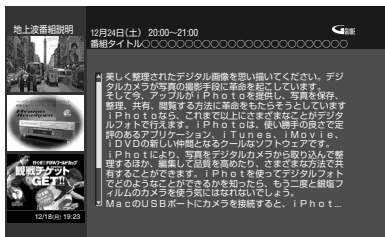
ジャンルによっては検索に時間のかかる場合があります。(検索の途中でも、既に表示されている番組を選んだり、予約することができます。)

番組の内容を確認する

現在ご覧になっている番組や、「番組表」「裏番組」「ジャンル検索」「予約一覧」で選んでいる番組の説明を見ることができます。

ふたを開けたところ

番組説明ボタンを押す

現在選んでいる番組の説明が表示されます。

● 説明が1画面に納まらない場合には、カーソルボタン(▲▼)で、説明内容を上下にスクロールさせることができます。

表示を消すには

戻るボタンまたは番組説明ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

CMを見る

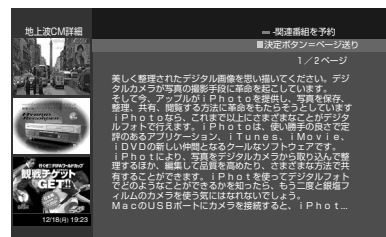
ホスト局からは、番組データの他にCMや情報が送られてきます。
CMの詳しい説明を見ることができます。
パネルCMと文字CMの2種類があります。
(☞ 88ページ)

ふたを開けたところ

画面上部にCM(黄ボタン)が表示されているときにCMボタンを押す

● CM(黄ボタン)は、次のときに画面上部に表示されます。

番組表、裏番組一覧、検索結果一覧、番組内容、トピックス一覧、トピックス詳細を表示しているとき。

CMの詳細説明が表示されます.

● 2ページ以上の説明があるときは、決定ボタンを押すと説明の次ページに移動します。
● カーソルボタン(▲▼)でCMを切り替えることができます。
● 画面上部に予約(青ボタン)が表示されているときに青ボタンを押すと、関連する番組の「予約設定」画面が表示されます。(☞ 102、104ページ)

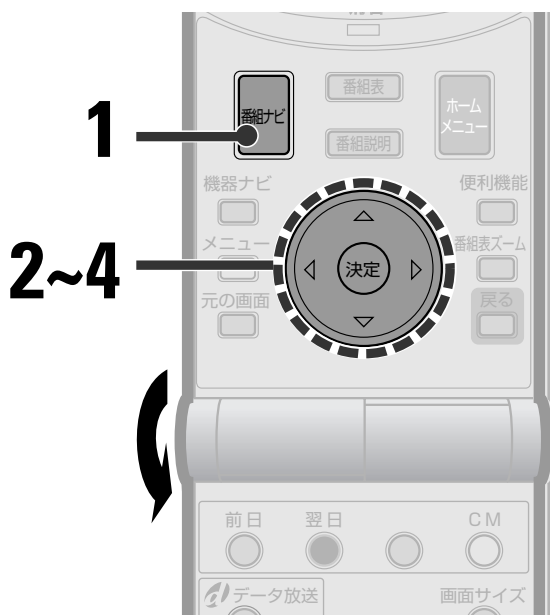
● 以下の操作でもCMの詳細説明を表示することができます。
- ・パネルCMを選ぶ
- ・文字CMを選んで、決定ボタンを押す

ご注意

文字CMによっては詳しい説明がない場合があります。

トピックス情報を見る

ホスト局から送られてくる映画の話題など（トピックス）を見ることができます。
また、28件までのトピックスを「MYトピックス」に保存しておくことができます。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押す

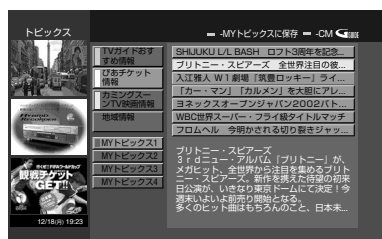
2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「トピックス」を選び、決定ボタンを押す

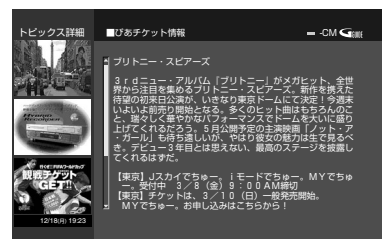
「トピックス」画面が表示されます。

タイトル

MYトピックス

3 カーソルボタン（▲▼）でタイトルを選び、決定ボタンを押す

右側に、選んだタイトルのトピックスが表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）でトピックスを選び、決定ボタンを押す

選んだトピックスの詳細が表示されます。

トピックスを保存するには

手順3で、画面上部に「MYトピックスに保存」と表示されているときに青ボタンを押します。選ばれているトピックスがMYトピックスに保存されます。最大で28件までのトピックスを保存可能です。

● 保存したトピックスは、手順3で「MYトピックス」を選ぶと表示されます。

トピックスを削除するには

MYトピックスから削除したいトピックスを選び、赤ボタンを押します。選ばれているトピックスを削除することができます。

● 赤ボタンで削除できるのは、MYトピックスに保存されているトピックスだけです。

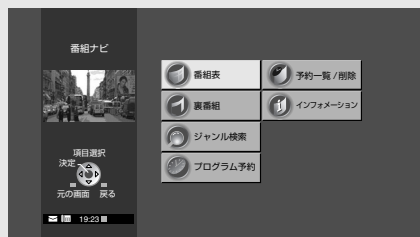
ご注意

● MYトピックスに保存されていないトピックスは、新しいトピックスが受信されると自動的に消去されます。

● トピックスの保存や削除をしてから1分以内に電源をオフにした場合、保存や削除は実行されません。

番組ナビについて

「番組ナビ」画面は、電子番組ガイドの各機能を操作するための画面です。
衛星デジタル放送を視聴中に番組ナビボタンを押すと、衛星デジタル放送の番組ナビ画面が表示されます。
（地上波放送を視聴中の場合は、地上波放送の番組ナビ画面が表示されます。☞87ページ）

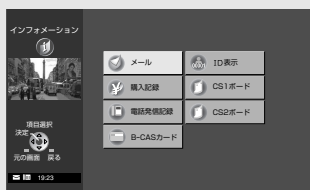
番組ナビ（衛星デジタル放送のとき）

■**番組表**（☞95 ページ）
衛星デジタル放送の番組を、新聞のテレビ欄のように一覧表示して、選局や予約をすることができます。
番組表は、番組表ボタンを押すだけで表示できます。

■**裏番組**（☞ 98 ページ）
放送中の衛星チャンネル番組の番組タイトルを一覧表示して、選局することができます。

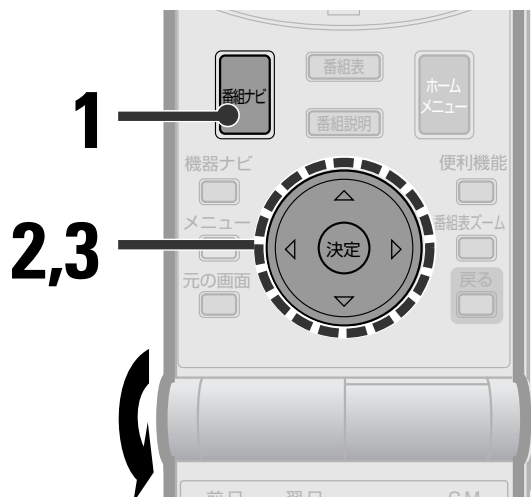
■**ジャンル検索**（☞99 ページ）
見たい番組をジャンルから検索して、選局や予約をすることができます。

■**プログラム予約**（☞112 ページ）
放送する日時とチャンネルを指定しての予約をすることができます。

■**予約一覧 / 削除**（☞116 ページ）
予約した番組の確認、変更、取り消しができます。

■**インフォメーション**
「インフォメーション」画面からは、放送局からのお知らせを見たり、本機に関する情報を確認することができます。

「インフォメーション」画面

・メール（☞ 140ページ）
・購入記録（☞ 125ページ）
・電話発信記録（☞ 143ページ）
・B-CASカード
　B-CASカードの情報が表示されます。
・ID表示
　本機の情報（デコーダID、ステータス）が表示されます。
　・ID表示画面中に青ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報（英文）が表示されます。
・CS1ボード（☞142ページ）
・CS2ボード（☞142ページ）

ふたを開けたところ

1 番組ナビボタンを押す
番組ナビ画面が表示されます

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して項目を選ぶ

3 決定ボタンを押す

番組ナビ画面を消すには
元の画面ボタンを押します。

見たい番組を探す

番組表から探す

現在から一週間先までの全番組を表示できます。新聞や雑誌の番組欄を見るような感覚で番組を選ぶことができます。
また、放送予定の番組を選んで予約しておくこともできます。(☞102、104 ページ)

衛星デジタル番組表　例:BSデジタル放送の場合

便利機能ボタンを押すと…

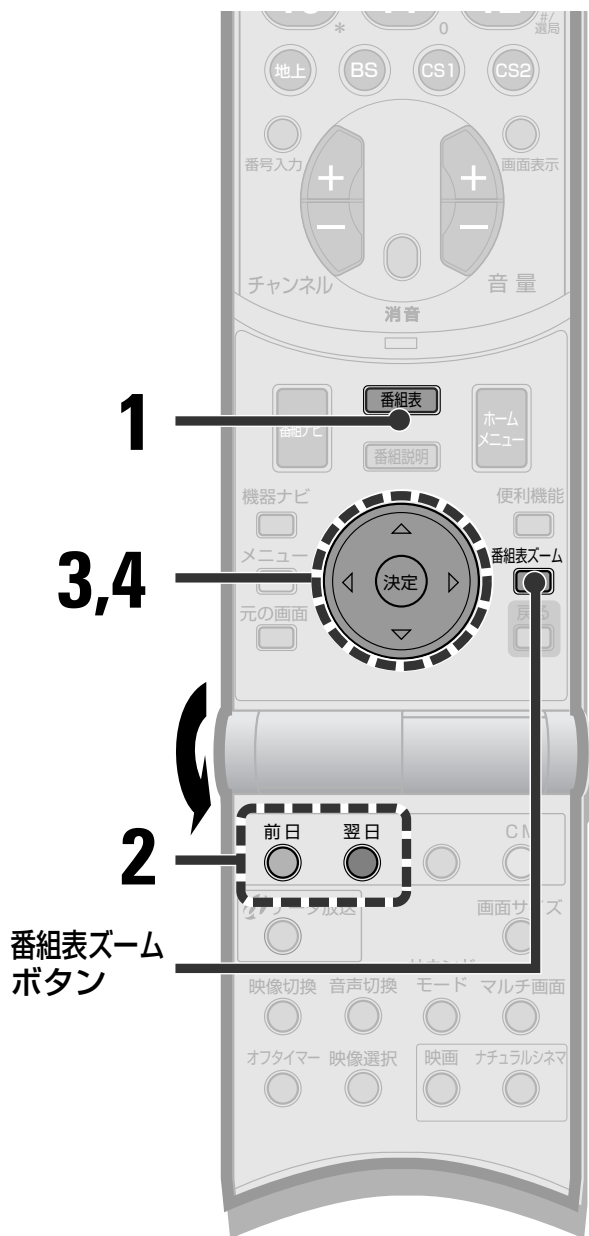
番組表を表示中に便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。カーソルボタン(▲▼)で選択して決定ボタンを押すか、数字ボタンで選択する事で以下の機能が使用できます。

- ●最大7日先までの日付の番組表への表示切換
- ●視聴制限の一時解除(☞ 132ページ)
- ●番組表に表示する表示内容の切換(☞ 133ページ)
- ●チャンネル数字ボタンによるチャンネル番号の直接入力(☞ 56ページ)

ご注意

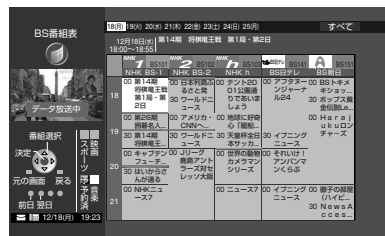
- ●電源を入れた後、番組表、番組内容表示などの機能が働くようになるまでに10秒程かかる場合があります。
- ●「選局対象」(☞133ページ)の設定によって、番組表に表示されるチャンネルは異なります。
- ●放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。このようなときには、番組表と実際の放送内容が一致しないことがあります。

番組表から探す(つづき)

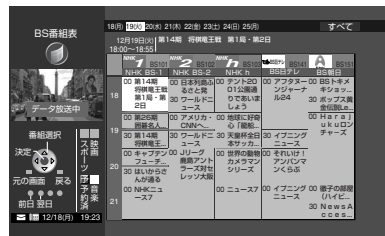
ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

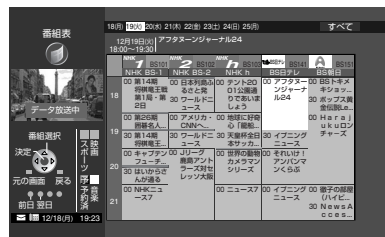
1 番組表ボタンを押す

1度に5局、4時間分表示されます。

● 「番組ナビ」画面で「番組表」を選んでも番組表を表示させることができます。

2 前日/翌日ボタンを押して放送日を選ぶ

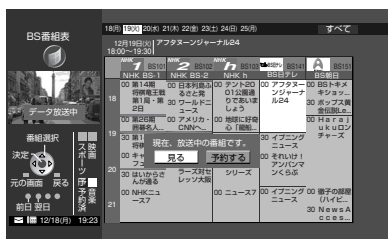
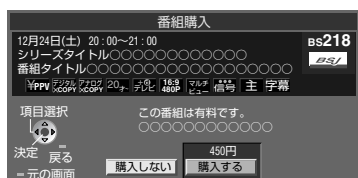
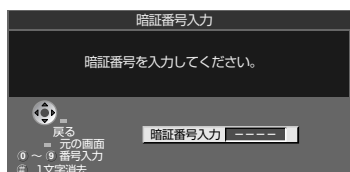
選んだ日付の番組が表示されます。

● 最大7日先まで選択できます。
● 現在の日付より前に戻すことはできません。

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の放送時間とタイトルが上部に表示されます。

カーソルボタン(▲▼)を押しつづけると上下に移動して、1週間分の番組を表示します。
カーソルボタン(◀ ▶)を押しつづけると左右に移動してチャンネルが変わります。

4 決定ボタンを押す

放送中の番組を選んだとき：

番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。

「見る」を選択すると、番組表が消えて選んだ番組に切り換わります。
「予約する」を選択すると、「予約設定」画面が表示されます。（☞ 102、104ページ）
番組が有料放送の場合には、購入画面（☞124ページ）が表示されます。

● 視聴制限（☞126ページ）の対象になる番組を選んだ場合には、暗証番号の入力が必要になります。

放送予定の番組を選んだとき：

「予約設定」画面が表示されます。（☞ 102、104ページ）

番組表を表示しているときは

● サービス切換ボタン（テレビボタン、ラジオボタン、データボタン）を押すと、表示されている番組表のサービスを切り換えることができます。
● チャンネル数字ボタンを押すと、登録されているチャンネルが中央に表示されます。
● 番号入力ボタンを押すと、数字ボタンで入力してチャンネルを選ぶことができます。
● 選局ボタンを押すと、「お好み選局」画面（☞ 57ページ）が表示されます。チャンネルを選択すると、選択したチャンネルが番組表の中央に表示されます。

選んだ番組の内容を知りたいときは

手順3で番組説明ボタンを押します。詳しい番組の情報を見ることができます。

番組表を拡大して見るには

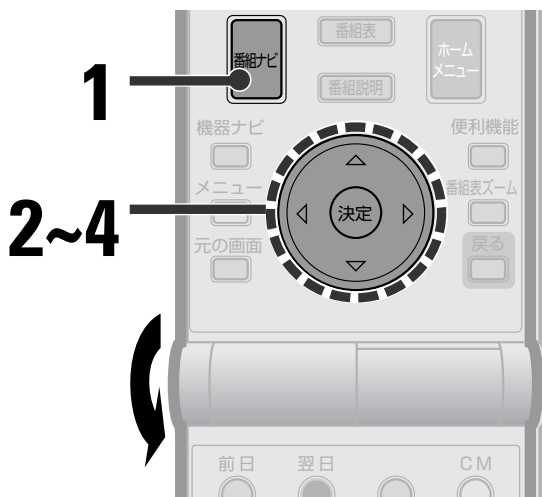
番組表を表示しているときに番組表ズームボタンを押します。番組表が画面全体に拡大されます。もう一度番組表ズームボタンを押すと、元に戻ります。

操作の途中で番組表を消すには

番組表ボタンを押します。

裏番組から探す

現在放送している衛星デジタル放送の番組を一覧表示して、番組を選べます。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押して番組ナビ画面を表示させる

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「裏番組」を選び、決定ボタンを押す

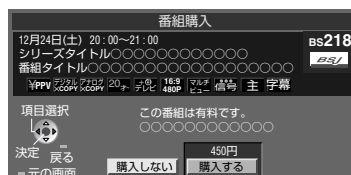
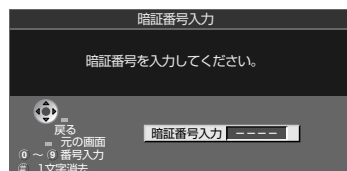
現在放送中の一覧が表示されます。

●表示しきれない番組は、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと表示されます。
● 地上/BS/CS 1 /CS2ボタンを押すと、選んだ放送の裏番組一覧に切り換わります。
● サービス切換ボタンを押すと、選択した種類の放送の裏番組だけが一覧に表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して見たい番組を選ぶ

4 決定ボタンを押す

裏番組一覧が消え、選んだ番組に切り換わります。

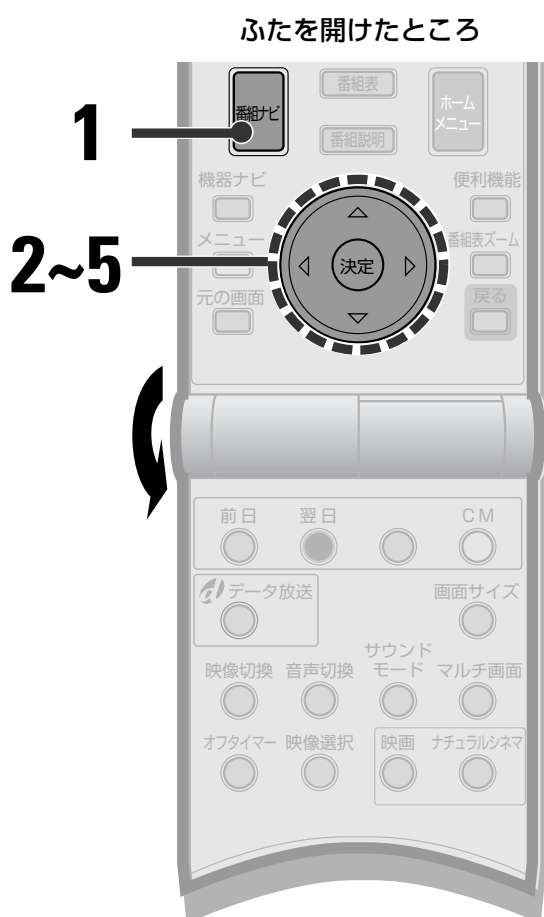
● 有料放送を選んだ場合には、購入画面(☞124ページ)が表示されます。

● 視聴制限(☞126ページ)の対象になる番組を選んだ場合には、暗証番号の入力が必要になります。

便利機能ボタンを押すと…

裏番組の一覧を表示中に便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。カーソルボタン(▲▼)で選択して決定ボタンを押すと以下の機能が使用できます。

●視聴制限の一時解除(☞132ページ)
●裏番組一覧に表示する表示内容の切換(☞133ページ)

検索して番組を選ぶ

番組のジャンル(種類)を選んで、番組を検索することができます。
検索結果一覧からお好みの番組を選局や予約できます。

次のジャンル(種類)の中から選んでください。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押して番組ナビ画面を表示させる

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「ジャンル検索」を選び、決定ボタンを押す

ジャンル項目が表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してジャンルを選び、決定ボタンを押す

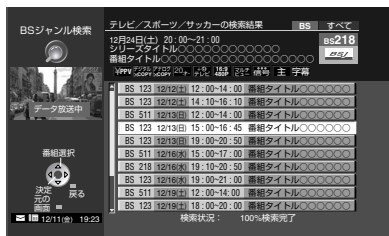
検索結果の一覧が表示されます。

●検索結果が1ページを超える場合は、一覧の横にスクロールバーが表示されます。表示されていない番組はカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。
● BSを見ている時にはBS、CS1はCS1、CS2はCS2の番組のみが検索できます。
●「スポーツ」「教養・情報」「映画」「その他」を選んだ場合は、さらにジャンルを絞り込んで検索することもできます。
●「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合には、「すべて」を選んで決定ボタンを押してください。

次ページへ

見たい番組を探す（つづき）

4 カーソルボタン（▲▼）を押して番組を選ぶ

選んだ番組の放送時間とタイトルが上部に表示されます。

● サービス切換ボタンを押すと、選択した種類の放送だけで再検索することができます。

5 決定ボタンを押す

放送中の番組を選んだとき：

番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。

「見る」を選択すると、番組表が消えて選んだ番組に切り換わります。
「予約する」を選択すると、「予約設定」画面が表示されます。（☞ 102、104ページ）

● 番組が有料放送の場合には、購入画面（☞124ページ）が表示されます。

● 視聴制限（☞126ページ）の対象になる番組を選んだ場合には、暗証番号の入力が必要になります。

放送予定の番組を選んだとき：

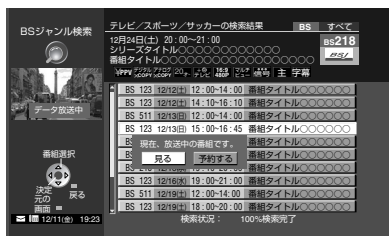
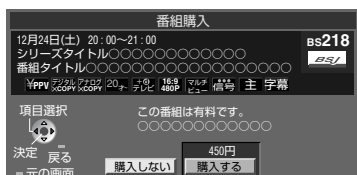
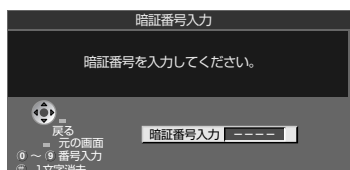
「予約設定」画面が表示されます。（☞ 102、104ページ）

ご注意

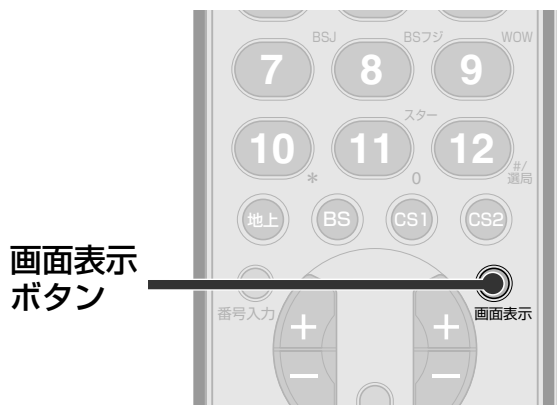
ジャンルによっては検索に時間のかかる場合があります。（検索途中でも、既に表示されている番組を選んだり、予約する事はできます）。

便利機能ボタンを押すと…

ジャンル検索結果の一覧を表示中に便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。カーソルボタン（▲▼）で選択して決定ボタンを押すと以下の機能が使用できます。

●視聴制限の一時解除（☞ 132ページ）
●検索結果一覧に表示する表示内容の切換（☞133ページ）

番組の内容を確認する

視聴中の番組情報を見る

番組を視聴中に、その番組に関する情報を見ることができます。

画面表示ボタンを押す

現在選局中の番組名、放送時間、その番組に関するアイコン、現在時刻などが表示されます。

● アイコンの意味については181ページの「アイコン一覧」をご覧ください。

約5秒経過すると、表示はチャンネル番号の表示のみになります。

表示を消すには

もう一度画面表示ボタンを押します。

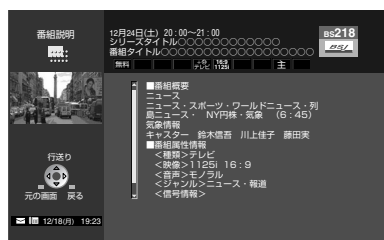
● チャンネルを切り換えたときも、番組情報が数秒間表示されます。(☞57 ページ)

番組の説明を見る

現在ご覧になっている番組や、「番組表」「裏番組」「ジャンル検索」「予約一覧」で選んでいる番組の説明を見ることができます。

ふたを開けたところ

番組説明ボタンを押す

現在選んでいる番組の説明が表示されます。

● 説明が1画面に納まらない場合には、カーソルボタン(▲▼)で、説明内容を上下にスクロールさせることができます。

表示を消すには

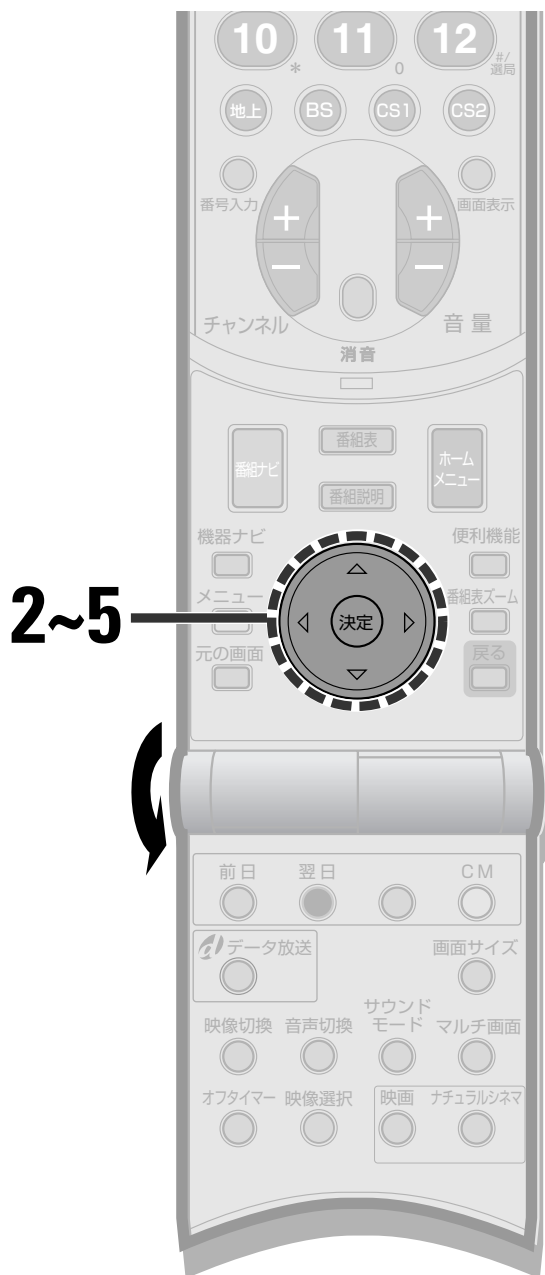
戻るボタンまたは番組説明ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

便利機能ボタンを押すと…

「番組説明」画面中に便利機能ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
カーソルボタン(▲▼)で選択して決定、または数字ボタンで選択する事で、「番組概要」「番組属性」「番組詳細」の先頭へ切り換えることができます。

見たい番組を予約する–「視聴予約」

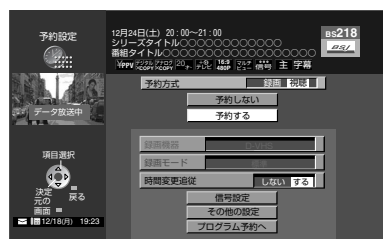
本機では見逃したくない番組を予約できます。予約した番組の5秒前になると予約したチャンネルに自動的に切り換わります。

●番組ではなく、日付とチャンネルを指定して予約をすることもできます（プログラム予約）。（☞112ページ）

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

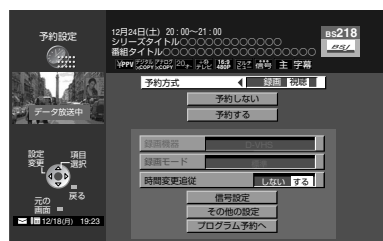
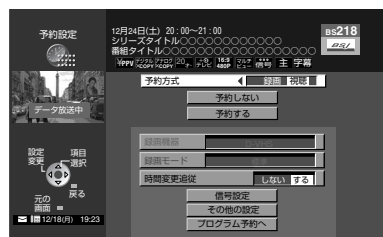
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

● 「予約設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「予約設定」画面を表示するには89、96、97ページをご覧ください。

1 番組表から予約したい番組を選ぶ

「予約設定」画面が表示されます。

例：衛星デジタル放送の場合

● 現在放送中の番組を選んだときは、番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。「予約する」を選択すると、「予約設定」画面に切り換わります。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して「予約方式」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押して「視聴」を選ぶ

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して設定項目を選び、設定する

各ページをご覧になって設定してください。

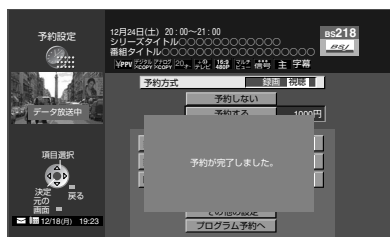
時間変更追従: ☞107ページ
「する」に設定すると、番組の開始時間に変更があった場合に、最大3時間まで開始時間を変更します。

信号設定: ☞108ページ
映像や音声の信号をあらかじめ設定しておく事ができます。

その他の設定: ☞ 109ページ
連続した予約や、番組の開始、終了時刻の設定などができます。

● 地上波放送の番組を予約する場合は、「時間変更追従」「信号設定」の項目は選べません。

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「予約する」を選び、決定ボタンを押す

「予約完了」画面が数秒間表示されます。

● 有料番組の場合は「予約する」の横に、購入するのに必要な金額が表示されます。
● 予約の状況によっては、完了画面のかわりに別の画面が出ることがあります。(「予約時のメッセージについて」☞ 117ページ)

● 予約した番組が始まる30秒前になると、「まもなく予約された番組が開始します」と画面に表示されます。
番組の始まる５秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。

プログラム予約へ切換えるには

「プログラム予約へ」を選んで決定ボタンを押すと、プログラム予約の予約設定画面(☞112ページ)が表示されます。(このとき、日付と開始時刻、終了時刻は選択していた番組の時刻となります。)

有料番組を予約したときには

有料番組を予約した場合には、予約が実行されれば自動的に番組が購入されます。予約が実行されると、実際には視聴や録画をしていなくても料金は請求されます。

視聴予約を取り止めたいときには

手順4でカーソルボタン(▲▼)を押して「予約しない」を選び、決定ボタンを押してください。

予約を変更するまたは取り消すには

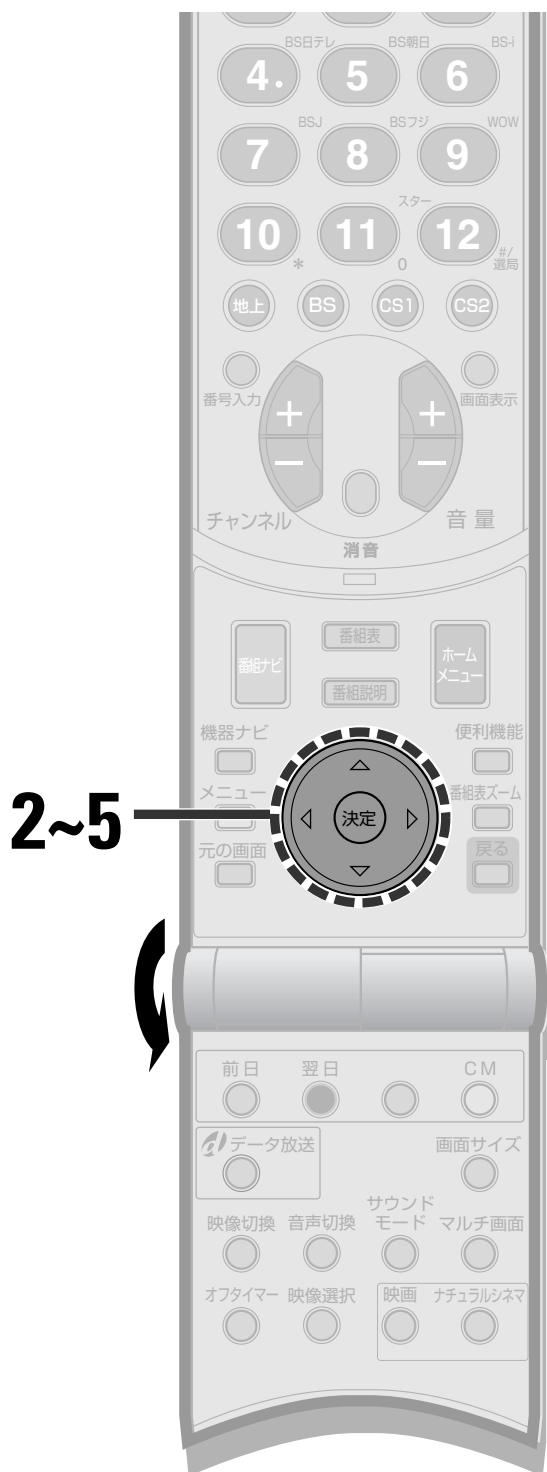
「予約一覧」画面で予約の変更や取消しができます。詳しくは116ページをご覧ください。

ご注意

視聴予約は、本機の電源が入っていないと実行されません。

録画したい番組を予約する－「録画予約」

本機では録画したい番組を予約できます。
録画予約の方法は、お使いの録画機器の種類や接続によって異なります。「録画予約の方法について」（☞110ページ）をご覧になって、お使いの録画機器に合わせた録画予約をおこなってください。

●番組ではなく、日時とチャンネルを指定して予約をすることもできます（プログラム予約）。（☞112ページ）

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

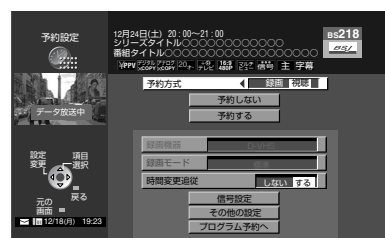
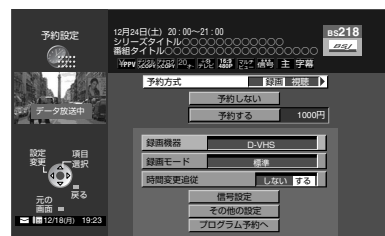
● 「予約設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。「予約設定」画面を表示するには89、96、97ページをご覧ください。

1 番組表から、予約したい番組を選ぶ

「予約設定」画面が表示されます。

例：衛星デジタル放送の場合

● 現在放送中の番組を選んだときは、番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。「予約する」を選択すると、「予約設定」画面に切り換わります。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して「予約方式」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押して「録画」を選ぶ

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して設定項目を選び、設定する

各ページをご覧になって設定してください。

録画機器: ☞106ページ
録画に使用する録画機器を設定します。

録画モード: ☞107ページ
録画に使用する録画機器によっては、録画モードを設定しておく必要があります。

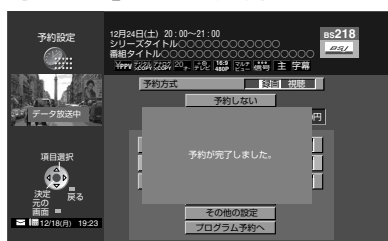
時間変更追従: ☞107ページ
「する」に設定すると、番組の開始時間に変更があった場合に、最大3時間まで開始時間を変更します。

信号設定: ☞108ページ
映像や音声の信号をあらかじめ設定しておく事ができます。

その他の設定: ☞109ページ
連続した予約や、番組の開始、終了時刻の設定などができます。

● 地上波放送の番組を予約する場合は、「時間変更追従」「信号設定」の項目は選べません。

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「予約する」を選び、決定ボタンを押す

「予約完了」画面が数秒間表示されます。

● 有料番組の場合は「予約する」の横に、購入するのに必要な金額が表示されます。
●予約の状況によっては、完了画面のかわりに別の画面が出ることがあります。(「予約時のメッセージについて」☞117ページ)

プログラム予約へ切換えるには

「プログラム予約へ」を選んで決定ボタンを押すと、プログラム予約の予約設定画面(☞112ページ)が表示されます。このとき、日付と開始時刻、終了時刻は選択していた番組の時刻となります。

有料番組を予約したときには

有料番組を予約した場合には、予約が実行されれば自動的に番組が購入されます。予約が実行されると、実際には視聴や録画をしていなくても料金は請求されます。

コピーガードについて

有料番組の中には、録画ができないようにコピーガードをかけている番組があります。
このような番組の場合は録画をすることはできません。

録画予約を取り止めたいときには

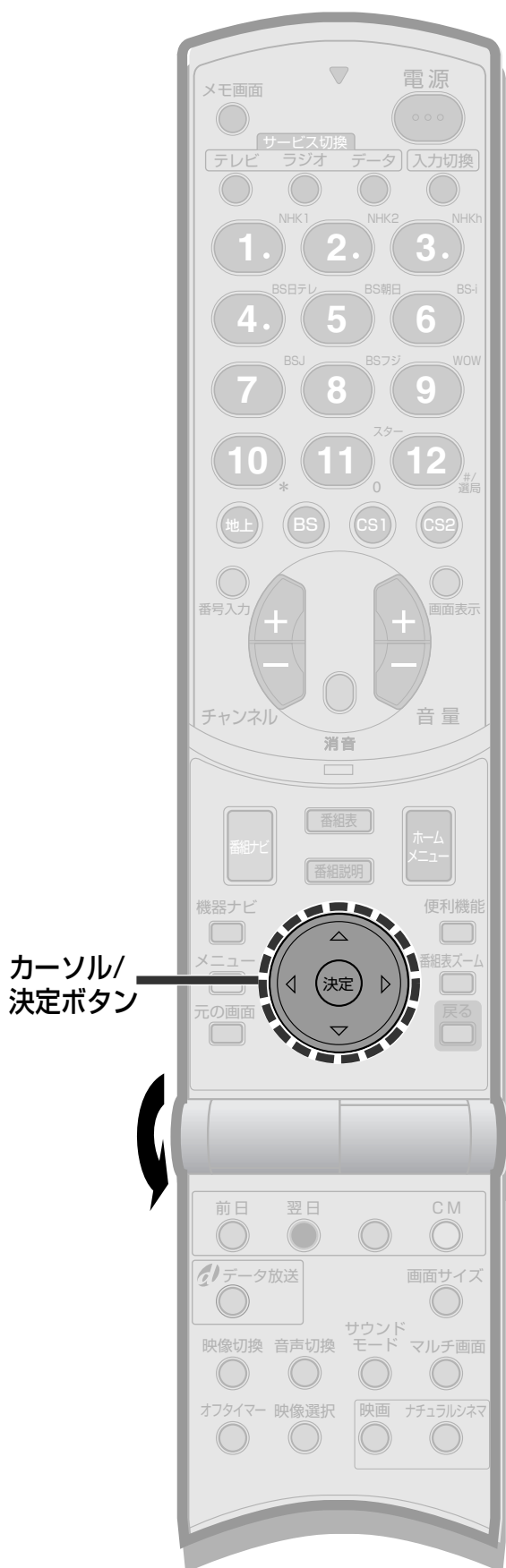
手順5でカーソルボタン(▲▼)を押して「予約しない」を選び、決定ボタンを押してください。

録画予約をしたあとには

● 「予約一覧」(☞116ページ)画面で、正しく予約が設定できているか確認してください。
● 予約が始まる5秒前にチャンネルを選局します。異なるチャンネルで時間が連続する番組を予約する場合、先に予約した番組は終了時間の5秒前に録画が終了します。
● 予約録画の実行中は、番組ナビや番組表、選局などの一部の機能が使用できなくなります。録画中にこれらの操作を行うと、予約録画を中止しても良いかの確認画面が表示されます。
● 番組によっては放送時間が変更になる場合もあります。「時間変更追従」を「する」に設定しておくと、最大3時間までは時間変更に対応できます。
また、「時間変更追従」の設定は、事前にシステム設定の「録画・視聴設定」で設定することもできます。(☞114ページ)
● 録画予約したあとの録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書を参照してください。

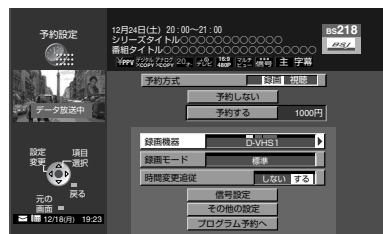
予約を変更するまたは取り消すには

「予約一覧」画面から予約の変更や取り消しが行えます。詳しくは116ページをご覧ください。

ふたを開けたところ

カーソル/
決定ボタン

録画に使用する機器を選ぶ「録画機器」

お使いの録画機器にあわせて設定します。

1 カーソルボタン（▲▼）を押して「録画機器」を選ぶ

2 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

D-VHS※：
i.LINK接続のD-VHSビデオデッキで録画する場合に設定します。（末尾の※印は、「i.LINK接続設定」（☞ 167ページ）で表示される番号です。）

HDR※：
i.LINK接続のハードディスクビデオレコーダーで録画する場合に設定します。（末尾の※印は「i.LINK接続設定」（☞ 167ページ）で表示される番号です。）

ビデオ（連動）：
ビデオリモートコントローラー(Irシステム ☞163ページ)の連動予約を使用して、ビデオデッキで録画をする場合に設定します。

DVDレコーダー（連動）：
ビデオリモートコントローラー(Irシステム ☞163ページ)のタイマー予約を使用して、DVDレコーダーで録画をする場合に設定します。

ビデオ（タイマー）：
ビデオリモートコントローラー(Irシステム ☞163ページ)のタイマー予約を使用して、ビデオデッキで録画をする場合に設定します。

DVDレコーダー（タイマー）：
ビデオリモートコントローラー(Irシステム ☞163ページ)のタイマー予約を使用して、DVDレコーダーで録画をする場合に設定します。

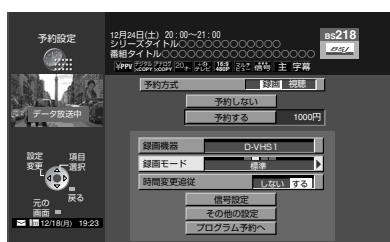
ーー：
i.LINK接続やIrシステムを使用できない録画機器の場合に設定します。録画機器の予約設定は、録画機器側で設定してください。

- 「D-VHS※」「HDR※」は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定したときのみ表示されます。（☞167ページ）
- 「ビデオ（タイマー）」「DVDレコーダー（タイマー）」は、Irシステム設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1〜3」「DVDレコーダー1〜3」に設定したときのみ表示されます。（☞164、165ページ）

録画機器の録画モードを選ぶ「録画モード」

i.LINK接続による予約やIrシステムを用いたタイマー予約をする場合には、録画モードを設定する必要があります。

● 「録画機器」(☞106ページ)の設定によって選べるモードが変わります。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「録画モード」を選ぶ

2 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

自動:
「録画機器」が「D-VHS※」「HDR※」で、衛星デジタル放送を録画するときに選べます。衛星デジタル放送の画質にあわせて各録画機器で自動的にデジタル録画します。

標準/3倍/5倍:
「録画機器」が「D-VHS※」「HDR※」「ビデオ(タイマー)」のときに選べます。予約した番組を、設定した録画モードで録画します。

● 「ビデオ(タイマー)」で「5倍」に対応していない録画機器の場合には「標準」で録画されます。
● i.LINKコードと映像・音声コードの両方を接続している必要があります。

標3:
「録画機器」が「ビデオ(タイマー)」のときに選べます。予約した番組を「標準」でアナログ録画し、テープ残量が少なくなると自動的に「3倍」に切り換わります。

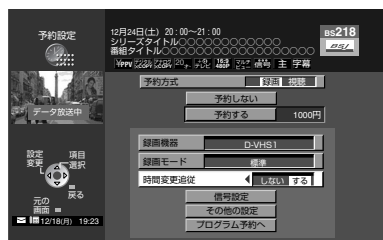
XP/SP/LP/EP/FR:
「録画機器」が「DVDレコーダー(タイマー)」のときに選べます。設定した録画モードでエンコード録画します

ーー:
本機では設定しません。録画機器側で設定してください。

番組にあわせて録画時間を変更する「時間変更追従」

衛星デジタル放送の番組を録画予約するときは、開始時刻が変更された場合でも、予約の開始時刻を自動的にあわせることができます。

● 地上波放送を予約する場合には、「時間変更追従」は選べません。

1 カーソルボタン(▲▼)を押して「時間追従変更」を選ぶ

2 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

する:
番組の時間変更にあわせて、予約の時間も変更します。ただし、「録画機器」が「ビデオ(タイマー)」「DVDレコーダー(タイマー)」「ーー」のときは対応しません。(録画機器側で時間変更操作を行ってください。)

しない:
予約した番組の時間に変更があっても、最初に設定された時間帯で録画します。

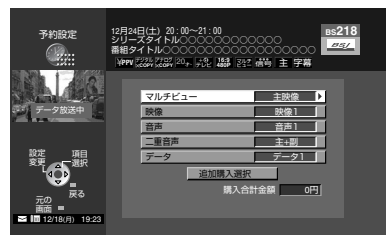
ふたを開けたところ

録画する信号を選ぶ「信号設定」

「信号設定」で、視聴や録画をする映像や音声などの設定をすることができます。

- 録画する番組によっては設定できない項目もあります。
- 「プログラム予約」から「信号設定」画面を表示させた場合は、「二重音声」の項目のみ表示されます。
- 地上波放送を予約する場合には、「信号設定」は選べません。

1 「信号設定」を選び、決定ボタンを押す

「信号設定」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して設定項目を選ぶ

マルチビュー:

番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。

映像:

映像信号が複数ある場合に、映像を設定します。

音声:

音声信号が複数ある場合に、音声を設定します。

二重音声:

「自動」「主」「副」「主＋副」を設定します。「自動」に設定すると、視聴予約の場合は予約時に設定されている二重音声の設定になり、録画予約の場合は「主＋副」の設定になります。

データ:

データが複数ある場合にデータを設定します。
「－－」にすると、予約実行時にデータ放送の指示に従いデータ放送画面を表示します。

追加購入選択

番組の中に追加購入が必要な信号がある場合は、「追加購入選択」を選んで決定ボタンを押します。「追加購入選択」画面が表示され、カーソルボタン(▲▼)で購入したい信号を選んで決定ボタンで購入設定できます。

3 カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する

4 戻るボタンを押して設定を終了する

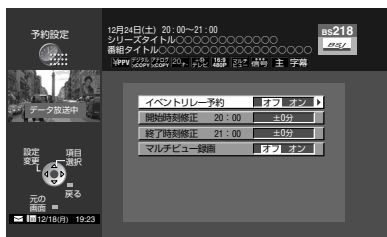
予約設定画面に戻ります。

その他の録画設定を行う「その他の設定」

「その他の設定」で、予約時刻の修正やその他の録画に関する設定をすることができます。

- 録画する番組によっては設定できない項目もあります。
- 「プログラム予約」から「その他の設定」画面を表示させた場合は、「マルチビュー録画」の項目のみ表示されます。
- 地上波放送の予約で「その他の設定」を表示させた場合は、「開始時刻修正」「終了時刻修正」の項目のみ表示されます。地上波放送をプログラム録画する場合には、「その他の設定」は選べません。

1 「その他の設定」を選び、決定ボタンを押す

「その他の設定」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して設定項目を選ぶ

イベントリレー予約:
予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に、続けて予約を実行したいときには「オン」に設定します。ただし、「時間変更追従」を「しない」にしている場合には無効になります。

開始時刻修正:
番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。予約を実行する時刻を、番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

終了時刻修正:
番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。予約の終了する時刻を、番組の開始時刻の6分後から終了時刻の1分後まで修正できます。

マルチビュー録画:
マルチビュー放送で、副番組も同時に録画したい場合には「オン」に設定します。

3 カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する

4 戻るボタンを押す

予約設定画面に戻ります。

ご注意

開始時刻から終了時刻までが5分以下になるように修正することはできません。また、6分以下の番組の場合は開始、終了時刻は共に修正できません。

録画予約の方法について

録画予約には、本機と録画機器との接続の仕方や録画機器の種類によっていくつかの種類があります。お使いの録画機器や接続方法にあわせてお読みください。

i.LINK接続による録画予約

i.LINK接続による予約の特長:
- 番組の時間が変更になっても、それにあわせて録画時間を変更してして録画することが可能です。
- 録画機器側で入力切り換えや録画モードを設定する必要がありません。
- デジタル放送のデジタル録画を行うことができます。

i.LINK対応のD-VHSビデオデッキやハードディスクレコーダー（HDR）を接続することで、簡単に録画予約を行うことができます。
i.LINK接続による録画予約を行う前に、i.LINK接続と設定（☞166、167ページ）を行ってください。

デジタル録画について

● 衛星デジタル放送は、放送中に複数の信号がある場合があります。i.LINKでデジタル録画をする場合は、「信号設定」（☞108ページ）で設定した信号を優先して録画します。（信号によっては、自動的に複数の信号を録画する場合もあります。）
● 「その他の設定」（☞109ページ）で「マルチビュー録画」をオンにしておくと、マルチビュー放送の場合に副映像も同時にデジタル録画します。

ご注意

● デジタルコピーガードによってi.LINKでのデータ出力がされない番組の場合、アナログ録画になります。
● 本機背面のモニター出力（S1映像端子）から地上波放送は出力しません。i.LINK接続した録画機器で地上波放送を録画する場合には、S映像コードを接続せずに、映像/音声コードのみ接続して録画してください。
● 衛星デジタル放送を録画する場合には、「時間変更追従」（☞107ページ）の設定は「する」にしてください。番組の開始時間が変更になっても、最大3時間まで追従できます。
● 録画の設定動作には若干の時間が必要なため、開始時刻の直前に予約を設定しようとすると予約が設定できない場合があります。
● 予約録画実行中にi.LINKコードの抜き差しは行わないでください。予約が終了してもi.LINK接続を使用した録画機器の録画停止ができません。

Irシステムによる録画予約（連動予約）

連動予約の特長:
- 番組の時間が変更になっても、それにあわせて録画時間を変更してして録画することが可能です。
- 複数のメーカーの録画機器に対応しています。

連動予約とは、開始時刻になると、接続した録画機器へ電源「入」➡「録画開始」のリモコン信号を送信し、終了時刻に「録画停止」➡ 電源「切」を送信する方式のことです。
連動予約を行う前に、ビデオリモートコントローラーの接続と設定（☞157、158、163ページ）を行ってください。

連動予約をしたあとには

録画機器側で、以下の準備を行ってください。

1 本機を接続した外部入力に切り替える。

2 録画モード（標準·3倍·5倍など）を設定する。

3 電源を「切」にする。

ご注意

● 衛星デジタル放送を録画する場合には、「時間変更追従」（☞107ページ）の設定は「する」にしてください。番組の開始時間が変更になっても、最大3時間まで追従できます。
● 録画の設定動作には若干の時間が必要なため、開始時刻の直前に予約を設定しようとすると予約が設定できない場合があります。DVDレコーダーの場合は90秒前、ビデオデッキの場合は15秒前には予約設定を終了してください。

Irシステムによる録画予約（タイマー予約）

タイマー予約の特長:
予約時に録画機器側の設定を行う必要がありません。
・ 1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付録画機器にのみ使用できます。

タイマー予約は、本機で番組を予約した時点で録画機器にタイマー予約の設定情報を一括送信する方法です。予約実行時には、録画機器は転送された予約設定情報に基づいて自動的に録画を行います。
タイマー予約を行う前に、ビデオリモートコントローラーの接続と設定（☞157、158、163ページ）を行ってください。

タイマー予約をしたあとには

タイマー予約を設定した場合、「予約する」を選択した後に予約確認画面が表示されます。
ここで「はい」を選択すると、録画機器にタイマー予約設定情報が送信され、録画機器は予約待機状態になります。予約後は予約録画の待機状態のままにしてください。

ご注意

- タイマー予約をしたあとは、録画機器側で予約が設定されているかどうか確認してください。
- 録画機器への予約変更ができないため、「時間変更追従」の設定はできません。
- 録画の設定動作には若干の時間が必要なため、開始時刻の直前に予約を設定しようとすると予約が設定できない場合があります。
- 深夜放送の番組や24時間番組など、日付が変わっても放送される番組の場合、録画機器の機能として正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- タイマー予約は、Irシステム設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1～3」「DVDレコーダー1～3」に設定したときのみ使用できます。（☞164、165ページ）
- 「ビデオ（タイマー）」で「5倍」に対応していない録画機器の場合には「標準」で録画されます。

その他の接続による録画

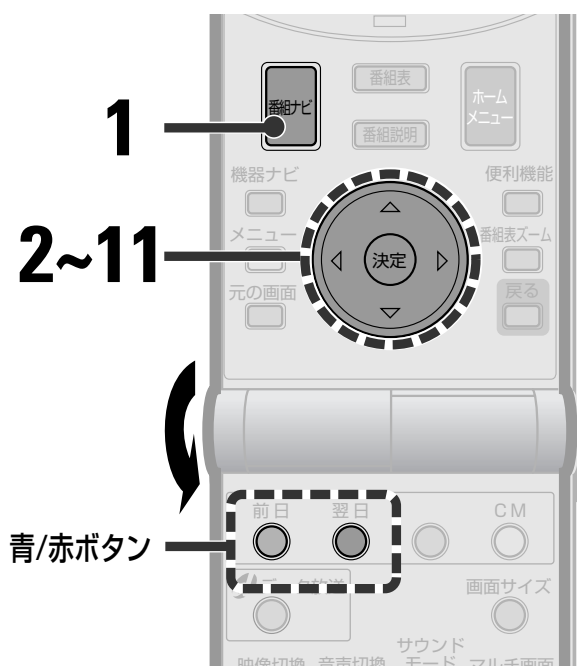
Irシステムやi.LINKが使用できない場合には、本機での予約設定と別に、録画機器側でも予約設定を行う必要があります。
録画予約を行う前に録画機器の接続（☞157～159ページ）を行ってください。

録画予約をしたあとには

録画機器側で本機と接続した外部入力を選択し、録画機器の録画予約をしてください。

日時を指定して予約する

本機は、番組ごとの予約（☞102ページ）の他に、日時とチャンネルを指定して予約することもできます（プログラム予約）。プログラム予約には、録画日時を指定する方法（日時指定）、毎日録画をする方法（連続予約）、毎週決まった曜日だけ録画する方法（曜日予約）の3つのタイプがあります。

ふたを開けたところ

プログラム予約の種類

プログラム予約は、次の3つのタイプから選べます。

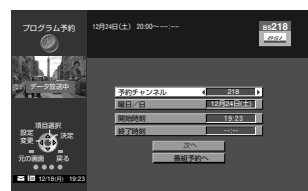
日付指定　最大1カ月先までの日付を指定して予約できます。

連続予約　「毎日」、「毎週（月）～（土）」（連続6日間）、「毎週（月）～（金）」（連続5日間）の3種類から選んで予約できます。

曜日予約　「毎週（日）」「毎週（月）」…「毎週（土）」の毎週決まった曜日を指定して予約できます。

1 番組ナビボタンを押して番組ナビ画面を表示させる

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「プログラム予約」を選び、決定ボタンを押す

プログラム予約画面が表示されます。

● 衛星デジタル放送のプログラム予約をするとき、次の画面が一時的に表示されることがあります。

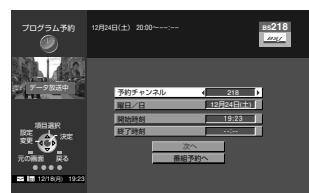
暗証番号の入力画面： 視聴年令制限を設定しているとき

暗証番号の登録画面： 暗証番号を設定していないとき

視聴制限のある番組の視聴、録画をするときは、暗証番号を入力/登録してください。（☞132ページ）
暗証番号を入力/登録しないと、視聴制限のある番組の視聴、録画ができなくなります。

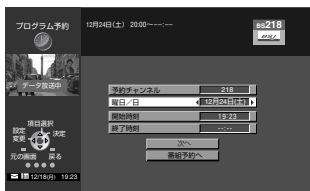
暗証番号の入力/登録画面は、戻るボタンを押すか、または数秒間何もしないでいると消えます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「予約チャンネル」を選ぶ

4 カーソルボタン（◀▶）を押して予約したいチャンネルを選ぶ

カーソルボタン（◀▶）をくり返し押すと、チャンネルは連続して切り換わります。

● 決定ボタンを押すと、チャンネル数字ボタンでチャンネルを入力して選ぶことができます。

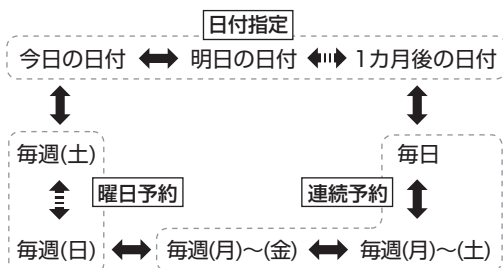
5 カーソルボタン(▲▼)を押して「曜日/日」を選ぶ

6 カーソルボタン(◀▶)を押して予約したい日を設定する

最大1カ月先の日付まで選ぶことができます。カーソルボタン(◀▶)をくり返し押すと、次のように切り換わります。

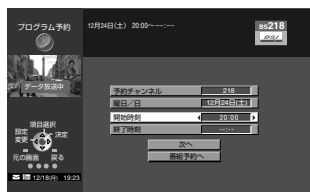
日付指定：今日の日付 ⟷ 明日の日付 ⟷ 1カ月後の日付

曜日予約：毎週(土) ⟷ 毎週(日)

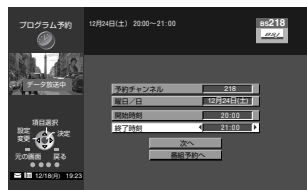
連続予約：毎日 ⟷ 毎週(月)〜(土) ⟷ 毎週(月)〜(金)

（1カ月後の日付 ⟷ 毎日、毎週(日) ⟷ 毎週(月)〜(金)、毎週(土) ⟷ 今日の日付）

● 青/赤ボタンを押すと、日付指定、連続予約、曜日予約の先頭に切り換わります。

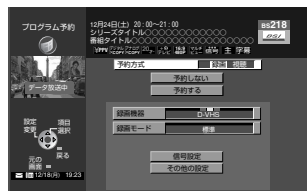
7 カーソルボタン(▲▼)を押して「開始時刻」を選ぶ

8 カーソルボタン(◀▶)を押して開始時刻を設定する

● カーソルボタン(◀▶)を押したままでいると、15分刻みで時刻が変化します。

9 カーソルボタン(▲▼)を押して「終了時刻」を選ぶ

10 カーソルボタン(◀▶)を押して終了時刻を設定する

● カーソルボタン(◀▶)を押したままでいると、15分刻みで時刻が変化します。

11 カーソルボタン(▲▼)を押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す

予約設定画面が表示されます。

視聴予約をしたいときには:

102ページの手順に従って視聴予約を行ってください。

録画予約をしたいときには:

104ページの手順に従って録画予約を行ってください。

時刻を入力するときは

開始時刻/終了時刻を直接入力することもできます。
手順8または手順10で決定ボタンを押し、チャンネル数字ボタンで入力してください。

番組表に切り換えたいときは

「番組表へ」を選んで決定ボタンを押します。選んでいるチャンネルと時間帯の番組表が表示されます。

● 地上波放送をプログラム予約する場合には、番組表へ切り換える事はできません。

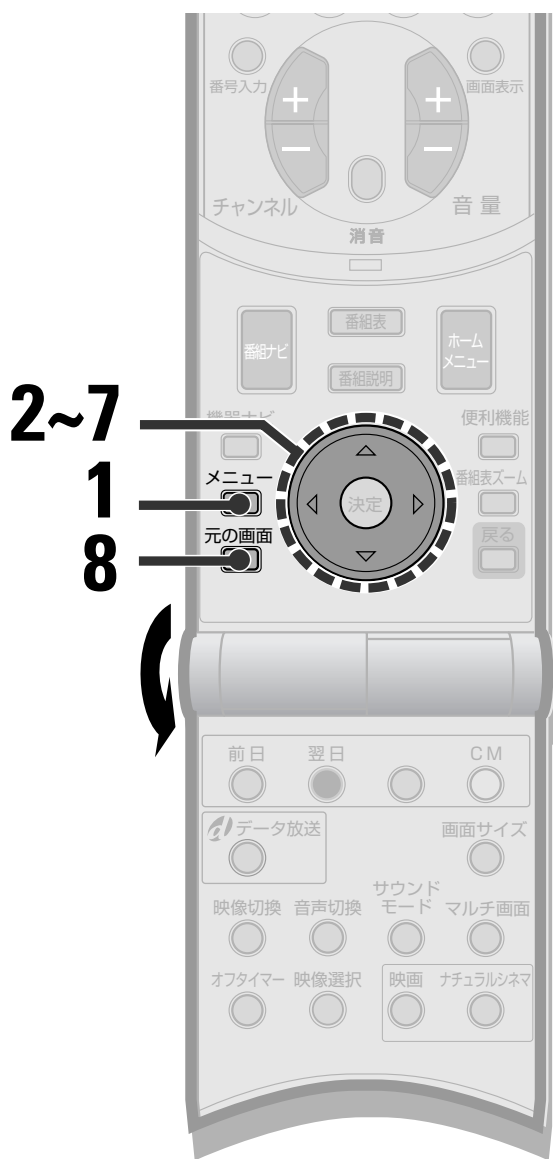
ご注意

プログラム予約では、「時間変更追従」を設定することはできません。

録画・視聴予約に関する設定をする

録画・視聴予約をする際の時間変更追従設定やマルチビュー録画設定をあらかじめ設定しておくことができます。

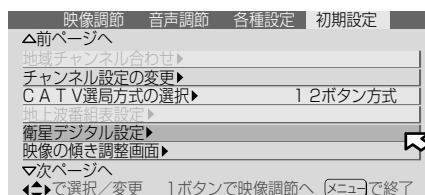
準備：「衛星デジタル設定」は衛星放送を受信しているときのみ選べます。あらかじめBSボタン、CS1ボタン、またはCS2ボタンを押して、衛星デジタル放送に切り換えておいてください。

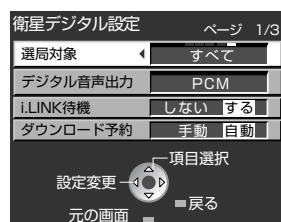
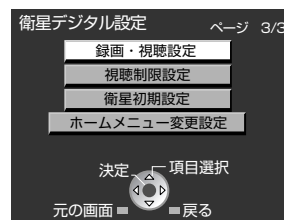
ふたを開けたところ

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

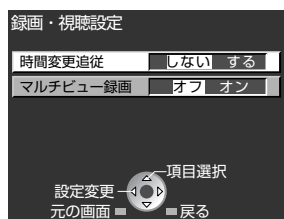
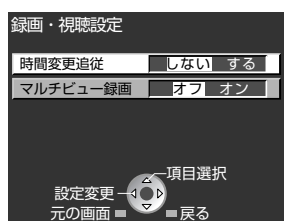
● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「録画・視聴設定」を選ぶ

● **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

6 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選ぶ

時間変更追従:
番組の放送時間の変更に合わせて予約時間を変更します。
「しない」: 放送時間に変更があっても予約時間を変更しません。
「する」: 放送時間の変更にあわせて、最大3時間まで予約時間を変更します。

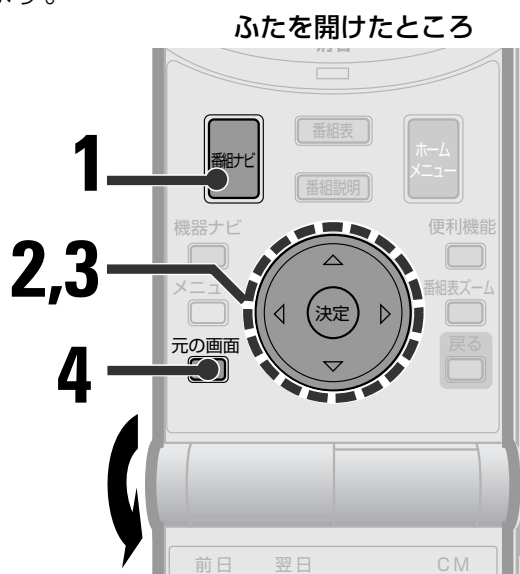
マルチビュー録画:
i.LINK接続した録画機器によるデジタル録画のときのみ有効です。
録画予約した番組がマルチビュー放送だった場合、副番組も同時に録画するかどうかを設定します。
「オフ」: デフォルトの映像と音声のみ録画します。
「オン」: 副番組の映像と音声も録画します。

7 カーソルボタン(◀▶)を押して項目を選択する

8 元の画面ボタンを押して終了する

予約を取り消す/変更する

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、変更、取り消しや、予約が実行された番組の確認ができます。

ふたを開けたところ

1 番組ナビボタンを押す

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「予約一覧/削除」を選び、決定ボタンを押す

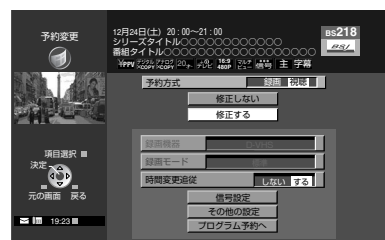
「予約一覧」画面が表示されます。

- 画面上にグレーで表示されている内容は、既に実行された予約の履歴です。
- 8件以上の予約がある場合は、一覧の横にスクロールバーが表示されます。表示されていない予約はカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。
- 地上波放送の予約した番組は、「番組タイトル」に「<地上波予約>」と表示されます。
- プログラム予約での予約は、「番組タイトル」に「<プログラム予約>」と表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して取り消し/変更したい予約を選び、決定ボタンを押す

予約変更･取り消し確認画面が表示されます。

予約を取り消したいとき：
カーソルボタン(◀▶)で「取消し」を選び、決定ボタンを押します。
予約が取り消されます。

予約を変更したいとき：
カーソルボタン(◀▶)で「修正」を選び、決定ボタンを押します。

予約変更画面が表示されます。
予約設定時と同様の操作で、予約を修正することができます。

4 元の画面ボタンを押し、終了する

予約一覧画面が消え、元の画面に戻ります。

実行済みの予約の履歴を消したいとき

手順3で実行済みの予約を選び、決定ボタンを押します。履歴削除確認画面が表示されます。
カーソルボタン(◀▶)で「はい」を選び、決定ボタンを押すと履歴が削除されます。

ご注意

- タイマー予約をした場合、予約一覧には表示されません。
- 予約開始の約2分前からは予約の設定を変更しないでください。予約が正しく実行されない場合があります。
- Irシステムを使用したタイマー予約を変更した場合、録画機器側の設定は変更されません。録画機器側でも予約変更操作をしてください。

予約についてのご注意

予約時のメッセージについて

■ 契約していないチャンネルの番組を予約操作しようとしたとき表示されます。

この番組は契約されていません。予約できません

■ これ以上予約できないとき表示されます。
予約の件数は、履歴も含めて最大で24番組までです。予約するときは、「予約一覧」(☞116ページ)画面で不要な予約や履歴を削除してください。

予約がいっぱいです。
予約を削除してから
やり直してください。

■ 予約済みの番組と同じ時間帯の番組を予約したとき表示されます。
予約の優先順位により、実行されない予約があります。重なった予約を解除するときは、「予約一覧」(☞116ページ)画面で予約を修正・削除してください。

予約が完了しました。
予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。

予約を中止したいときは

まだ予約が実行されていないとき:

「予約一覧」(☞116ページ)から予約を削除できます。
ただし、タイマー予約やその他の接続による予約の場合は録画機器側の予約も削除する必要があります。i.LINK接続した機器から予約した場合は、予約を設定した機器で削除してください。

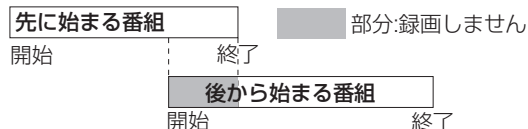
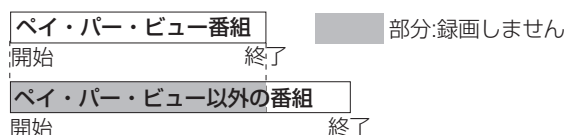
予約が実行されているとき:

・ 視聴予約の場合は、チャンネルを切り換えるか電源をオフにすると予約が中止できます。
・ 録画予約の場合は、本体前面の電源ボタンで電源をオフにすると予約が中止できます。
・ タイマー予約やその他の接続による予約、i.LINK接続した機器からの予約のときは録画機器側の予約を中止することはできません。録画機器側の操作で録画予約を中止してください。

予約の優先順位について

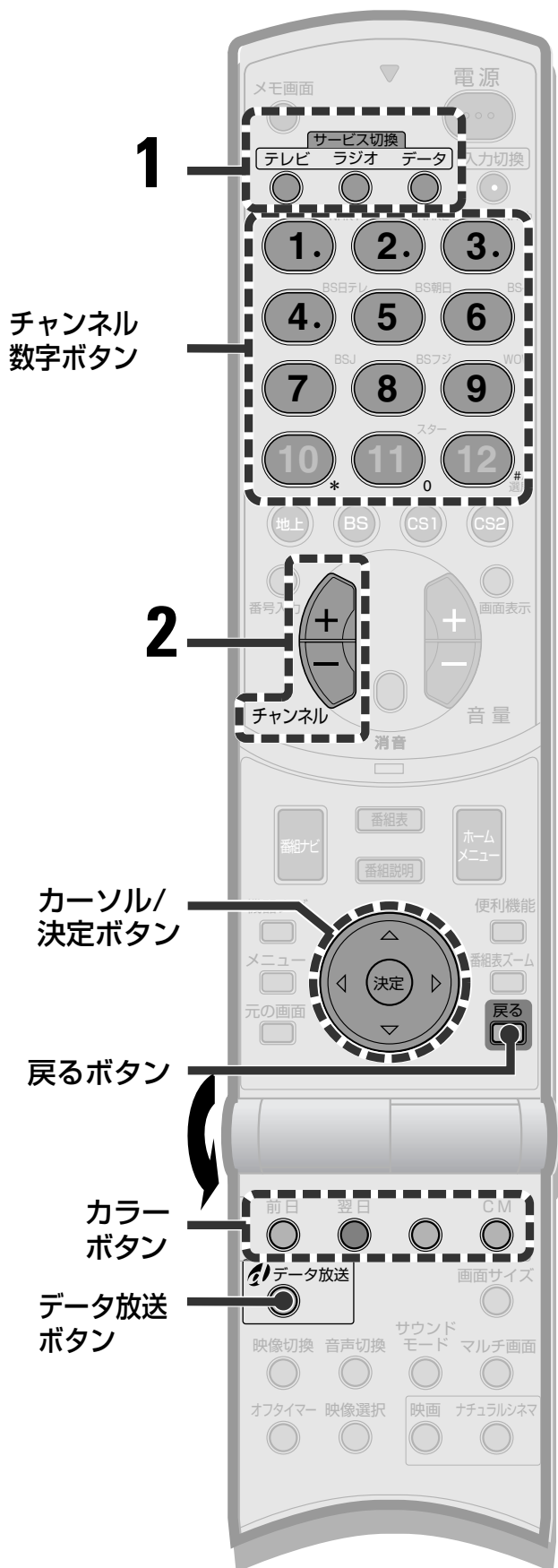
予約した番組の放送時間が重なってしまった場合には、本機は自動的に予約の優先順位をつけて予約を実行します。

優先順位

1 予約開始時間が先の番組が優先されます

2 開始時間が同じ場合は、ペイ・パー・ビュー番組が優先されます。

ペイ・パー・ビュー番組同士、またはペイ・パー・ビュー番組以外の番組同士の場合は、以下のように優先順位が付けられます。
・録画予約と視聴予約では、録画予約が優先されます。
・衛星デジタル放送、VHF/UHF、CATVの順で優先されます。
・同じ放送では、チャンネル番号の小さい放送が優先されます。

● 優先順位の低い番組の予約は、優先された予約の終了後に途中から実行されます。
● 一度開始した予約が、後から始まる予約によって中断することはありません。
● チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了します。
● 録画機器側で他の予約を設定し、予約が重複した場合などには、録画予約がうまく動作しない場合があります。

テレビ放送/ラジオ放送/データ放送を見る

衛星デジタル放送には、それぞれのネットワーク（BSデジタル·CS1·CS2）に、「テレビ放送」、「ラジオ放送」、「データ放送」の3つの放送(サービス)があります。サービス切換ボタンを押して見たい番組を選びます。

1 サービス切換ボタンを押す

衛星デジタル放送を受信中にサービス切換ボタンを押します。
選択した種類の放送（サービス）のうち、最後に選んだチャンネルに切り換わります。

2 チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選択する

ご注意

チャンネル+/−ボタンで選べるチャンネルは、「選局対象」（☞ 133ページ）の設定により異なります。「選局対象」に、含まれていない放送（サービス）のチャンネルをチャンネル+/−ボタンで選ぶことはできません。

データ放送を見る

データ放送には2種類の放送があります。

連動型データ放送: BS(CS)テレビやBS(CS)ラジオ番組に連動して、付加情報などが放送されます(番組によります)。番組情報で、次のアイコンが表示されている番組は連動型データ放送です。
連動型データ放送を表すアイコン: +d テレビ　d テレビ　+d ラジオ　d ラジオ

独立型データ放送: データ放送だけの放送です。「独立型データ放送」は、BS(CS)テレビ放送を選ぶのと同じように、チャンネルを選んで見ることができます。

データ放送の特長
- ● ニュース、天気予報などをいつでも見られます。
- ● クイズやアンケートに答えたり、ショッピングなど双方向のサービスを受けられます。(電話線の接続が必要です。☞22、40ページ)
- ● テレビ番組関連の情報を見られます。例えばスポーツ中継中に選手のプロフィールや他の試合の経過などを見られます。
- ● データ放送のサービス内容は各放送局や番組によって異なります。

連動型データ放送を見る

連動型データの放送をご覧のときに、次の操作をしてください。
- ● チャンネルを選ぶと、自動的にデータ放送画面に切り換わる場合があります。

データ放送ボタンを押す

データ放送を見ることができます。

元の映像に戻るには

データ放送ボタンまたは元の画面ボタンを押してデータ放送を終了します。
- ● データ放送によっては、データ放送ボタンを押しても元の映像に戻らない場合があります。

便利機能ボタンを押すと…

■ 連動型データ放送の表示を消すことができます。

1. **連動型データ放送の表示中に便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「データ放送表示オフ」を選び、決定ボタンを押す**

■ 番組で複数のデータが送信されているとき、データを切り換えることができます。

1. **複数のデータ放送の信号がある番組のとき、便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す**
3. **カーソルボタン(▲▼)を押して「データ」を選ぶ**
4. **カーソルボタン(◀▶)を押して信号を切り換える**

データ放送受信中の操作

- ・データ放送受信中は、リモコンのカラーボタン、チャンネル数字ボタン、カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタンを使って操作します。
- ・画面上のボタンに色がついているときは、その色に対応するカラーボタンを押します。
- ・カラーボタンと違う色のときや、カラーボタンで選べないときは、カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタンで操作します。
- ・画面上に操作ガイドが表示されているときは、その指示にしたがって操作してください。

データ放送の操作をするときは
- ● 操作は画面を見ながらゆっくりと行ってください。操作が速いと正しく反応しないことがあります。
- ● チャンネルを切り換えたり、別のデータ放送に切り換えた後は表示に時間がかかります。(1度受信したデータは記憶していますので、再表示するときは速くなります。)
- ● データ放送のボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。
- ● **データ放送では、画面で表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なることがあります。**

ご注意
- ● 時間帯によっては、データ放送が放送されていない場合もあります。
- ● データ放送の種類によっては表示されない場合や、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。故障ではありません。
- ● 番組によっては、選局と同時に「データを取得中です」の表示が出たり、データ放送に自動的に切り換わる場合があります。
- ● 2画面表示中は操作できません。

ホームメニューを使う

ホームメニューでは次のようなことができます。

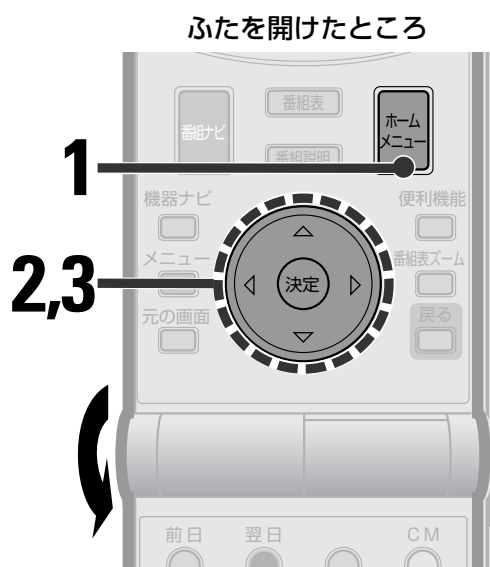
「いつでも情報」: お気に入りのチャンネルを登録して簡単に選ぶことができます。
「よく見るチャンネル」: 見ている時間の長いチャンネルの上位3局が表示されます。いつも見ているチャンネルを簡単に選ぶことができます。

「いつでも情報」から選ぶ

お気に入りのチャンネルを登録して簡単に選ぶことができます。

- 始めに、122ページをご覧になり、「ニュース」、「天気」、「お好み」にお好きなチャンネルを1つずつ登録してください。
- お買い上げ時には、3つのチャンネルにはそれぞれ次のチャンネルが設定されています。

ニュースチャンネル: BS 701CH
お天気チャンネル: BS 700CH
お好みチャンネル: BS 999CH

ふたを開けたところ

1 ホームメニューボタンを押す

2 カーソルボタン（◀▶）を押して、「ニュース」「天気」「お好み」のいずれかを選ぶ

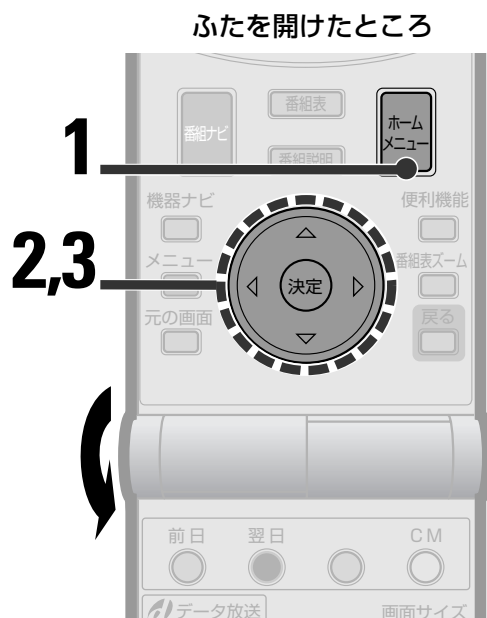
3 決定ボタンを押す

登録されているチャンネルに切り換わります。

「よく見るチャンネル」から選ぶ

普段よく見ているチャンネルを簡単に選ぶことができます。

- 「よく見るチャンネル（トップ3）」には、最近2週間での視聴時間の長かった3つのチャンネルが表示されます。

ふたを開けたところ

1 ホームメニューボタンを押す

2 カーソルボタン（▲▼）を押して、「よく見るチャンネル（トップ3）」のいずれかを選ぶ

3 決定ボタンを押す

登録されているチャンネルに切り換わります。

ホームメニューのチャンネルを登録する

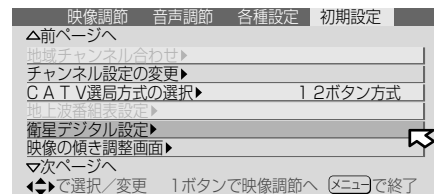
ホームメニューボタンで呼び出すことのできるチャンネルを登録します。ニュースチャンネル、お天気チャンネル、お好みチャンネルの3つのチャンネルを登録できます。

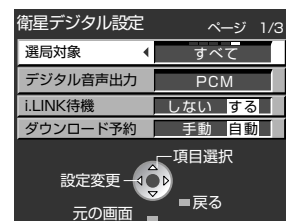
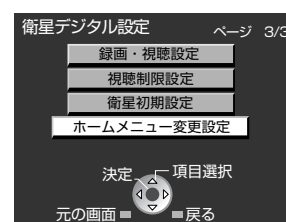
準備：「衛星デジタル設定」は衛星放送を受信しているときのみ選べます。あらかじめBSボタン、CS1ボタン、またはCS2ボタンを押して、衛星デジタル放送に切り換えてください。

ふたを開けたところ

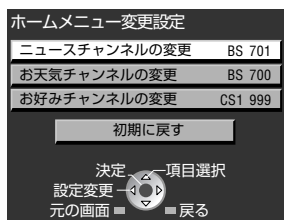
- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

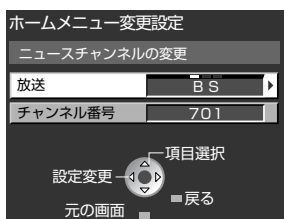
1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

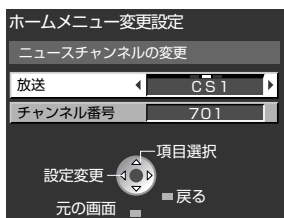
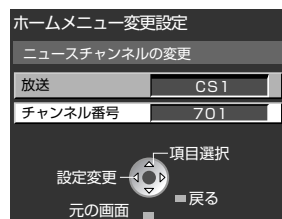
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「ホームメニュー変更設定」を選ぶ

- **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
  上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

「ホームメニュー変更設定」画面が表示されます。

6 カーソルボタン(▲▼)を押して変更したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す

チャンネルの変更画面が表示されます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「放送」を選び、カーソルボタン(◀▶)で放送を選ぶ

カーソルボタン(◀▶)で、BS/CS1/CS2が切り換わります。

8 カーソルボタン(▲▼)を押して「チャンネル番号」を選び、チャンネル数字ボタンで登録したいチャンネル番号を入力する

9 元の画面ボタンを押して終了する

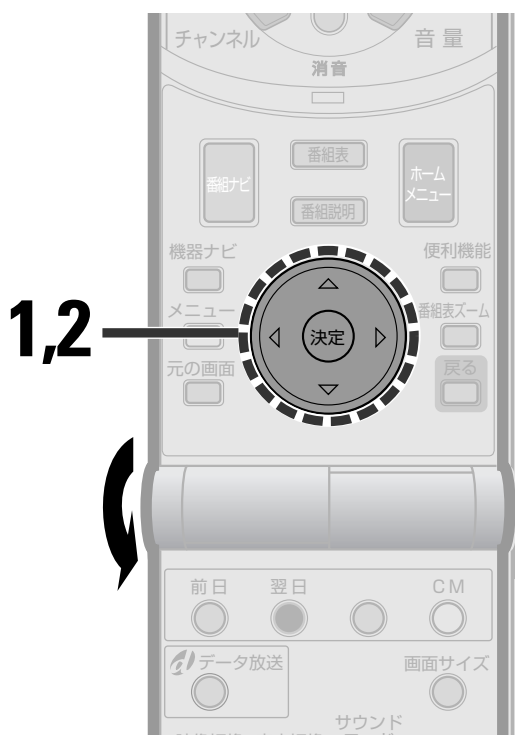
お買い上げ時の設定に戻すには

手順5で「初期に戻す」を選んで決定ボタンを押します。ホームメニュー設定リセット画面が表示されます。「はい」を選ぶとホームメニューの設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

有料番組を見る

有料番組を購入する

衛星デジタル放送には、番組単位で購入できる有料の番組(ペイ·パー·ビュー)があります。
有料の番組を視聴するときや録画するときは、購入するための操作が必要となります。

ふたを開けたところ

2 カーソルボタン(◀▶)を押して選び、決定ボタンを押す

購入しない:
番組を購入しません。他のチャンネルを選択してください。

購入する:
番組を購入したことになり、視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画できません。(「コピーガードについて」☞105ページ)

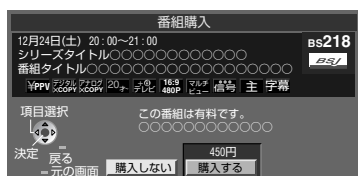
録画のために追加料金が必要なときは、「購入する」のかわりに次の二つが表示されます。

視聴購入:
番組を購入したことになり視聴できますが、録画機器で録画することはできません。

録画購入:
番組を購入したことになり、録画できます。録画機器で録画をしたいときに選択してください。

● 各項目に表示される金額は購入金額です。

1 有料番組を選ぶ

購入画面が表示されます。

● 現在放送中の番組のときは、購入の操作が終わるまで映像·音声は出ません。

● 番組によってはプレビュー(番組の内容を確認するための短時間の放送)を見ることができます。この場合は、決定ボタンを押すと購入画面が表示されます。

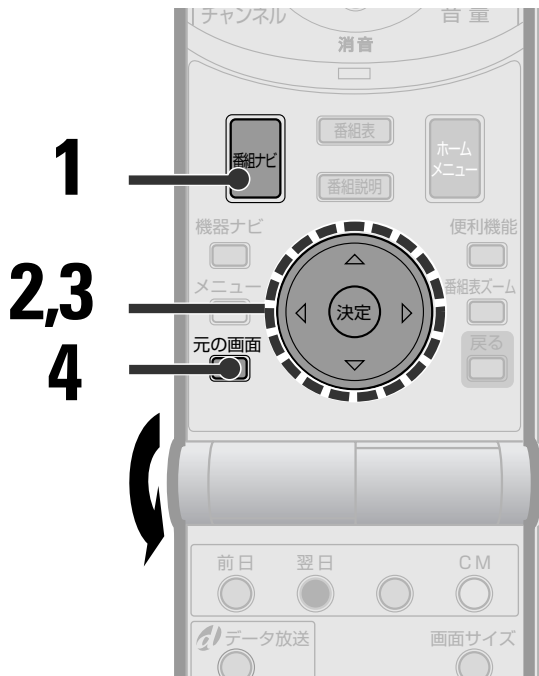
プレビュー中 決定 ボタンで購入できます

購入に関するご注意

● 購入した有料番組の視聴中に他のチャンネルに切り換えても、再度購入したチャンネルに戻すことができます。ただし、購入した有料番組については、実際に番組を視聴していなくても購入料金が請求されます。
● 視聴制限の対象になる番組を選局した場合には、暗証番号の入力が必要になります。(☞132ページ)
● 追加購入の必要な信号がある番組の場合は、追加購入の画面が表示されます。

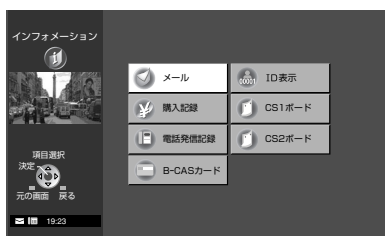
購入記録を確認する

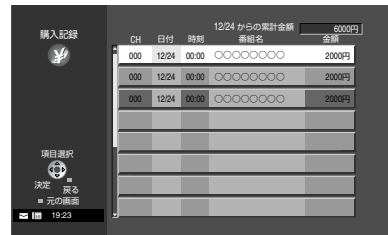
購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴（最近の25番組について）を確認することができます。また、購入金額の累計を確認したり、累計金額をリセットすることができます。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（◄►▲▼）を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン（◄►▲▼）を押して「購入記録」を選び、決定ボタンを押す

購入記録画面が表示されます。

● カーソルボタン（▲▼）押すと、表示送りができます。

4 元の画面ボタンを押して終了する

累計金額をリセットするには

#(12)ボタンを押すと、累計金額リセット確認画面が表示されます。
カーソルボタン（◄►）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押すと累計金額が0円に戻ります。
● 番組の履歴を消すことはできません。
● 金額がリセットされた履歴は薄い文字で表示されます。

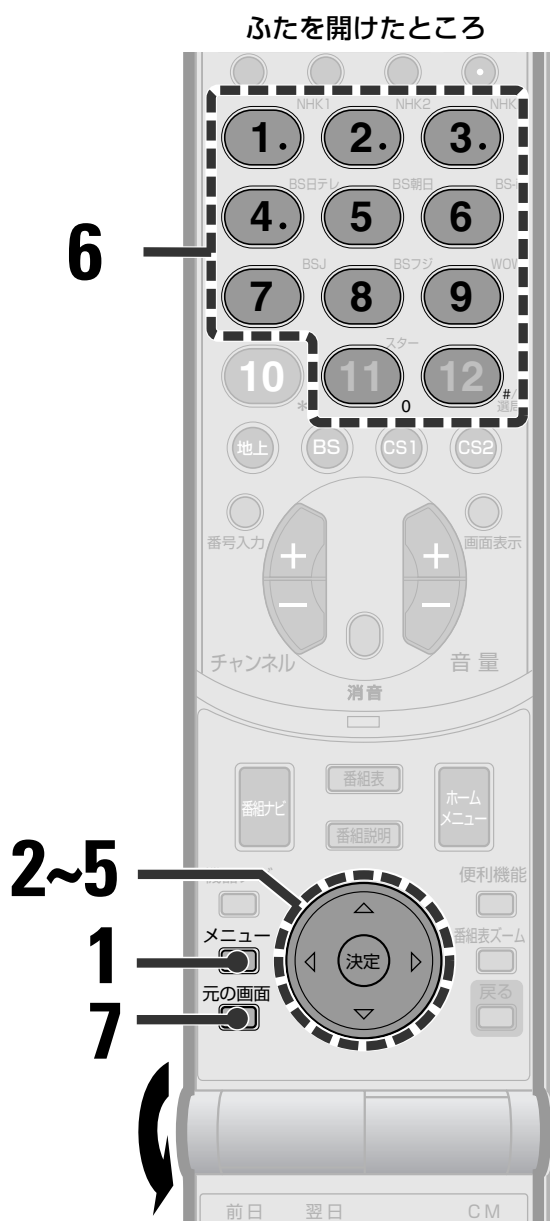
視聴制限を設定する

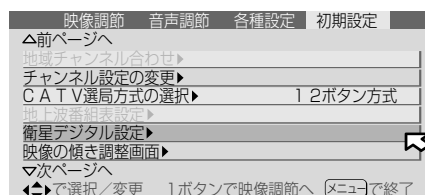
視聴制限を設定する事ができます。視聴制限には視聴年令制限と一番組限度額の二種類があります。

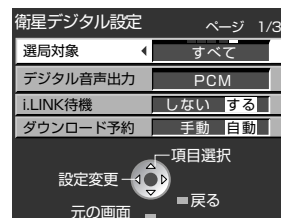
視聴年令制限： 視聴年令制限の対象になる番組については、番組名のかわりに「･･･」と表示され、暗証番号を入力しないかぎり番組を視聴することも詳細情報を見ることもできません。

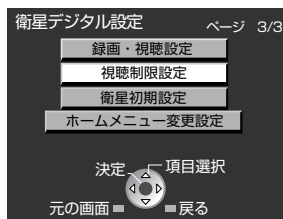
一番組限度額： 設定した限度額より高い有料番組は、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できなくなります。

暗証番号を設定する

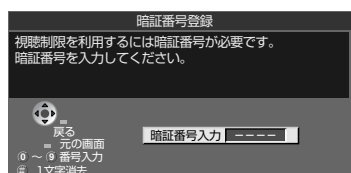
視聴制限を設定するには、あらかじめ暗証番号を登録しておく必要があります。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

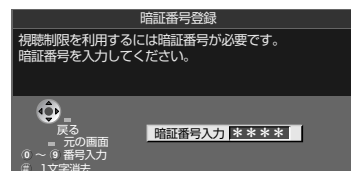
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選ぶ

● 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

暗証番号が設定されていない場合には、暗証番号の登録画面が表示されます。

● すでに暗証番号が設定されている場合には、暗証番号入力画面になります。

6 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を登録する

画面の指示に従って暗証番号を登録します。

● #(12)ボタンを押すと最後の桁を取消すことができます。

7 元の画面ボタンを押して終了する

ご注意

● 暗証番号を入力しても、画面上には「****」と表示されます。
● 登録または変更した暗証番号はメモをしておいてください。

暗証番号を変更するには

1. メニューボタンを押す
2. カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ
3. カーソルボタン(◀▶)を押す
4. カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選び、決定ボタンを押す
5. 登録してある4桁の暗証番号を入力する
6. カーソルボタン(▲▼)を押して「暗証番号変更」を選び、決定ボタンを押す
7. 変更する暗証番号を入力する
8. 確認画面で、再度変更する暗証番号を入力する
9. 元の画面ボタンを押して終了する

暗証番号を取り消すには

1. メニューボタンを押す
2. カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ
3. カーソルボタン(◀▶)を押す
4. カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選び、決定ボタンを押す
5. 登録してある4桁の暗証番号を入力する
6. カーソルボタン(▲▼)を押して「暗証番号取り消し」を選び、決定ボタンを押す
7. 確認画面で、カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。
8. 元の画面ボタンを押して終了する

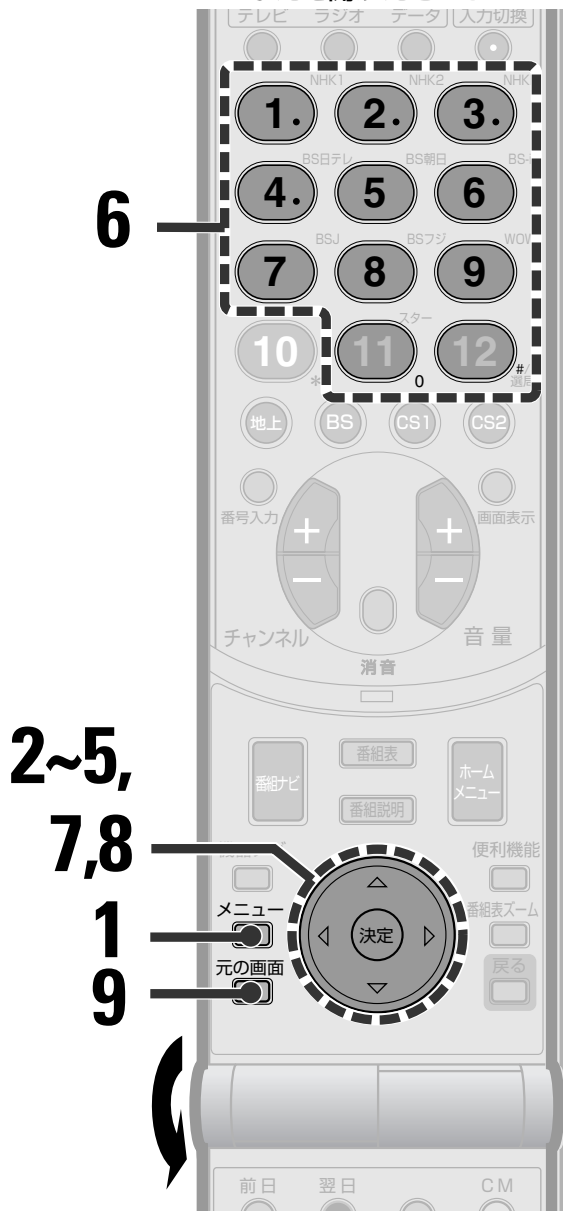
● 暗証番号の取消しが終わると、約10秒後に「衛星デジタル設定」画面に戻ります。

ご注意

暗証番号を取り消すと、設定されていた視聴制限は無効になります。
もう一度視聴制限を有効にするには暗証番号を登録し直してください。

視聴制限を設定する（つづき）

年令による視聴制限を設定する

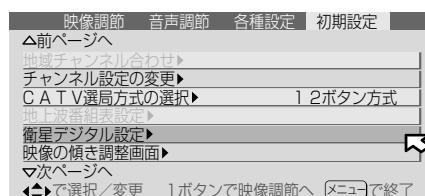
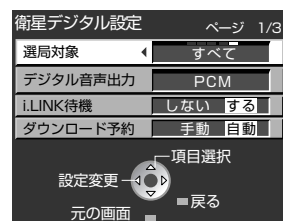
年令による視聴制限を設定できます。
視聴年令制限の対象になる番組は、各一覧表等で番組名のかわりに「･･･」と表示されます。
このような番組は、暗証番号を入力しないかぎり視聴することも詳細情報を見ることもできません。
視聴制限を設定する前に、暗証番号を登録しておいてください。（☞ 126ページ）

ふたを開けたところ

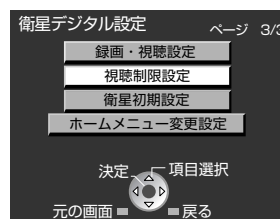
● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

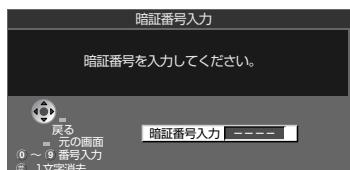
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

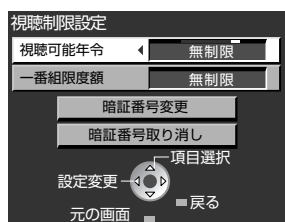
1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

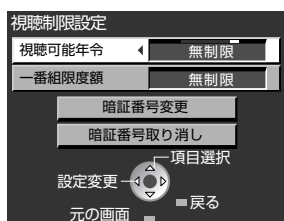
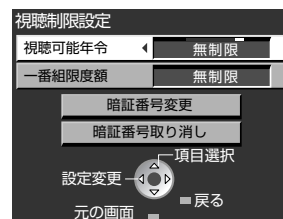
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「視聴制限設定」を選ぶ

● **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

暗証番号入力画面が表示されます。

6 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

「視聴制限設定」画面が表示されます。

● #(12)ボタンを押すと最後の桁を取消すことができます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「視聴可能年令」を選ぶ

8 カーソルボタン(◀▶)を押して視聴可能年令を設定する

● 「4才」～「19才」までの1才単位の設定と、「無制限」の設定ができます。
● 「視聴可能年令」で設定した年令より視聴制限の厳しい番組を視聴するときには、視聴制限を一時的に解除しない限り（☞132ページ）、暗証番号の入力が必要になります。
● 「無制限」に設定すると、番組の対象年令に関係無く番組が視聴できます。

9 元の画面ボタンを押して終了する

暗証番号を間違えたときには

暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認の上、入力してください。

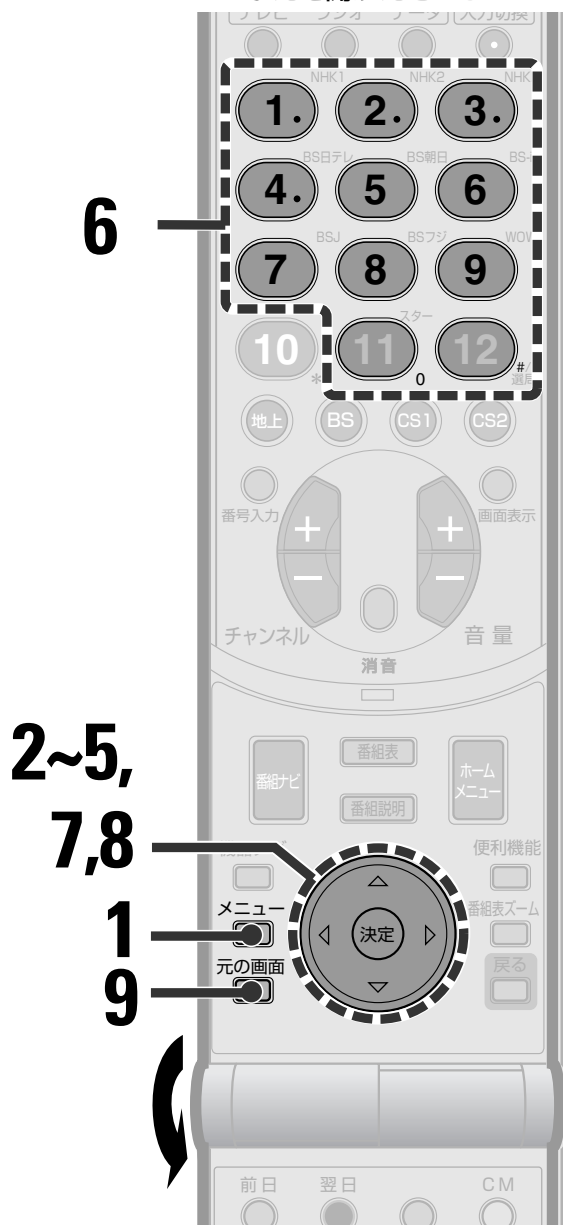
● 暗証番号を3回間違えると、一時的に入力ができなくなります。（しばらくすると「衛星デジタル設定」画面に戻ります。）

暗証番号を忘れてしまったときは

カスタマーセンターにお問い合わせ下さい。

視聴制限を設定する（つづき）

料金による視聴制限を設定する

番組の料金の限度額を設定することができます。
有料番組を購入する際、料金が設定してある一番組限度額より高額だった場合には、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できなくなります。
視聴制限を設定する前に、暗証番号を登録しておいてください。（☞ 126ページ）

ふたを開けたところ

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「視聴制限設定」を選ぶ

● **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
上記の画面イラストは3ページ目です。

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

5 決定ボタンを押す

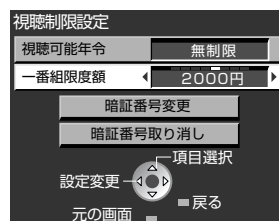
暗証番号入力画面が表示されます。

6 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

視聴制限設定画面が表示されます。

● #(12)ボタンを押すと最後の桁を取消すことができます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「一番組限度額」を選ぶ

8 カーソルボタン(◀▶)を押して金額を設定する

● 「100円」、「500円」～「3000円」までの500円きざみと、「無制限」の設定ができます。
● 「一番組限度額」で設定した金額よりも高い番組を視聴するときは、暗証番号の入力が必要になります。
● 「無制限」に設定すると、一番組の料金にかかわらず、番組を購入することができます。

9 元の画面ボタンを押して終了する

暗証番号を間違えたときには

暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認の上、入力してください。

● 暗証番号を3回間違えると、一時的に入力ができなくなります。（しばらくすると「衛星デジタル設定」画面に戻ります。）

暗証番号を忘れてしまったときは

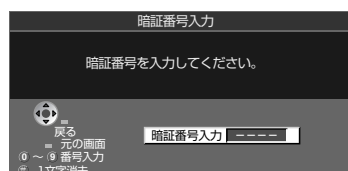
カスタマーセンターにお問い合わせ下さい。

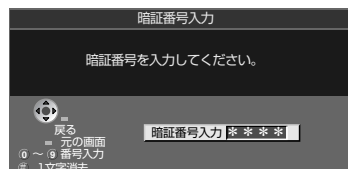
視聴制限を一時的に解除する

視聴制限は一時的に解除することができます。

● 視聴制限を一時解除すると、電源を切るまで解除されたままになります。ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだときは、視聴制限が解除されていても必ず「暗証番号入力」画面（☞129、131ページ）が表示されます。

1 視聴制限の対象となる番組を選ぶ

設定した視聴制限（視聴可能年令・一番組限度額）の対象になる番組を選ぶと、「暗証番号入力」画面が表示されます。

2 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

暗証番号を入力すると、視聴制限は一時的に解除されます。

● # ボタンを押すと最後の桁を取消すことができます。

暗証番号を間違えたときには

暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認の上、入力してください。

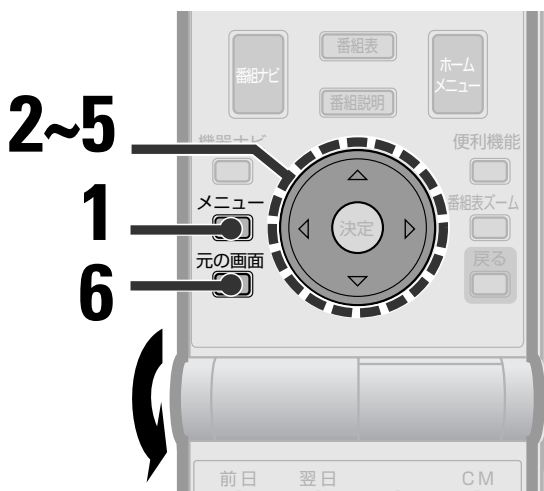
便利機能ボタンを押すと…

視聴制限の対象になっている番組を選局していなくても、便利機能ボタンのサブメニューで、あらかじめ視聴制限を一時解除しておくことができます。

1. メニュー画面を表示していない状態、または「番組表」、「裏番組一覧」、「ジャンル検索結果」画面で便利機能ボタンを押す
2. カーソルボタン（▲▼）を押して「視聴制限一時解除」を選び、決定ボタンを押す
3. 暗証番号を入力する

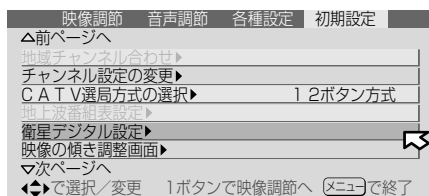
表示させるチャンネルの種類を設定する

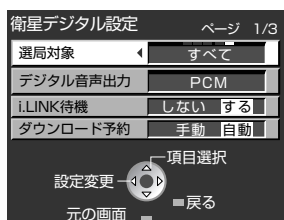
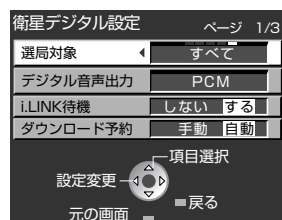
チャンネル+/－ボタンによる順送り選局や、「番組表」「裏番組」「ジャンル検索」などで表示させるチャンネルを選択することができます。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「選局対象」を選ぶ

お好み：
衛星チャンネル設定(☞134ページ)で登録したチャンネルのみチャンネル+/－ボタンで選局したり、表示させることができます。

テレビ：
テレビ放送のチャンネルのみチャンネル+/－ボタンで選局したり、表示させることができます。

ラジオ：
ラジオ放送のチャンネルのみチャンネル+/－ボタンで選局したり、表示させることができます。

データ：
データ放送のチャンネルのみチャンネル+/－ボタンで選局したり、表示させることができます。

すべて：
現在放送されているチャンネルの全てをチャンネル+/－ボタンで選局したり、表示させることができます。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して対象を設定する

6 元の画面ボタンを押して終了する

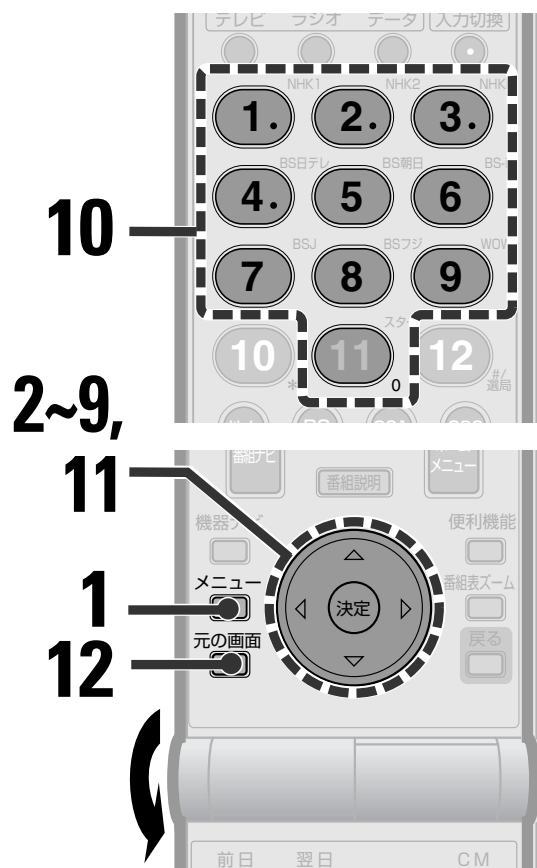
便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、表示させるチャンネルを選択することができます。

1. **メニュー画面を表示していない状態、または「番組表」、「裏番組一覧」、「ジャンル検索結果」画面で便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「表示内容」を選び、決定ボタンを押す**
3. **カーソルボタン(◀▶)を押して選択する**

好きなチャンネルを登録する

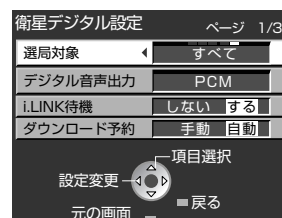
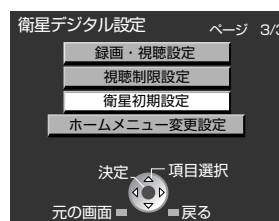
「衛星チャンネル設定」で登録する

お好みのチャンネルを、登録して、チャンネル+/ーボタンでの順送り選局やお好み選局に使用できます。BS放送、CS1放送、CS2放送をそれぞれ30チャンネルずつ登録する事ができます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に**1ボタン**(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

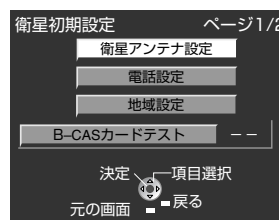
1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

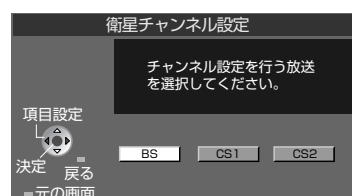
2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「衛星初期設定」を選ぶ

- **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
  上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを3秒以上押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。

6 カーソルボタン(▲▼)を押して「衛星チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

「衛星チャンネル設定」画面が表示されます。

7 カーソルボタン(◀▶)を押してチャンネル設定をしたい放送を選び、決定ボタンを押す

チャンネル番号

リモコンのチャンネル数字ボタン

● 「CS受信選択」(☞ 48ページ)を「無効」に設定している場合には、「CS1」「CS2」を選ぶことはできません。

8 カーソルボタン(▲▼)を押して、設定したいリモコンの数字番号を選ぶ

● チャンネル数字ボタンを押すと、リモコンの数字番号の1～10を選ぶ事ができます。

9 カーソルボタン(◀▶)を押して「CH」の項目を選ぶ

10 チャンネル数字ボタンで登録したいチャンネル番号を入力する

● カーソルボタン(▲▼)でチャンネル番号を選択することもできます。

11 カーソルボタン(◀▶)を押してリモコンの数字番号を選び、手順8～10をくり返す

12 元の画面ボタンを押して終了する

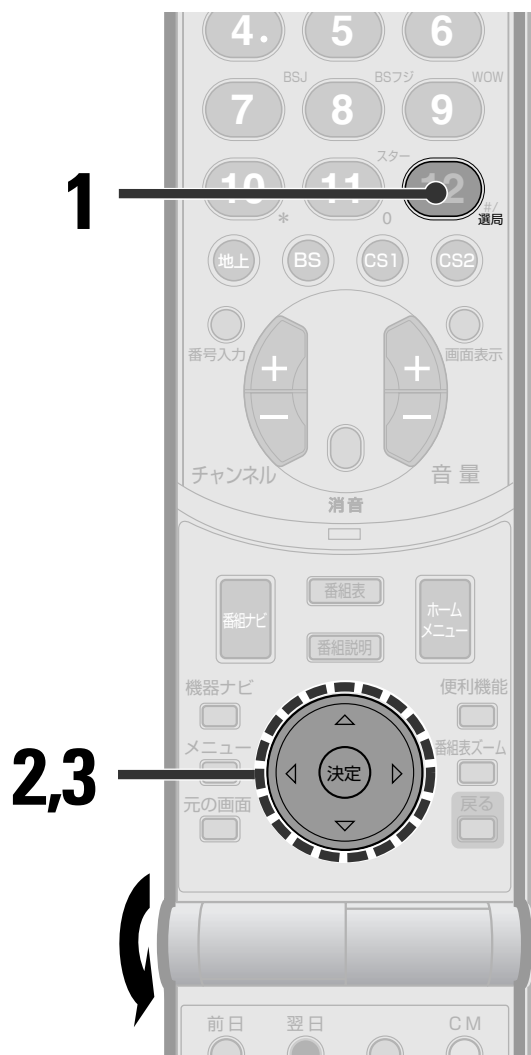
登録されたチャンネルについて

● 1～10に登録されたチャンネルは、チャンネル数字ボタンを押すだけで選局できます。
● 選局対象(☞ 133ページ)を「お好み」にして、登録されたチャンネルだけをチャンネル+/−ボタンで選べるようにできます。
● お好み選局(☞ 57ページ)で、登録したチャンネルを画面に表示して選べます。

好きなチャンネルを登録する（つづき）

「お好み設定」で登録する

「お好み設定」を使うと、現在ご覧になっているチャンネルを画面上に表示させた選局ボタンに登録することができます。

ふたを開けたところ

1 選局ボタンを3秒以上押す

「お好み選局」画面が表示された後、3秒後に「お好み設定」画面に切り換わります。

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）で登録したい選局ボタンを選ぶ

3 決定ボタンを押す

選んでいる選局ボタンに、現在視聴中のチャンネルが登録されます。

登録したチャンネルを削除するには

削除したい選局ボタンを選び、#ボタンを1秒以上押します。選んでいる選局ボタンに登録されたチャンネルを削除できます。

便利機能ボタンを押すと…

「お好み設定」画面を表示しているときに便利機能ボタンを押すと、チャンネル削除の確認画面が表示されます。確認画面で決定ボタンを押すと、選んでいる選局ボタンに登録されたチャンネルを削除できます。

信号を切り換えて楽しむ

映像を切り換える

デジタル放送番組には、複数の映像を放送しているものがあります。このような番組では、映像を切り換えて楽しむことができます

映像切換ボタンを押す

番組に複数の映像があるときには、映像切換ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

- マルチビュー放送の場合は、主映像、副映像の切換えができます。副映像は最大で2つあります。主映像、副映像のそれぞれに複数の映像がある場合も映像の切換えができます。
  このときは、主映像の映像1、主映像の映像2、……副映像の映像1、副映像の映像2、……と順番に切り換わります。

便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、簡単に映像を切り換えることができます。

1. 画面に他のメニュー画面を表示していない状態で便利機能ボタンを押す
2. カーソルボタン(▲▼)を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す
3. カーソルボタン(▲▼)を押して切り換える項目を選ぶ
4. カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

音声を切り換える

番組が複数の音声を放送している場合、音声を切り換えて楽しむことができます。

音声切換ボタンを押す

番組に複数の音声や二重音声がある場合、音声切換ボタンを押すごとに音声が切り換わります。

- 二重音声の場合は、「主」、「副」「主＋副」の順番に音声が切り換わります。

便利機能ボタンを押すと…

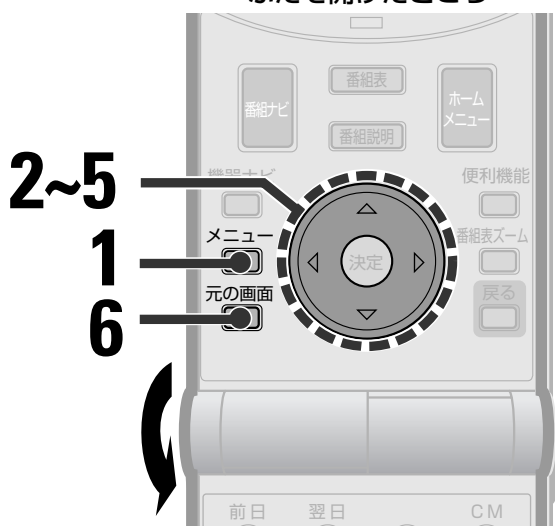
便利機能ボタンのサブメニューで、簡単に音声を切り換えることができます。

1. 画面に他のメニュー画面を表示していない状態で便利機能ボタンを押す
2. カーソルボタン(▲▼)を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す
3. カーソルボタン(▲▼)を押して切り換える項目を選ぶ
4. カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

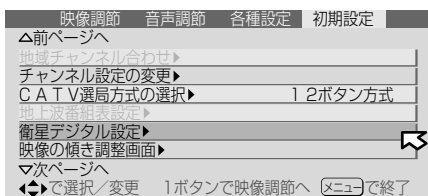
信号を切り換えて楽しむ（つづき）

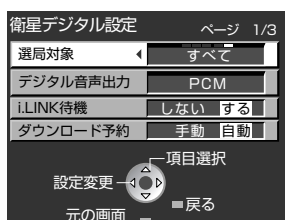
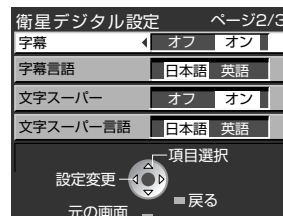
字幕を見る

字幕のある番組を視聴する際の、字幕表示を設定できます。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選ぶ

● **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

字幕：
字幕表示の有無を選択します。
「オン」：字幕を表示します。
「オフ」：字幕を表示しません。

字幕言語：
字幕で表示される言語を選択します。
「日本語」：日本語の字幕を表示します。
「英語」：　英語の字幕を表示します。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

6 元の画面ボタンを押して終了する

ご注意

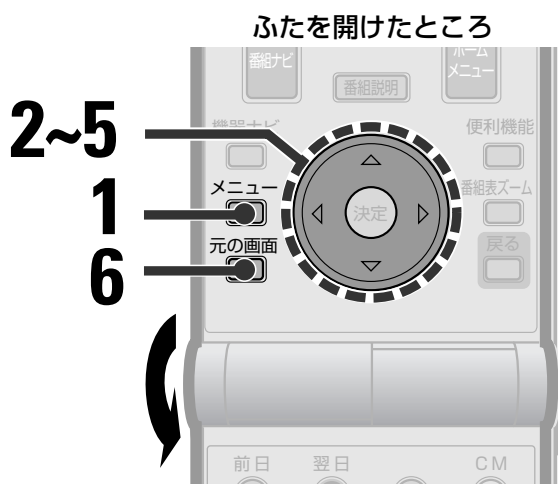
●放送によっては設定が無効になる場合もあります（強制的に字幕を表示する放送など）。

便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、簡単に字幕の設定を切り換えることができます。

1. **画面に他のメニュー画面を表示していない状態で便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す**
3. **カーソルボタン(▲▼)を押して切り換える項目を選ぶ**
4. **カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える**

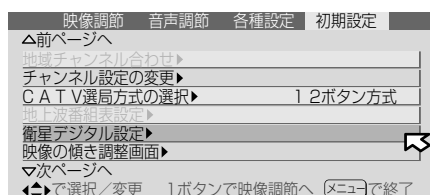
文字スーパーを見る

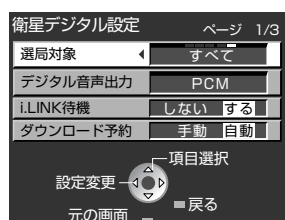
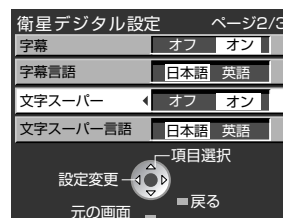
視聴中に、文字スーパーを表示するかどうかを設定できます。
●文字スーパーはお知らせを番組放送中の画面に文字で表示するものです。

ふたを開けたところ

2~5
1
6

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

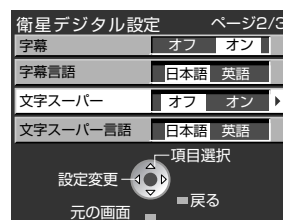
「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選ぶ

● **「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

文字スーパー：
文字スーパー表示の有無を選択します。
「オン」：文字スーパーを表示します。
「オフ」：文字スーパーを表示しません。

文字スーパー言語：
文字スーパーで表示される言語を選択します。
「日本語」：日本語の文字スーパーを表示します。
「英語」：英語の文字スーパーを表示します。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

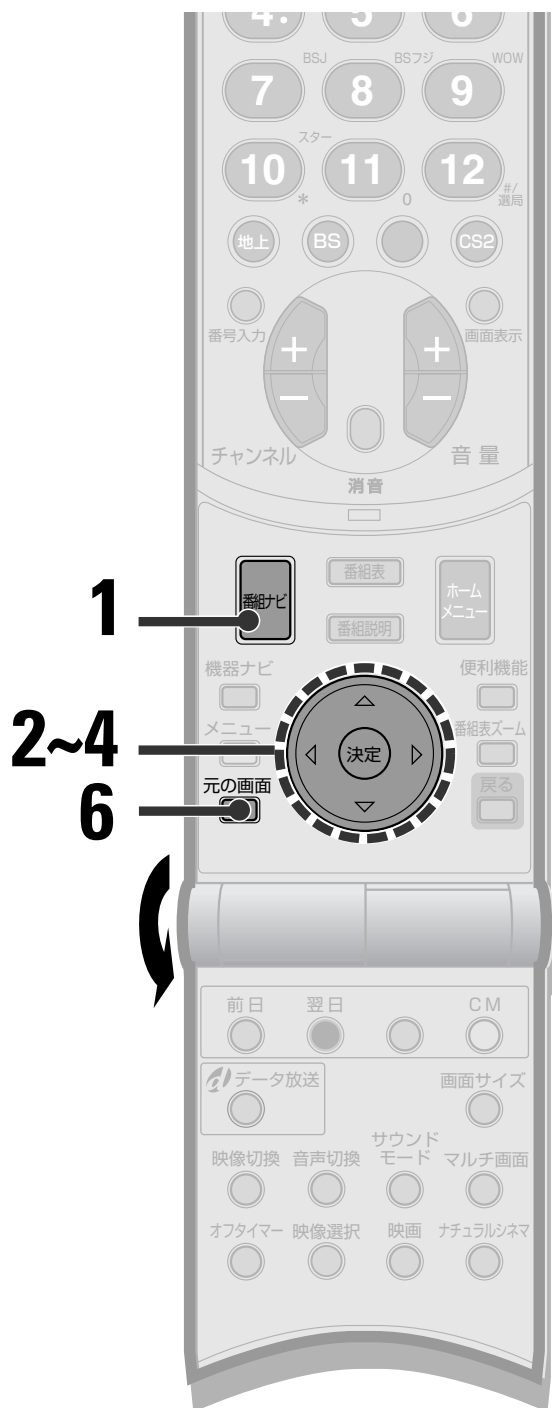
6 元の画面ボタンを押して終了する

ご注意

●放送によっては設定が無効になる場合もあります（強制的に文字スーパーを表示する放送など）。

放送局からのお知らせを見る

メールを読む

メールには、放送局から送られてくる個人あての情報と,本機が予約の実行に失敗したときなどに出すメッセージの2種類があります。重要なお知らせが含まれていますので、必ずお読みください。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押して「番組ナビ」画面を表示させる

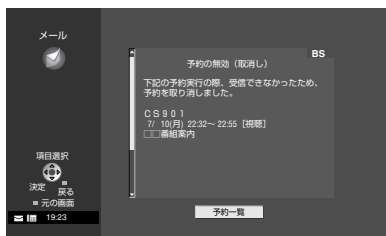
2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「メール」を選び、決定ボタンを押す

：まだ読んでいないメール

：すでに読んだメール

● メールは9通まで表示されます。10通以上のメールがあるときはカーソルボタン（▲▼）を押すと表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して読みたいメールを選び、決定ボタンを押す

● 表示しきれない部分があるときは、カーソルボタンで「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと表示されます。

5 内容を確認する

6 元の画面ボタンを押して終了する

他のメールを読みたいときには

手順5で戻るボタンを押し、手順4からくり返します。

ご注意

- B-CASカードが挿入されていないとメールを受信する事ができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。
- メールは合計で24通（各放送では最大13通）まで保存できます。24通を超えると古いメールから自動的に削除されます。
  ただし、御愛用者登録のお願いのメールは削除されません。

本機が出すメールの内容

本機から送られてくるメールには次のようなものがあります。

電話回線の通信異常通知

電話回線を使用した通信で異常があった場合に届きます。

- 通信異常のメールが届いたときは、電話回線の接続、電話設定を確認のうえ、正しく設定や接続を行ってください（☞22、40ページ）。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV（ペイ・パー・ビュー）の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 決定ボタンを押せば、「電話発信記録」（☞143ページ）画面が表示されます。

予約の警告、失敗の通知

予約が失敗した場合に届きます。

- 決定ボタンを押せば、「予約一覧」（☞116ページ）画面が表示されます。

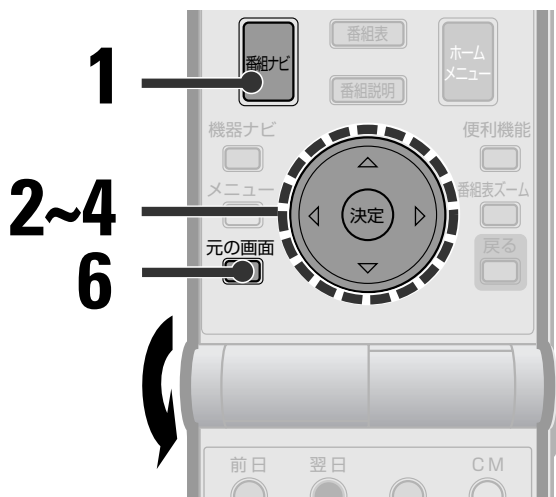
ダウンロードの通知

ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについての詳しい説明は144ページをご覧ください。

放送局からのお知らせを見る

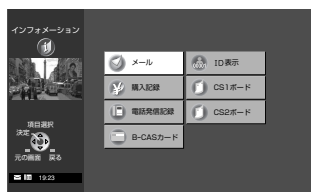
ボードを読む

ボードは、放送局から送られてくる情報と、ご案内などがあります。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

ふたを開けたところ

● **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
● **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

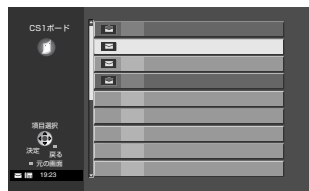
1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

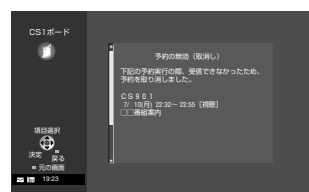
2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「CS 1 ボード」「CS2ボード」を選び、決定ボタンを押す

ボードは2種類あります。

CS1ボード:
プラット･ワンからのお知らせを表示します。

CS2ボード:
スカイパーフェクTV! 2 からのお知らせを表示します。

● ボード項目は9通まで表示されます。10通以上の項目があるときはカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して読みたいボード項目を選び、決定ボタンを押す

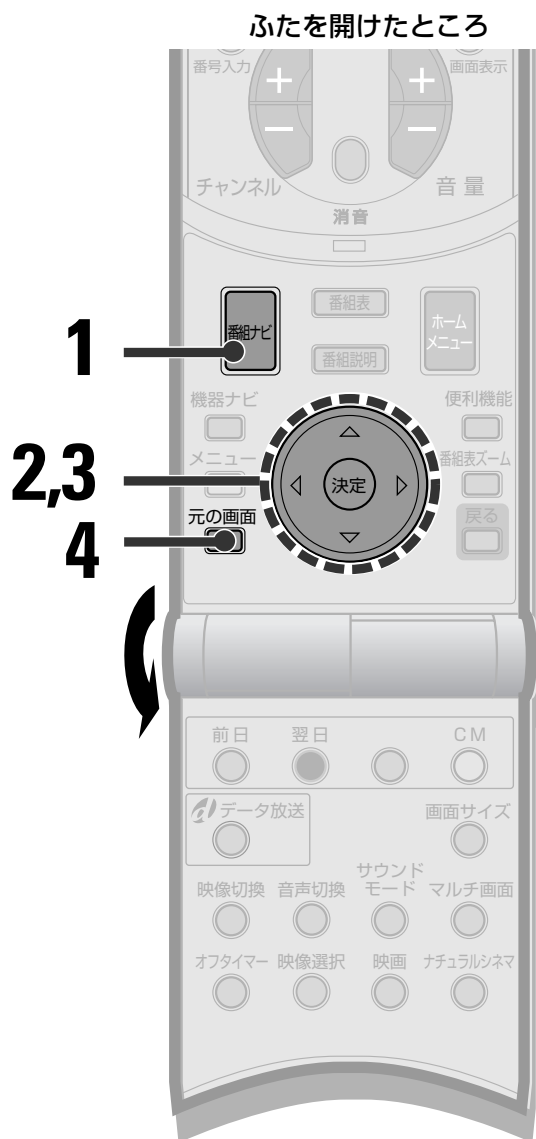
● 表示しきれなかった部分を読むには、カーソルボタンで「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと、表示しきれなかった文章が表示されます。

5 内容を確認する

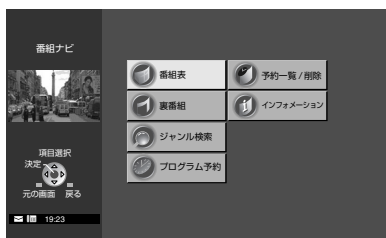
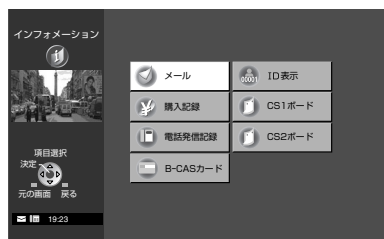
6 元の画面ボタンを押して終了する

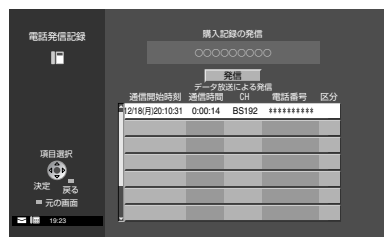
他のボードを読みたいときには

手順5で戻るボタンを押し、手順4からくり返します。

電話発信記録を確認する

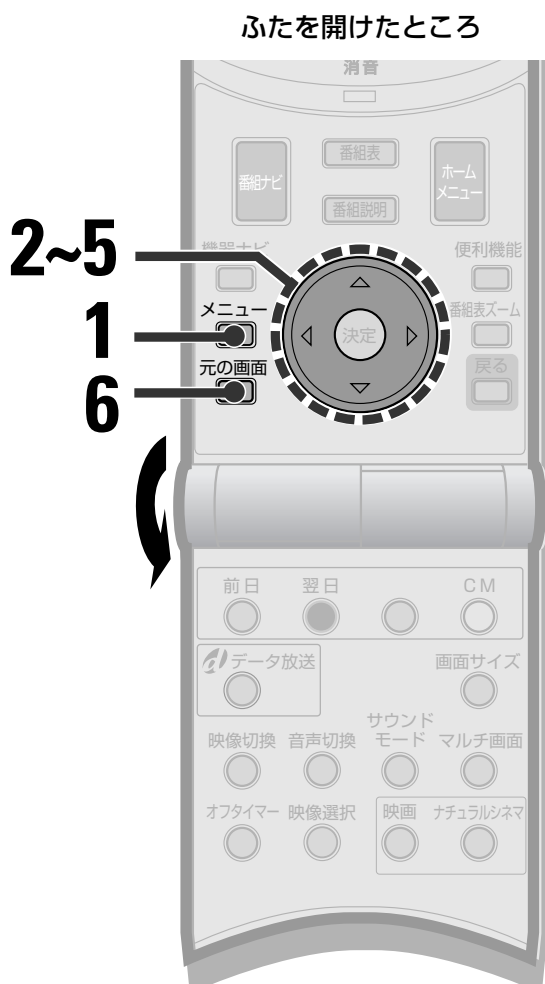
電話発信記録では、購入記録の発信とデータ放送の番組から発信した記録の確認をすることができます。また、番組の購入記録が送信できる場合には発信することもできます。

1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「電話発信記録」を選び、決定ボタンを押す

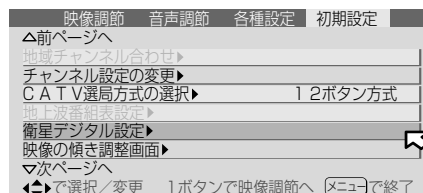
「電話発信記録」画面が表示されます。

- 購入記録が送信できる場合には、カーソルボタン(▲▼)で「発信」を選んで決定ボタンを押します。電話回線を通してセンターへ番組の購入記録などを発信できます。
- i.LINK接続機器から本機を通じて電話発信を行ったときは、区分表示に i.LINK のアイコンが表示されます。

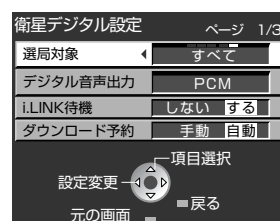
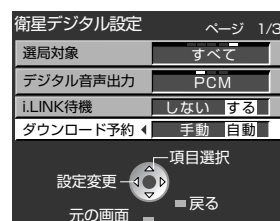
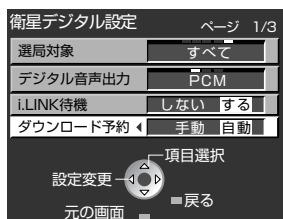
4 元の画面ボタンを押して終了する

ダウンロードの設定をする

本機のBS･110度CSデジタル放送受信部はパソコンのようにプログラム（ソフトウェア）やデータで、さまざまな機能を実現しています。新しい機能の追加やサービスへの対応が必要になったとき、「ダウンロード」と呼ばれる機能でプログラムやデータを入れ換え、機能の追加やサービスへ対応をできるようになっています。
ここでは自動的にダウンロードを行うかどうかを設定します。
- ●通常はダウンロードの設定を「自動」にすることをおすすめします。
- ●ダウンロードするプログラムがあるときにはメールでお知らせします。

- ● **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- ● **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- ● **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「ダウンロード予約」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を選ぶ

自動:
通常はこちらを選びます。重要なダウンロード情報が届いたとき、電源オフ時に自動的にダウンロードを行います。

手動:
全てのダウンロードを、ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うか選択します(☞「自分でダウンロードするには」)。
「手動」を選んだ場合、本機の性能改善のような重要なダウンロードの場合でも、自動的にダウンロードを行わなくなりますのでご注意ください。

6 元の画面ボタンを押して設定を終了する

ダウンロードに関するご注意

- ダウンロードは、電源オフの状態でないと実行されません。電源プラグを抜かず、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。
- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。メールの表示方法については140ページをご覧ください。

自分でダウンロードするには

手順5で「自動」を選んでいても、プログラムによっては、ダウンロードをするかしないかを選んで、決定しなくてはならないものがあります。

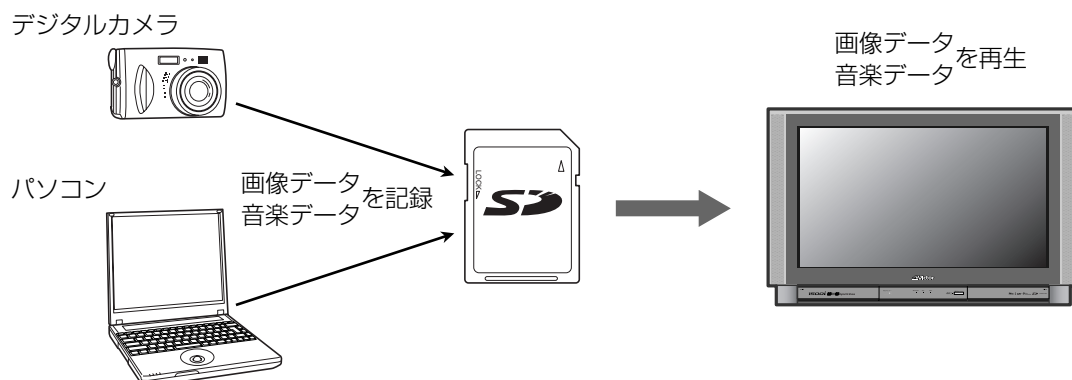
1. **メールを開く(☞140ページ)**
2. **メールをよく読んで内容を確認する**
3. **カーソルボタン(◀▶)を押して「する」を選び、決定ボタンを押す**

電源オフになると、自動的に選択されたダウンロードが行われます。

ダウンロードに失敗したときは･･･

メールでお知らせします。再度ダウンロードをするかどうかを選択できます。
「もう1度ダウンロードをする」を選ぶと、指定された時間にダウンロードが行われます。

SDメモリーカードでできること

本機は、SDメモリーカードに記録された画像データや音楽データを再生できます。デジタルカメラの静止画像やパソコンで編集した音楽をお楽しみになれます。

■ 本機で再生できる画像データと音声データは次のとおりです。

再生できる画像データ：

・DCF[1]規格の画像データ

・SDメモリーカード対応の機器間データ転送用フォルダ「IMEXPORT」のExif2.1以上の画像データ（ただしファイル名が日本語の場合、ファイル名は表示されません。）

●パソコンなどで画像編集ソフトを使って編集した画像データは、本機で再生できない場合があります。

再生できる音楽データ：

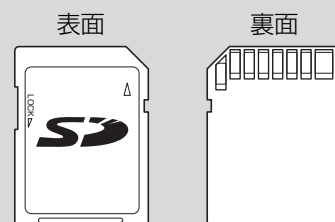
AAC[2]方式の音楽データ

ただし、サンプリング周波数がハーフレート（24 kHz、22.05 kHz、16 kHz）のデータは再生できません。

1) DCF (Design rule for Camera File system)
デジタルカメラの統一フォーマットとしてJEITA（電子情報技術産業協会）によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。

2) AAC (Advanced Audio Coding)
音声符号化の規格の一つです。
CDと同等の音質の音楽データを約1/12にまで圧縮できます。

SDメモリーカードとは

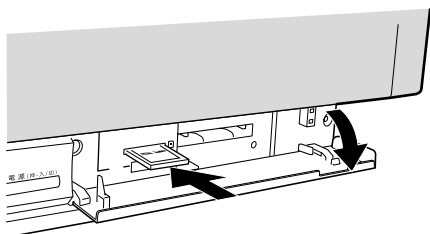
SDメモリーカードは、著作権を保護する機能を内蔵した記録媒体です。
幅24mm × 高さ32mm × 厚さ2.1mmという、切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD（ミニディスク）やCD（コンパクトディスク）、カセットテープなどに替わる、次世代の記録媒体です。

SDメモリーカードの使用上のご注意

●SDメモリーカードを再生中（「SDカード」画面での操作中）は、電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。SDメモリーカードのデータが破壊されることがあります。

●SDメモリーカードは松下製あるいは東芝製のものをご使用ください。

SDメモリーカードの使い方

1 右ドアを開けて、SDメモリーカードを入れる

カードの表(ロゴが印刷されている面)を上に向けて、奥まで押し込んでください。

「SDカード」画面が表示されます。

2 右ドアを閉める

「SDカード」画面を消すには

元の画面ボタンを押します。

SDメモリーカードを抜くには

挿入されているSDメモリーカードを指で奥に押し込みます。カードが出てきます。

- 必ず元の画面ボタンを押して「SDカード」画面を消してから、SDメモリーカードを抜いてください。「SDカード」画面が表示されているときは、本機がデータを読み込んでいます。データの読み込み中にSDメモリーカードを抜くと、データが破壊されることがあります。

「SDカード」画面を表示させるには

「機器ナビ」画面からも「SDカード」画面を表示させることができます。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「SDカード」を選び、決定ボタンを押す

「SDカード」画面が表示されます。

ご注意

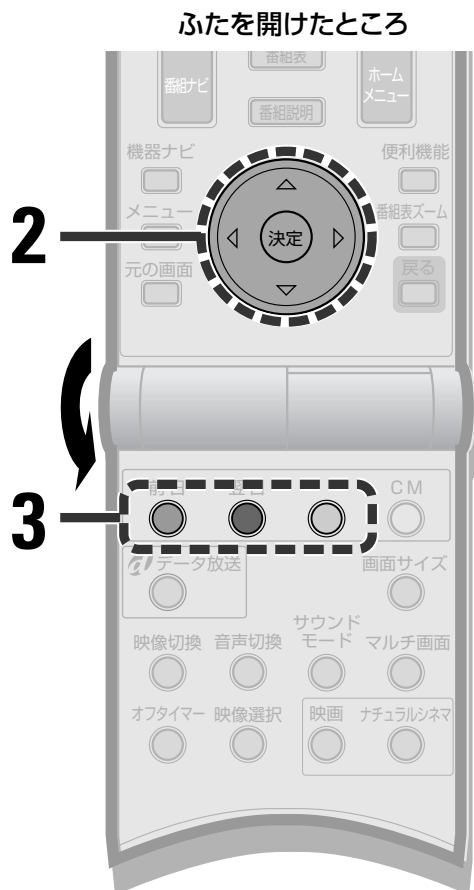
- 電源が「切」のときは、SDメモリーカードを挿入しても、「SDカード」画面は表示されません。電源を入れた後、「機器ナビ」画面から「SDカード」画面を表示させてください。
- 録画予約の実行中は、「SDカード」画面を表示できません。
- 「SDカード」画面を表示しているときはメニューを表示できません。
- SDメモリーカードの再生中は画質(☞61ページ)やサウンドモード(☞63ページ)の変更はできません。変更したいときは再生する前にあらかじめ行ってください。

画像を見る

本機は、SDメモリーカードに記録されている画像データを次の3通りの方法で見ることができます。

■ マルチ表示:　一度に最大9枚の画像を表示します。(☞149ページ)
■ シングル表示:　1枚ずつ画像を大きく表示します。また、画像を拡大/縮小したり、回転できます。(☞150ページ)
■ スライド表示:　画像を連続して表示します。(☞152ページ)

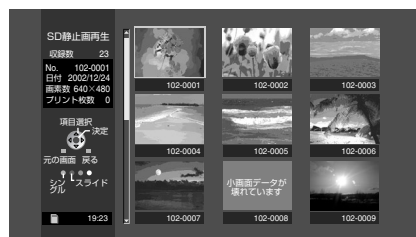
● SDメモリーカードに記録された画像を再生しているときは画質の変更（☞61ページ）はできません。変更したいときは再生する前にあらかじめ行ってください。

ふたを開けたところ

1 SDメモリーカードを入れる

● SDメモリーカードの入れ方は147ページをご覧ください。

「SDカード」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して「SD静止画再生」を選び、決定ボタンを押す

「SD静止画再生」画面が「マルチ表示」されます。

3 表示方法を切り換える

次のように切り換えます。

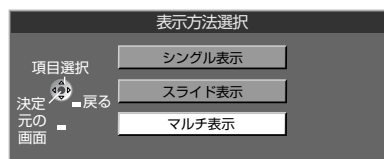
「マルチ表示」するには:　☞149ページ
緑ボタンを押す。

「シングル表示」するには:　☞150ページ
青ボタンを押す。

「スライド表示」するには:　☞152ページ
赤ボタンを押す。

「表示方法選択」画面から切り換えるには

1 「SD静止画再生」画面を表示中に決定ボタンを押す

「表示方法選択」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して表示方法を選び、決定ボタンを押す

「SD静止画再生」画面を消すには

元の画面ボタンを押します。

画像を一度に見る（マルチ表示）

SDメモリーカードに記録されている画像データを一度に9枚までの縮小画像で表示できます。

● 縮小画像データが記録されていない場合はマルチ表示できません。

「マルチ表示」画面

画像情報

「No.」: 画像番号（またはファイル名）

「日付」: 画像が記録された日付

「画素数」: 画像の実際の画素数（横×縦）

「プリント枚数」: 「ラボ・プリントサービス」などにプリントしてもらう枚数（本機では変更できません。）

総枚数

現在選ばれている画像

画像番号

SD静止画再生
収録数 23
No. 102-0001
日付 2002/12/24
画素数 640×480
プリント枚数 0
項目選択 決定
元の画面 戻る
シングル スライド
アクセス中 19:23
102-0001 102-0002 102-0003
102-0004 102-0005 102-0006
102-0007 小画面データが表示できません 102-0008 102-0009

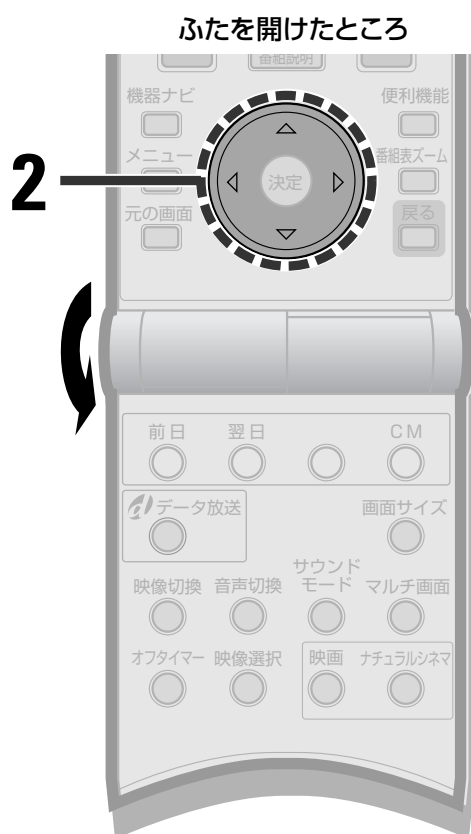
アクセス中表示

本機がSDメモリーカードのデータを読み込んでいるときは「アクセス中」と表示され、が赤く表示されます。（通常はが青く表示されます。）

● 「アクセス中」と表示されているときはSDメモリーカードを抜かないでください。記録されているデータが壊れる場合があります。

エラー表示

画像データが読み込めないなど縮小画像が表示できないときに表示されます。

ふたを開けたところ

1 左ページの手順1と手順2を行い、「SD静止画再生」画面を表示させる

「SD静止画再生」画面が「マルチ表示」されます。

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して画像を確認する

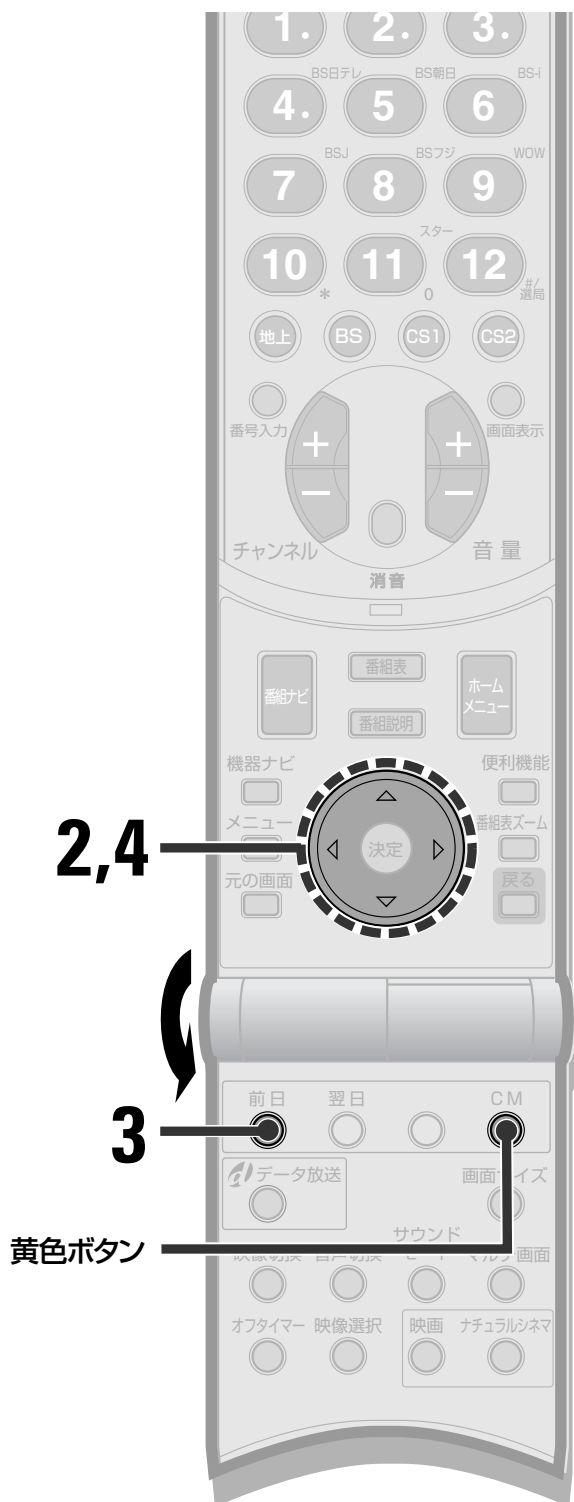
10枚以上の画像があるときは、カーソルボタン（▲▼）をくり返し押すと、順に表示されます。

「SD静止画再生」画面を消すには

元の画面ボタンを押します。

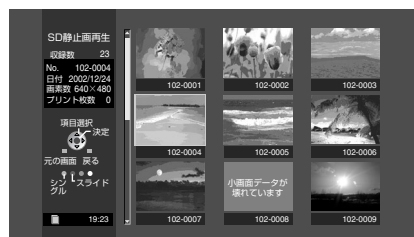
画像を１枚ずつ見る（シングル表示）

SDメモリーカードに記録されている画像データを1枚ずつ大きく表示できます。
また、画像を拡大/縮小したり、回転できます。

ふたを開けたところ

1 「マルチ表示」画面を表示させる

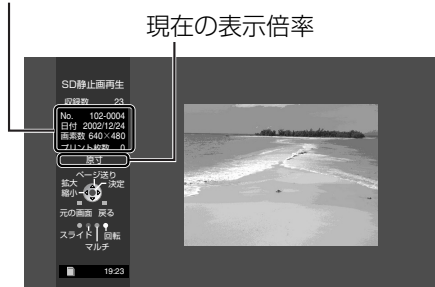
● 「マルチ表示」画面を表示させるには149ページをご覧ください。

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して見たい画像を選ぶ

10枚以上の画像があるときは、カーソルボタン（▲▼）をくり返し押すと、順に表示されます。

3 青ボタンを押す

選んだ画像が大きく表示（「シングル表示」）されます。

現在表示されている画像の情報（☞149ページ）

現在の表示倍率

4 他の画像を見るにはカーソルボタン（▲▼）を押す

シングル表示のまま、画像が切り換わります。

シングル表示中に画像を拡大/縮小するには

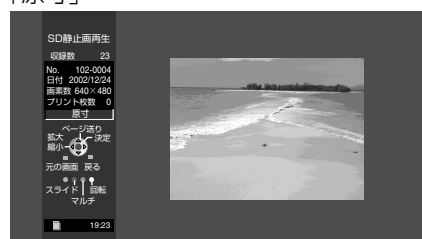
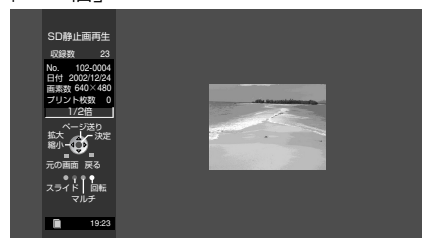
シングル表示中に画像を「2倍」、「原寸」、「1/2倍」に切り換えられます。

● **画像を拡大するには**
　カーソルボタン（▶）を押します。

● **画像を縮小するには**
　カーソルボタン（◀）を押します。

例：画素数が640×480の画像のとき

「2倍」

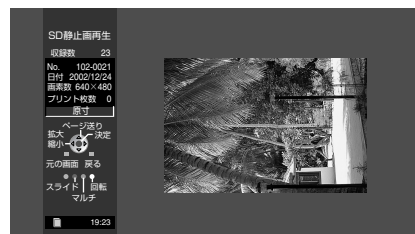
「原寸」

「1/2倍」

シングル表示中に画像を回転するには

黄色ボタンを押すごとに、画像が90°ずつ時計回りに回転します。

● 画像の画素数によっては、回転させると画面に合わせて拡大または縮小されます。

「SD静止画再生」画面を消すには

元の画面ボタンを押します。

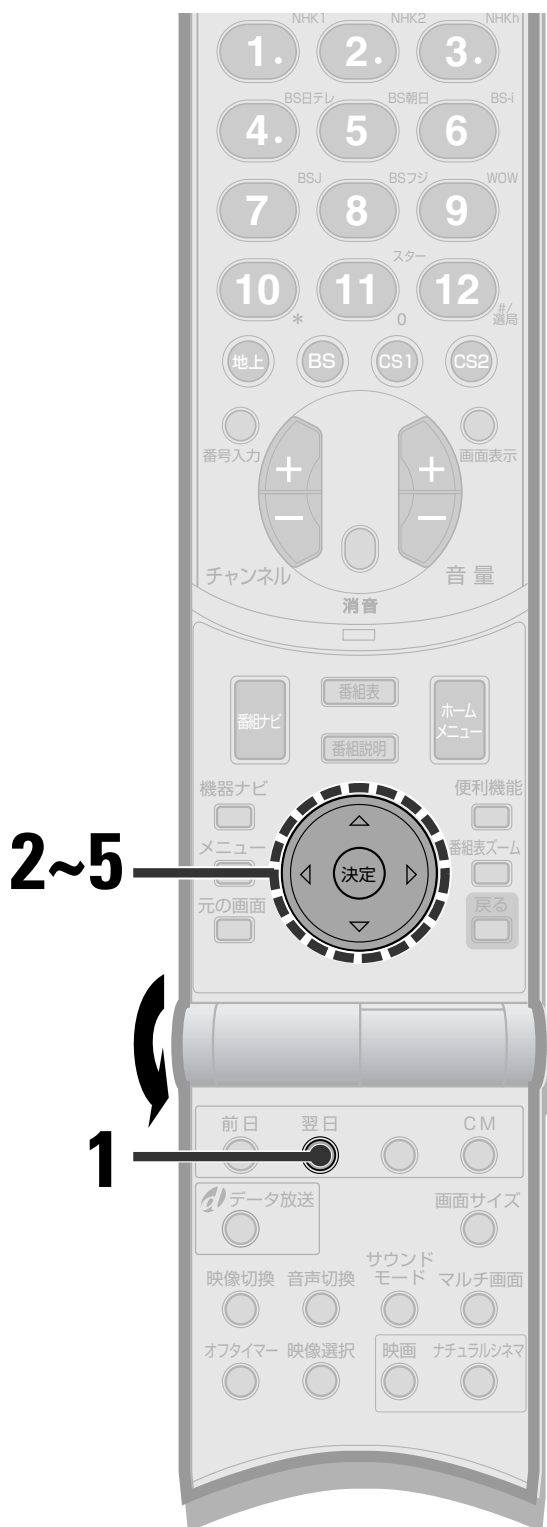
ご注意

● 画像のサイズが大きいと完全に表示されるまでに時間がかかります。

● 画像データが読み込めないなど、画像をシングル表示できないときはエラーメッセージが表示されます。

● シングル表示中に画像を回転させると、スライド表示するときも回転させた状態で表示されます。回転させた角度は「SD静止画再生」画面を消すまで記憶されます。

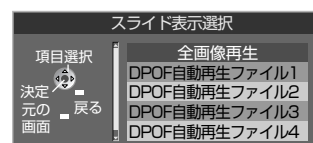
画像を連続して見る（スライド表示）

SDメモリーカードに記録されている画像データを連続して再生することができます。

ふたを開けたところ

1 「SD静止画再生」画面を表示中に、赤ボタンを押す

- 「SD静止画再生」画面を表示させるには148ページをご覧ください。

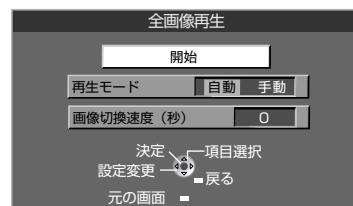
「スライド表示選択」画面が表示されます。

- 「DPOF自動再生ファイル」（スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイル）が記録されていない場合は下記の画面は表示されません。手順3に進んでください。

「全画像再生」：
記録されているすべての画像を、「マルチ表示」画面で表示される順番で連続して再生します。

「DPOF自動再生ファイル」：
スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイルです。
ファイルに含まれるすべての画像を、あらかじめ記録されている順番で再生します。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して項目を選び、決定ボタンを押す

- 5個以上の「DPOF自動再生ファイル」があるときは、カーソルボタン（▲▼）をくり返し押すと、順に表示されます。

例：「全画像再生」を選んだとき

3 カーソルボタン(▲▼)を押して項目を選ぶ

● 「スライド表示」を開始する前に、スライド表示の方法を選べます。

「再生モード」:

「手動」: カーソルボタン(▲▼)を押すごとに画像が切り換わります。

「自動」: 「画像切替速度(秒)」で設定した時間間隔で、自動的に次の画像に切り換わります。

「画像切替速度(秒)」:

「再生モード」を「自動」にしているときに、表示する画像と画像の時間間隔を設定します。

● 「0」〜「10」、「15」、「20」、「25」、「30」、「40」、「50」、「70」、「100」の中から選びます。(数字は秒単位)

4 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「開始」を選び、決定ボタンを押す

「スライド表示」が始まります。

● 「再生モード」を「手動」にしたときはカーソルボタン(▲▼)で画像を切り換えてください。

スライド表示を止めるには

決定ボタンを押します。「表示方法選択」画面が表示されます。(☞148ページ)
(「スライド表示」を選ぶか、戻るボタンを押すと、スライド表示が再開されます。)

● スライド表示中に緑ボタンまたは戻るボタンを押すと「マルチ表示」画面(☞149ページ)になります。

● スライド表示中に青ボタンを押すと「シングル表示」画面(☞150ページ)になり、表示されていた画像がシングル表示されます。

「SD静止画再生」画面を消すには

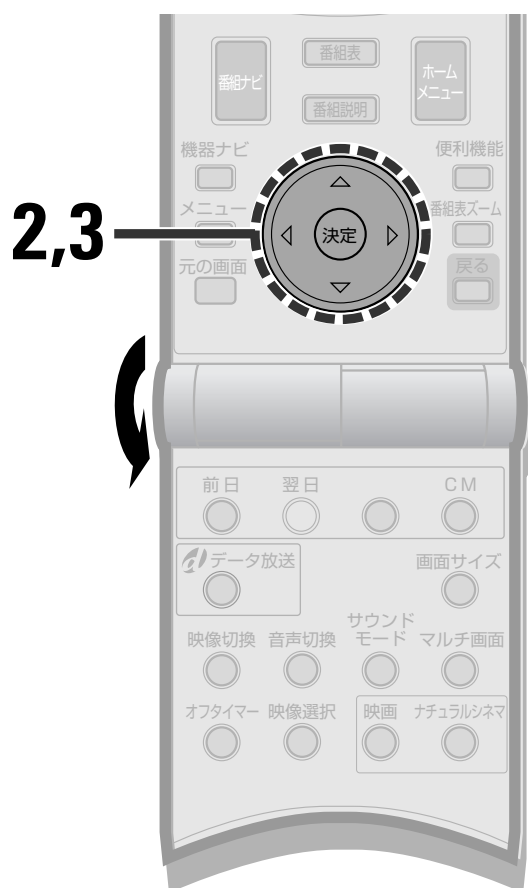
元の画面ボタンを押します。

ご注意

● 画像のサイズが大きいと完全に表示されるまでに時間がかかります。
● スライド表示中に、画像を拡大/縮小したり、回転させることはできません。
● 画像データが読み込めないなど、画像をスライド表示できないときはエラーメッセージが表示され、次の画像に移ります。
● 横向きの画像は、あらかじめシングル表示中に画像を回転させて縦向きにしておくと、縦向きの状態でスライド表示できます。
● 本機でDPOF自動再生ファイルを作成することはできません。

音楽を聴く

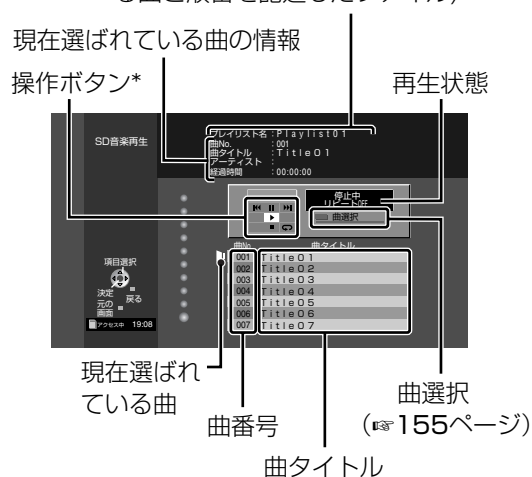
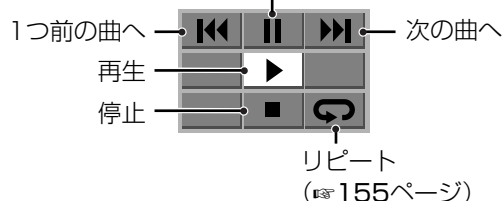
SDメモリーカードに記録された音楽を再生することができます。
●SDメモリーカードに記録された音楽を再生しているときはサウンドモードの変更（☞63ページ）はできません。変更したいときは再生する前にあらかじめ行ってください。

ふたを開けたところ

1 SDメモリーカードを入れる

● SDメモリーカードの入れ方は147ページをご覧ください。

「SDカード」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して「SD音楽再生」を選び、決定ボタンを押す

「SD音楽再生」画面が表示されます。

*操作ボタン：
例：「►（再生）」ボタンが選ばれているとき

3 カーソルボタン（◄►▲▼）を押して操作ボタンの「►（再生）」を選び、決定ボタンを押す

曲の再生が始まります。
● 再生するプレイリストや曲を選ぶときは155ページをご覧ください。

音量を調節するには

音量＋/－ボタンを押します。
●画面に音量は表示されません。

操作ボタンを使うには

カーソルボタン（◄►▲▼）を押して操作したいボタンを選び、決定ボタンを押します。

聴きたい曲を選ぶには

1 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「曲選択」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

プレイリスト画面が表示されます。

● プレイリストが記録されていない場合は曲選択画面が表示されます。手順4に進んでください。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して聴きたいプレイリストを選び、決定ボタンを押す

曲選択画面が表示されます。

● 11個以上のプレイリストがあるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、順に表示されます。

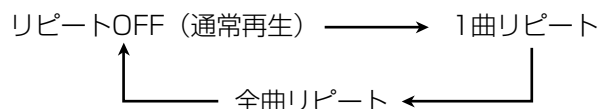
4 カーソルボタン(▲▼)を押して聴きたい曲を選び、決定ボタンを押す

選んだ曲が再生され、再生画面が表示されます。

● 画面上に表示しきれない曲があるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、順に表示されます。

曲をくり返し再生するには

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してリピート(☞154ページ)を選び、決定ボタンを押します。

押すたびに次のように切り換わります。

「1曲リピート」:
現在の曲をくり返し再生します。

「全曲リピート」:
記録されている全ての曲をくり返し再生します。

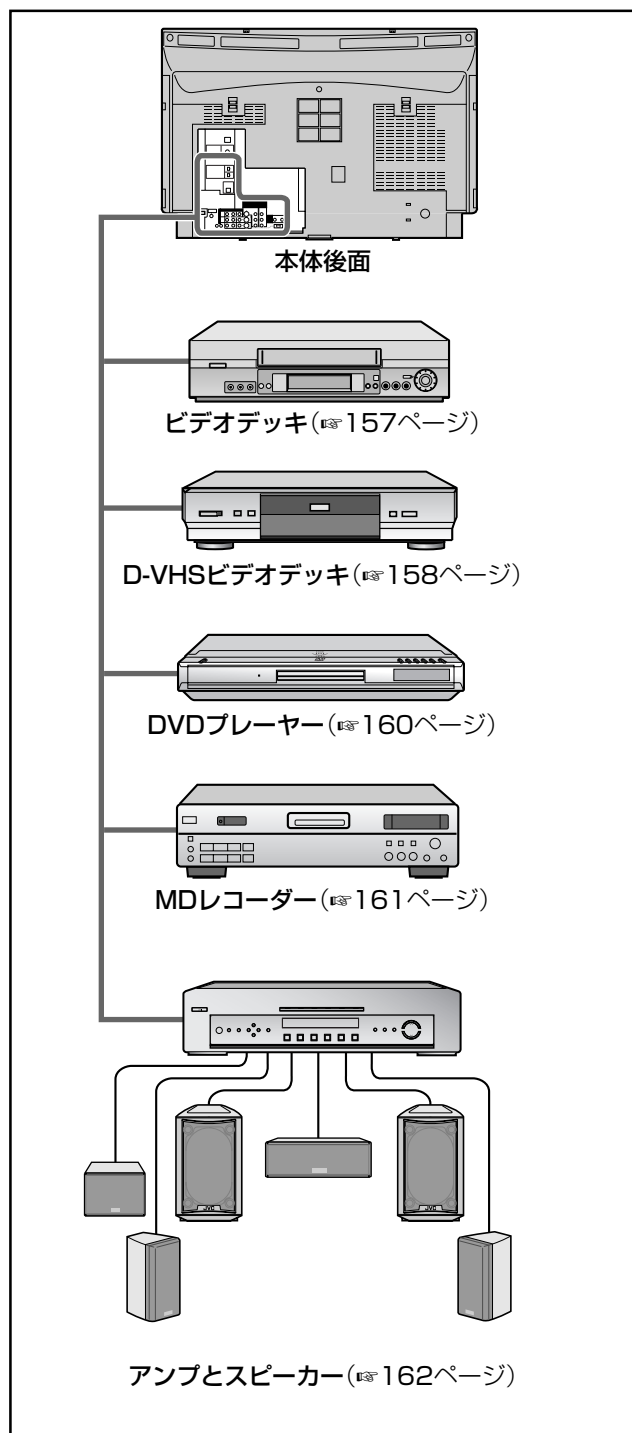
再生をやめるには

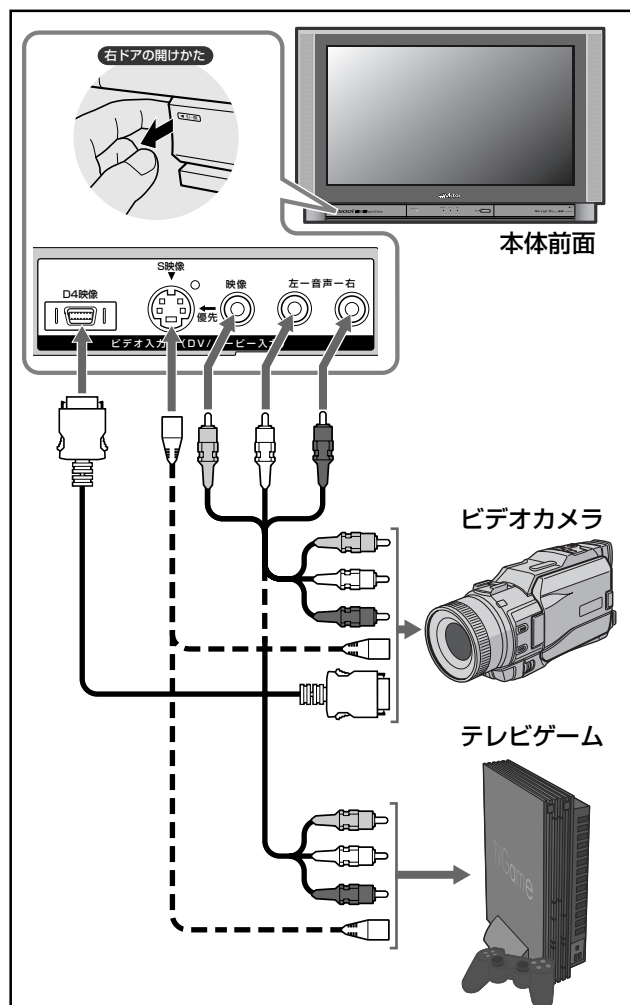
元の画面ボタンを押して再生画面を消してから、SDメモリーカードを取り出します。

ご注意

● 音楽データが読み込めないなど、再生できないまたは曲のタイトルなどが表示できないときはエラーメッセージが表示されます。（再生できないときは次の曲に移ります。）

本機に接続できる機器

接続が終わるまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオカメラ/テレビゲームをつなぐ

本体前面のビデオ4入力（DV/ムービー入力）端子に接続します。
接続が終わるまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ビデオカメラやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要なときがあります。詳しくは、ビデオカメラやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
- S映像出力があるときは、S映像コードで接続することをおすすめします。映像コードも同時に接続されているときは、S映像コードからの信号が優先されます。
- D映像出力があるときは、D映像コードで接続することをおすすめします。S映像コードや映像コードも同時に接続されているときは、D映像コードからの信号が優先されます。

ビデオカメラやテレビゲームを楽しむには

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ4」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更するときは、「外部入力の設定を変更する」（☞84ページ）をご覧ください。

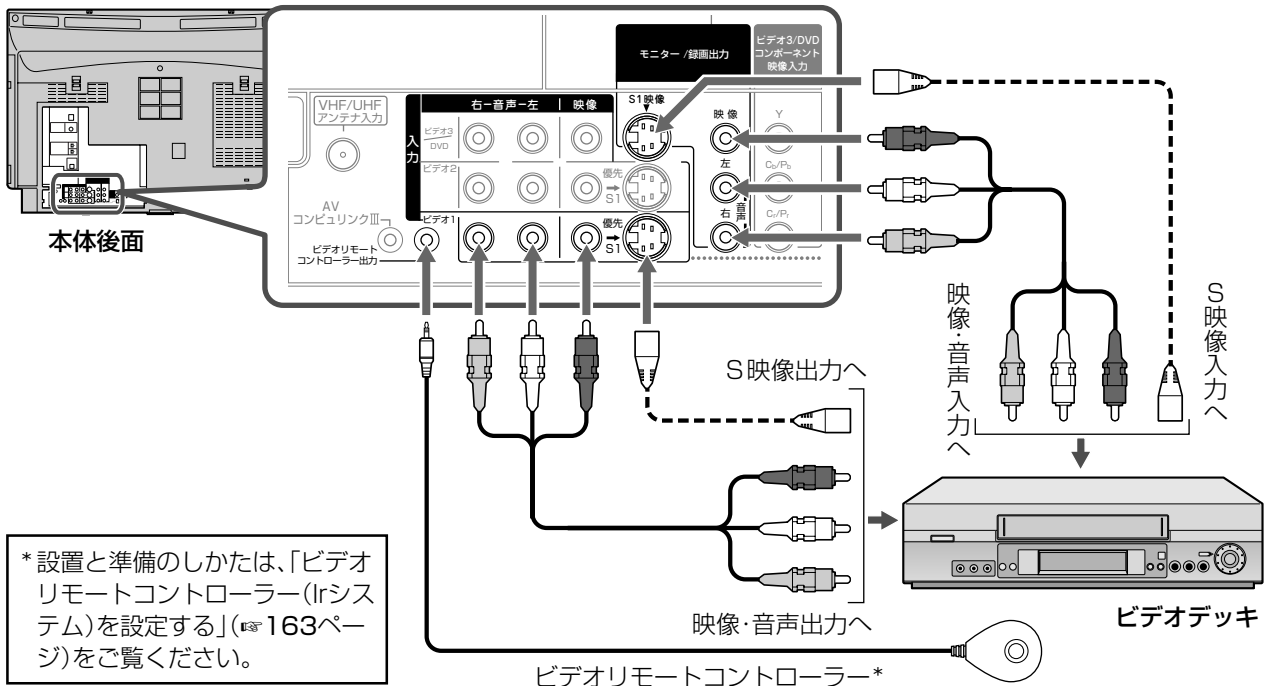
画面にノイズ（たて線など）が出るときは

ケーブルをとおしてノイズが入っていることが考えられます。シールドのしっかりしたケーブルに交換したり、ケーブルの位置をかえて、ノイズが少なくなるようにしてください。

ビデオデッキをつなぐ

ご注意:
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

アンテナの接続:
- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書をご覧になって接続してください。

＊設置と準備のしかたは、「ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を設定する」(☞163ページ)をご覧ください。

ビデオを見るときは

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更するときは、「外部入力の設定を変更する」(☞84ページ)をご覧ください。

ビデオ1入力端子の映像が乱れるときは

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選ぶ

- **「各種設定」メニューは2ページ構成です。**

上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選ぶ

4 メニューボタンを押して終了する

画面にノイズ(たて線など)が出るときは

ケーブルをとおしてノイズが入っていることが考えられます。シールドのしっかりしたケーブルに交換したり、ケーブルの位置をかえて、ノイズが少なくなるようにしてください。

番組を見ながら録画するときは

番組を見ながら録画することもできます。ただし、操作画面なども録画されます。
操作画面を録画したくない場合は録画予約(☞104ページ)をされることをおすすめします。

ご注意

- お手持ちのビデオデッキにS映像入力端子があるときは、別売りのS映像用ケーブルでつないでください。映像端子よりも、鮮明な映像で録画／再生できます。
- モニター/録画出力端子のS1映像端子から地上波放送の映像は出力されません。
- 番組を見ながら録画しているときに、番組表などを表示させるとビデオテープに記録された映像や音声が乱れることがあります。
- AVコンピュリンク端子のあるビデオデッキにつなぐときは172ページをご覧ください。
- 「BSデジタルリンク予約」や「BSデジタル予約[着信予約]」機能のあるビクター製ビデオデッキの場合は、ビデオデッキの取扱説明書にしたがって、接続と操作をおこなってください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ

ご注意:
- ●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- ●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

アンテナの接続:

● VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書をご覧になって接続してください。

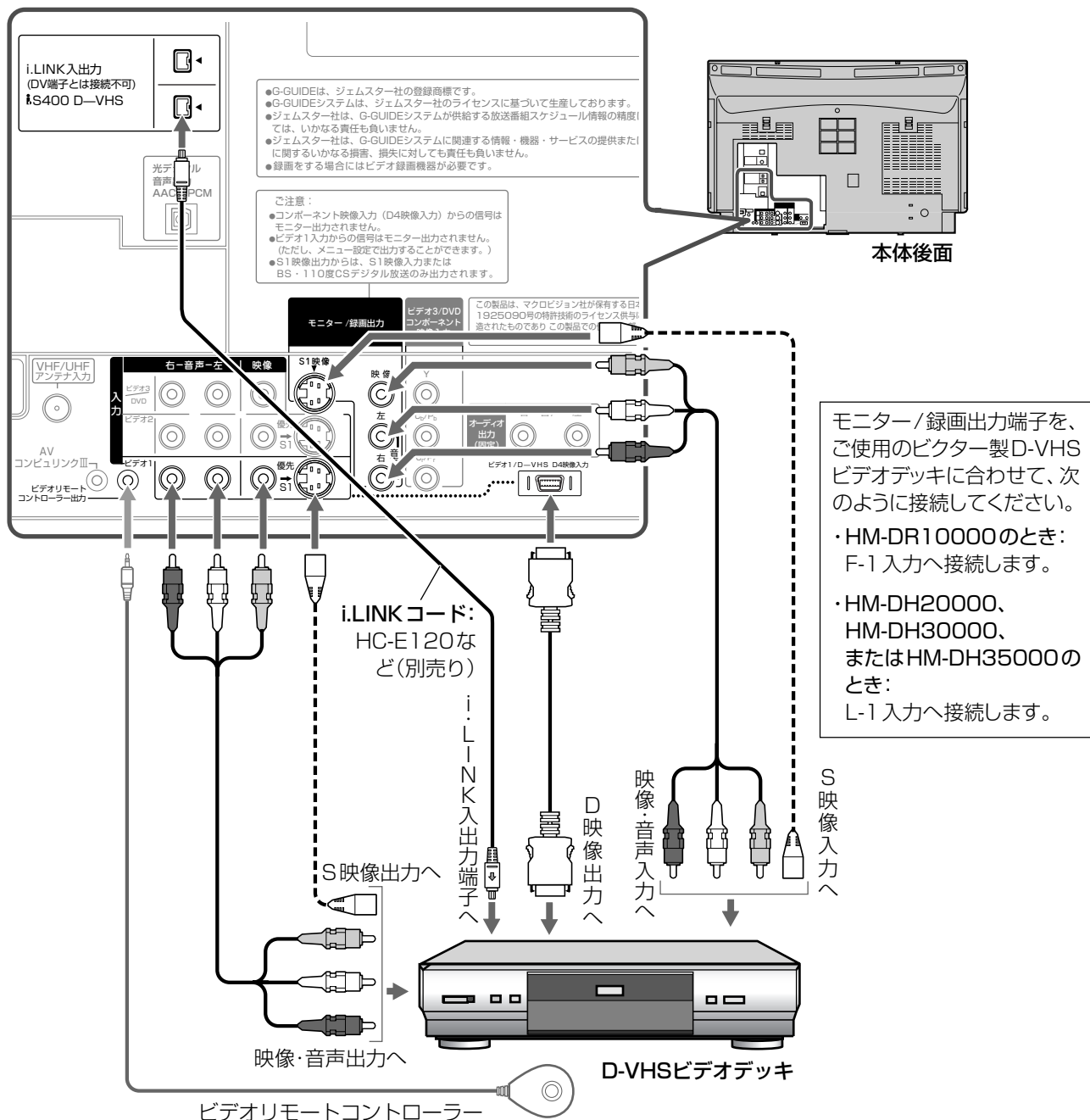
●i.LINKコードを接続するだけで使用できます。（167ページの「i.LINK対応機器の確認と設定をする」を必ず行ってください。）

i.LINKコード以外の接続は必要に応じて行ってください。

● 本機のi.LINK接続が可能なビクター製品には次のようなものがあります。

D-VHSビデオデッキ：　HM-DR10000、HM-DH20000、HM-DH30000、HM-DH35000

モニター／録画出力端子を、ご使用のビクター製D-VHSビデオデッキに合わせて、次のように接続してください。

- ・HM-DR10000のとき：F-1入力へ接続します。
- ・HM-DH20000、HM-DH30000、またはHM-DH35000のとき：L-1入力へ接続します。

接続時のご注意

- ●複数のD-VHSビデオデッキをi.LINK接続するときは、「i.LINKでつなぐ」（☞166ページ）をご覧ください。
- ●i.LINKコードはS400の規格に対応したものをご使用ください。S400の規格の表示のないi.LINKコードは使用できません。

番組を見ながら録画するときは

番組を見ながら録画することもできます。
アナログ入力の録画をするときは操作画面なども録画されます。
操作画面を録画したくない場合は録画予約（☞104ページ）をされることをおすすめします。

VHS/S-VHS（アナログ）テープを再生するときは

1 テープを再生する

2 入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

ご注意

HM-DR10000、HM-DH20000（ビクター製D-VHSビデオデッキ）をご使用の場合：
D映像端子からのビデオデッキ側のメニュー画面が出力されません。*

D4映像入力端子に接続した場合は、映像コードを「ビデオ2」または「ビデオ3」の映像入力端子に接続して対処します。

ビデオデッキの メニュー画面を使って操作するには、入力切換ボタンをくり返し押して、「ビデオ2」または「ビデオ3」を選びます。

*詳しくは、HM-DR10000、およびHM-DH20000(ビクター製D-VHSビデオデッキ)の取扱説明書をご覧ください。

デジタル録画した衛星デジタル放送を見るときは

● i.LINK接続で行います。i.LINKの設定を行ってください。（☞167ページ）

D-VHSビデオデッキの再生を始める

自動的に「i －1」または「i －2」に切り換わります*。

● 「機器操作」画面からD-VHSビデオデッキを操作することもできます。（☞170ページ）
● 手動で「i －1」または「i －2」に切り換えるには、入力切換ボタンをくり返し押します。

* i.LINK接続したD-VHSビデオデッキが「i －1」、「i －2」のどちらに割り当てられるかは、「i.LINK接続設定」の「機器名」によります。（☞167ページ）

● 入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」に切り換えても、再生映像をご覧になれます。

データ放送が録画されているときは

● 連動型データ放送のデータが録画されているときは
再生中にデータ放送ボタンを押すと、データ放送の画面が表示されます。実際の放送をご覧になっているときとほぼ同様に、データ放送の操作ができます。（☞119ページ）

● 独立型データ放送が録画されているときは
実際の放送をご覧になっているときとほぼ同様に、データ放送の操作ができます。（☞119ページ）
（双方向サービスなど、一部操作が制限される場合があります。）

録画／再生時のご注意

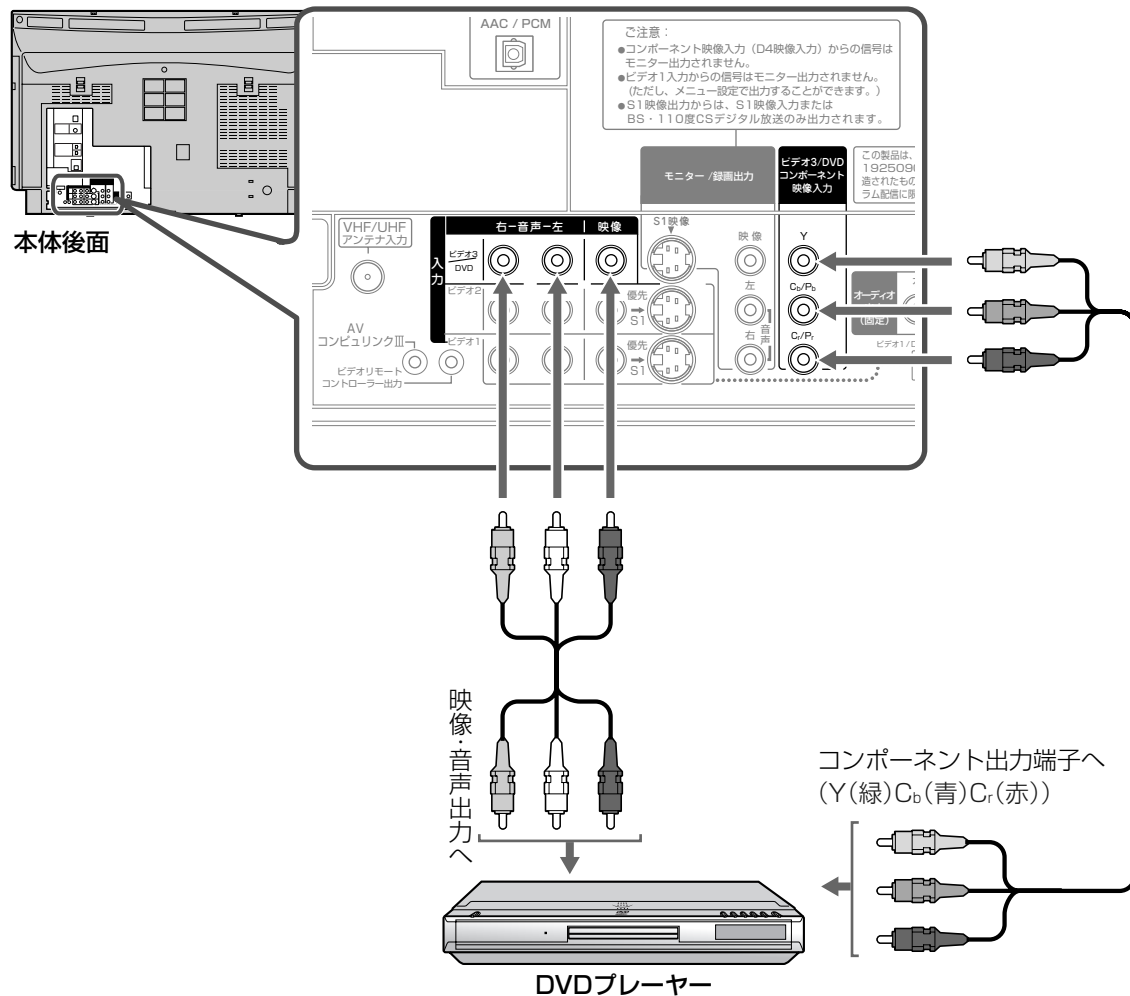
● 連動型データ放送の番組または複数の映像信号や音声信号がある番組の場合、これらの番組に関連するデータは、録画予約の際に設定にしたがって出力されます。ただし、番組によっては自動的に複数の信号が録画される場合があります。
● 情報量が多くなると出力されないデータが発生することがあります。
● データ放送はLS3モードでは録画できません。
● データ放送はVHS/S-VHSモードでは録画できません。D-VHSモードで録画してください。
● BSラジオ放送またはCSラジオ放送では音声のほかにデータ放送の映像のある番組があります。この場合、LS3モードやVHS/S-VHS録画では音声しか録画できません。データ放送の映像も録画したいときは、D-VHSテープにSTDまたはHSモードで録画してください。
● HSモードに対応していないD-VHSビデオデッキではハイビジョン番組など標準放送番組以外のデジタル録画（i.LINK経由）ができません。標準放送以外の番組はVHS/S-VHS録画で録画してください。D-VHSビデオデッキの入力を、i.LINK入力から本機のモニター/録画出力端子をつないだ入力に切り換えてください。
● HM-DH20000/HM-DH30000/HM-DH35000（ビクター製D-VHSビデオデッキ）では、i.LINK接続による録画時にはD-VHSビデオデッキのビデオナビゲーションに番組情報が記憶されます。ただし、110度CSデジタル放送を録画したテープのビデオナビゲーションでは、チャンネルが正しく表示されません。
● 標準放送番組をSDモードで録画するときは、本機で選択した映像･音声のみが記録されます。
● マルチチャンネル放送では、選択されたチャンネルの映像･音声がi.LINK入出力端子から出力されます。
● MPEG2 AACデコード機能のないD-VHSビデオデッキでは衛星デジタル放送の音声の再生ができません。本機にi.LINK入力をして再生します。

DVDプレーヤーをつなぐ

ご注意:
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

本体後面

映像・音声出力へ

コンポーネント出力端子へ
(Y(緑)Cb(青)Cr(赤))

DVDプレーヤー

- DVDプレーヤーの映像出力端子がD映像端子のときは、片端がDコネクターのコード(VX-D210など)をお使いください。
- ビクター製のAVコンピュリンク端子があるDVDプレーヤーを接続するときは、172ページもご覧ください。

接続が終わったら

DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面(画面サイズ16:9)用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは

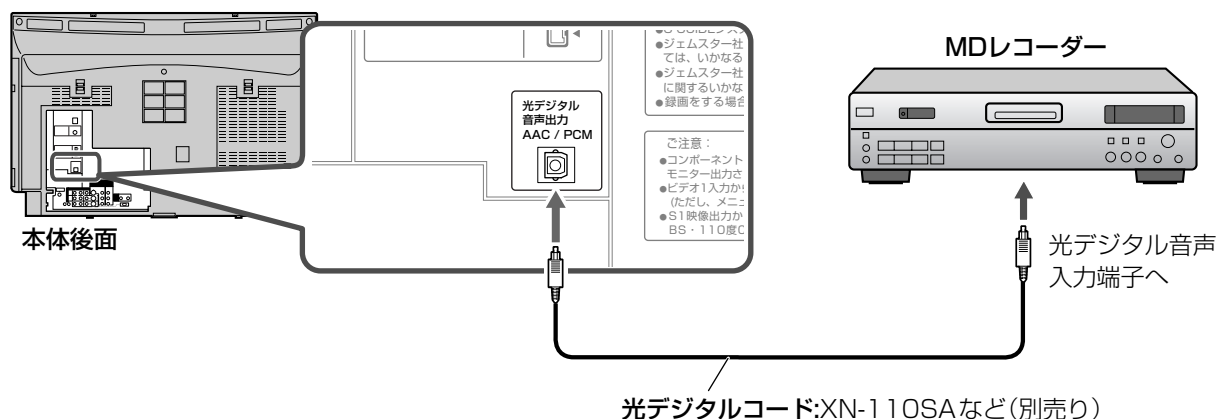
入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ3」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更するときは、「外部入力の設定を変更する」(☞84ページ)をご覧ください。

MDレコーダーをつなぐ

ご注意:
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

衛星デジタル放送のデジタル音声をデジタル録音できます。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。
- 「衛星デジタル設定」の「デジタル音声出力」を「PCM」に設定してください。
- デジタルコピーガードがかかっている番組は、接続しているオーディオ機器で録音できない場合があります。

光デジタルコード:XN-110SAなど(別売り)

サンプリングレートコンバーターについて

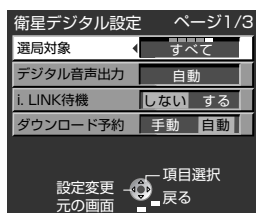
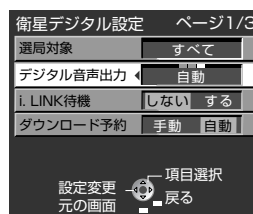
- 本機は、3つのサンプリング周波数(32kHz　44.1kHz、48kHz)を使用しています。しかし、MDレコーダーには44.1kHzのサンプリング周波数でしか録音できません。そこで、32kHzや、48kHzのサンプリング周波数のデジタル音声を録音するためにはそれらのサンプリング周波数を44.1kHzに変換する必要があります。
  その変換機能をサンプリングレートコンバーターといいます。
- お手持ちのMDレコーダーがサンプリングレートコンバーターを内蔵しているかどうかはMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

光デジタル音声出力端子の出力信号を切り換えるには

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「デジタル音声出力」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「PCM」:
MDレコーダーでデジタル録音するときに選びます。

「AAC」:
MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるときに選びます。

「自動」:
サラウンド音声の番組の場合のみ自動的に「AAC」に切り換わります。

6 元の画面ボタンを押して終了する

ご注意
- 録音中に番組表などを表示させると、MDに録音された音声が乱れることがあります。

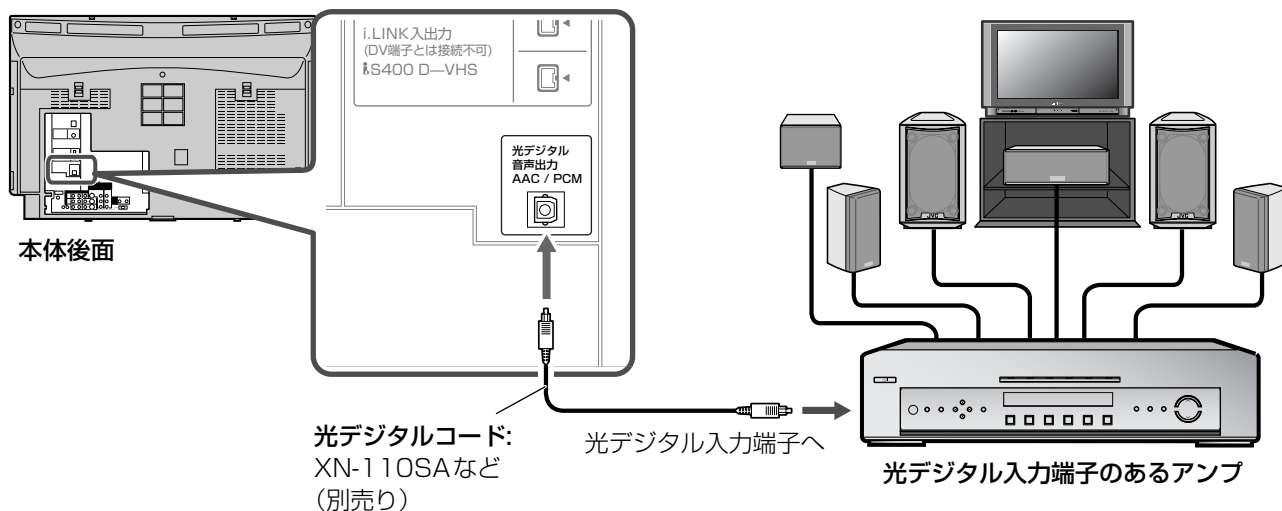
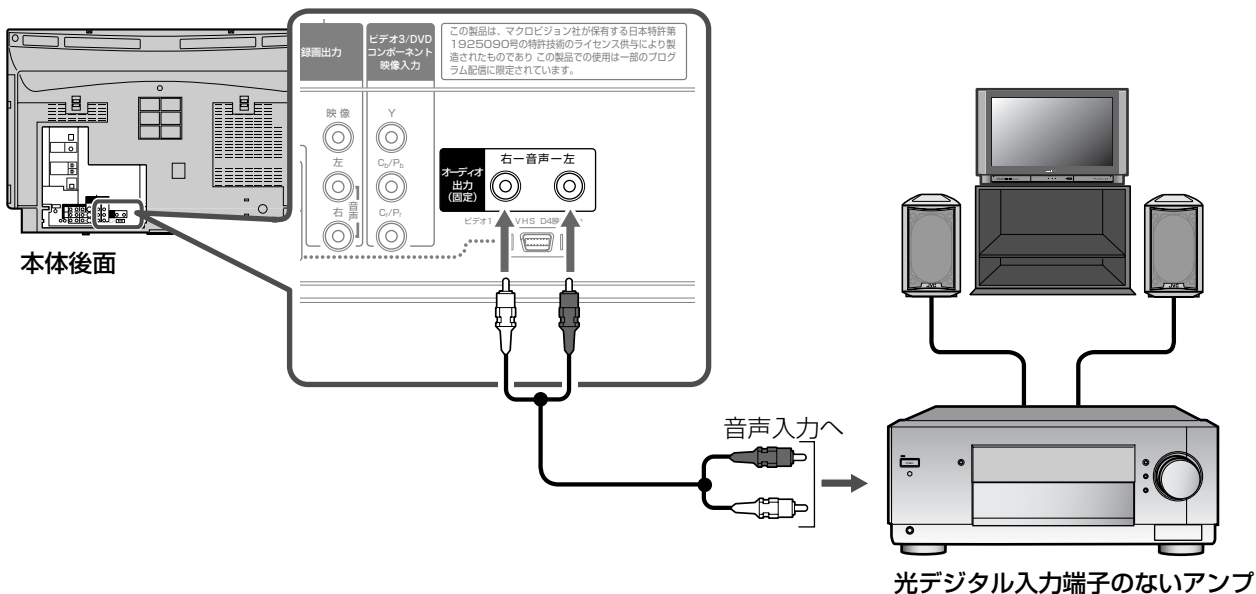
アンプやスピーカーをつなぐ

ご注意:
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

- 本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。

光デジタル入力端子のあるアンプのとき

MPEG2 AACデコーダー内蔵のアンプを接続すると、衛星デジタル放送の5.1chサラウンド音声もお楽しみいただけます。

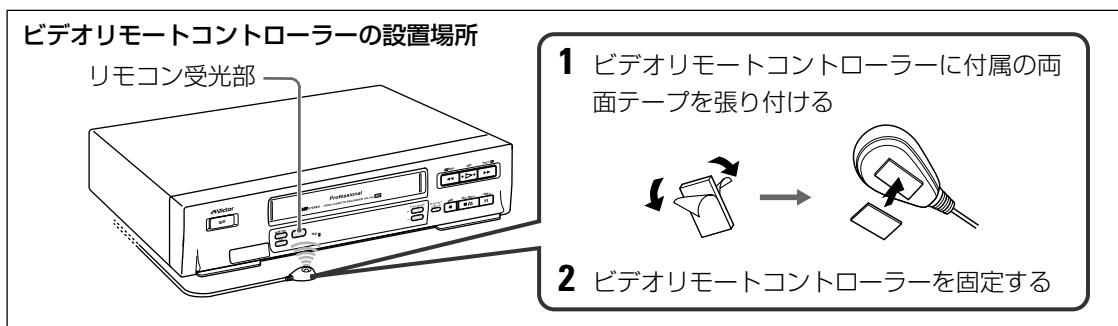
- MPEG2 AAC音声を聴くときは、「衛星デジタル設定」の「デジタル音声出力」を「AAC」に設定してください。(☞161ページ)

光デジタル入力端子のないアンプのとき

- アンプ内蔵のスピーカーもオーディオ出力につないで楽しむことができます。

スピーカーについてのご注意

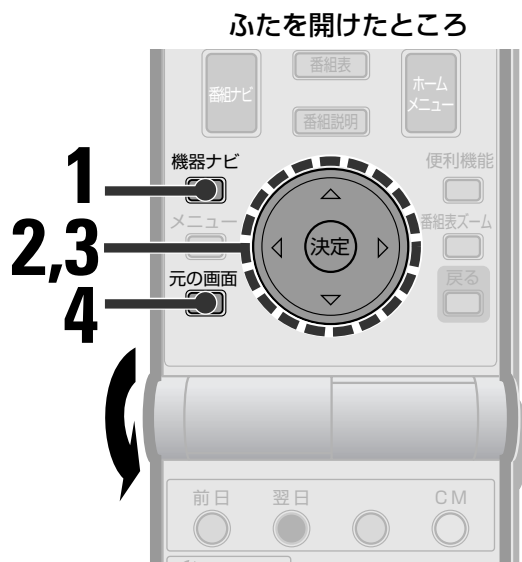
- スピーカーは防磁タイプのものをお使いください。
- スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20〜30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れてください。

ビデオリモートコントローラー（Irシステム）を設定する

本機での録画予約を実行するためにビデオリモートコントローラー（Irシステム）の設定をします。

準備: ●ビデオリモートコントローラーを接続のうえ（☞157、158ページ）、ビデオデッキのリモコン受光部の下に設置します。（ビデオデッキの取扱説明書をご覧になって、リモコン受光部の位置をお確かめください。）

●次のようにビデオデッキを準備してください。
– リモコンで操作できるように設定してください。（設定のあるビデオデッキのみ）
– ビデオデッキの電源は切っておいてください。

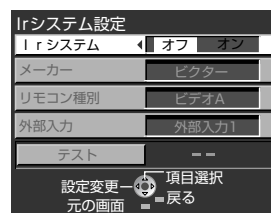
●ビデオデッキが予約待機中や予約録画の実行中でないときに行ってください。

ふたを開けたところ

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して「Irシステム設定」を選び、決定ボタンを押す

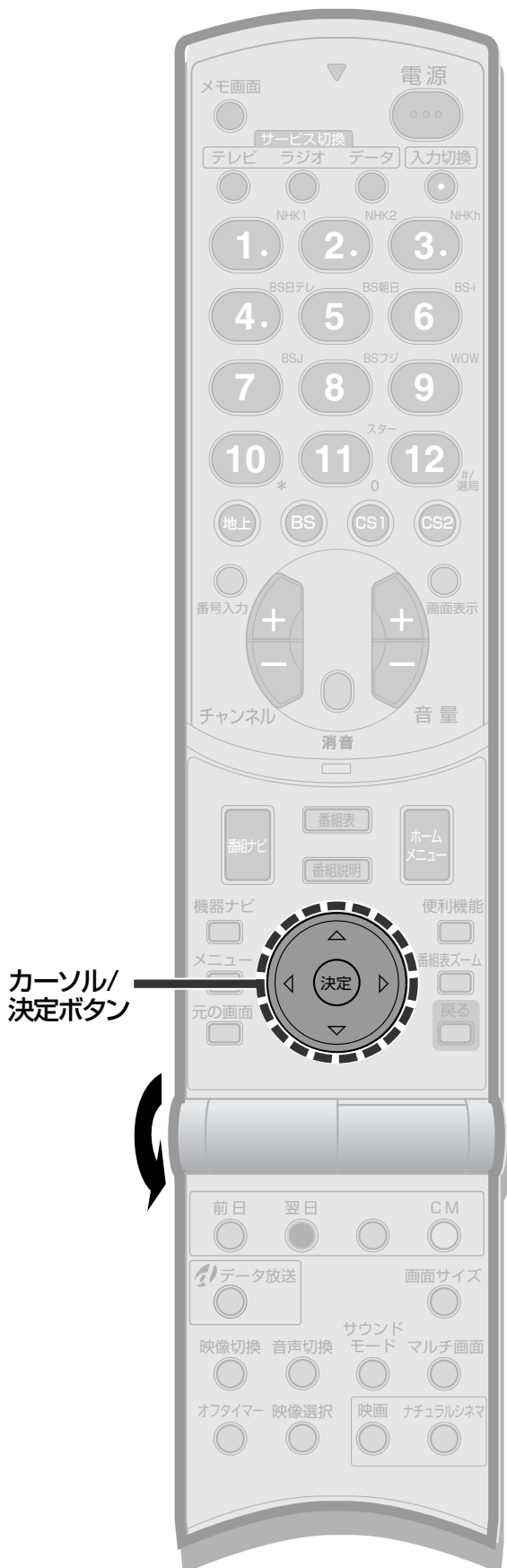
「Ir システム設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して設定項目を選び、設定する

各ページをご覧になって設定してください。設定が終わったらテストを行ってください。

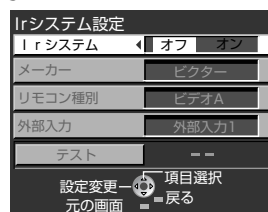
Irシステム:	☞164ページ
メーカー:	☞164ページ
リモコン種別:	☞165ページ
外部入力:	☞165ページ
テスト:	☞165ページ

4 元の画面ボタンを押す

「Ir システム設定」画面が消えます。

ふたを開けたところ

ビデオリモートコントローラーを使うかどうか設定する「Irシステム」

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を使用するには「Irシステム」を「オン」に設定します。

1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「Irシステム」を選ぶ**

2 **カーソルボタン(◀▶)を押して「オン」を選ぶ**

● ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を使用しないときは、「オフ」を選びます。

ご注意

●「Irシステム」が「オフ」のときは、「Irシステム設定」画面の他の項目を選べません。

ビデオデッキのメーカーを設定する「メーカー」

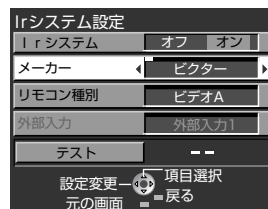
本機に接続しているビデオデッキのメーカーを設定します。

接続できるビデオデッキのメーカー

接続できるビデオデッキのメーカーは次のとおりです。

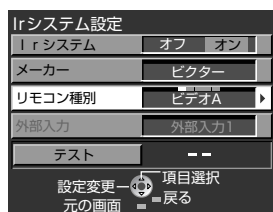
● 一部のメーカーのビデオデッキには動作しないものもあります。

ビクター・松下・日立・三菱・東芝・ソニー・シャープ・三洋・NEC・アイワ

1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「メーカー」を選ぶ**

2 **カーソルボタン(◀▶)を押して、メーカー名を選ぶ**

リモコン信号の種類を設定する「リモコン種別」

各メーカーとも複数のリモコン信号があります。お使いのビデオデッキが動作するリモコン信号に設定します。

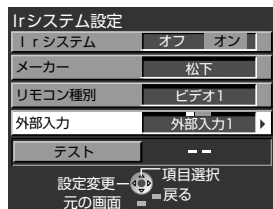
1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「リモコン種別」を選ぶ**

2 **カーソルボタン(◀▶)を押してリモコン信号の種類を選ぶ**

松下社製機器の入力端子を指定する「外部入力」

松下社製の録画機器をお使いの場合の設定です。「メーカー」および「リモコン種別」が次の設定のときのみ設定できます。

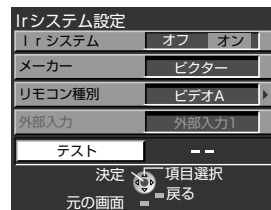
「メーカー」：　「松下」
「リモコン種別」：「ビデオ1～3」、「DVDレコーダー1～3」

● 本機との接続に使用している録画機器の外部入力を選びます。

1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「外部入力」を選ぶ**

2 **カーソルボタン(◀▶)を押して、ビデオデッキの外部入力の番号を選ぶ**

ビデオデッキの動作を確認する「テスト」

ビデオデッキの電源が「入/切」するかどうか、テストします。

1 **カーソルボタン(▲▼)を押して「テスト」を選ぶ**

2 **決定ボタンを押す**

テストが開始されます。

テスト	送信中

● テストを実行すると、ビデオデッキに電源「入/切」のリモコン信号をくり返し送ります。ビデオデッキの電源が「入/切」すれば、ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の設定は終了です。
● テストを終了するにはもう一度決定ボタンを押してください。
● 録画機器の電源が「入/切」しないときは、「リモコン種別」の設定を変更して、再度テストしてください。

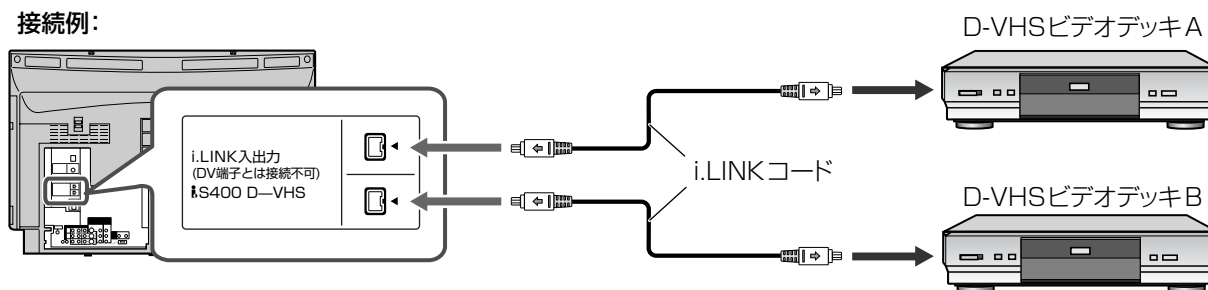
他のリモコン信号でも録画機器の電源が「入 / 切」しないときは

● 録画機器が録画機器のリモコンで電源の「入/切」ができるかどうか確認してください。
● ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の接続と設置を確認してください。
● 録画機器がテストのリモコン信号を受け付けないときは、「Irシステム」を「オフ」にして、録画機器側で録画予約を行ってください。

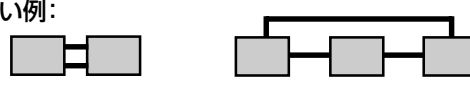
i.LINKでつなぐ

i.LINKについて

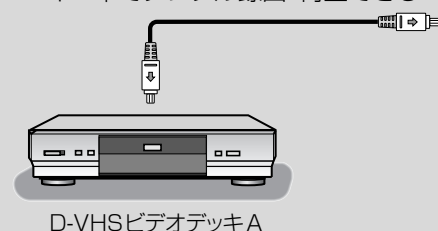
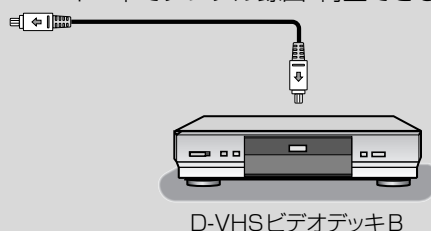
i.LINK接続では、今までの映像･音声コードと違い、1本のコードで映像や音声などのデータのやりとりや、他の機器の操作ができます。
●録画/再生や相手機器の操作を行うには、相手機器を指定する操作が必要です。（☞167ページ）

接続例：

● 「D-VHSビデオデッキをつなぐ」(☞158ページ)もご覧ください。
● i.LINKコードはS400の規格に対応したものをご使用ください。
S400の規格の表示のないものは使用できません。
● D-VHSビデオデッキを2台使ってダビングするときは、ダビングする前に「i.LINK接続設定」で「使用」を「しない」に設定してください。(☞168ページ)

i.LINKで接続するときのご注意

● i.LINK対応機器を接続するときは、各機器がループ状（閉じた輪）にならないように接続します。

● i.LINK接続しているすべての機器の電源プラグはいつも差し込んだままにしてください。
またi.LINK接続での操作を行っているときは、i.LINKコードを抜き差ししないでください。
● あまり多くの機器を同時に接続すると、機器同士の相性などにより思わぬ動作をする場合がありますので、D-VHSビデオデッキ以外は接続しないでください。
● パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。
● 本機のi.LINK端子で扱えるデータは、衛星デジタル放送の映像、音声、データ放送の信号です。デジタルビデオカメラなどのDVデータやパソコン用のデータには対応していません。

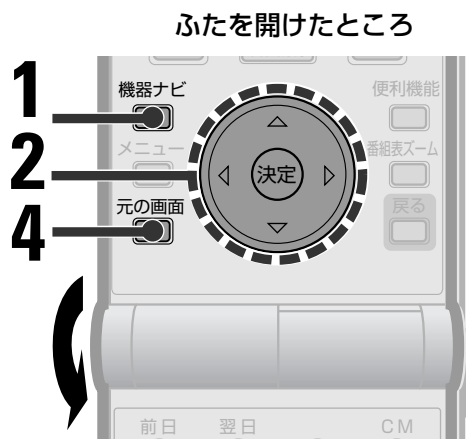
i.LINKとは

i.LINK端子を持つ機器同士を1本のi.LINKケーブルで接続するだけで、デジタル信号（本機では衛星デジタル放送の映像･音声･データ放送）を双方向でやりとりできます。また他の機器を中継していても、直接接続しているときと同じようにやりとりできます。そのため順序を気にせずに、複数の機器を接続できます。

i.LINKは、国際標準化規格「IEEE1394-1995」およびその拡張仕様を示す呼称です。
i.LINKとi.LINKのロゴ「 」はソニー株式会社の商標です。

i.LINK対応機器の確認と設定をする

i.LINK接続した録画機器で、デジタル録画/再生や本機からの操作を行うには、「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されている必要があります。
本機で設定できるi.LINK対応機器はD-VHSビデオデッキ2台までです。

● 録画をするには録画機器側のi.LINK入力設定が必要です。必ず設定を行ってください。設定や操作方法は録画機器の取扱説明書をお読みください。

ふたを開けたところ

i.LINK接続設定画面の項目について

「機器名」:
i.LINK接続されている機器の名称です。

● 番号は接続した順番です。
● 複数のi.LINK対応機器を接続している場合、番号の小さい機器から順に「i －1」、「i －2」に割り当てられます。

「メーカー名」:
i.LINK接続されている機器のメーカー名です。

● 本機で認識できないときは「不明」と表示されます。

「機種名」:
i.LINK接続されている機器の機種名です。

● 本機で認識できないときは「不明」と表示されます。

「接続状態」:

「オン」: 電源「入り」の状態で接続されています。
「オフ」: i.LINKで制御できる電源「切り」の状態で接続されています。
「未接続」: i.LINKで制御できない電源「切り」の状態で接続されています。
または、一度接続されたが現在は接続されていない状態です。
「予約」: 予約録画の待機状態です。
「不明」: i.LINKで制御できない機器または「使用」を「しない」に設定している機器です。

「使用」:

「する」: 本機で録画/再生または操作できます。
「しない」: 本機で録画/再生または操作できません。
「不可」: 本機でi.LINKでの制御ができない機器です。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「i.LINK接続設定」を選び、決定ボタンを押す

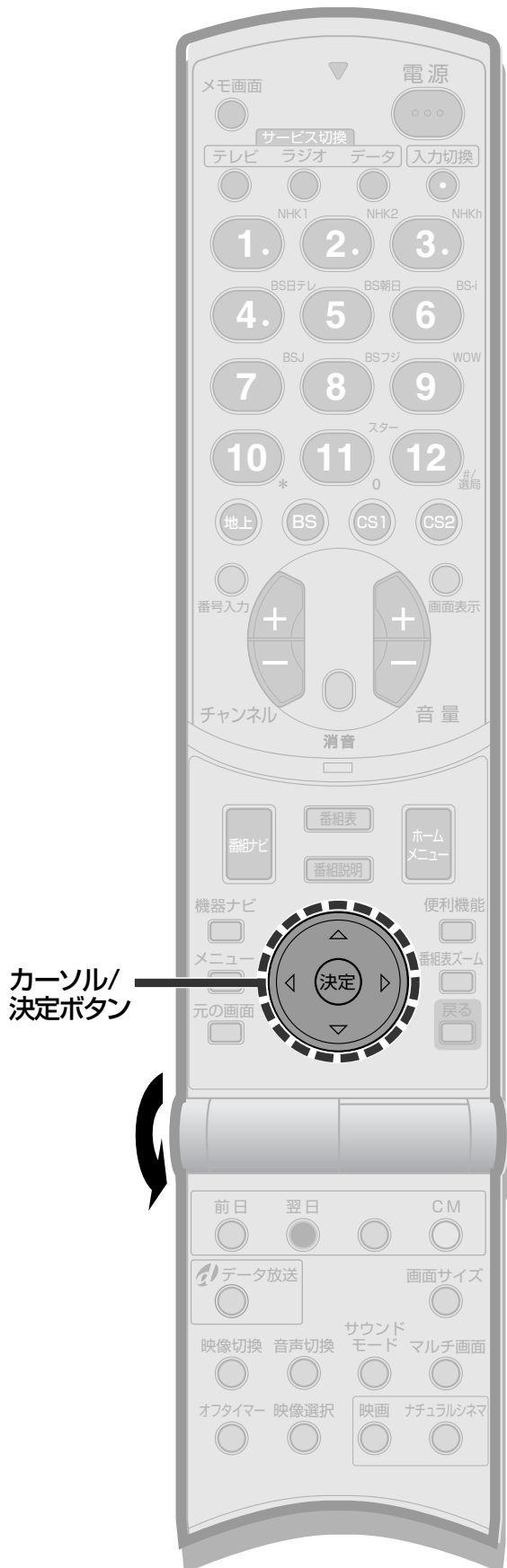
「i.LINK 接続設定」画面が表示されます。

3 接続しているi.LINK機器を確認する

● 各項目の内容は左記の「i.LINK接続設定画面の項目について」をご覧ください。
● 別のi.LINK対応機器を使用するときなど、設定を変更するには、168ページをご覧ください。

4 元の画面ボタンを押す

「i.LINK 接続設定」画面が消えます。

ふたを開けたところ

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

i.LINK接続設定を変更するには

使用するi.LINK対応機器の設定または変更ができます。

1　カーソルボタン（▲▼）を押して設定を変更する機器を選び、決定ボタンを押す

「i.LINK 接続設定変更」画面が表示されます。

2　カーソルボタン（◀▶）を押して設定項目を選ぶ

「使用する」:
本機で録画/再生や操作をする場合に選びます。
●「使用しない」に設定されているときのみ表示されます。
● すでに2台のi.LINK対応機器が「使用する」に設定されているときは、さらに他の機器を「使用する」に設定できません。

「使用しない」:
本機で録画/再生や操作をしない場合に選びます。
●「使用する」に設定されているときのみ表示されます。

「削除する」:
この機器を「i.LINK接続設定」画面から削除します。
●「接続状態」が「未接続」の場合のみ表示されます。

3　決定ボタンを押す

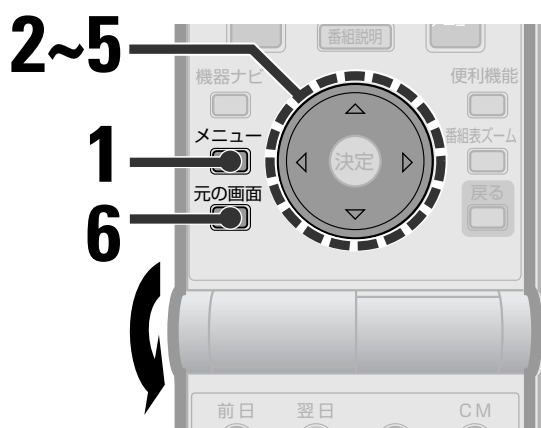
「i.LINK 接続設定」画面が表示されます。

「i.LINK 接続設定」画面を消すには

元の画面ボタンを押します。

i.LINK待機を設定する

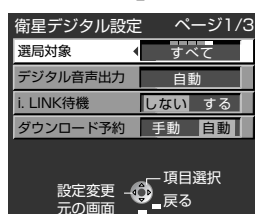
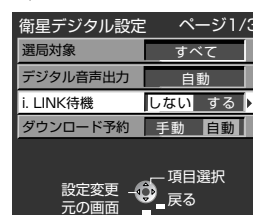
本機は、電源が「切」のときでもi.LINK接続した機器からの操作を受け付けるように設定できます。
- 電源プラグを抜いて電源を「切」にしたときは、「する」に設定していても、i.LINK接続した機器からの操作は受け付けません。電源を切るときはリモコンまたは本体の電源ボタンで切ってください。
- i.LINK接続している機器がないときは、「しない」に設定してください。待機時の消費電力を抑えることができます。

ふたを開けたところ

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「i.LINK待機」を選ぶ

5 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

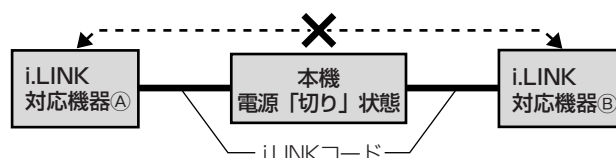
「する」:
電源が「切」のとき、i.LINK接続した機器からの操作の受け付けやデータの中継ができます。（i.LINK接続した機器から再生の信号を受け付けると、本機の電源が自動的に「入」になります。）
- 「する」に設定すると、電源が「切」のときでも電源/機能待機ランプが赤く点灯します。

「しない」:
電源が「切」のとき、i.LINK接続した機器からの操作の受け付けやデータの中継はできません。消費電源を抑えられます。

6 元の画面ボタンを押す

「衛星デジタル設定」画面が消えます。

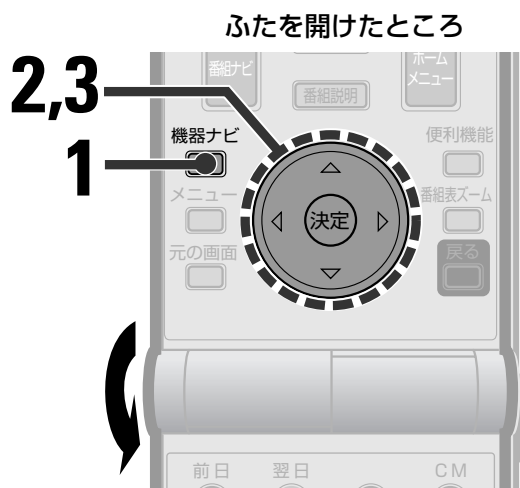
「しない」に設定しているときは

複数のi.LINK対応機器をi.LINK接続している場合、本機を中継して接続されている機器の間で、信号やデータの中継はできなくなります。

データのやりとりや相手機器の操作を行うときは、「i.LINK待機」を「する」に設定してください。

i.LINK接続した機器を操作する

本機では、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキの基本的な操作ができます。
画面に表示された操作パネルを使って、現在見ている衛星デジタル放送の番組をデジタル録画したり、デジタル録画したD-VHSテープを見ることができます。

- D-VHSビデオデッキが「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されているかどうか確認してください。(☞167ページ)
- D-VHSビデオデッキの取扱説明書をご覧になって、D-VHSビデオデッキをi.LINKでの操作を受け付ける状態に設定してください。

ふたを開けたところ

- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや操作画面が消えます。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「機器操作」を選び、決定ボタンを押す

「機器操作」画面が表示されます。

「i.LINK接続設定」の「機器名」(☞167ページ)

3 カーソルボタン(▲▼)を押して操作したいD-VHSビデオデッキを選び、決定ボタンを押す

操作パネルが表示されます。

- 操作パネルの使い方については171ページをご覧ください。

操作パネルを消すには

元の画面ボタンを押します。

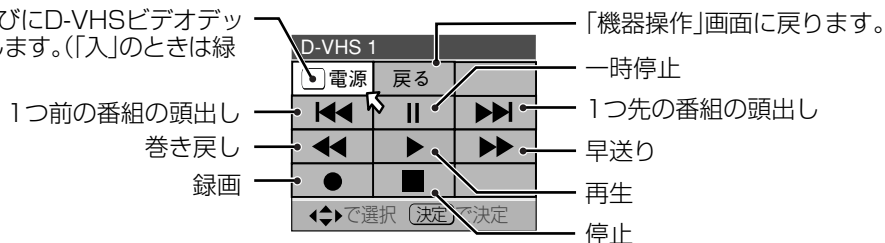
ご注意

- i.LINKコードが接続されていても、「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されていないと、「機器操作」画面は表示できません。(☞167ページ)
- 予約実行中のD-VHSビデオデッキは操作できません。
- 操作パネルからVHS/S-VHSテープを再生することはできません。
- 2台のD-VHSビデオデッキをi.LINK接続している場合、1台が本機からの信号を録画しているときはもう1台を操作することはできません。

■ D-VHS ビデオデッキを操作する

カーソルボタン(◀▶▲▼)で操作したい機能を選び、決定ボタンを押してください。

● **再生を始めると自動的に「i －1」または「i －2」に切り換わります。**

● 操作中は本機の機能が一部使用できなくなります。

操作パネルから衛星デジタル放送を録画するには

1 **録画したい衛星デジタル放送のチャンネルを選ぶ**

2 **操作パネルを表示させる(☞170ページ)**

3 **カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「●(録画)」を選び、決定ボタンを押す**

録画が開始されます。

ご注意

● 大切な番組は録画予約の操作を行って録画してください(☞104ページ)。録画予約の操作をしていない場合、番組ナビや番組表などの操作を行うとこれらの画面も録画されます。

● 地上波放送は操作パネルから録画できません。

AVコンピュリンクの接続をする

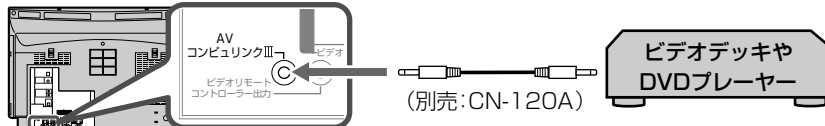
ご注意:
●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

本機にはＡＶコンピュリンク機能があります。ＡＶコンピュリンクに対応したビクター製のビデオデッキ、ＤＶＤプレーヤー、ＡＶアンプなどを接続すると、接続した機器と連携した動作ができ、操作が簡略化されます。本機はAVコンピュリンクIIIに対応しています。対応した機器では本機のD4映像入力およびコンポーネント映像入力接続に対応しています。

■**接続例**:接続が終わったら、173ページをご覧になってAVコンピュリンクの設定をしてください。

ビデオデッキ、またはDVDプレーヤーを接続する

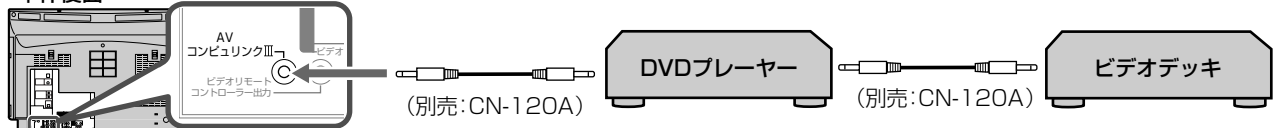
● AVコンピュリンク以外の接続は157、158、160ページをご覧ください。

本体後面

ビデオデッキや
DVDプレーヤー

ビデオデッキとDVDプレーヤーを接続する

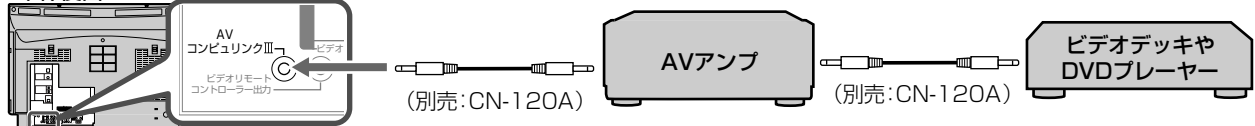
●AVコンピュリンク以外の接続は157、158、160ページをご覧ください。

本体後面

（別売:CN-120A）

AVアンプとビデオデッキまたはDVDプレーヤーを接続する

●AVコンピュリンク以外の接続はAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

本体後面

（別売:CN-120A）

AV コンピュリンクを接続するとできること

1）ビデオデッキを接続したとき

ビデオデッキ側の操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る（電源が切れていたとき） ビデオデッキをつないだ入力に切り換わる
再生の操作をする	

2）DVD プレーヤーを接続したとき

DVD プレーヤー側の操作	テレビの動作
再生の操作をする	テレビの電源が入る（電源が切れていたとき） DVDプレーヤーをつないだ入力に切り換わる

3）AVアンプとビデオデッキやDVDプレーヤーを接続したとき

AVアンプ側の操作	テレビの動作
電源を入れる	テレビの電源が入る（前回ビデオデッキやDVDを選んでいて、テレビの電源が切れていたとき）
ビデオデッキやDVDの入力を選ぶ	AVアンプをつないだ入力に切り換わる
電源を切る	電源が切れる

●詳しい操作や設定についてはAVアンプの取扱説明書をお読みください。

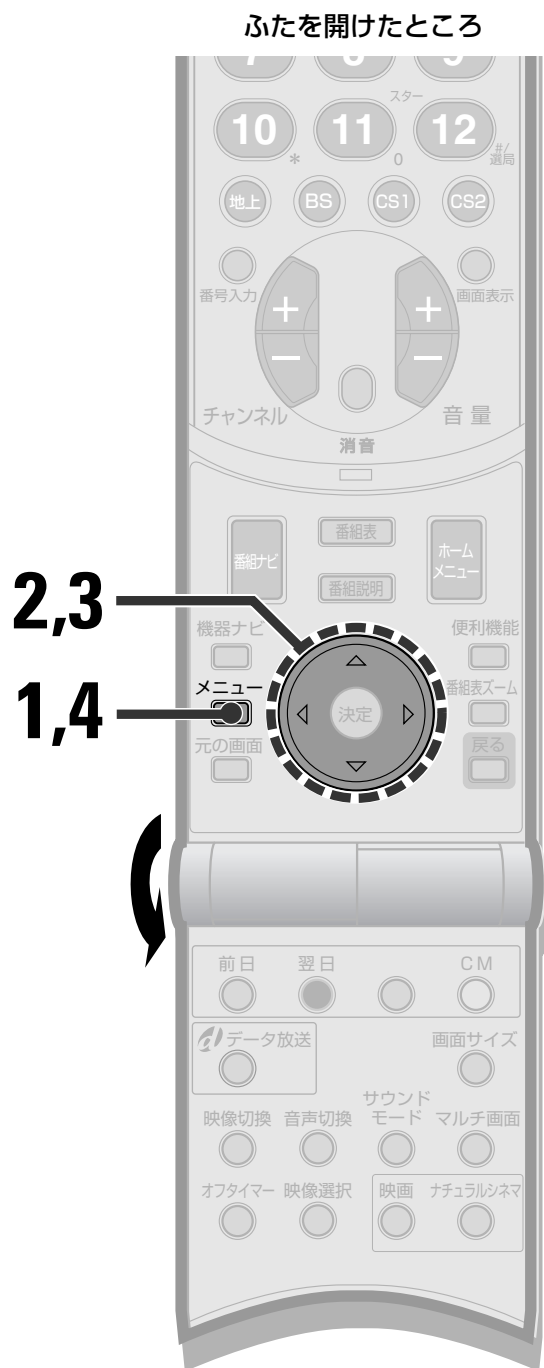
ビデオデッキの設定

ビデオデッキでリモコンコードを次のように設定します。
● ビデオ1入力端子に接続したときは
　→「Ａコード」に設定します。
● ビデオ2入力端子に接続したときは
　→「Ｂコード」に設定します。

DVD プレーヤーの設定

DVDプレーヤーでAVコンピュリンクモードを次のように設定します。
● ビデオ3入力端子に接続したときは
　→「DVD1」に設定します。
● ビデオ1入力端子に接続したときは
　→「DVD2」に設定します。
● ビデオ2入力端子に接続したときには
　→「DVD3」に設定します。

AVコンピュリンクを使えるようにする

準備: 本体後面のAVコンピュリンクIII端子に機器を接続してください（☞172ページ）。

1 メニューボタンを押して メニュー画面を表示させる

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの、「AVコンピュリンクIII端子」を選ぶ

● **「各種設定」メニューは2ページ構成です。**
上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して「使用する」を選ぶ

4 メニューボタンを押して 終了する

AV コンピュリンク III を使わないときは

手順1から手順3を行い、手順3で「使用しない」を選びます。

● **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に**1ボタン**（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

● **設定を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

故障かな?と思ったら
ー症状とその原因と対処方法(Q&A)

修理をご依頼される前に、もう1度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症 状	A 原因と対処(参照ページ)
● 電源が入らない ● リモコンで操作できない	■ 電源プラグがはずれていませんか?(☞23ページ) ■ リモコンの電源ボタンを押したときにリモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(☞23ページ)
● 正常に動作しない ● 本体もリモコンも操作できなくなった	■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。
● VHF/UHFが映らない	■ アンテナは正しく接続されていますか?(☞19～21ページ) ■ チャンネル合わせは済んでいますか?(☞24～25ページ)
● CATVが映らない	■ 受信契約はお済みですか? ■ ケーブルは正しく接続されていますか? ■ チャンネル+/ーボタンで選べないときは、「+ーボタン選局」の設定を「見る」にしてください。(☞83ページ)
● 衛星デジタル放送が映らない	■ 受信設定は正しいですか?(☞36～49ページ) ■ 衛星アンテナはBS･110度CSデジタル放送対応ですか?BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を受信するにはBS･110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。 ■ 衛星アンテナを衛星に向けて正しく設置しましたか? ■ 衛星アンテナの前方に建物や樹木などの障害物はありませんか? ■ 衛星アンテナの接続には衛星デジタル放送対応の同軸ケーブルや分配器を使用していますか? ■ 大雨や雪が降っていませんか?大雨や雪が降っていると、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。また、衛星アンテナに着雪していると映らないことがあります。 ■ B-CASカードは入っていますか?(☞23ページ) ■ B-CASカードの向きは正しいですか?(☞23ページ) ■ 放送のない時間帯ではありませんか? ■ 受信契約をしていないチャンネルではありませんか?(☞12ページ) ■ ペイ・パー・ビューのチャンネルではありませんか?(☞124ページ) ■ 電話回線の接続や設定は正しいですか?(☞22、40ページ) ■ 110度CSデジタル放送だけが映らない場合、「CS受信選択」が「無効」になっていませんか?(☞48ページ)
● 衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった	■ 電話回線の接続や設定は正しいですか?(☞22、40ページ)

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
● 予約録画ができない	■ ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の設定は正しいですか?(☞163ページ) ■ ビデオリモートコントローラー(Irシステム)は接続や設置は正しいですか?(☞157、158、163ページ) ■ ビデオデッキの入力切換は正しいですか? ■ 録画予約の設定は正しいですか?(☞104ページ) ■ 録画できない番組ではありませんか?(☞105ページ) ■ D-VHSビデオデッキをi.LINK接続している場合、「i.LINK接続設定」は正しいですか?(☞167ページ)
● 地上波放送の番組表が表示できない	■ チャンネル設定は済んでいますか?(☞24、80ページ) ■「放送局名」はチャンネル設定に合わせて正しく設定されていますか?(☞27ページ) ■「ホスト局設定」はお住まいの地域のホスト局に設定されていますか?お住まいの地域のホスト局を選んでも地上波番組表が受信できない場合は、お近くの地域のホスト局に設定を変更してみてください。(☞ 28ページ) ■「ホスト局設定」で設定したホスト局が受信できない地域に「CM地域設定」を設定していませんか?ホスト局が受信できる地域に「CM地域設定」を変更してください。(☞ 29ページ) ■「チャンネル1～12ボタンの設定変更」でホスト局が「見ない」(スキップ)に設定されていませんか?ホスト局が「見ない」に設定されていると地上波番組表は表示できません。「見る」に設定してください。(☞80ページ)
● 2画面にならない	■ 左右の画面に同じチャンネルや同じ外部入力の映像を映すことはできません。(☞70ページ) ■ 左右の画面で同時に衛星デジタル放送を見ることはできません。 ■ 録画予約の実行中は2画面で表示できません。
● 2画面のとき、衛星デジタル放送の操作ができない	■ 2画面の操作を優先させるため、一部を除き、衛星デジタル放送の操作を禁止しています。
● メモ画面(静止画)にならない	■ マルチ画面(2画面、裏番組、番組一覧)を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。(☞70～72ページ)
● チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■ **地上波放送のとき:** CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、地上波放送のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(☞82ページ) ■ **衛星デジタル放送のとき:** 衛星デジタル放送のチャンネルをチャンネル+/−ボタンで選ぶとき、チャンネルは「衛星デジタル設定」の「選局対象」の設定にしたがって順番に表示され、設定にあてはまらないチャンネルは選べません。チャンネル+/−ボタンで選べるチャンネルを変更したい場合は、設定を変更してください。(☞133ページ)

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
● 設定画面が表示できない	■ 録画予約を実行しているとき(☞104ページ)は、「衛星デジタル設定」、「i.LINK接続設定」、「Irシステム設定」の各設定画面は表示できません。
● メニュー画面の項目が選べない	■ 文字が白抜きされている項目は、設定するための条件を満たしていないため選ぶことはできません。設定を見直ししてください。
● 外部入力が選べない	■ 使用していない外部入力がスキップされているためです。「入力スキップ設定」を「見ない」から「見る」に変更します。(☞84ページ) ■ i.LINK入力(i －1、i －2)はi.LINK接続された機器がない場合、あるいは「i.LINK接続設定」が正しくない場合は選べません。(☞166、167ページ)
● SDメモリーカードが再生できない	■ 本機で再生できるデータが記録されていますか。(☞146ページ) ■ 録画予約を実行しているとき(☞104ページ)はSDメモリーカードの再生はできません。
● 電源を「切」にしたのに電源/機能待機ランプが赤く光っている	■ 電源が「切」のときでも、録画予約の実行中や電子番組ガイドのデータを取得しているなどの場合は、電源/機能待機ランプが赤く点灯します。 ■ 「i.LINK待機」を「する」に設定している場合(☞169ページ)、電源が「切」のときでも電源/機能待機ランプが赤く点灯します。
● 接続したAV機器からの映像、音声が出ない	■ AV機器は正しく接続されていますか。(☞156～162ページ) ■ 正しい外部入力を選んでいますか。(☞59ページ) ■ AV機器の電源は入っていますか。 ■ D-VHSビデオデッキをi.LINK接続している場合、「i.LINK接続設定」は正しいですか?(☞167ページ) ■ D-VHSモードで記録された内容が衛星デジタル放送の番組以外の場合は、D端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換えてご覧ください。
● 映像が乱れる	■ 本機の近くで携帯電話を使用していませんか?2m以上離れて使用してください。
● 色が出ない、おかしい	■ 色あいや色の濃さの調節がズレていませんか?映像調節をやり直してください。(☞61ページ) ■ 受信周波数がズレていませんか?「チャンネル1～12ボタンの設定変更」で「受像微調整」をしてみてください。(☞80、83ページ)
● 音が出ない	■ ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか? ■ 消音ボタンを押していませんか?(☞52、54、58ページ)
● 音声が重なって聞こえる	■ 二重音声放送の音声が「主＋副音声」になっていませんか?(☞62、137ページ)

Q 症 状	A 原因と対処(参照ページ)
● 音声が切り換えられない	■ 地上波放送のとき： モノラル放送やステレオ放送ではありませんか？(☞62ページ) ■ 衛星デジタル放送のとき： ・音声多重の番組ですか？(☞137ページ) ・複数の音声信号のある番組ですか？(☞137ページ)
● 画面表示が消えない	■ 外部機器の映像が映っていますか？受信できるチャンネルを選んでいますか？ 入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(☞53、59ページ)
● 電源を切っているのに本体があたたかい	■ 電源を切っていても、一部の電気回路は動作しています。 故障ではありません。
● 突然電源が切れた	■ オフタイマーを設定していませんか。(☞75ページ) ■ 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(☞77ページ) ■ テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(☞77ページ)

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられなこともあります。

● 雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る	■ アンテナは正しく接続されていますか。 ■ 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ■ アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
● 画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)	■ ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
● 画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)	■ 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起こる場合は、ピクチャーの設定を「10」程度下げることで色付きを軽減できます。(☞61 ページ)
- 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- 磁石やスピーカーやブースターなどを近づけたとき、画面が揺れたり色むらが出ることがあります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。
- ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。(☞50 ページ)

※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

こんなメッセージが出たら

以下のメッセージが表示されたときは、原因欄をご確認いただいて、正しく操作または設定してください。
●メッセージ欄の「⃠」マークは、操作禁止マークです。

お願い：カスタマーセンターなどにお問い合わせになるときは、画面右下に表示されるメッセージ番号もお知らせください。

一般操作 / 地上波放送

画面メッセージ	原　因
⃠	●2画面、裏番組、番組一覧、メモ画面（静止画）モードのときに、ナチュラルシネマボタンを操作したとき。 ●2画面、裏番組の右側画面に対して音声切換ボタンを押したとき。 ●衛星デジタル放送のときに、マルチ画面の裏番組、番組一覧を表示しようとしたとき。 ●番組一覧モードのときに、音声切換ボタンを操作したとき。 ●ビデオ入力モードのときに音声を切り換えようとしたとき。 ●525p、750pの映像を見ているときにナチュラルシネマを「入り」にしたとき。 ●その他、現在の状態では行えない操作をしようとしたとき。
音声調節の値をサウンドモード（ユーザー）に記憶しました。	音声の調節を行って、その設定値をユーザーモードに記憶させたとき。
映画に最適な映像設定にしました。	映画ボタンを押したとき。
この操作は2画面ではできません。	●2画面の両画面に同じチャンネルを映そうとしたとき。 ●2画面の両画面に衛星デジタル放送を映そうとしたとき。 ●2画面の両画面に同じビデオ入力を映そうとしたとき。
無信号のためまもなく電源が切れます。	無信号電源オートオフが働く3分前のとき。（無信号でなくなるまでメッセージは消えません。）
無操作のためまもなく電源が切れます。	テレビ消し忘れ防止機能を設定した状態で何も操作しない状態が3時間続き、電源が切れる3分前のとき。（何かのボタンが押されるかまたは電源が切れるまでメッセージは消えません。）
地上波の番組データがありません。	地上波番組表のデータを受信できていないときに表示されます。受信が完了するまで、そのままでテレビをご覧になるか、リモコンで電源を切った状態でしばらくお待ちください。
ホスト局がスキップに設定されているため操作できません。	「チャンネル1～12ボタンの設定変更」でホスト局（地上波の番組データ送信局）が「見ない」（スキップ）に設定されていると、番組表や番組内容が表示できません。ホスト局の設定を「見る」に変更してください。

画面メッセージ	原　因
視聴チャンネルがスキップに設定されているため操作できません。	「チャンネル1～12ボタンの設定変更」で「見ない」（スキップ）に設定されているチャンネルの番組内容は表示できません。番組内容を表示させたい場合は、チャンネル設定を「見る」に変更してください。
このチャンネルは設定されていないため予約できません。	地上波の番組表などで表示しているCMがお住まいの地域以外を対象にしたCM（受信設定していない放送局の番組CMなど）の場合に、青（予約）ボタンを押すと表示されます。受信できない放送局の番組は予約できません。

衛星デジタル放送

画面メッセージ	原　因
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードが入っていません。 B-CASカードを挿入してください。
このICカードは使用できません。 B-CASカスタマーセンターへ連絡してください。	B-CASカードに異常があります。カスタマーセンターにご連絡ください。
B-CASカードの交換が必要です。 B-CASカスタマーセンターへ連絡してください。	
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約の確認、または新たな契約を行ってください。
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約していないチャンネルを選んでいませんか？ 契約の確認、または新たな契約をおこなってください。
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約を更新するか、または新たな契約をおこなってください。
視聴条件によりご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約を変更するか、または新たな契約をおこなってください。
購入受け付け期間を終了しています。	購入しようしている番組の受付期限が切れてしまっています。他の番組を選んでください。
購入できません。電話の接続・設定を確認の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	購入データがいっぱいになっています。電話回線を接続してデータを送信してください。

こんなメッセージが出たら（つづき）

画面メッセージ	原　因
視聴できません。 視聴するには、決定ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。決定ボタンを押すと購入するための操作画面が表示されます。
アンテナとの接続に不具合があります。 接続をもう一度確認してください。	アンテナケーブルやコネクターが傷んでいる可能性がありますので点検してください。
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や向きの調節が正しくされていない場合や、雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合、または放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されます。
時刻の情報がありません。アンテナの設定や調整を確認してください。	本機は時間情報を衛星デジタル放送から取得しています。衛星放送をプログラム予約する場合は衛星アンテナの接続と設定を行ってください。
選局中です。 しばらくお待ちください。	選局動作中です。
現在、受信できません。	受信するデータに異常がある場合や、雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されます。 またはアンテナケーブルやコネクターに接触不良などがあります。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下しています。またはアンテナケーブルやコネクターに接触不良などがあります。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	選んだチャンネルの放送は休止中です。別のチャンネルを選んでください。
このチャンネルは、受信機にデータを送るための放送です。	選んだチャンネルは蓄積放送のチャンネルです。別のチャンネルを選んでください。
放送サービスでないため、このチャンネルは視聴できません。	選んだチャンネルはBSまたは110度CSデジタル放送ではありません。別のチャンネルを選んでください。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。

i.LINK 操作

画面メッセージ	原　因
i.LINK接続による再生ができません。	i.LINK端子に入力されている信号を再生できない場合に表示されます。
i.LINK接続による再生ができません。 外部機器との接続･設定を確認してください。	i.LINKコードの接続や、i.LINK接続している機器との設定が正しくない場合に表示されます。

アイコン一覧

本機はアイコン（各種の情報を簡単に表したマーク）によってさまざまな情報を表示します。
主なアイコンとその内容は次のとおりです。

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。
- 「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でもi.LINKでのダビングができない場合があります。

	アイコン	内容	アイコン	内容
番組情報関連	テレビ	衛星テレビ放送（映像+音声）の番組	データ	衛星データ放送の番組
	+ⓓ テレビ	衛星テレビ放送（映像+音声）で番組に合わせた衛星データ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組	+ⓓ ラジオ	衛星ラジオ放送で番組に合わせた衛星データ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組
	モノラル	モノラル音声の番組	ステレオ	ステレオ音声の番組
	デジタル ×COPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	アナログ ×COPY	アナログコピーガードがかかっている番組
	デジタル 1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組	信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り替えができる番組
	デジタル ×出力	i.LINK端子からデジタル信号を出力しない番組	アナログ ×出力	モニター出力端子から映像･音声信号を出力しない番組
		本機が電話回線を使用中の場合	主	二重音声信号があり「主」を選択している場合
	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合	主+副	二重音声信号があり「主+副」を選択している場合
	予	予約している番組	臨時	臨時ニュースなどの予定外の番組
	ラジオ	衛星ラジオ放送の番組	字幕	番組の中の字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組
	ⓓ テレビ	衛星テレビ放送（映像+音声）で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組	ⓓ ラジオ	衛星ラジオ放送で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
	16:9 480P	番組の映像信号情報 （上：アスペクト比、下：信号方式）	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
	有料	有料の信号を含む番組 （ペイ･パー･ビュー番組）	無料	無料の番組
	視	「視聴」で予約している番組	録	「録画」で予約している番組
	20才~	視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4～20才まであります）		
メール関連		お客様がまだ読まれてないメール （未読メール）		お客様が既に読まれたメール （既読メール）
視聴制限関連	4 才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。	有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連	視聴	予約方式が「視聴」の予約	録画	予約方式が「録画」の予約
	録画 Ir	「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約	録画 D-VHS	D-VHSビデオデッキで設定した「録画」の予約
	録画 i.LINK	外部のi-LINK機器から設定されている予約	¥	有料の番組 （ペイ･パー･ビューの番組）
	重複	予約時間が重なっており優先順位が低い予約	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
	済	予約の実行が予定通り終了した予約	実行中	現在、予約を実行している予約
	済 メール	予約の実行に問題が起こった予約 （メールで問題内容を確認できます。☞140ページ）	リレー	イベントリレー予約が実行された予約 （☞109ページ）
電話発信記録	i.LINK	i.LINK接続した機器から本機を通じて電話発信を行ったことを示します。		

用語解説

B-CASカード
（ビーキャス）
視聴者の色々な情報を管理しているカード。

BSデジタルチューナー
（ビーエス）
現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器。
本機はBSデジタルチューナーを内蔵しています。

BSデジタル放送
（ビーエス）
2000年12月から開始された、すべてデジタル方式のBS放送。BSテレビ放送・BSラジオ放送・BSデータ放送があります。

BSテレビ放送
（ビーエス）
BSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送がある。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

BSデータ放送
（ビーエス）
BSデジタル放送の1つ。独立型データ放送と(番組)連動型データ放送があります。

BSラジオ放送
（ビーエス）
BSデジタル放送の1つ。音声だけではなく、データ放送形式で映像や、付加情報などがある番組も放送されています。

CSテレビ放送
（シーエス）
CSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送があります。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

CSデータ放送
（シーエス）
CSデジタル放送の1つ。独立型データ放送と（番組）連動型データ放送があります。

CSラジオ放送
（シーエス）
CSデジタル放送の1つ。音声だけではなく、データ放送型式で映像や、付加情報などがある番組も放送されています。

D4映像端子
（ディー）
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機（D4）ではハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。
対応信号は下記の通りです。

	映像信号フォーマット			
対応する映像出力	1125i	750p	525p	525i
D4	○	○	○	○
D3	○	ー	○	○
D2	ー	ー	○	○
D1	ー	ー	ー	○

Irシステム
（アイアール）
本機からの録画予約を実行するためのシステムです。録画開始の時刻になると、設定されたリモコン信号を、ビデオリモートコントローラーから録画機器へ送ります。

S1映像信号
（エス）
S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが16:9のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

S映像信号
（エス）
映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

110度CSデジタルチューナー
現行のハイビジョンテレビやBSまたはCS受信機で110度CSデジタル放送を見るときに接続する機器。
本機は110度CSデジタルチューナーを内蔵しています。

110度CSデジタル放送
CSデジタル放送の中でも特に、東経110度に打ち上げられた新衛星からの放送2002年3月より放送開始されました。

525i/525p/1125i/750p/1125p
デジタル放送の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。(数字は走査線数、「i」は「インターレース」、「p」は「プログレッシブ」を表します。)

アイコン
各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示。

暗証番号
視聴年齢制限のかかった番組を視聴するときや、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際などに使用する番号。最初の設定を行う際に、登録します。

インターレース
従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

共聴
集合住宅で、一カ所のアンテナで受信した電波を各家庭に配るしくみ。

コピーガード
著作権保護のため、録画ができないようにするための機能。

コンポーネント映像端子
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_b/P_b、C_r/P_r)の3つのコンポーネント(構成要素)に分離して伝送する接続方法です。
コンポーネント映像端子は３つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントコード)を用います。
通常の映像端子に比べ、色のキレがよく、ちらつきのない画質が得られます。

視聴年齢制限
大人向けの番組などで、視聴できる年齢を制限する機能。

視聴予約
予約の1つ。予約した時間になると、その番組に切り換わる。

ジャンル
番組の種類。見たい番組をさがすときに使う。

受信契約
有料放送を受信するために各放送会社とかわす契約。

受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

信号切換
複数の映像･音声･データを切り換える機能。

ダウンロード
BS･110度CSデジタルチューナーのマイコンプログラムを電波を使って新しくすること。

デジタルE.E.（イーイー）
Ecology ＆ Economy(目にやさしい省電力)＋Electronic Eye(電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

デジタルピュア（Digital pure）
高画質を実現する「受信チューナー･映像を処理するデジタル回路･ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

内線発信番号
外に電話をかけるときに、相手の電話番号の前につける番号。

番組表（電子番組ガイド / EPG（イー・ピー・ジー））
地上波放送と衛星デジタル放送のデータとして送られてくる番組の情報を、見やすくまとめて表示する機能。番組を探したり、予約したりできる。

ビデオリモートコントローラー
録画予約時に、Irシステムによるリモコン信号をビデオデッキに送り、操作する機器。リモコンの送信部に相当する。

プログレッシブ(750p、525p)
一度にすべての走査線で表示(インターレースではその半分)しているため、従来より高精細な映像方式。本機はDETを使い、さらに最適化しています。

ペイ・パー・デイ（PPD）
１日単位で料金を払うシステム。

ペイ・パー・ビュー（PPV）
見た分だけ料金を支払うシステム。

ボード
放送局から送られる受信者あてのお知らせ。

マルチチャンネル放送
BSデジタル放送の特長の１つ。情報を圧縮することによって、1チャンネルで最大3チャンネルの放送が可能(標準画質放送時)。

メール
放送局から送られる個人あての手紙。
本機からのメッセージもメールとして扱われる場合があります。

録画予約
予約の１つ。予約した時間になると、録画が始まります。

ワイドクリアビジョン放送
画面の横縦比16：9の放送。画面サイズが16：9のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが4:3のテレビで見ると画面の上下に黒帯が出ます。)

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示
本機において、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。
特許番号(出願番号)
5,848,391　5,291,557　5,451,954　5,400,433　5,222,189　5,357,594　5,752,225　5,394,473
5,583,962　5,274,740　5,633,981　5,297,236　4,914,701　5,235,671　07/640,550　5,579,430
98/03037　97/02875　97/02874　98/03036　5,227,788　5,285,498　5,481,614　5,592,584
5,781,888　08/039,478　08/211,547　5,703,999　08/557,046　08/894,844　5,299,238　5,299,239
5,299,240　5,197,087　5,490,170　5,264,846　5,268,685　5,375,189　5,581,654　5,548,574
08/506,729　08/576,495　5,717,821　08/392,756

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思ったら」（174～177ページ)にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ビクターフラットワイドテレビ
型　　名	HD-36D1500またはHD-32D1500
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	(　　　)　　－
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　　　　(　　　)　　－

ビクター製品のアフターサービスはお買いあげの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
略号について：S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーションの略称です。
（2002年8月現在）

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭　川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北　見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧　路S.C.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯　広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函　館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4番16号 函館五稜郭 MFビル
東北				
青森	青　森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八　戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘　前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水　沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋　田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大　館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横　手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石　巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山　形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒　田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡　山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44 ハイツシンフォニー101号
	福　島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関信越				
新潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長　岡S.S.	(025)824-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上　越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長　野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松　本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2丁目4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前　橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土　浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水　戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター(株)水戸工場技術ビル1F
山梨	甲　府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千　葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏　S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦　安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
		東京		
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本　郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練　馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大　田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
		埼玉		
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大　宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊　谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石田B
		神奈川		
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横　浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川　崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 （第2石原ビル）
	平　塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
		静岡		
静岡	静　岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼　津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜　松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
		東海・北陸		
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町 丸之坪鴨田121-1
	三　河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙三丁目10-12
	豊　橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1丁目1-1
岐阜	岐　阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三　重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富　山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金　沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福　井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
		近畿		
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋　賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京　都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
		近畿		
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	奈　良S.C	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	神　戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫　路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
		中国		
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山　口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(083)427-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(083)251-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高　松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳　島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高　知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松　山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(089)520-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
		九州・沖縄		
福岡佐賀	福　岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(094)239-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長　崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(095)633-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大　分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊　本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮　崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売（株）サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

索　引

主な仕様

種類 BS･110度CSデジタルハイビジョンテレビ

受信方式 NTSC（VHF/UHF/CATV）

受信チャンネル
VHF 1～12、UHF 13～ 62
CATV C13～C38
BSデジタル放送のチャンネルに対応
001～999
110度CSデジタル放送のチャンネルに対応
001～999
BS･110度CS部受信周波数
1032MHz～2150MHz

使用電源 AC100V、50Hz/60Hz

消費電力 HD-36D1500：218W
HD-32D1500：201W
待機時 0.3 W
BS･110度CSデジタルチューナー部動作時
（機能待機時）
HD-36D1500：35.6W
HD-32D1500：35.6W
（BS･110度CSコンバーター最大4Wを除く）

年間消費電力量 HD-36D1500：251 kWh/年
HD-32D1500：240 kWh/年

画面寸法（幅X高さX対角）
HD-36D1500：
74.5 cm x 41.9 cm x 85.4 cm
HD-32D1500：
65.9 cm x 37.0 cm x 75.6 cm

音声出力 HD-36D1500：10W＋10W
HD-32D1500：10W＋10W

スピーカー HD-36D1500：
3 cm x 10 cm楕円型、2個
10 cm丸型、2個
HD-32D1500：
4 cm x 12 cm楕円型、2個
13 cm丸型、1個（低音用）

アンテナ端子 VHF/UHF：75Ω、F型
BS･110度CS：75Ω、F型
（BS･110度CSコンバーター用電源 DC15V
4W 重畳）

【入力／出力端子】

ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3/DVD、ビデオ入力4（DV/ムービー入力)入力端子
S1映像： Y 1V(p-p)、75Ω、同期負
(S映像) C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
（ビデオ3/DVDを除く）
映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負
音声： 0.5V(rms)、ハイインピーダンス

ビデオ3/DVDコンポーネント映像入力端子
(1125i)
Y ：1V(p-p)、75Ω±20%
同期信号分±0.35V(p-p)、3値同期
P_b、P_r ：±0.35V(p-p)、75Ω±20%
(750p/525p/525i)
Y ：1V(p-p)、75Ω、同期負
C_b、C_r ：0.7V(p-p)、75Ω±20%

D4映像入力（ビデオ1/D-VHS、ビデオ入力4）端子
映像： D端子（D4）

モニター/録画出力端子
S1映像： Y 1V(p-p)、75Ω、同期負
C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負
音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス

オーディオ出力（固定）端子
音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス

AVコンピュリンクIII端子：
直径 3.5 mm、ミニジャック

i.LINK入出力端子（2系統）
4ピン S400

光デジタル音声出力端子
－18dBm、660nm
メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力

電話回線端子
2Pモジュラージャック
モデム伝送レート 2400bps

ビデオリモートコントローラー出力端子
ミニジャック

ヘッドホン端子
直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

【その他】

最大外形寸法（幅x高さx奥行）
HD-36D1500：
91.2 cm x 62.4 cm x 59.3 cm
HD-32D1500：
84.8 cm x 54.3 cm x 54.2 cm

質量（重さ） HD-36D1500：80.6kg
HD-32D1500：59.7kg

付属品 19ページ参照

別売品 テレビスタンド
･RK-C36PN1(HD-36D1500用)
･RK-C32PN1(HD-32D1500用)
アンテナ混合器
･VZ-84

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ テレビの型（32型等）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張･省略･合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。
※ 電源を切っていても地上波番組表（G-GUIDE）データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。
※ HD-36D1500およびHD-32D1500は「家電･汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
184～185ページをご覧ください。	**東京** 電話 (03) 5684－9311 ファクス (03) 5684－9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪** 電話 (06) 6765－4161 ファクス (06) 6765－4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）453-2057

© 2002 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

1002-HH-MW-VP